

「体験の風をおこそう」運動<sup>®</sup>

# 高校生の進路と職業意識に関する調査報告書

—日本・米国・中国・韓国の比較—

令和5年6月



## 目 次

調査の概要	3
1 進路に関する意識	8
1) 将来受けた教育水準	
2) 進路選択に影響を与える人やもの	
2 キャリアに関する活動・学習	10
1) 将来の生き方や進路にかかわる活動への関心や取組	
2) 将来の生き方や進路についての学習	
3) 将来の生き方や進路についての保護者との会話	
3 職業に関する意識	15
1) 将来希望する職業を決めているか	
2) 「仕事」「働くこと」のイメージ	
3) 職業を選ぶにあたって重視すること	
4) 希望する就業形態、就業地域など	
5) 仕事や生活に関する意識	
6) 将来、仕事に注ぎたい力	
4 自分自身や将来に関する意識	26
1) 自分自身について	
2) 将来に関する意識	
5 社会やテクノロジーの変化に関する意識	30
1) 社会についての意識	
2) テクノロジーの変化に関する意識	

6	コロナ禍による影響	34
---	-----------	----

7	経年比較にみる高校生の進路や職業意識	38
---	--------------------	----

◆考察

1	国際比較からみた日本の高校生の特徴とキャリア教育の役割	56
2	高校生が持つ将来へのイメージと就労観	66
3	高校生における肯定的な職業イメージに関連する活動や学習内容の検討	77

◆資料

質問票（和文）	85
質問票（英文）	92
単純集計表	99
男女別集計表	123
学年別集計表	141

## 調査の概要

### 1 調査の目的

テクノロジーの進化や新型コロナウイルス感染拡大の影響を経て、職業の在り方が大きく変わっている。成人の入り口にさしかかっている高校生たちは、進路と将来の職業に対し、どのように考えているか。この調査は高校生の職業観や将来の進路希望、あるいは進路に向けての準備などについて、その意識や実態を把握することを目的とする。また、米国、中国、韓国でも同時に実施し、諸外国と比較することで、日本の高校生の特徴や課題を分析し、青少年教育施策立案のための基礎資料を提供する。

### 2 調査方法等

調査時期、調査対象などは次のとおりである。なお、中国での調査は一般財団法人日本児童教育振興財団の協賛により、実施された。

	日本	米国	中国	韓国
調査機関	国立青少年教育振興機構	一般財団法人日本児童教育振興財団(委託)	中国青少年研究センター	ソウル YMCA、韓国多文化青少年協会
調査時期	2022年9月～2023年1月	2022年9月～12月	2022年9月～11月	2022年9月～11月
学校数	28	13	24	34
調査地域	青森県、岩手県、秋田県、山形県、茨城県、千葉県、東京都、富山県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、香川県、愛媛県、福岡県、熊本県、鹿児島県	North Carolina Connecticut Louisiana Illinois Oklahoma Hawaii New Mexico Washington Indiana Missouri California Michigan Mississippi	・北京市 ・江蘇省 ・河南省 ・陝西省 ・四川省 ・遼寧省 (各地域で都市部と郊外から2校ずつ抽出)	ソウル 京畿道 大邱 大田 釜山 全羅北道
調査方法	集団質問紙法または学校を通してのWEB調査	学校を通してのWEB調査	学校を通してのWEB調査	集団質問紙法
有効回答者数(人)	4822	1874	3772	1814

### 3 調査内容

進路希望、進路選択に影響を与える人やもの、将来の生き方や進路にかかわる活動への関心や取組・学習したこと、「仕事」「働くこと」のイメージ、職業選びにおいて重視すること、希望する就業形態・就業地域、仕事や生活に関する意識、自分自身についての評価、将来や社会に関する意識、テクノロジーの変化についての意識、新型コロナウイルスの感染拡大による影響など。

### 4 調査対象者の基本属性

(%)

		日本	米国	中国	韓国
性別	男	47.0	48.1	47.7	42.4
	女	50.0	48.7	52.3	47.5
	どちらとも言えない	0.9	1.3	-	6.0
	答えたくない	1.5	1.8	-	4.0
	無回答	0.6	0.0	0.0	0.2
学年	高1	38.8	33.3	42.8	28.9
	高2	31.4	34.7	31.8	38.4
	高3	29.5	32.0	25.4	32.6
	無回答	0.3	0.0	0.0	0.1
基数(人)		4822	1874	3772	1814

### 5 調査結果からみる日本の高校生の特徴

#### 1) 進路に関する意識

##### ①将来受けたい教育水準

「四年制大学まで」と回答した割合は、日本が6割強と、4か国の中で最も高いが、「大学院まで」（「修士」+「博士」）と回答した割合は、中国52.5%、米国33.7%、韓国11.2%に対し、日本が6.5%と最も低い。 ⇒p.8

##### ②進路選択に影響を与える人やもの

「親（保護者）」と回答した割合は、4か国とも最も高く、ほかの項目を大きく上回っている。その次に、日本では「インターネットやSNS」34.4%、「学校の先生」30.1%、「友達」26.3%の順に高くなっている。 ⇒p.8～

#### 2) キャリアに関する活動・学習

##### ①将来の生き方や進路にかかわる活動への関心や取組

「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「関心がある」と回答した割合は、日本がいずれも8割を超え、「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」に「関心がある」と回答した割合も6割以上と高い。しかし、「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「取組をしている」と回答した割合は、いずれも7割未満となり、「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」に「取組をしている」と回答した割合は、い

ずれも約1割と低く、米・中・韓を大きく下回っている。 ⇒p. 10～

## ②将来の生き方や進路についての学習

「職業の種類や内容」「進路選択の方法」について「学習したことがある」と回答した割合は、日本が83%以上となっており、米・中・韓を大きく上回っている。「自分の個性や適性」「学ぶことや働くことの意義」「進路に関する不安や悩みへの対処法」「社会人・職業人としての常識やマナー」「労働に関する法律や制度」の割合もほかの3か国より高い。一方、「近年の若者の就業の動向」の割合は4か国中最も低い。 ⇒p. 12～

## ③将来の生き方や進路についての保護者との会話

将来の生き方や進路について、親（保護者）と「よく話しあっている」「ときどき話しあっている」と回答した割合は、日本では8割を超え、4か国の中で最も高い。 ⇒p. 14

## 3) 職業に関する意識

### ①将来希望する職業を決めているか

将来希望する職業を、「はっきり決めている」と回答した割合は、日本が2割を超え、4か国中最も高い。一方、「まだ考えていない」の割合も1割強で、4か国中最も高くなっている。 ⇒p. 15

### ②「仕事」「働くこと」のイメージ

日本の高校生は、「仕事」「働くこと」に対し、「生活のため」「社会人としての義務」というイメージを持っている割合が米・中・韓に比べ著しく高く、「楽しい」というイメージを持っている割合が最も低い。 ⇒p. 16～

### ③職業を選ぶにあたって重視すること

職業選択にあたって、日本では「仕事の環境」「安定性」「自分の興味や好みに合っている」が「とても重要」と回答した割合が4か国の中で最も高くなっている。一方、「社会的地位」は1割強にとどまり、4か国の中で最も低くなっている。 ⇒p. 19～

### ④希望する就業形態、就業地域など

将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方を「強く希望する」「まあ希望する」と回答した割合は、日本が3割未満で、米・中・韓より20ポイント以上も低い。

希望する就職地について、日本の高校生は、「地元の中心都市」と回答した割合が37.1%で最も高く、次いで「東京や大阪など国内の大都会」の29.8%である。 ⇒p. 21～

### ⑤仕事や生活に関する意識

「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が5割弱で、4か国中最も高い。反対に、「できるだけ高い地位に就きたい」「自分の会社や店を作りたい」「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」が「とてもそう思う」と回答した割合は、米・中・韓に比べて著しく低い。「よりよい職場があれば、積極的に

転職したほうがよい」「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」「地元で仕事や生活をしたい」も4か国中最も低くなっている。 ⇒p. 22～

#### ⑥将来、仕事に注ぎたい力

将来、仕事に注ぎたい力が生活全体の「41～60%」と回答した割合は、日本が54.6%と最も高い。「60%以上」と回答した割合は、日・米の3割強に対し、中・韓が5割以上と高い。 ⇒p. 24～

### 4) 自分自身や将来に関する意識

#### ①自分自身について

日本の高校生は、「いまの生活には満足している」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が84.3%に達し、4か国の中で最も高い。一方、「自分はダメな人間だと思うことがある」と回答した割合も78.6%と米・中・韓より高い。反対に「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」「いまの自分が好きだ」「相手が誰であっても自分の意見を言える」と回答した割合が4か国中最も低い。 ⇒p. 26～

#### ②将来に関する意識

日本の高校生は、「自分の将来に不安を感じている」と回答した（「よくあてはまる」「まああてはまる」）割合が8割弱で、4か国中最も高くなっている。反対に、「自分の将来について、はっきり目標をもっている」「自分の将来は明るい」「今が楽しければいいので先のことは考えない」と回答した割合がいずれも4か国中最も低い。 ⇒p. 28～

### 5) 社会やテクノロジーの変化に関する意識

#### ①社会についての意識

日本の高校生は、「日本で暮らすことに満足している」と回答した（「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が9割を超えて最も高くなっているが、「将来は今よりも経済的に発展していると思う」「日本の未来は明るい」「社会は自分の力で変えていくことができると思う」と回答した割合が米・韓より14ポイント以上低い。 ⇒p. 30～

#### ②テクノロジーの変化に関する意識

日本の高校生は、「テクノロジーが変化しても、人と人とのつながりの大切さは変わらない」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が83.6%で中国に次いで高い。「テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる」と回答した割合が74.5%と4か国中最も高い。一方、「テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである」「テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている」と回答した割合がいずれも米・中・韓に比べて低い。 ⇒p. 32～

### 6) コロナ禍による影響

日本の高校生は、コロナ禍により、「勉強や学習」が影響を「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合が55.2%となっており、韓国に次いで高い。「家の経済状況」「将来の進路」「家族との関



係」が影響を受けた割合は、4か国中最も低い。 ⇒p. 34～

## 7) 経年比較からみる高校生の進路や職業意識

### ①将来受けたい教育レベル

2016年の調査と比較して、日本の高校生は将来受けたい教育水準があまり変わらなかった。米国は「高校まで」が上昇し、「大学院修士まで」「大学院博士まで」は低くなっている。中国は、「大学院修士まで」「大学院博士まで」は高くなっている。韓国は「専門・専修学校まで」は上昇し、「四年制大学まで」「大学院修士まで」「大学院博士まで」は低くなっている。 ⇒p. 38～

### ②職業を選ぶにあたって重視すること

10年前と比較して、日本の高校生は、職業選択にあたって「収入」「仕事の環境」「勤務先の福利厚生」が「とても重要」と回答した割合が高くなっている。 ⇒p. 39～

### ③希望する勤務地

10年前と比較して、日本の高校生は将来希望する勤務地について、「地元の中心都市」と回答した割合が高くなり、反対に「国内の大都会」「地元の市町村」「欧米など先進国」は、低くなっている。 ⇒p. 43～

### ④生活意識

10年前と比較して、日本の高校生は「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」と考えている割合が高くなり、「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」は大きく低下している。 ⇒p. 45～

### ⑤自分自身について

2014年の調査と比較して、日本の高校生は「周りの人の意見に影響されるほうだ」「自分はダメな人間だと思うことがある」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」）割合が高くなっている。 ⇒p. 48～

### ⑥自分の将来に関する意識

「今が楽しければいいので先のことは考えない」について、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、2012年の調査に比べて、4か国とも高くなっている。

「自分の将来に不安を感じている」について、2014年、2018年、2021年の3回の調査に比べて、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、日本が年々高くなっている。 ⇒p. 51～

### ⑦社会に関する意識

2012年の調査と比較して、日本の高校生は「今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする」と回答した（「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が高くなっている。また、2014年の調査と比較して、「いまの社会は貧富の差が大きい」と回答した割合は高くなり、「日本は競争が激しい社会である」と回答した割合は低くなっている。 ⇒p. 53～

# 1 進路に関する意識

## 1) 将来受たい教育水準

「四年制大学まで」と回答した割合は、日本が6割強と、4か国の中で最も高いが、「大学院まで」（「修士」+「博士」）と回答した割合は、中国 52.5%、米国 33.7%、韓国 11.2%に対し、日本が6.5%と最も低い。

「将来、どの程度の教育を受けたいか」という設問に対し、「四年制大学まで」と回答した者の割合は、日本 61.3%、韓国 48.0%、米国 35.4%、中国 29.1%の順となっており、日本が最も高いが、「大学院修士まで」または「大学院博士まで」と回答した者の割合は、中国 52.5%、米国 33.7%、韓国 11.2%に対し、日本が6.5%と最も低い。また、「専門・専修学校まで」の割合は、韓国が17.8%と最も高く、日本も1割を超えている（中国はこの項目がない）。「学歴にはこだわらない」の割合は、4か国とも5%未満と低く、「まだ考えていない」は4国とも約1割となっている（図1-1）。

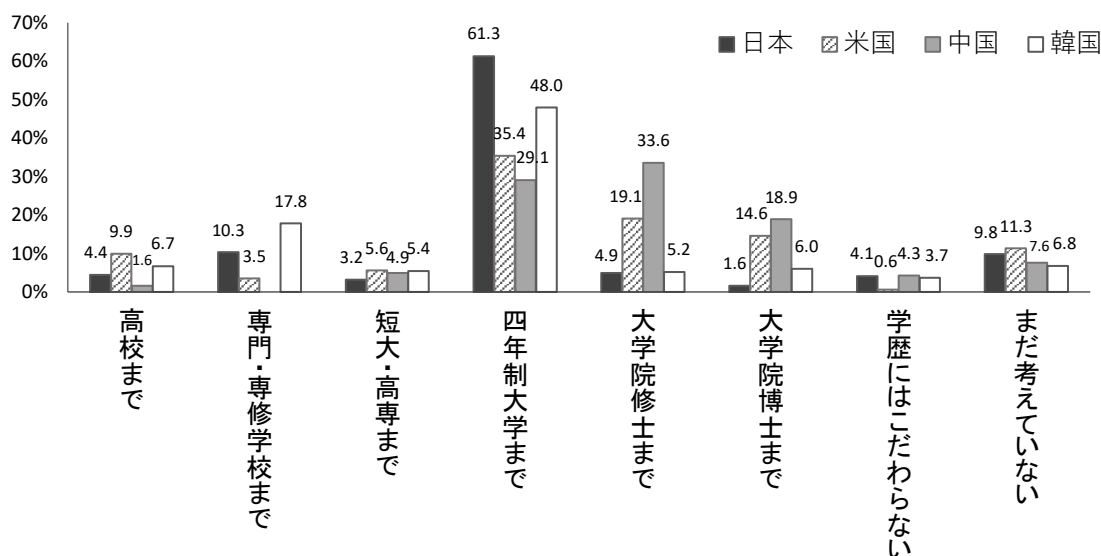


図 1-1 将来、どの程度の教育を受けたいか

## 2) 進路選択に影響を与える人やもの

「親（保護者）」と回答した割合は、4か国とも最も高く、ほかの項目を大きく上回っている。その次に、日本では「インターネットやSNS」34.4%、「学校の先生」30.1%、「友達」26.3%の順に高くなっている。

進路について考えたり決めたりするにあたって、主に影響を受けている人やものについてたず

ねた（3つまで選択）。その結果を示したのが図1-2である。

「親（保護者）」と回答した割合は、4か国とも最も高く、ほかの項目を大きく上回っている。そのほかに影響力が大きいのは、日本と韓国では「インターネットやSNS」「学校の先生」「友達」であり、米国では、「友達」「親（保護者）やきょうだい以外の親族」「インターネットやSNS」の順となっており、中国では、「学校の先生」「友達」である。

4か国で比較してみると、日本では、「インターネットやSNS」の割合は、米・中・韓より高く、「親（保護者）やきょうだい以外の親族」「著名人」は4か国中最も低くなっている。米国では、「親（保護者）」「きょうだい」「親（保護者）やきょうだい以外の親族」の割合は、4か国の中で最も高く、親族の影響力の高さがうかがえる。中国では、「著名人」の割合は、ほかの3か国よりやや高いが、「特に他人などに影響されない」の割合は2割を超え、4か国の中で最も高くなっている。一方、「インターネットやSNS」「テレビ」「先輩」と回答した割合は、いずれも4か国中最も低くなっている。韓国では、「学校の先生」「テレビ」「先輩」「新聞・雑誌」と回答した割合は、日・米・中より高く、「親（保護者）」は4か国中最も低くなっている。

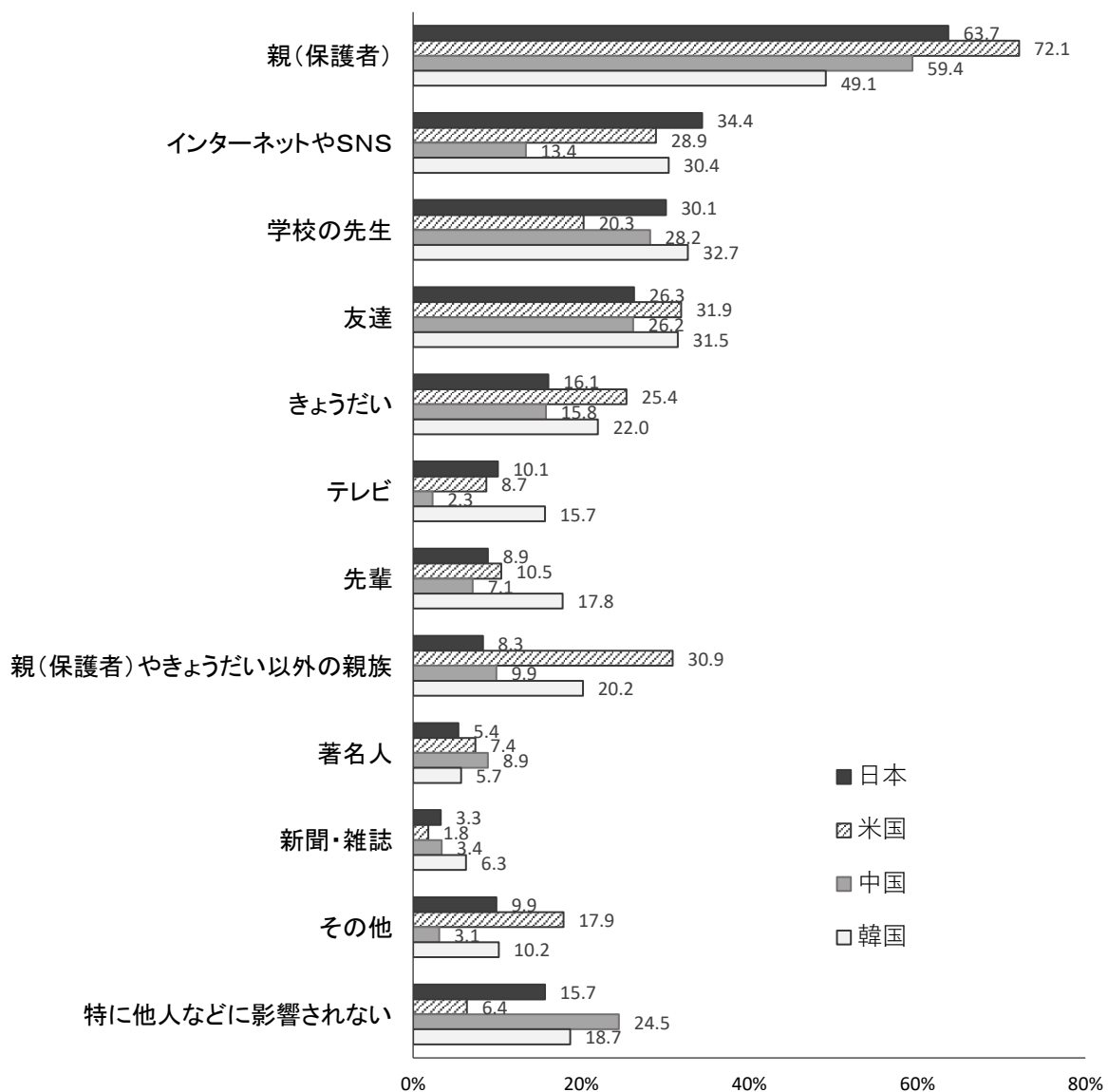


図 1-2 進路について考えたり決めたりする際、主に影響を受けている人やもの(3つまで選択)

## 2 キャリアに関する活動・学習

### 1) 将来の生き方や進路にかかわる活動への関心や取組

「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「関心がある」と回答した割合は、日本がいずれも8割を超え、「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」に「関心がある」と回答した割合も6割以上と高い。しかし、「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「取組をしている」と回答した割合は、いずれも7割未満となり、「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」に「取組をしている」と回答した割合は、いずれも約1割と低く、米・中・韓を大きく下回っている。

将来の生き方や進路（進学や就職）にかかわる活動を5項目挙げ、それに対する関心と取組の有無をたずねた。

図2-1はその5項目の活動に「関心がある」と回答した割合を示したものである。

日本では、「職業について調べること」に「関心がある」と回答した割合は、85.0%と5項目の中で高く、「大学など進学したい学校の見学や情報収集」の割合も8割を超えている。「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」に「関心がある」と回答した割合は、それぞれ68.0%と63.4%となっている一方、「ボランティア活動」に関心を示している日本の高校生は5割を切っている。

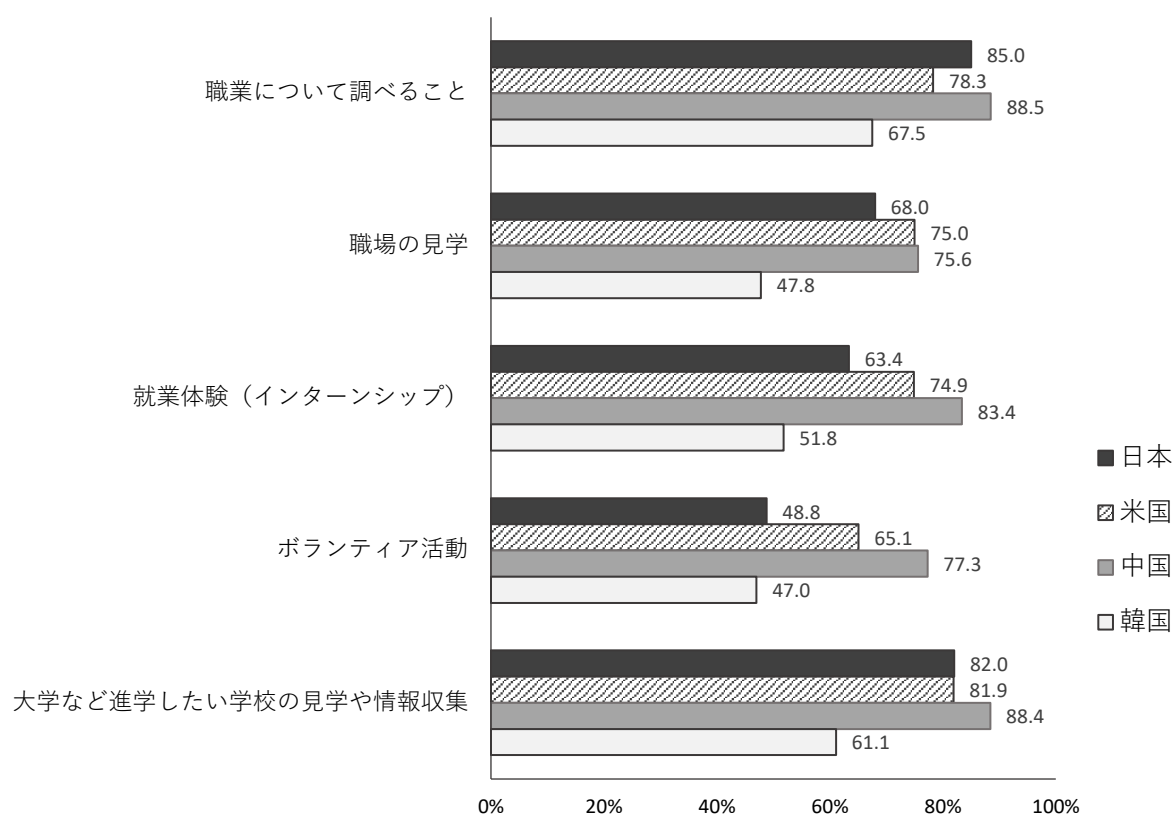


図 2-1 将来の生き方や進路にかかわる活動への関心（「関心がある」と回答した割合）

米国では、「大学など進学したい学校の見学や情報収集」への関心が5項目の中で最も高く、8割を超えている。「職業について調べること」「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」に「関心がある」と回答した割合は、いずれも約75%以上となっている。「ボランティア活動」に関心を示している米国の高校生の割合は、65.1%と中国に次いで高い。

中国では、「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「関心がある」と回答した割合はいずれも9割弱と高く、「就業体験（インターシップ）」も8割を超えている。

全体として、中国は5項目とも4か国中最も高い割合を示しており、これらの活動に対する中国の高校生の関心の高さがうかがえる。対照的に、韓国はすべての項目で4か国の中で最も低い割合を示している。韓国では、5項目の中で「職業について調べること」への関心が最も高いが、7割を切っている。「職場の見学」や「ボランティア活動」に「関心がある」と回答した割合はいずれも5割を下回っている。

次に、これらの活動への取り組みはどうなっているかを見てみる。図2-2は5項目の活動に対し、「取組をしている」と回答した割合を示したものである。

日本の回答をみると、「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「取組をしている」と回答した割合は、いずれも68%程度となっているが、「職場の見学」や「就業体験（インターシップ）」になると、その割合は、約1割にとどまり、米・中・韓に比べて最も低く、しかもその差が大きい。「ボランティア活動」の割合も2割未満となっており、4か国中最も低い。

米国は、「大学など進学したい学校の見学や情報収集」に「取組をしている」と回答した割合は7割強と、4か国中最も高くなっている。「職業について調べること」の割合も65.0%と高い。「ボランティア活動」の割合は5割弱で中国と並んで高い。また、「職場の見学」や「就業体験（インターシップ）」に「取組をしている」と回答した割合は、それぞれ34.4%と21.0%となっている。

中国は、「職業について調べること」「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」の割合は、いずれも4か国の中で最も高く、「大学など進学したい学校の見学や情報収集」の割合も7割弱となっている。

韓国は、「職業について調べること」「大学など進学したい学校の見学や情報収集」の割合は、4か国中最も低い、「ボランティア活動」の割合は3割強、「職場の見学」「就業体験（インターシップ）」は、いずれも2割強となっている。

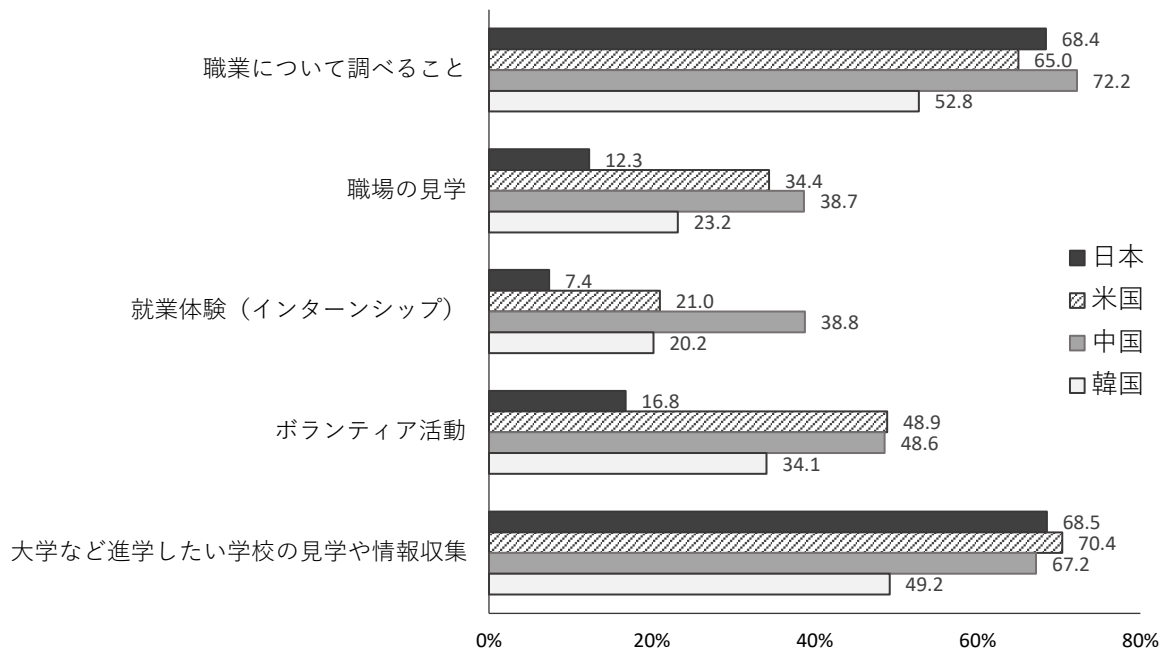


図 2-2 将来の生き方や進路にかかわる活動への取組（「取組をしている」と回答した割合）

## 2) 将来の生き方や進路についての学習

「職業の種類や内容」「進路選択の方法」について「学習したことがある」と回答した割合は、日本が83%以上となっており、米・中・韓を大きく上回っている。「自分の個性や適性」「学ぶことや働くことの意義」「進路に関する不安や悩みへの対処法」「社会人・職業人としての常識やマナー」「労働に関する法律や制度」の割合もほかの3か国より高い。一方、「近年の若者の就業の動向」の割合は4か国中最も低い。

将来の生き方や進路についての学習状況をみるために、「職業の種類や内容」など8項目を挙げ、学習経験の有無をたずねた。図 2-3 はその8項目について、「学習したことがある」と回答した割合を示したものである。

日本の高校生の回答をみると、「職業の種類や内容」「進路選択の方法」について「学習したことがある」と回答した割合は、それぞれ85.8%と83.4%となっており、米・中・韓に比べて高く、その差も大きい。「自分の個性や適性」「学ぶことや働くことの意義」について「学習したことがある」と回答した割合も約73%と高い。また、「進路に関する不安や悩みへの対処法」「社会人・職業人としての常識やマナー」「労働に関する法律や制度」の割合も5割以上で、ほかの3か国より高い。一方、「近年の若者の就業の動向」の割合は30.1%にとどまり、4か国の中で最も低くなっている。

米国では、「自分の個性や適性」「学ぶことや働くことの意義」について、「学習したことがある」と回答した割合は、いずれも7割強となっており、日本に次いで高い。「職業の種類や内容」「進路選択の方法」の割合は5割台となり、「進路に関する不安や悩みへの対処法」「社会人・職業人としての常識やマナー」「近年の若者の就業の動向」の割合は、いずれも4割台となっている。「労

働に関する法律や制度」の割合は3割強と4か国中最も低い。

中国では、「近年の若者の就業の動向」について、「学習したことがある」と回答した割合は5割強と、4か国中最も高い。「社会人・職業人としての常識やマナー」「労働に関する法律や制度」の割合は日本に次いで高い。一方、「自分の個性や適性」「職業の種類や内容」「進路選択の方法」「進路に関する不安や悩みへの対処法」の割合はいずれも4か国中最も低い。

韓国では、「自分の個性や適性」「職業の種類や内容」について、「学習したことがある」と回答した割合は、いずれも約7割となっており、「学ぶことや働くことの意義」「進路選択の方法」の割合は約6割となっている。「社会人・職業人としての常識やマナー」の割合は4割強にとどまり、4か国中最も低くなっている。

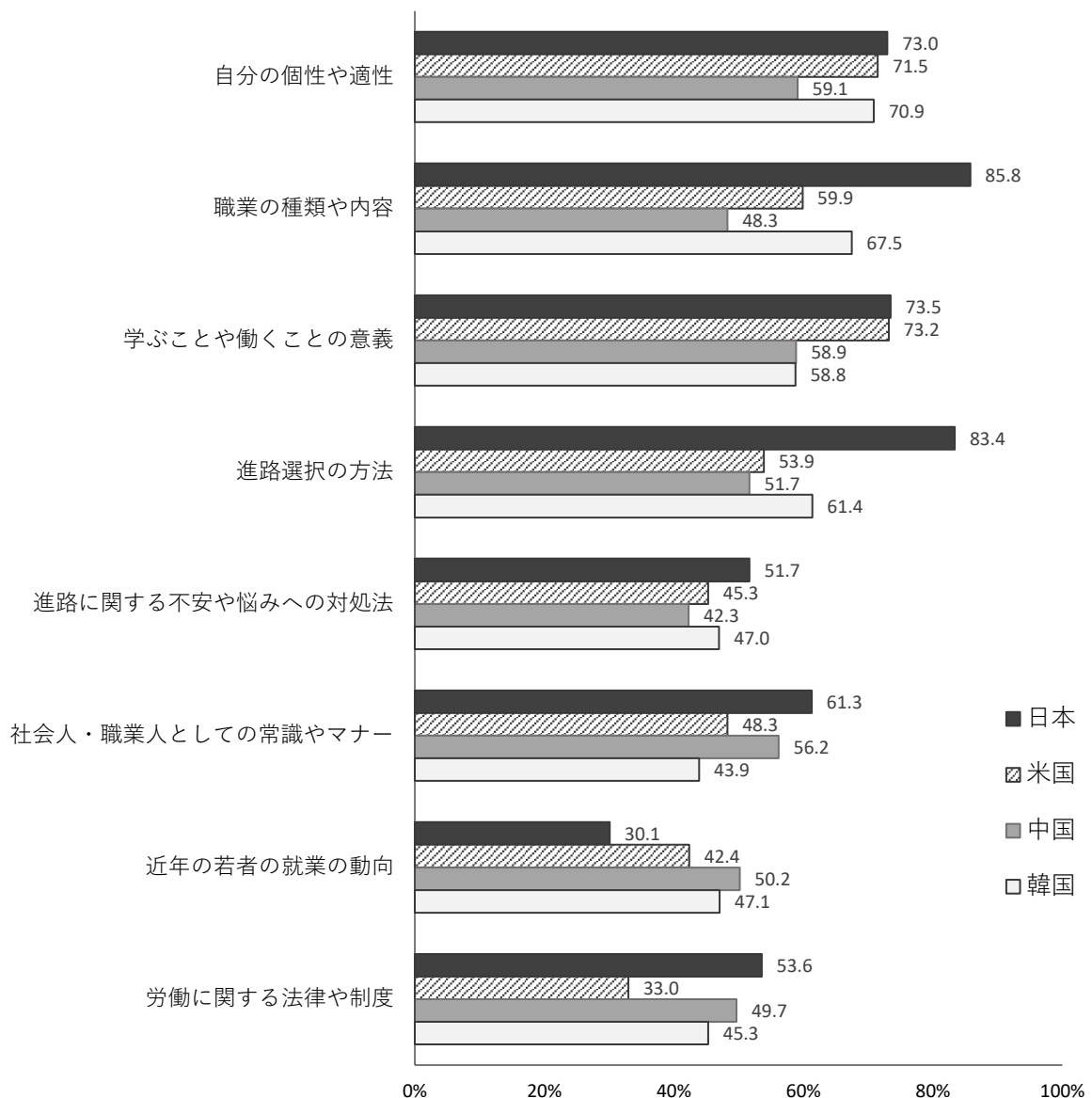


図 2-3 将来の生き方や進路についての学習(「学習したことがある」と回答した割合)

### 3) 将来の生き方や進路についての保護者との会話

将来の生き方や進路について、親（保護者）と「よく話しあっている」「ときどき話しあっている」と回答した割合は、日本では8割を超え、4か国の中最も高い。

将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話し合っているかという設問に対し、「よく話し合っている」と回答した割合は、米国31.4%、日本25.2%、韓国23.8%、中国22.8%の順となっており、米国が最も高くなっている。「ときどき話しあっている」を合わせると、日本は81.3%となっており、米国の73.9%、中国の78.7%、韓国の78.4%に比べて最も高くなっている（図2-4）。

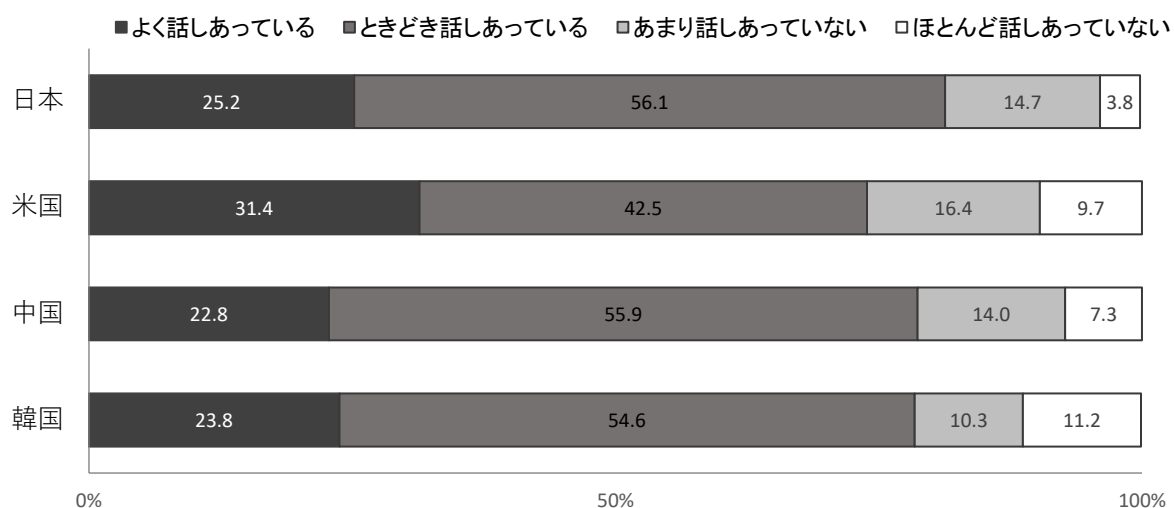


図2-4 将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話し合っているか



### 3 職業に関する意識

#### 1) 将来希望する職業を決めているか

将来希望する職業を、「はっきり決めている」と回答した割合は、日本が2割を超え、4か国中最も高い。一方、「まだ考えていない」の割合も1割強で、4か国中最も高くなっている。

「将来希望する職業を決めているか」という設問に対し、「はっきり決めている」と回答した割合は、日本 22.0%、米国 19.9%、韓国 18.9%、中国 13.8%の順となっており、日本が最も高くなっている。「おおよそ決めている」を合わせると、日本 54.6%、米国 58.2%、中国 46.3%に対し、韓国は 68.9%と最も高くなっている。「考えているが、まだ決めていない」と回答した割合は、中国が 46.7%と4か国中最も高く、韓国は 19.2%と最も低くなっている。一方、「まだ考えていない」の割合は、日本が 13.3%で、米国の 5.4%、中国の 5.5%、韓国の 7.4%に比べて最も高くなっている。また、「将来、職業や仕事に就きたいと思わない」と回答した割合は、韓国が 4.2%で最も高くなっている（図 3-1）。

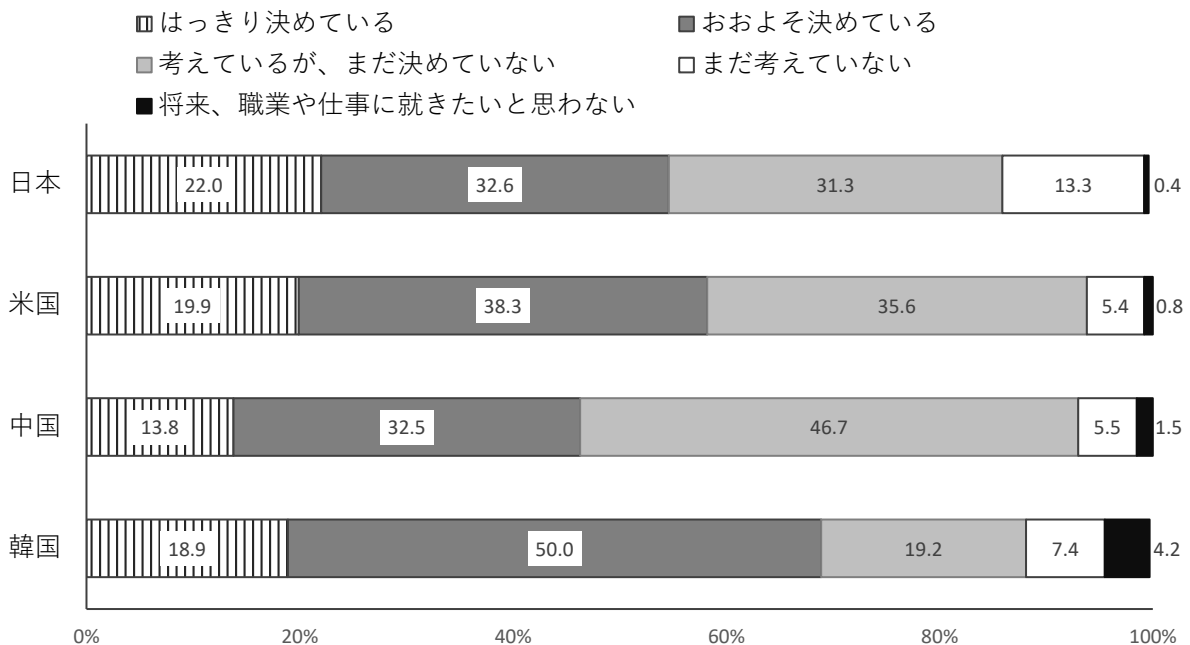


図 3-1 将来希望する職業を決めているか

## 2) 「仕事」「働くこと」のイメージ

日本の高校生は、「仕事」「働くこと」に対し、「生活のため」「社会人としての義務」というイメージを持っている割合が米・中・韓に比べ著しく高く、「楽しい」というイメージを持っている割合が最も低い。

「仕事」「働くこと」に対するイメージについて、「楽しい」「苦しい」「やりがいがある」「つまらない」「生活のため」「社会人としての義務」の6項目を挙げ、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の4段階でたずねた。

「楽しい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が18.8%と、米国34.5%、中国26.0%、韓国29.0%に比べて最も低くなっている。「まあそう思う」を合わせると、4か国とも7割台となり、大多数の高校生は「仕事」や「働くこと」に「楽しい」イメージを持っていることが見て取れる（図3-2）。

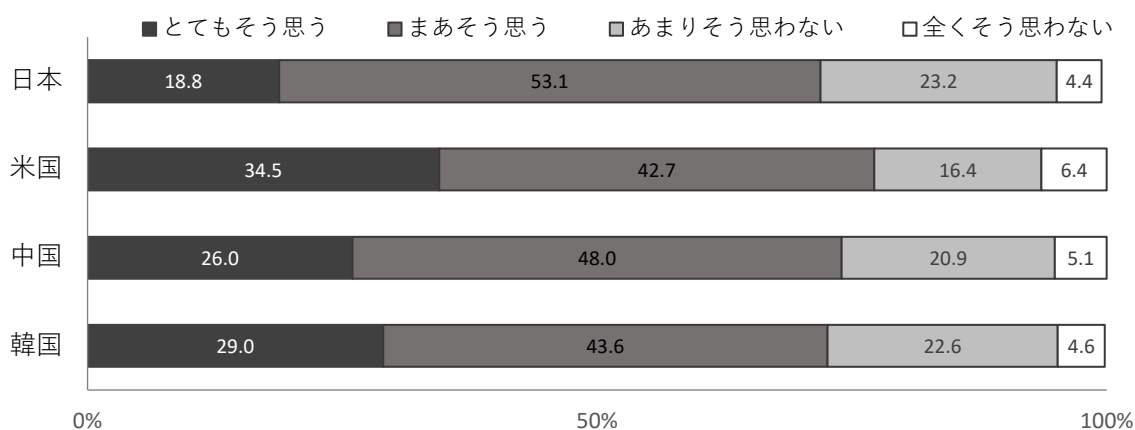


図3-2 「仕事」「働くこと」のイメージ:「楽しい」

「苦しい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、中国が31.4%で、日本の24.8%、米国の8.6%、韓国の10.8%に比べて最も高い。「まあそう思う」を合わせる、日本と中国は86%以上となり、米国（35.9%）と韓国（49.1%）に比べて、その差が著しい（図3-3）。

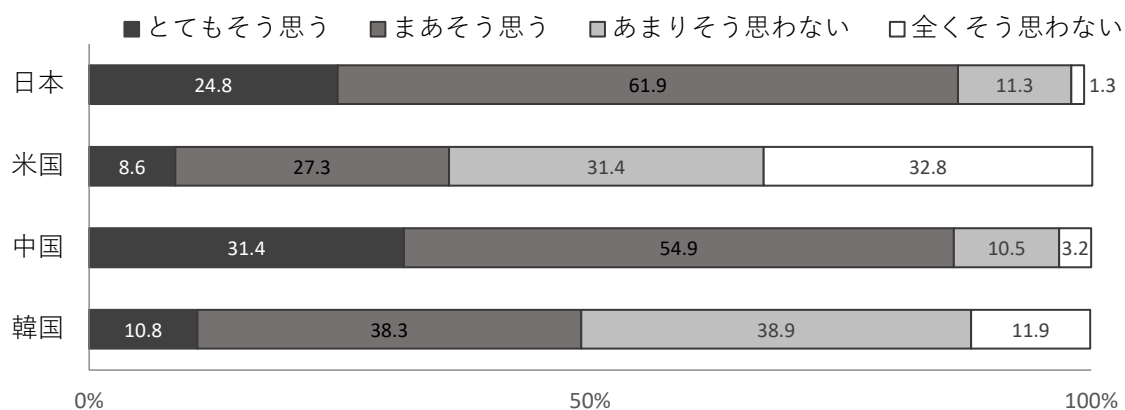


図3-3 「仕事」「働くこと」のイメージ:「苦しい」

また、「やりがいがある」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、米国が55.5%と最も高く、次いで日本44.2%、中国37.6%、韓国26.1%の順となっている。「まあそう思う」を合わせると、日本は90.1%となり、米国の82.5%、中国の86.0%、韓国の72.9%に比べて最も高くなっている（図3-4）。

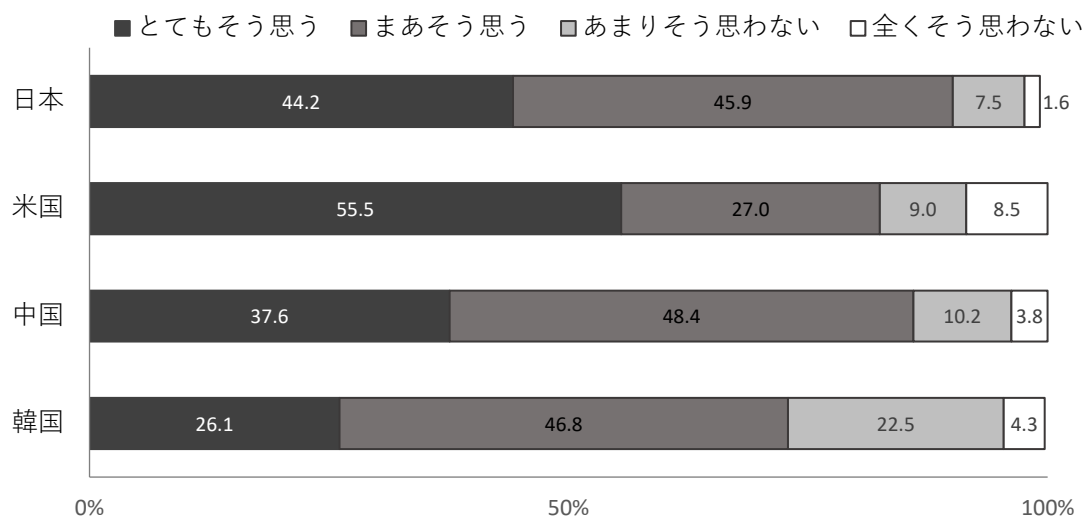


図3-4 「仕事」「働くこと」のイメージ:「やりがいがある」

「つまらない」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が5.2%と最も低く、米・中・韓も約1割にとどまっている。「まあそう思う」を合わせると、4か国とも3割台となっている。「全くそう思わない」の割合は、米国が34.4%とほかの3か国を大きく上回っている（図3-5）。

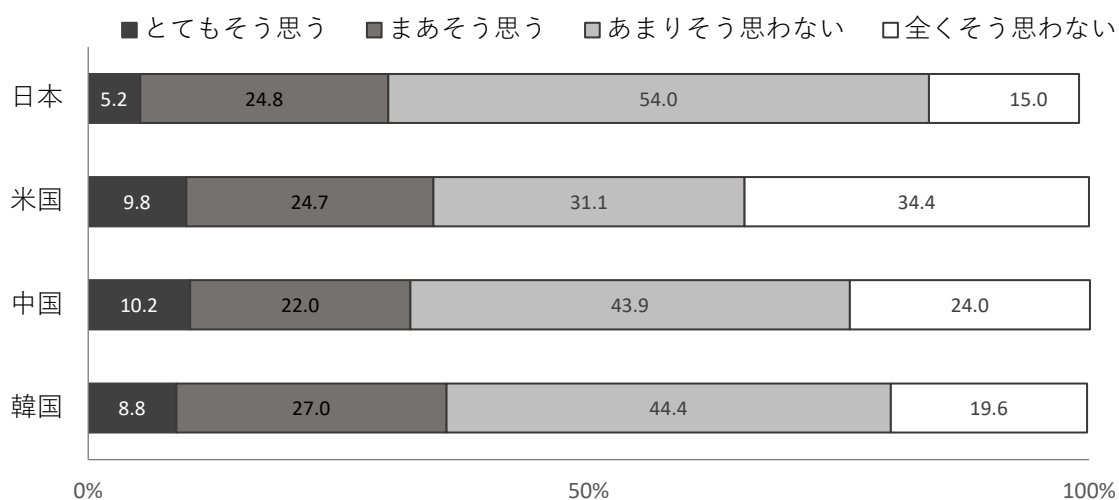


図3-5 「仕事」「働くこと」のイメージ:「つまらない」

「生活のため」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が68.6%と、米国の16.3%、中国の17.7%、韓国の32.4%に比べて著しく高い。「まあそう思う」を合わせると、日本は96.4%にも達している（図3-6）。

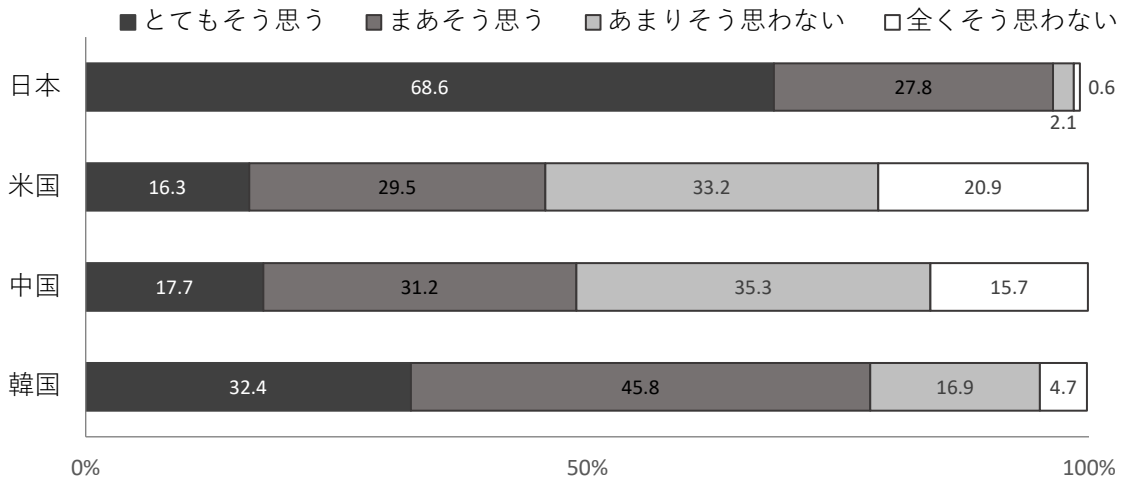


図 3-6 「仕事」「働くこと」のイメージ:「生活のため」

「社会人としての義務」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が 36.0%と、米・中・韓の約 2 割に比べて高い。「まあそう思う」を合わせると、日本は 80.5%となっており、米国 51.8%、中国 64.5%、韓国 62.8%との差が開いた。反対に、「全くそう思わない」の割合をみると、日本 3.4%、中国 10.3%、韓国 10.1%に対し、米国は 20.8%と 10 ポイント以上の差がついている (図 3-7)。

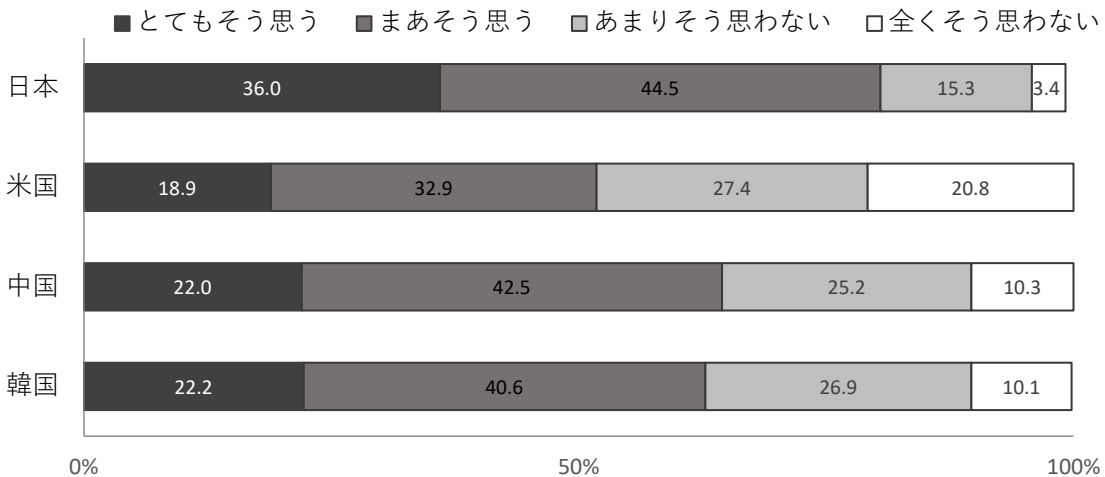


図 3-7 「仕事」「働くこと」のイメージ:「社会人としての義務」

また、上記 6 項目について「とてもそう思う」と回答した割合をまとめてみると、「仕事」や「働くこと」に対し、日本の高校生は、「生活のため」「社会人としての義務」というイメージを強く持ち、米国の高校生は「楽しい」「やりがいがある」というイメージを強く持っている。中国の高校生は「楽しい」より「苦しい」のイメージが強いが、「やりがいがある」というイメージも強く持っている。韓国の高校生は、「生活のため」のイメージが日本に次いで強いが、「楽しい」というイメージが米国に次いで強いことがわかる (図 3-8)。

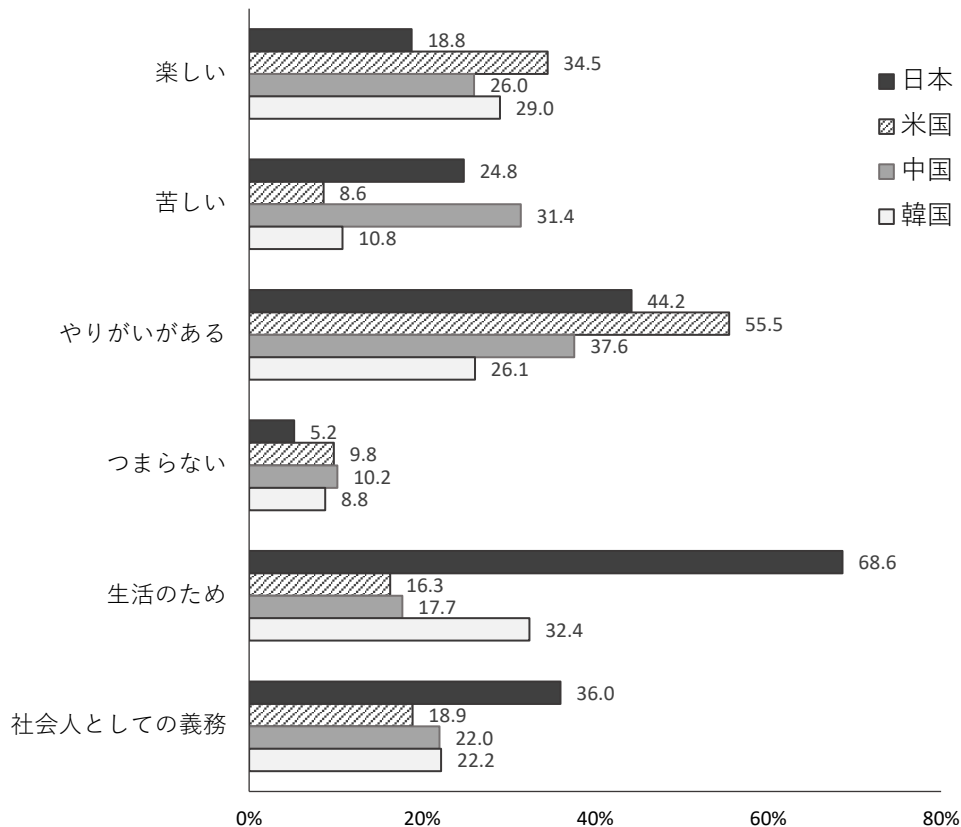


図 3-8 「仕事」「働くこと」のイメージ(「とてもそう思う」と回答した割合)

### 3) 職業を選ぶにあたって重視すること

職業選択にあたって、日本では「仕事の環境」「安定性」「自分の興味や好みに合っている」が「とても重要」と回答した割合が4か国の中で最も高くなっている。一方、「社会的地位」は1割強にとどまり、4か国の中で最も低くなっている。

今回の調査では、職業選択にあたって重要視する条件や要素について、「収入」や「社会的地位」など12項目を挙げ、「とても重要」「やや重要」「あまり重要でない」「全く重要でない」の4段階でたずねた。図3-9は「とても重要」と回答した割合を示したものである。

日本では、12項目の中で、「仕事の環境」「安定性」「自分の興味や好みに合っている」がいずれも64%以上の高い割合となっており、しかも4か国の中でも最も高くなっている。特に「仕事の環境」ではほかの3か国との差が大きくなっている。そのほかに、「収入」も6割弱と米国に次いで高い。一方、「社会的地位」の割合は1割強にとどまり、12項目の中で最も低くなっており、4か国の中でも最も低くなっている。また、「チャレンジできること」「仕事の内容や仕方が自分で決められる」も3割未満となっている。日本の高校生は将来の仕事に環境や安定性を強く求め、社会的地位やチャレンジできること及び自己決定権に対する期待が低いことが見て取れる。

米国では、「収入」が「とても重要」と回答した割合は66.6%とトップとなっており、4か国の中でも最も高い割合となっている。2位の「安定性」は日本と並んで高い。そのほかに、「勤務先

の福利厚生」も6割弱と、日・中・韓に比べて著しく高い。一方、「勤務地の場所・所在地」「チャレンジできること」は4国中最も低い。米国の高校生は、収入、安定性、福利厚生を重視していることが見て取れる。

中国では「安定性」と「収入」が上位となっているが、いずれも5割強にとどまっており、日・米を大きく下回っている。一方、「社会的地位」の割合は他の3か国より著しく高い。また、「社

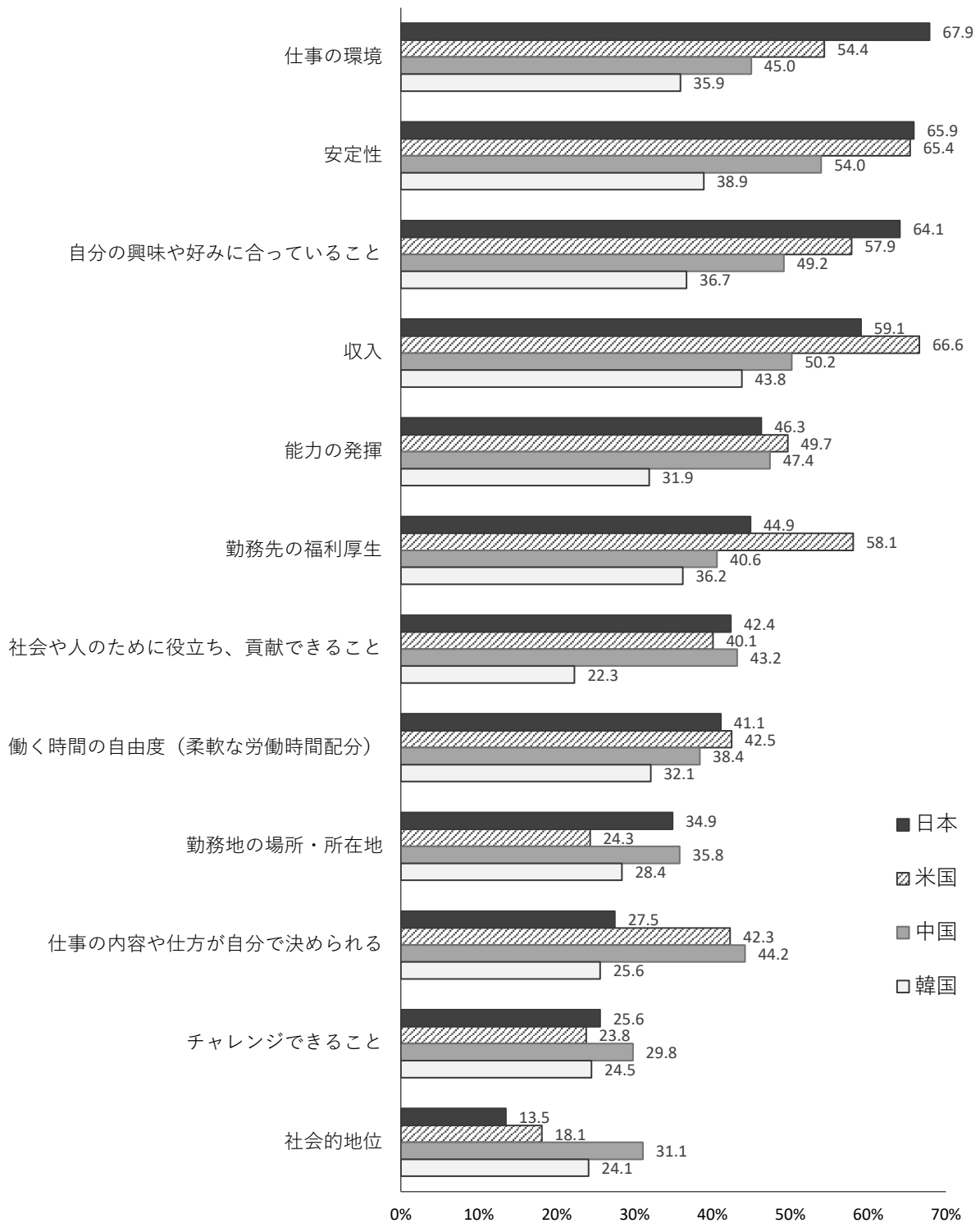


図 3-9 職業を選ぶにあたって重視すること(「とても重要」と回答した割合)

会や人のために役立ち、貢献できること」「勤務地の場所・所在地」「仕事の内容や仕方が自分で決められる」「チャレンジできること」も4か国中最も高い。中国の高校生は、社会地位や自己決定権を強く期待していることがわかる。

韓国では、各項目とも「とても重要」と回答した割合は低く、特に「仕事の環境」「安定性」「自分の興味や好みに合っていること」「収入」「能力の発揮」「社会や人のために役立ち、貢献できること」では日・米・中の3か国と大差がみられた。「社会的地位」だけは中国に次いで高くなっている。

#### 4) 希望する就業形態、就業地域など

将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方を「強く希望する」「まあ希望する」と回答した割合は、日本が3割未満で、米・中・韓より20ポイント以上も低い。

希望する就職地について、日本の高校生は、「地元の中心都市」と回答した割合が37.1%で最も高く、次いで「東京や大阪など国内の大都会」の29.8%である。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出制限などの行動規制が実施され、在宅勤務・リモートワークという働き方が急速に普及した。本調査では、将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方をどのくらい希望するかをたずねた。「強く希望する」と回答した割合は、米・中・韓の約15%に対し、日本は5%を切っている。「まあ希望する」を合わせても、日本は27.4%にとどまり、米国の55.5%、中国の48.2%、韓国の61.6%に比べて、その差が著しい。一方、「特にこだわりはない」の割合は、日本が28.7%と4か国中最も高い(図3-10)。

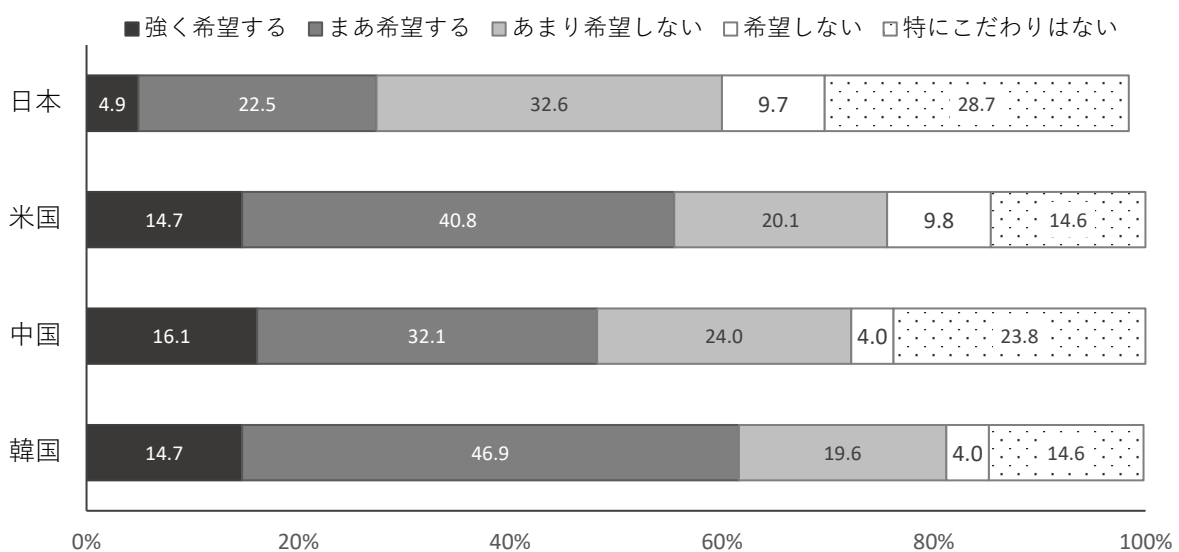
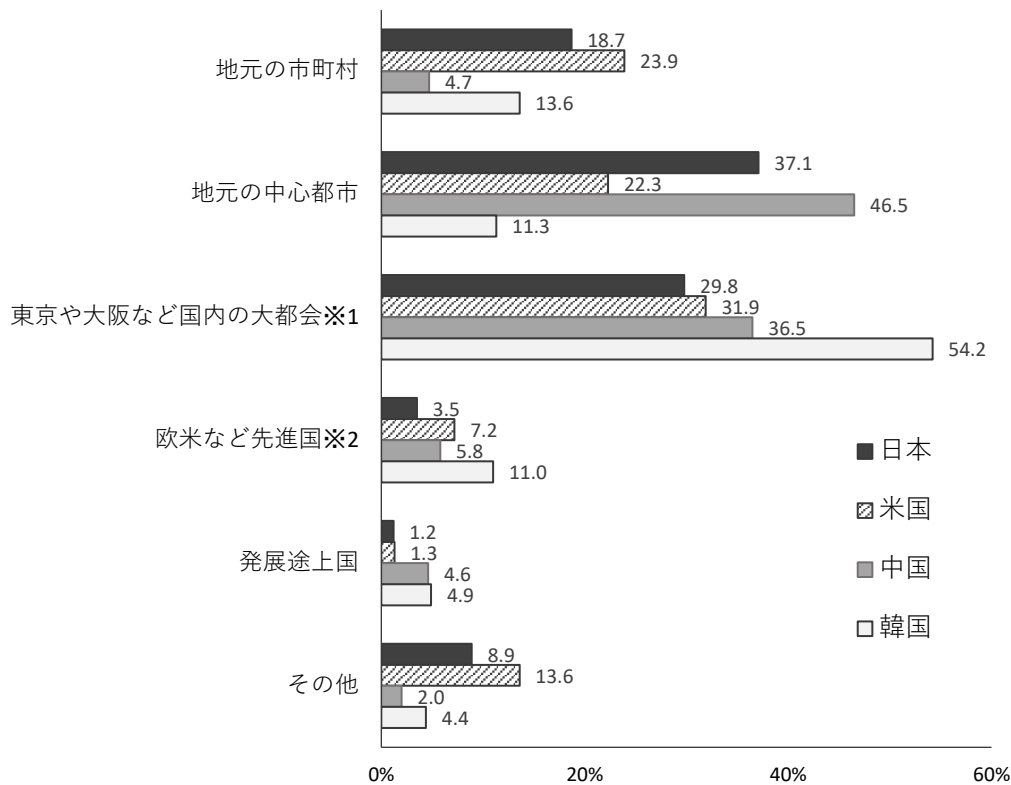


図3-10 希望する就業形態

また、「将来、どこで働きたいか」とたずねたところ、日本は、「地元の中心都市」「国内の大都会」「地元の市町村」の順となっており、「欧米などの先進国」「発展途上国」と回答した割合は、4か国中最も低くなっている。米国は、「国内の大都会」「地元の市町村」「地元の中心都市」の順となっている。中国は、「地元の中心都市」と回答した割合が46.5%とトップとなっており、4か国の中でも目立って高い。次いで「国内の大都会」となっている。「地元の市町村」の割合は「欧米など先進国」よりも低い。韓国は、「国内の大都会」と回答した割合が54.2%と、ほかの3か国に比べて著しく高く、「欧米などの先進国」の割合も4か国の中で最も高くなっている(図3-11)。



※1米国：ロサンゼルスやニューヨークなど国内の大都会

中国：北京、上海、広州など国内の大都会

韓国：ソウル、釜山など国内の大都会

※2米国：イギリス、日本など先進国

図3-11 希望する就業地域

## 5) 仕事や生活に関する意識

「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が5割弱で、4か国中最も高い。反対に、「できるだけ高い地位に就きたい」「自分の会社や店を作りたい」「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」が「とてもそう思う」と回答した割合は、米・中・韓に比べて著しく低い。「よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい」「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」「地元で仕事や生活をしたい」も4か国中最も低くなっている。



本調査では、生活意識・仕事観・社会観について、全12項目を例示し、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の4段階でたずねている。図3-12は「とてもそう思う」と回答した割合を示したものである。

日本の高校生は、「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合が49.4%と、4か国中最も高い。「社会に役に立つ仕事をしたい」は米・中と並んで4割弱となっている。「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」も中国と並んで3割以上となり、米・韓より高くなっている。また、「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」も4か国中最も高くなっている。反対に、「できるだけ高い地位に就きたい」「自分の会社や店を作りたい」「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」の割合は、米・中・韓に比べて著しく低く、「よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい」「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」「地元で仕事や生活をしたい」も4か国中最も低くなっている。日本の高校生は安定性を求め、社会的ステータスや起業への意欲が低いことが見て取れる。

米国の高校生は、「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」「よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい」「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合が日・中・韓より高く、高い自主性や積極性が示されている。しかし、「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」は、日・中・韓に比べると割合が低かった。

中国の高校生は、すべての項目について「とてもそう思う」と回答した割合が、いずれも2～3割台にとどまっている。他の3か国と比較してみると、「地元で仕事や生活をしたい」の割合が3割強で、日・米・韓の約2割を大きく上回っている。「できるだけ高い地位に就きたい」「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」の割合も4か国中最も高い。反対に、「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」の割合は、4か国中最も低くなっている。10年前、中国の高校生は大都会志向だった(p44. 図7-15)。近年、中国の地方都市の発展が著しく、また、北京や上海などの大都会での生活が厳しい現実もあり、地元で働きたいと考える若者が増えつつある。また、若者の就職難が続いている中、望む仕事でなくても、「我慢」せざる得ない状況にあることを反映していると考えられる。

韓国の回答をみると、12項目に対して「とてもそう思う」と回答した割合は、いずれも16%～36%にとどまっている。そのうち、「自分の会社や店を作りたい」は26.6%と、ほかの3か国より高いが、米・中との差があまりなかった。「社会に役に立つ仕事をしたい」「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」の割合は、いずれも4か国中最も低くなっている。

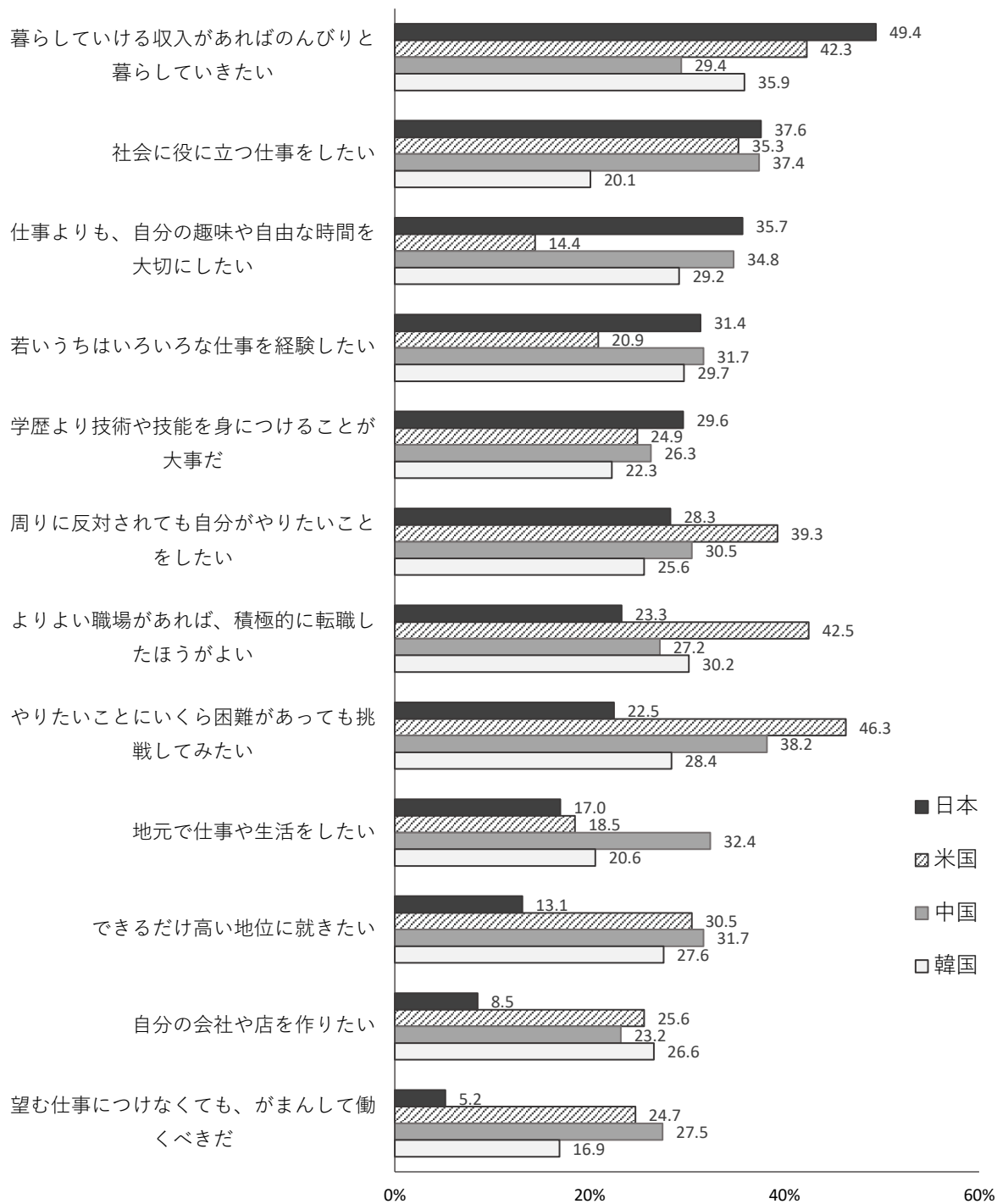


図 3-12 仕事や生活に関する意識(「とてもそう思う」と回答した割合)

## 6) 将来、仕事に注ぎたい力

将来、仕事に注ぎたい力が生活全体の「41~60%」と回答した割合は、日本が54.6%と最も高い。「60%以上」と回答した割合は、日・米の3割強に対し、中・韓が5割以上と高い。

「仮に日常生活全体にかかる力を100%としたら、あなたは将来、生活全体にかかる力のうち、どのくらい仕事に注ぎたいと思いますか」とたずねた。日本では、「41～60%」と回答した割合が、54.6%と最も高くなっている。「61～80%」「81～100%」と回答した割合が31.4%となっている。米国では「41～60%」と回答した割合が48.6%で、日本に次いで高い。「21～40%」の割合は16.6%で4か国中最も高い。中国では「61～80%」と回答した割合が43.8%で最も高く、「81～100%」の割合も16.2%となっている。仕事に全力をかけたいという意欲が現れている。韓国では、「61～80%」「81～100%」と回答した割合が53.0%で、中国に次いで高くなっている（図3-13）。

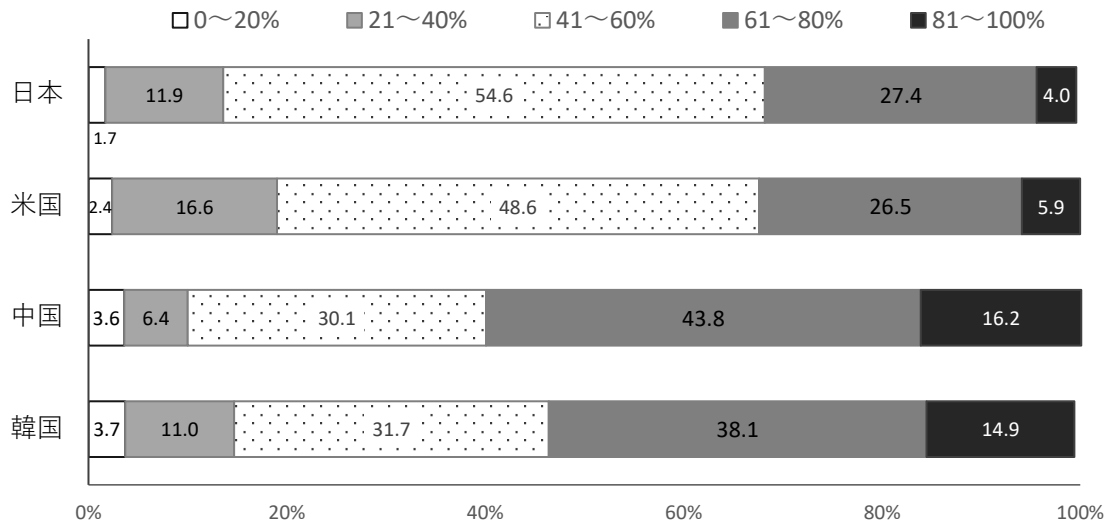


図3-13 将来、生活全体にかかる力のうち、どのくらい仕事に注ぎたいか

## 4 自分自身や将来について

### 1) 自分自身について

日本の高校生は、「いまの生活には満足している」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が84%に達し、4か国の中で最も高い。一方、「自分はダメな人間だと思うことがある」と回答した割合も8割弱と米・中・韓より高い。反対に「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」「いまの自分が好きだ」「相手が誰であっても自分の意見を言える」と回答した割合が4か国中最も低い。

各国の高校生が、自分自身についてどのように思っているかを見るために、「いまの生活には満足している」など9項目を挙げ、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の4段階で回答してもらった。図4-1は「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合を日本の高い順から並べたものである。

日本の高校生は、「いまの生活には満足している」と回答した割合（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計、以下同様）が84.3%と4か国の中で最も高い。「自分には自分らしさがある」の割合は、79.7%で米・中よりやや低いが、韓国より高い。「いまの自分を変えたい」は77.8%と、中国に次いで高い。また、「自分はダメな人間だと思うことがある」は78.6%で、米・中・韓に比べて著しく高い。「周りの人の意見に影響されるほうだ」も73.7%と4か国中最も高くなっている。反対に、「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」「いまの自分が好きだ」「相手が誰であっても自分の意見を言える」といった自己肯定的な項目に対し、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、いずれも5割台にとどまり、米・中・韓に比べて低く、しかもその差が顕著である。日本の高校生は今の生活に満足しながらも自己評価が低く、「いまの自分を変えたい」という願望が高いことが見て取れる。

米国の高校生は、「自分には自分らしさがある」「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」「いまの自分が好きだ」と回答した割合がいずれも4か国の中で最も高くなっている。米国の高校生の自己意識の高さがうかがえる。反対に、「いまの生活には満足している」と回答した割合は7割弱で日・中・韓より低い。

中国の高校生は、「いまの自分を変えたい」「見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする」の割合がいずれも8割を超え、4か国中最も高い。「自分には自分らしさがある」「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」「いまの自分が好きだ」と回答した割合も米国に次いで高い。反対に「周りの人の意見に影響されるほうだ」と回答した割合は55.7%にとどまり、日・米・韓に比べて低い。前向きで自信のある姿勢が見て取れる。

韓国の高校生は、「相手が誰であっても自分の意見を言える」と回答した割合が7割弱で4か国中最も高い。「いまの生活には満足している」「周りの人の意見に影響されるほうだ」「いまの自分が好きだ」と回答した割合も比較的に高い。反対に「自分には自分らしさがある」「自分はダメな人間だと思うことがある」「いまの自分を変えたい」「見聞きした情報について疑問をもったり、

自分で調べたりする」と回答した割合は、いずれも4か国中最も低くなっている。いまの自分や生活に概ね満足していると考えられる。

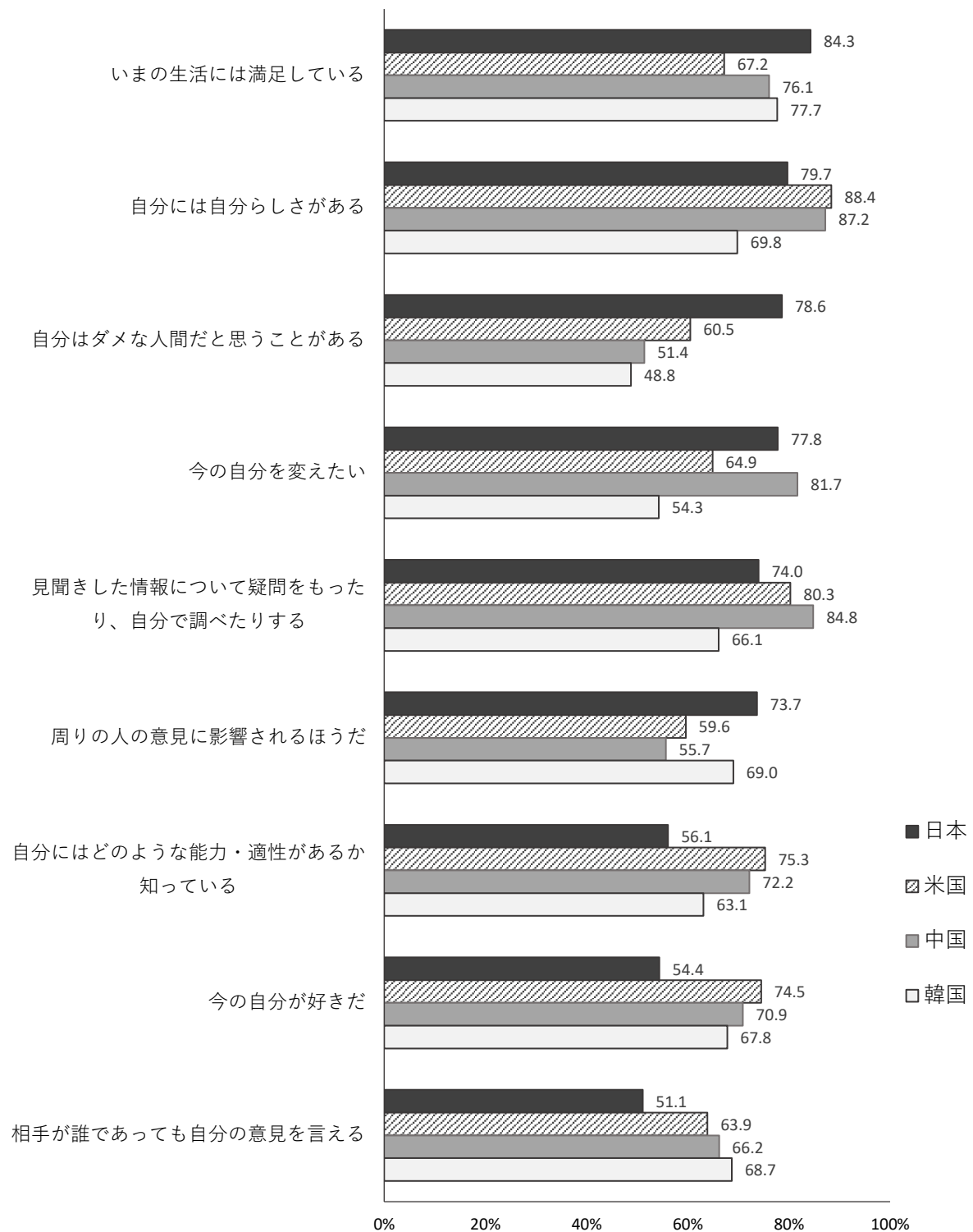


図 4-1 自分自身について(「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合)

## 2) 将来に関する意識

日本の高校生は、「自分の将来に不安を感じている」と回答した（「よくあてはまる」「まああてはまる」）割合が8割弱で、4か国中最も高くなっている。反対に、「自分の将来について、はっきり目標をもっている」「自分の将来は明るい」「今が楽しければいいので先のことは考えない」と回答した割合がいずれも4か国中最も低い。

将来についての考え方を、4項目例示し、「よくあてはまる」「まああてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の4段階でたずねた。「自分の将来について、はっきり目標をもっている」について、「よくあてはまる」と回答した割合は、米国が36.1%と最も高く、次いで中国27.9%、日本26.6%、韓国22.5%の順となっている。「まああてはまる」を合わせると、米・中・韓の7割強に対し、日本は64.0%と最も低くなっている（図4-2）。

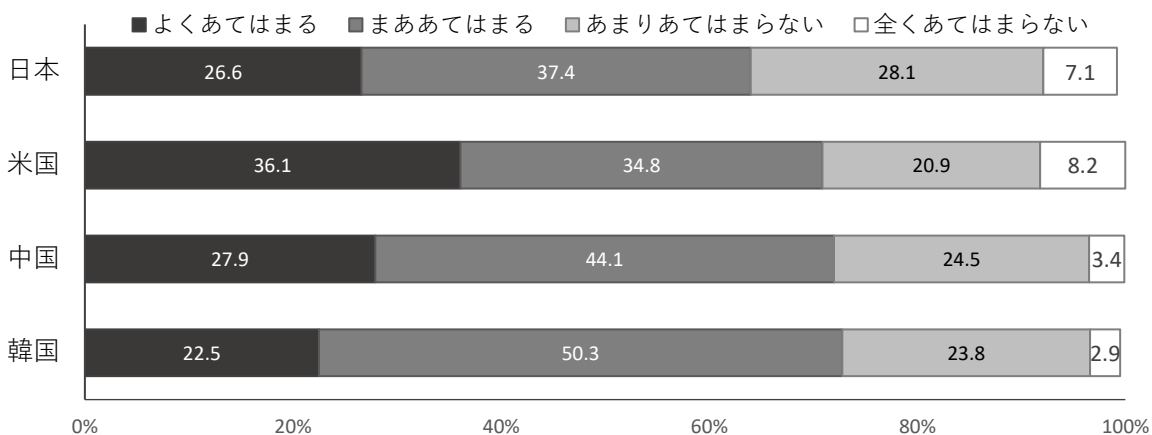


図4-2 自分の将来について、はっきり目標をもっている

「自分の将来は明るい」について、「よくあてはまる」と回答した割合は、米国が41.8%でほかの3か国を大きく上回っており、日本は11.2%と4か国中最も低い。「まああてはまる」を合わせると、米国81.7%、中国64.0%、韓国62.1%に対し、日本は53.9%にとどまっている（図4-3）。

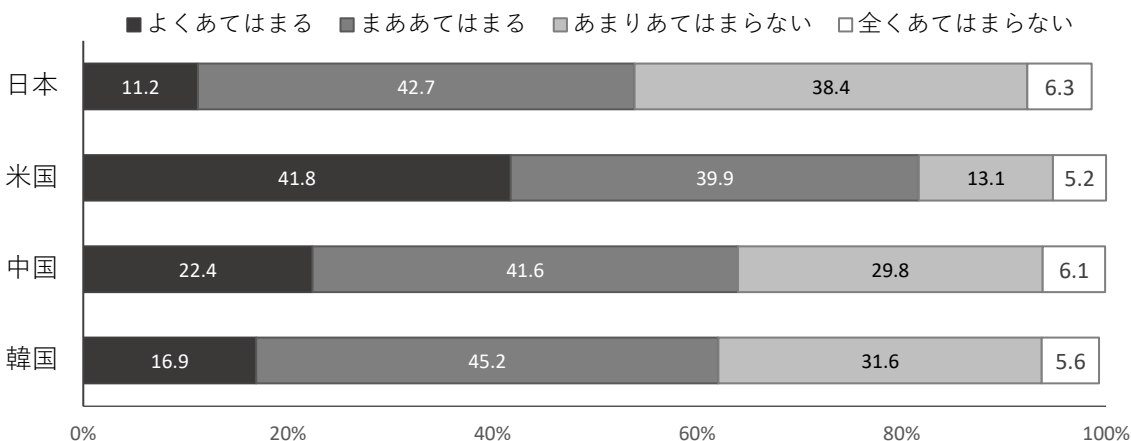


図4-3 自分の将来は明るい

「自分の将来に不安を感じている」について、「よくあてはまる」と回答した割合は、日本が32.5%で、米国23.3%、中国22.5%、韓国13.5%に比べて最も高い。「まああてはまる」を合わせると、日本は8割弱で、米・中・韓の6割強と比べて、15ポイント以上高い（図4-4）。

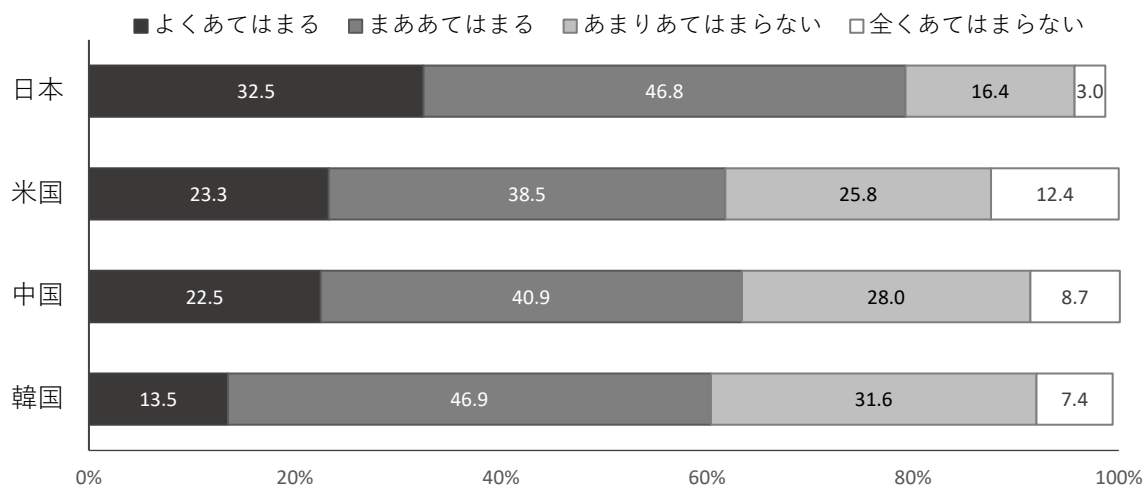


図4-4 自分の将来に不安を感じている

「今が楽しければいいので先のことは考えない」について、「よくあてはまる」と回答した割合は、米・中・韓がいずれも1割を超えたが、日本は8.0%と1割に満たない。「まああてはまる」を合わせると米・韓が約5割となり、中国が4割弱となっているが、日本は34.5%にとどまっている（図4-5）。

以上のように、将来に不安を抱えながら、目標を模索している日本の高校生の姿がうかがえる。

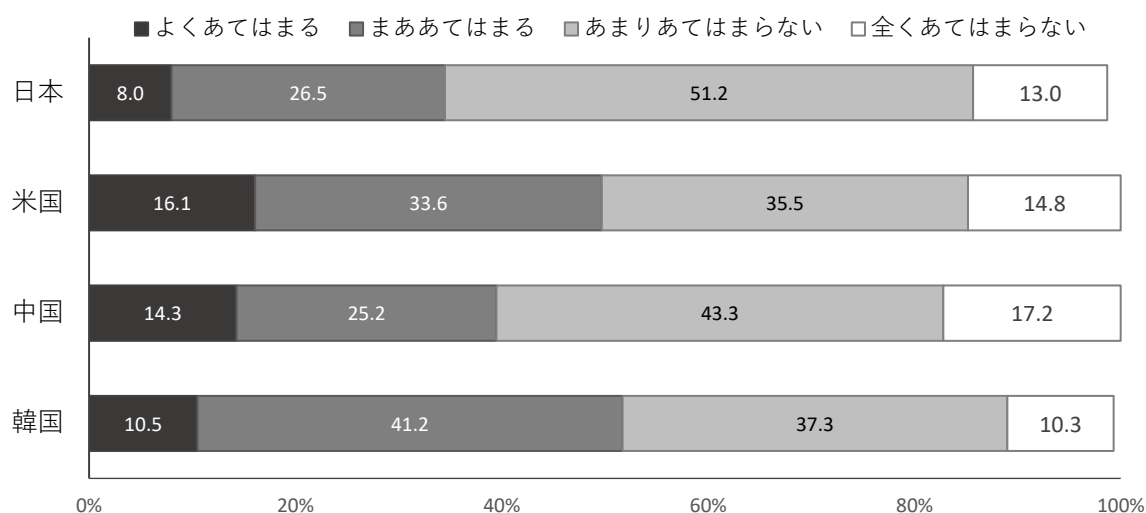


図4-5 今が楽しければいいので先のことは考えない

## 5 社会やテクノロジーの変化に関する意識

### 1) 社会についての意識

日本の高校生は、「日本で暮らすことに満足している」と回答した（「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が9割を超えて最も高くなっているが、「将来は今よりも経済的に発展していると思う」「日本の未来は明るい」「社会は自分の力で変えていくことができると思う」と回答した割合が米・韓より著しく低い。

社会や経済についてどのように考えているかを見るために、本調査では、全9項目を挙げ、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の4段階でたずねた。中国ではこの質問についてたずねることができなかった。図5-1は日・米・韓の3か国で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合を示したものである。

「日本（米国、韓国）で暮らすことに満足している」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」、以下同様）割合は、米国74.8%、韓国64.6%に対し、日本が9割を超え、最も高い。「いまの社会は貧富の差が大きい」は日本が8割を超え、米・韓も8割弱となっている。「今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする」「日本（米国・韓国）は競争が激しい社会である」と回答した割合は、日本がいずれも6割台にとどまり、米・韓は約8割だった。しかし、「将来は今よりも経済的に発展していると思う」「日本（米国・韓国）の未来は明るい」と回答した割合も米・韓より14ポイント以上低い。また、「社会は自分の力で変えていくことができると思う」についても、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本が36.7%で、米国の65.2%、韓国の51.0%に比べて低かった。「性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない」と回答した割合は、日本が5割弱で、米・韓の6割弱と比べて10ポイント以上低くなっている。このように、日本の高校生は日本での暮らしに高い満足感を持っているが、日本の将来には明るいイメージをもっていないことが見て取れる。

全体を見ると、米国と韓国の回答はよく似た項目が多い。「いまの社会は貧富の差が大きい」「今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする」「米国（韓国）は競争が激しい社会である」はいずれも約8割となり、「将来は今よりも経済的に発展していると思う」は約7割、「米国（韓国）の未来は明るい」は約5割、「性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない」は6割弱となっており、両国の間ではあまり差が見られなかった。

また、米国では、「国や社会のために自分も貢献していきたいと思う」「社会は自分の力で変えていくことができると思う」の割合は3か国の中で最も高く、米国の高校生の社会貢献と社会参加の意識の高さがうかがえる。



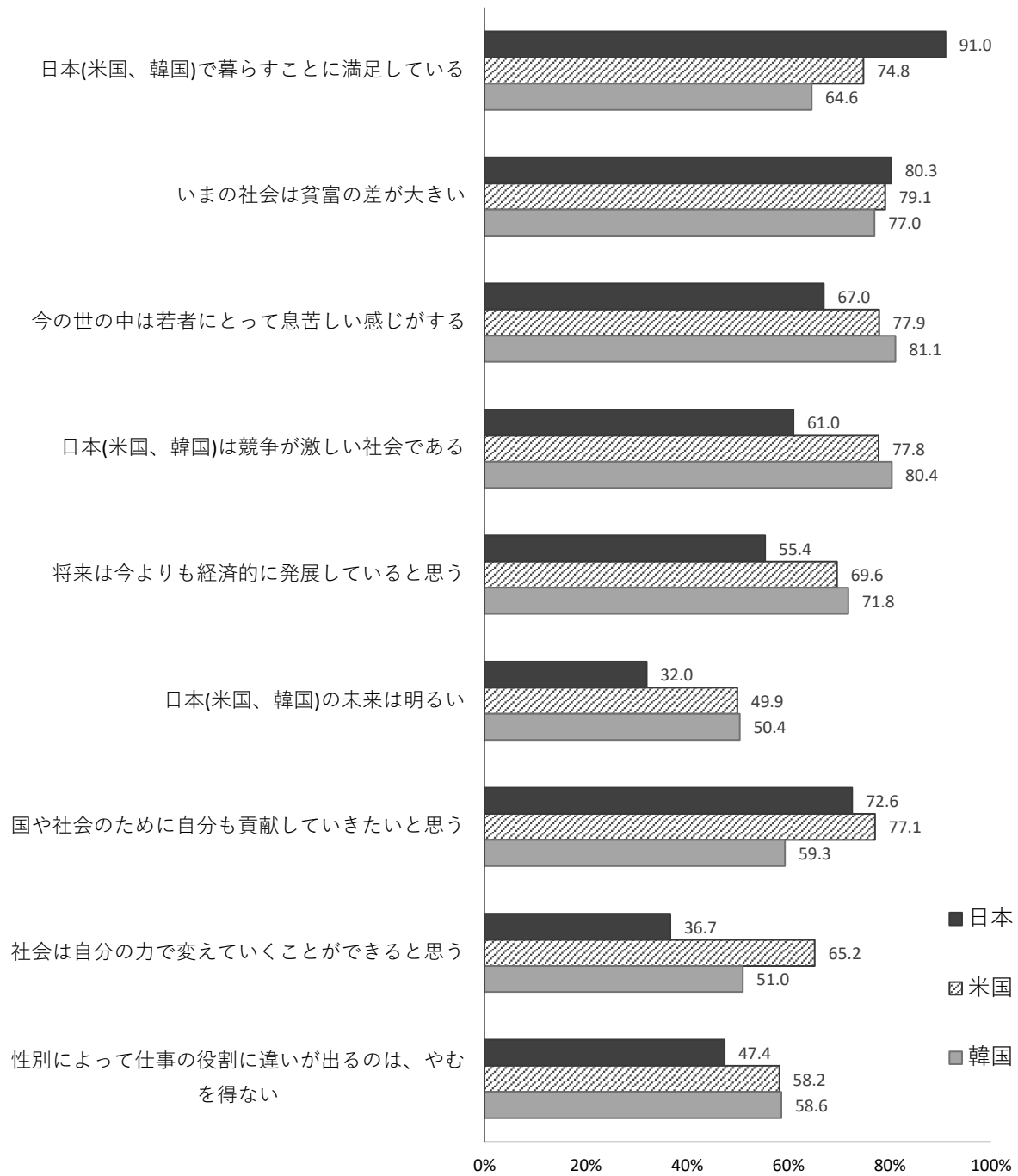


図 5-1 社会や経済についての考え(「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合)

## 2) テクノロジーの変化に関する意識

日本の高校生は、「テクノロジーが変化しても、人と人とのつながりの大切さは変わらない」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が 83.6%で中国に次いで高い。「テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる」と回答した割合が 74.5%と 4 か国中最も高い。一方、「テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである」「テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている」と回答した割合がいずれも米・中・韓に比べて低い。

AI（人工知能）などのテクノロジーが急速に進化し、社会や人々の生活に多大な影響を与えている。高校生がテクノロジーの変化についてどのように思っているかを見るために、10 項目を挙げ、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の 4 段階でたずねた。図 5-2 は「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合を日本の高い順で並んだものである。

「テクノロジーが変化しても、人と人とのつながりの大切さは変わらない」と回答した（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計、以下同様）割合は、日本が 83.6%で、中国の 86.8%に次いで高い。米・韓は約 65%となっている。「テクノロジーの変化によって、これから人間はもっと楽に暮らせる」「テクノロジーが変化するときこそ、リアルな体験をすることが重要になる」では、中国の 8 割台に対し、日・米・韓はいずれも 7 割台となっている。「テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる」と回答した割合は、日本が 74.5%で、米・中・韓の 6 割台に比べて最も高い。「テクノロジーの変化に適応するための知識を学校で教えてほしい」「テクノロジーの変化が楽しみだ」は、中国がいずれも約 9 割で、日・米・韓の約 7 割を大きく上回っている。「テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである」と回答した割合は、日本が 59.8%で、米国の 76.8%、中国の 88.6%、韓国の 69.0%に比べて最も低い。「テクノロジーの変化に不安を感じる」と回答した割合は、4 か国とも 50%～55%にとどまっている。「テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている」の割合は、日本が 42.7%で、米国 62.3%、中国 86.4%、韓国 79.0%と比べてその差が顕著である。「テクノロジーが変化しても私たちの生活は変わらない」と回答した割合は、日本と米国が約 25%で、中国の 56.3%、韓国の 47.1%とは差が開いた。

全体をみると、中国はほとんどの項目に対して、肯定的な回答の割合が高く、テクノロジーの変化に前向きな態度を示している。米・韓の高校生も大きなチャンスとして捉えている。それに比べて、日本の高校生は消極的で、テクノロジーの情報収集への意欲も低い。

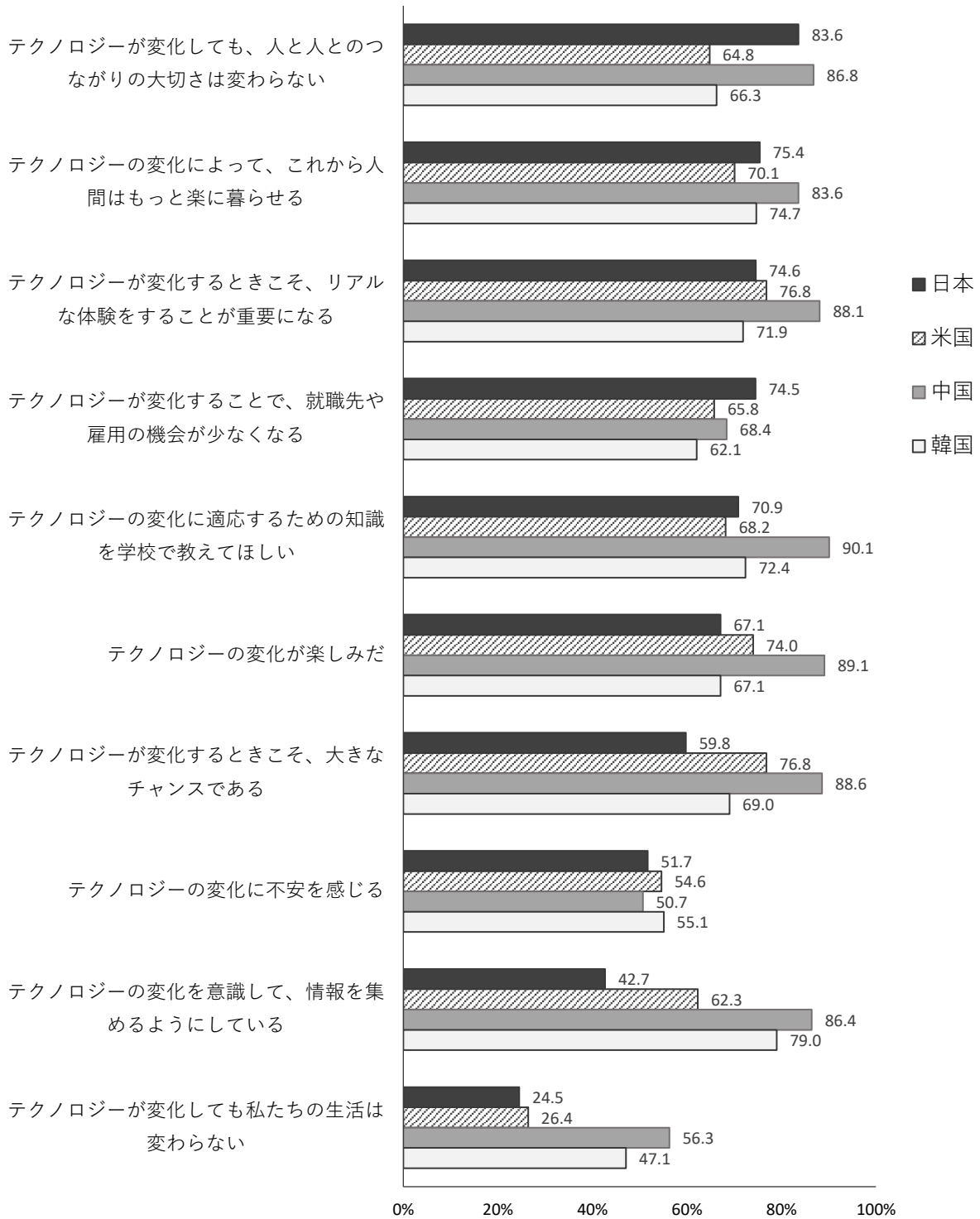


図 5-2 AI(人工知能)などのテクノロジーの変化についての考え(「とてもそう思う」「まあそう思う」)

## 6 コロナ禍による影響

日本の高校生は、コロナ禍により、「勉強や学習」が影響を「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合が55.2%となっており、韓国に次いで高い。「家の経済状況」「将来の進路」「家族との関係」が影響を受けた割合は、4か国中最も低い。

新型コロナウイルスの感染拡大は、高校生の生活習慣や勉強、家族関係、将来の進路などにどのくらい影響を与えたかについて見ると、図6-1のとおり、韓国では、すべての項目でコロナ禍による影響を「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合は4か国の中で最も高く、特に生活習慣や健康状況における影響が大きいことがわかる。日本では、「勉強や学習」が影響を「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合が55.2%となっており、韓国に次いで高い。「健康状況」「睡眠や食事などの生活習慣」「友人関係」は、35%~38%となっており、いずれも米・韓を下回っている。「家の経済状況」「将来の進路」「家族との関係」は、15%~29%と4か国中最も低い。

米国では、影響が最も大きいのは「勉強や学習」で、「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合が52.6%となっている。次いで「睡眠や食事などの生活習慣」「友人関係」であり、いずれも約45%となっている。「健康状況」「家の経済状況」「将来の進路」「家族との関係」は35%~38%だった。

中国では、「勉強や学習」が影響を「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合は48.0%とほかの項目より高いが、4か国の中で最も低い。「健康状況」「睡眠や食事などの生活習慣」「友人関係」の割合も、25%~32%と日・米・韓に比べて低い。「家の経済状況」は44.8%と韓国に次いで高い。

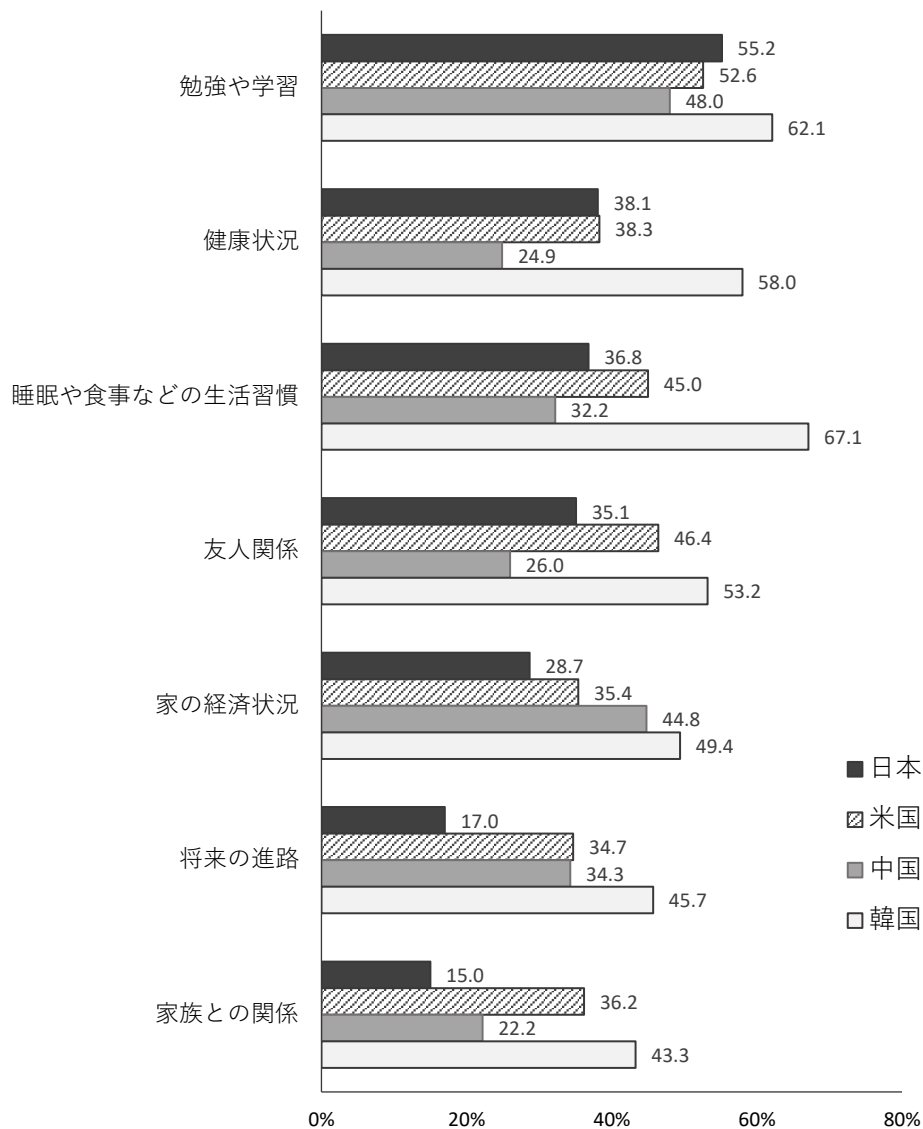


図 6-1 コロナ禍の影響(「強く受けた」「多少受けた」と回答した割合

また、生活習慣がコロナ禍の影響を受けた者とそうでない者は健康状況においてその影響がどのくらい違うかを見ると、図 6-2 のとおり、4 か国とも生活習慣が影響を受けた(「強く受けた」「多少受けた」、以下同様)と回答した者のほうが、健康状況もコロナ禍による影響が大きいことがわかる。

同様に、勉強や学習がコロナ禍の影響を受けた者とそうでない者は将来の進路においてその影響がどのくらい違うかを見ると、図 6-3 のとおり、4 か国とも「勉強や学習」が影響を受けたと回答した者ほど、「将来の進路」においてもその影響を受けたと回答した割合が高くなっていることがわかる。

家の経済状況がコロナ禍の影響を受けた者とそうでない者は将来の進路においてその影響がどのくらい違うかを見ると、図 6-4 のとおり、4 か国とも「家の経済状況」が影響を受けたと回答した者ほど、「将来の進路」においてもその影響を受けたと回答した割合が高くなっていることがわかる。

また、家の経済状況がコロナ禍の影響を受けた者とそうでない者は、現在の家の経済状況においてどのくらい違うかを見ると、図6-5のとおり、日・米・中の3か国とも、コロナ禍で「家の経済状況」が影響を受けたと回答した者のほうが、現在「裕福なほう」「わりと裕福なほう」と回答した割合は低く、「厳しいほう」「わりと厳しいほう」と回答した割合は高くなっている。韓国ではあまり差が見られなかった。

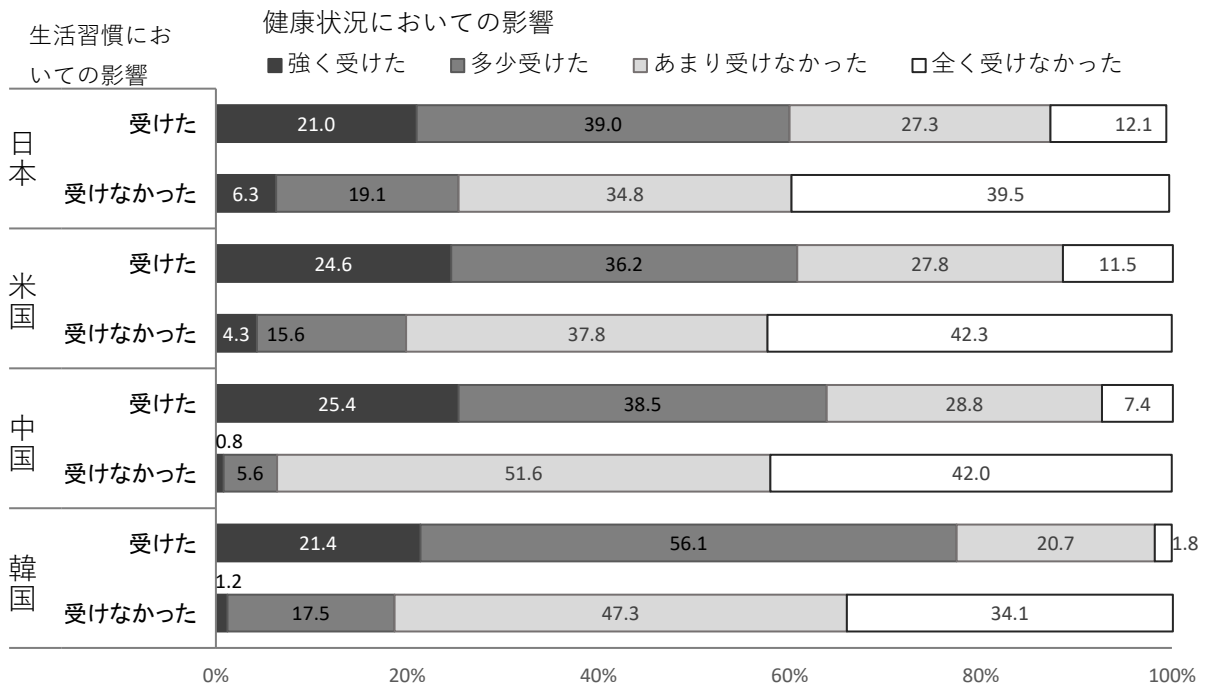


図6-2 生活習慣においての影響 × 健康状況においての影響

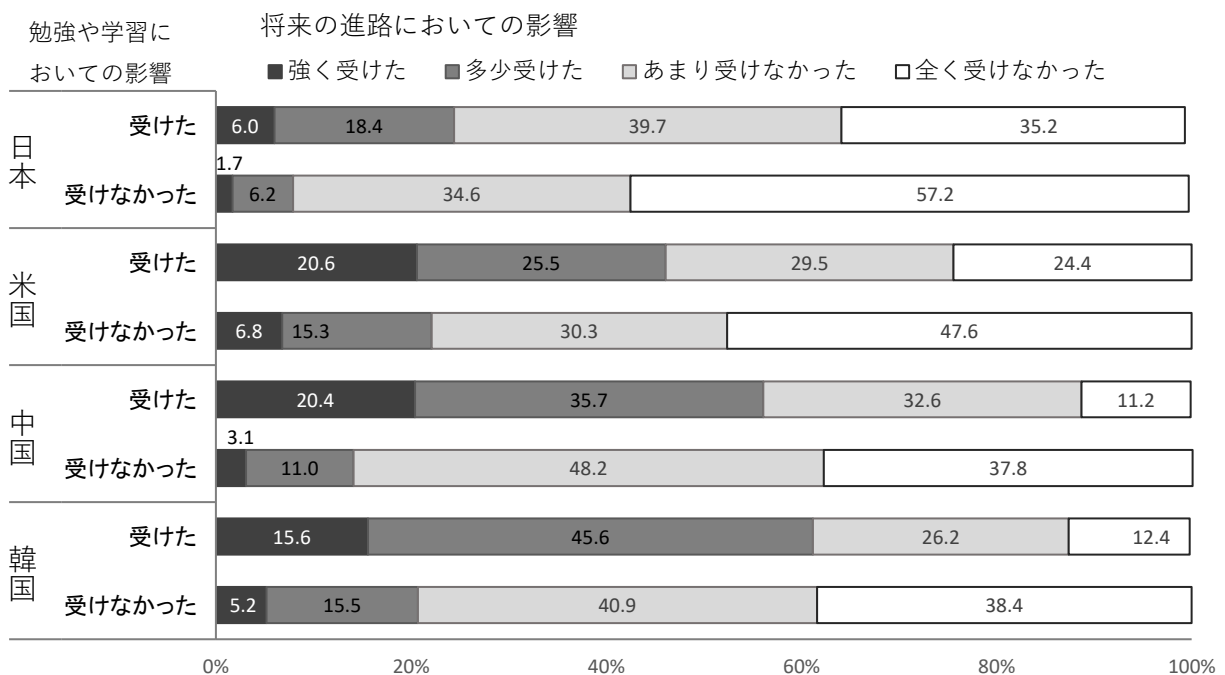


図6-3 勉強や学習においての影響 × 将来の進路においての影響

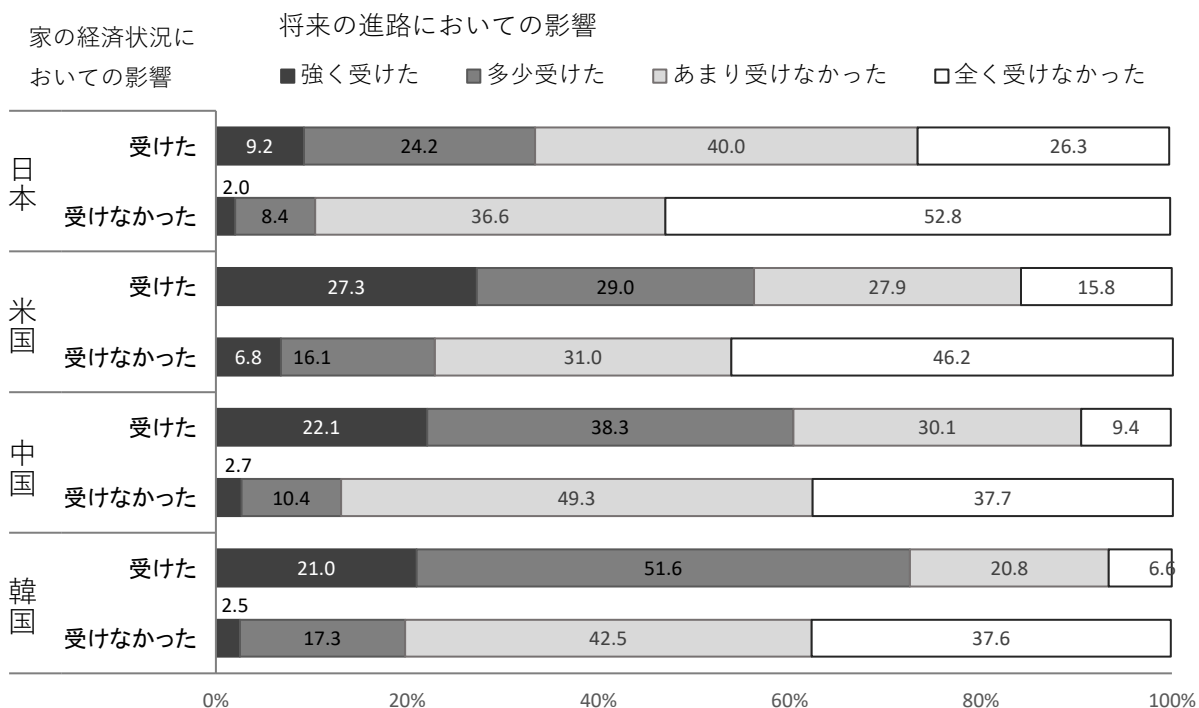


図 6-4 家の経済状況においての影響 × 将来の進路においての影響

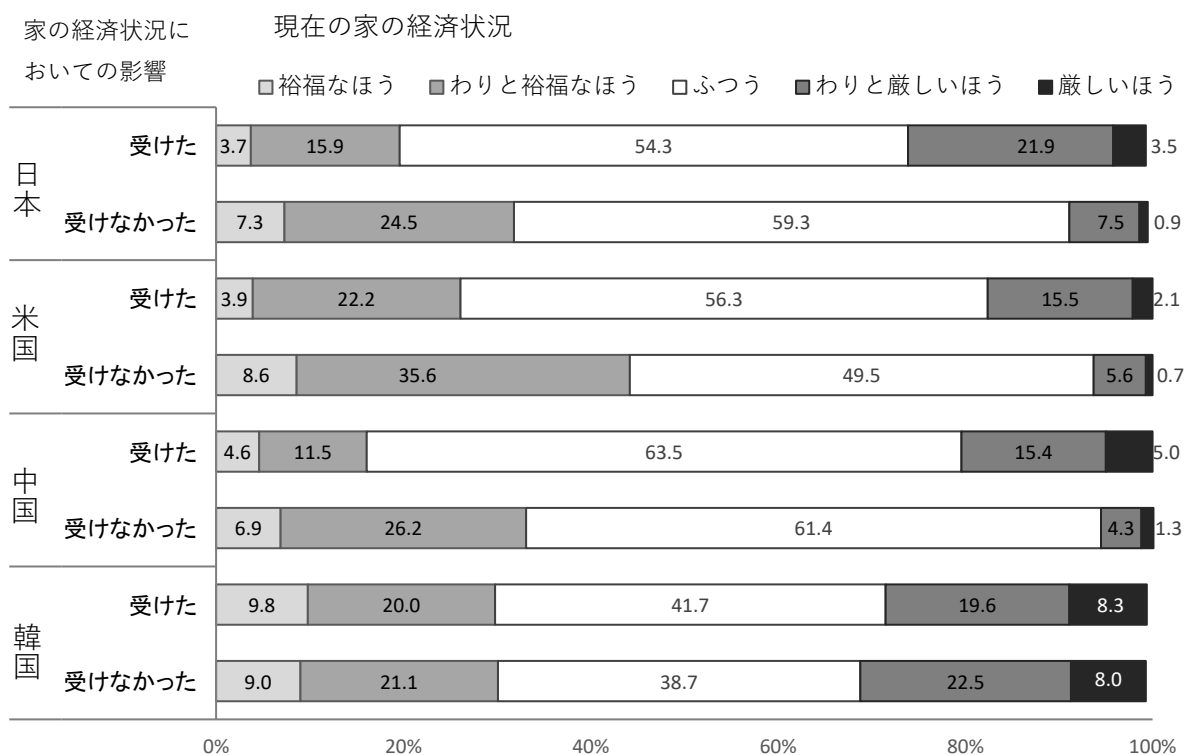


図 6-5 家の経済状況においての影響 × 現在の家の経済状況

## 7 経年比較にみる高校生の進路や職業意識

本調査の内容の一部は、当機構と財団法人日本青少年研究所が過去に実施した調査の項目と同一としている。この章では、当該調査の結果との比較から経年的な変化を見る。

(財団法人日本青少年研究所が実施した日・米・中・韓4か国の高校生を対象とした調査は、平成25年度から国立青少年教育振興機構が継承している。)

### 1) 将来、受けたい教育レベル

2016年の調査と比較して、日本の高校生は将来受けたい教育水準があまり変わらなかった。米国は「高校まで」が上昇し、「大学院修士まで」「大学院博士まで」は低くなっている。中国は、「大学院修士まで」「大学院博士まで」はさらに高くなっている。韓国は「専門・専修学校まで」は上昇し、「四年制大学まで」「大学院修士まで」「大学院博士まで」は低くなっている。

「将来、どのような教育を受けたいか」について、2016年に当機構が実施した「高校生の勉強と生活に関する意識調査」に比べてみると、日本では、「高校まで」と回答した者の割合がやや高くなっているが、ほかの項目にはあまり差がみられなかった。米国では、「高校まで」の割合は、2016年の2.2%から9.9%に上昇し、「専門・専修学校まで」「短大・高専まで」もやや高くなっている。反対に「大学院修士まで」「大学院博士まで」と回答した割合は低くなっている。中国では、「高校まで」「短大・高専まで」「四年制大学まで」は低くなり、「大学院修士まで」「大学院博士まで」は高くなっている。韓国では「専門・専修学校まで」は、6年前に比べて著しく上昇し、「四年制大学まで」「大学院修士まで」「大学院博士まで」はいずれも低くなっている(図7-1、図7-2)。

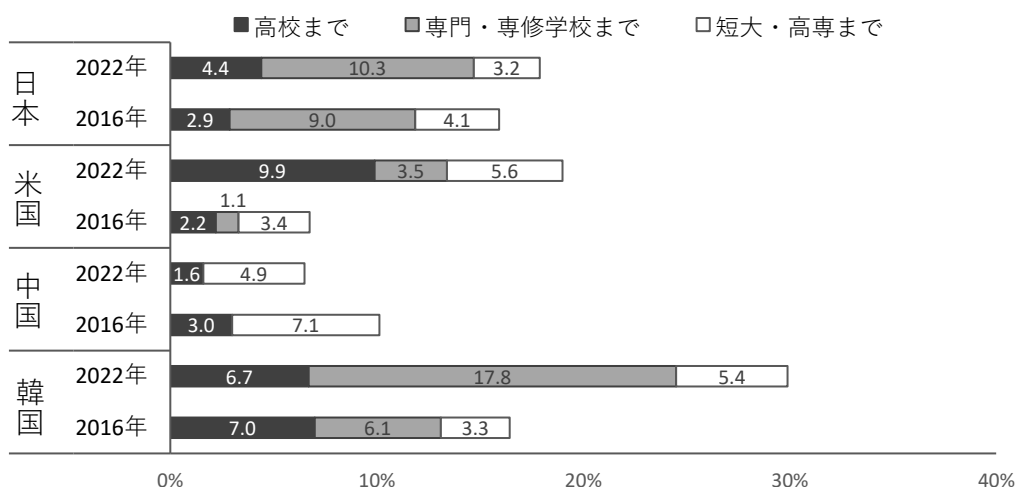


図7-1 将来、どのような教育を受けたいか

2016年:「高校生の勉強と生活に関する意識調査」(国立青少年教育振興機構)、以下同様。



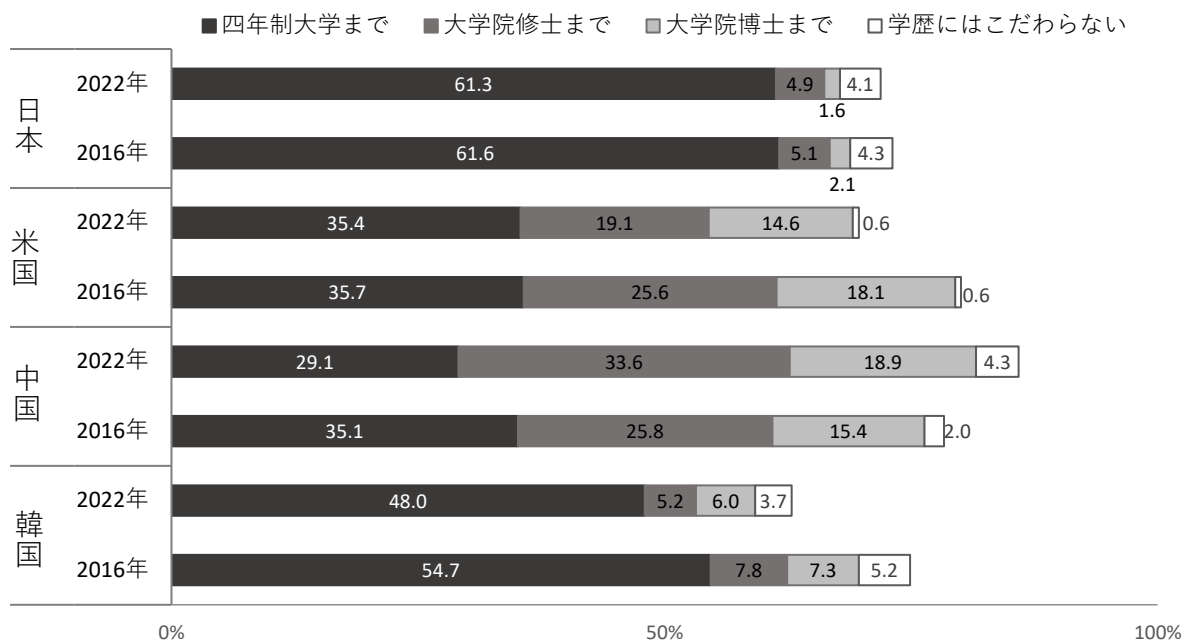


図 7-2 将来、どのような教育を受けたいか

## 2) 職業を選ぶにあたって重視すること

10年前と比較して、日本の高校生は、職業選択にあたって「収入」「仕事の環境」「勤務先の福利厚生」が「とても重要」と回答した割合が高くなっている。

職業選択にあたって重視する要素に関し、2012年、2006年の調査と比較すると、「収入」について、4か国とも「とても重要」と回答した割合は高くなっており、特に日本と中国ではその増加率が顕著である（図 7-3）。

「社会的地位」について、「とても重要」と回答した割合は、日本が10年前の2012年とほぼ変わらず、1割強の低い水準にとどまっている。米国は年々低くなっている。中国と韓国は高くなっている（図 7-4）。

「安定性」について、「とても重要」と回答した割合は、日本がやや高くなっているのに対し、米国と中国はあまり変化がなく、韓国は著しく低下している（図 7-5）。

「自分の興味や好みに合っていること」は、2012年と2006年の調査で「適性や好み」という表現だったが、参考として比較してみると、「とても重要」と回答した割合は、日本ではあまり変化が見られなかったが、米・中・韓の3か国では低くなっており、特に中国と韓国の低下率が著しい（図 7-6）。

「働く時間の自由度（柔軟な労働時間配分）」については、2012年と2006年の調査で「自由度」という表現だったが、参考として比較してみると、「とても重要」と回答した割合は、日本が高くなっており、米・中・韓は2012年の調査とはあまり変わらなかった（図 7-7）。

「能力の発揮」について、「とても重要」と回答した割合は、日本が2006年の調査で54.8%と高かったが、2012年の調査で45.8%に低下し、今回の調査で46.3%と10年前とあまり変わらな

かった。米国と韓国は低くなっている。中国は2006年調査で60.8%と4か国中最も高かったが、2012年調査で43.7%まで著しく低下し、今回は47.4%とすこし高くなっている（図7-8）。

「社会や人のために役立ち、貢献できること」について、2012年と2006年の調査で、「社会貢献」という表現だったが、参考として比較してみると、「とても重要」と回答した割合が、日本と中国は高くなっており、米国は低くなっている。韓国は3回の調査とも2割強にとどまり、あまり変わらなかった（図7-9）。

「チャレンジできること」について、2012年と2006年の調査で「挑戦性」という表現だった。参考として比較してみると、「とても重要」と回答した割合が、日本は少しずつ低くなっており、米韓も同じ傾向が見られた。中国はすこし増加している（図7-10）。

「仕事の環境」について、2012年の調査と比較してみると、「とても重要」と回答した割合が、日本は10年前より13ポイント以上も高くなり、中国もすこし高くなっている。これに対し、米・韓は低くなっている（図7-11）。

「勤務先の福利厚生」について、2012年の調査で「福利厚生施設」という表現だったが、参考として比較してみると、「とても重要」と回答した割合は、日本が10年前の13.6%から44.9%に急増している。中国も10ポイントほど高くなっている。これに対し、韓国は低くなり、米国はあまり変わらなかった（図7-12）。

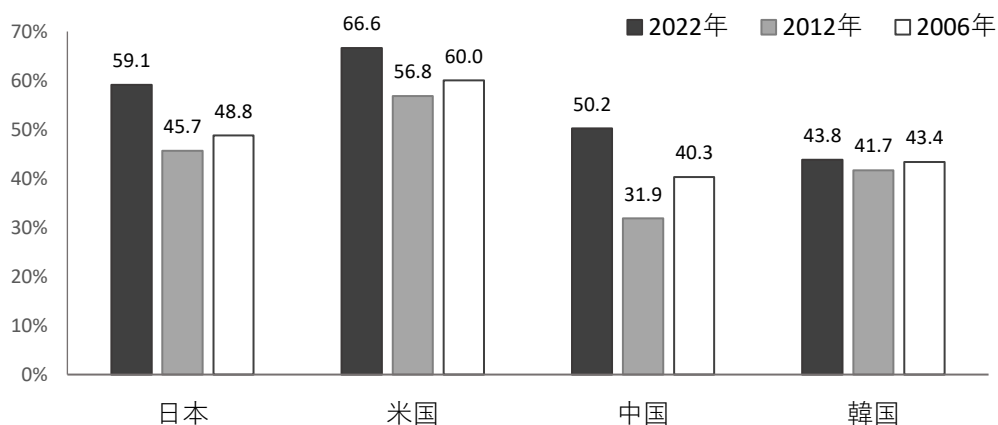


図7-3 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと：収入

2012年：「高校生の進路と職業意識に関する調査」（財団法人日本青少年研究所）

2006年：「高校生意欲に関する調査」（財団法人日本青少年研究所）、以下同様。

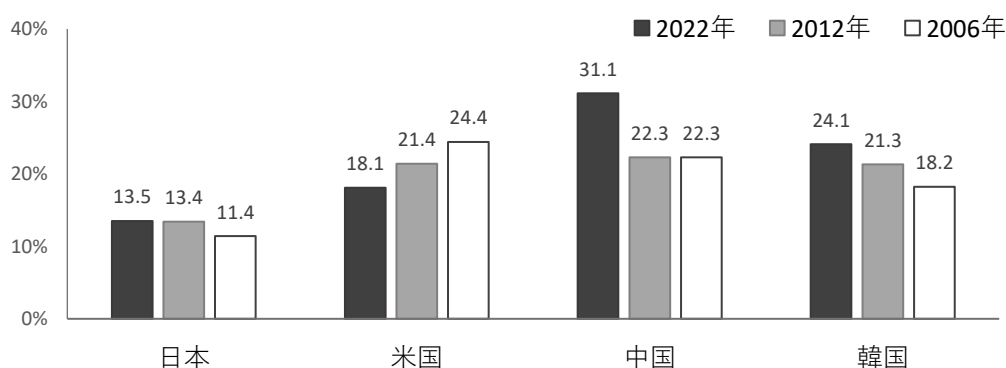


図7-4 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと：「社会的地位」

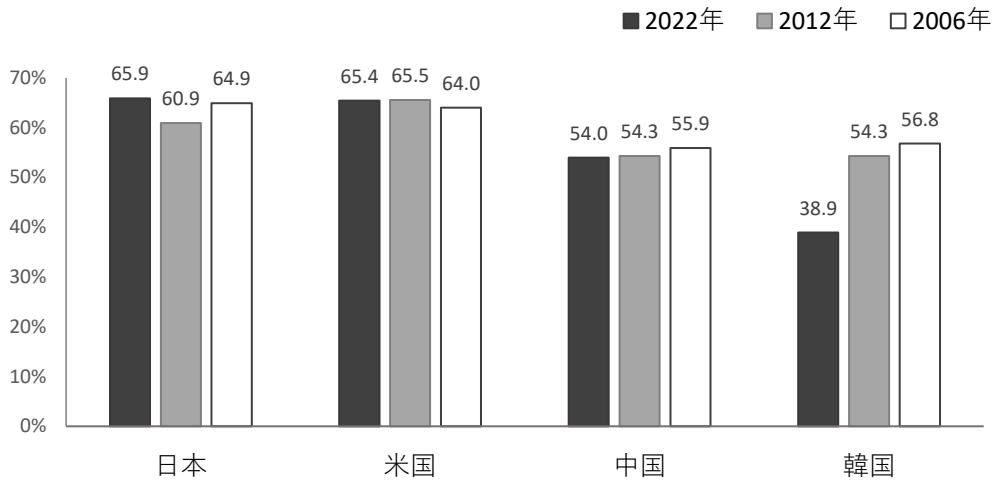


図 7-5 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと:「安定性」

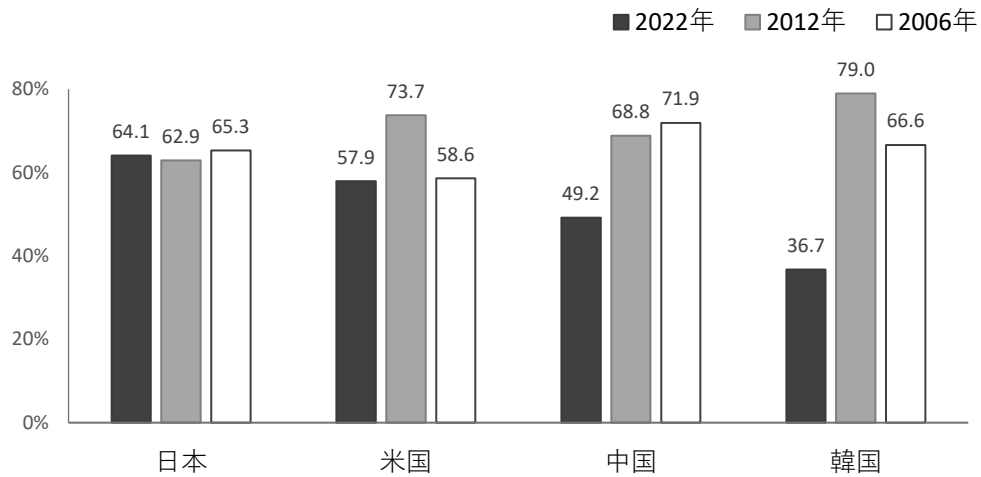


図 7-6 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと:「自分の興味や好みに合っていること」  
(2012年、2006年:「適性や好み」)

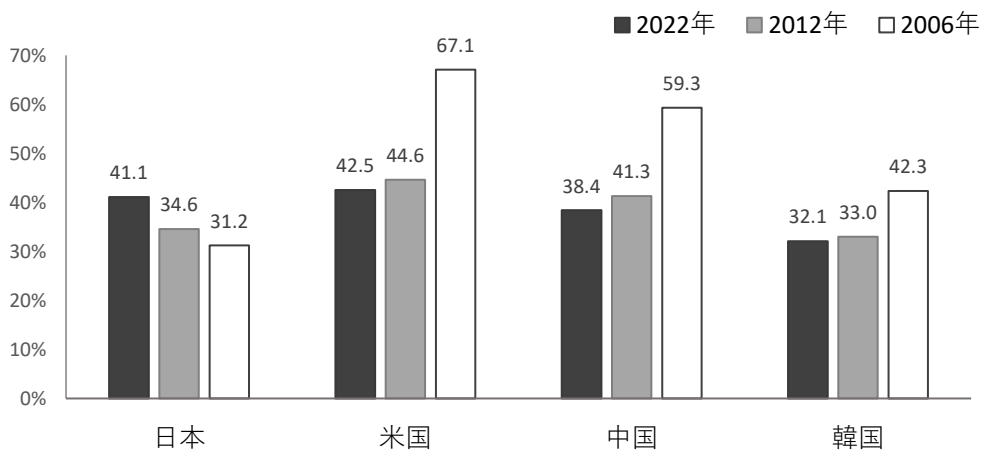


図 7-7 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと:「働く時間の自由度(柔軟な労働時間配分)」  
(2012年、2006年:「自由度」)

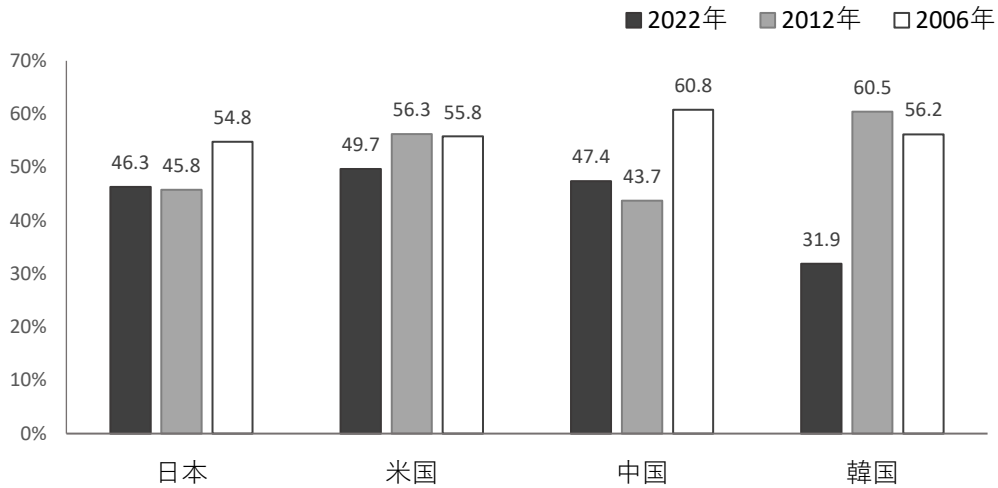


図 7-8 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと:「能力の発揮」

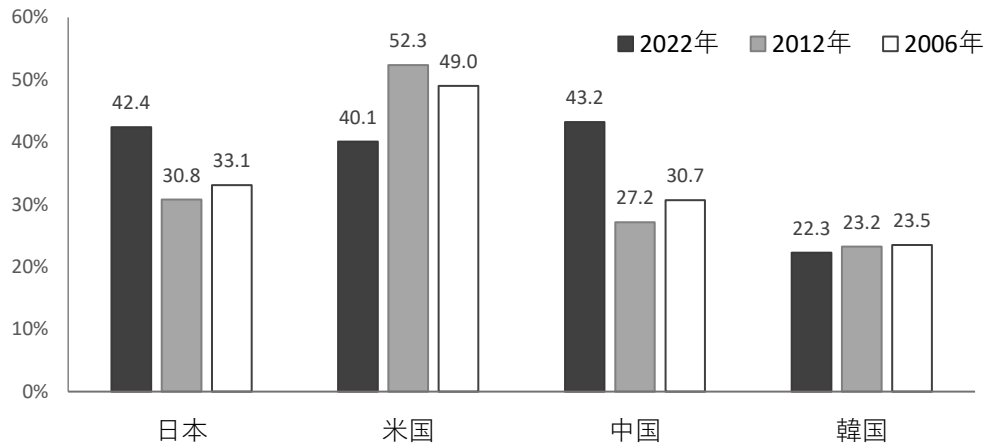


図 7-9 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと:「社会や人のために役立ち、貢献できること」  
(2012年、2006年:「社会貢献」)

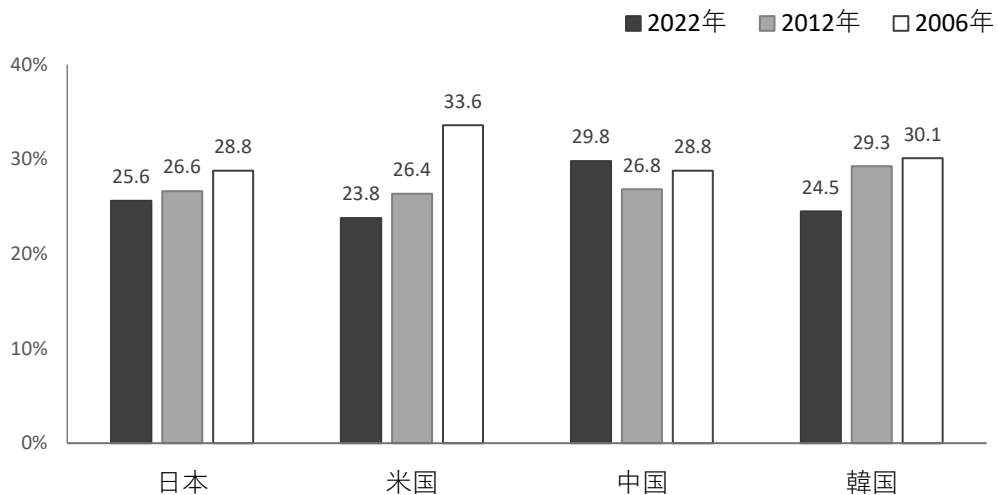


図 7-10 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと:「チャレンジできること」(2012年、2006年:「挑戦性」)

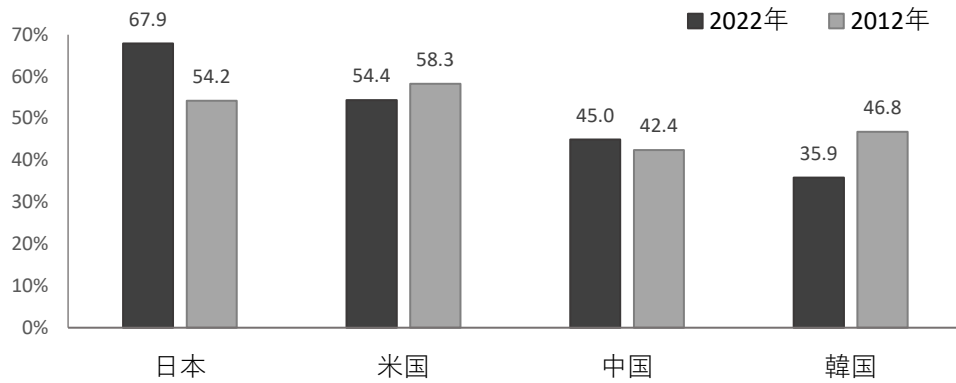


図 7-11 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと: 仕事の環境

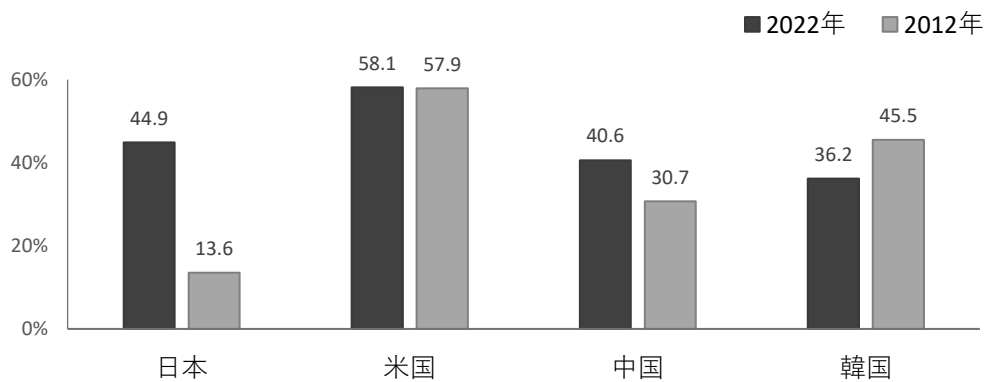


図 7-12 職業を選ぶにあたって「とても重要」としたこと: 勤務先の福利厚生 (2012 年: 福利厚生施設)

### 3) 希望する勤務地

10年前と比較して、日本の高校生は、将来希望する勤務地について、「地元を中心都市」と回答した割合が高くなり、反対に「国内の大都会」「地元の市町村」「欧米など先進国」は、低くなっている。

将来、希望する勤務地を 10 年前と比較してみると、「地元の市町村」と回答した割合は、日本と米国が低くなっており、中国は 5% 未満にとどまり、あまり変化が見られなかった。韓国は 2012 年の調査で「農村地域」という項目となっていたため、比較できない (図 7-13)。

「地元を中心都市」と回答した割合は、日・米・中の 3 か国とも 10 年前より高くなっている (図 7-14)。

「国内の大都会」では、日・米・中の 3 か国とも低下している傾向が示され、これに対し、韓国は上昇している (図 7-15)。

「欧米など先進国」(米: 「イギリスや日本など先進国」) と回答した割合は、日・中・韓の 3 か国とも 10 年前より低くなっており、特に韓国の低下率が顕著である。米国はやや高くなっている (図 7-16)。

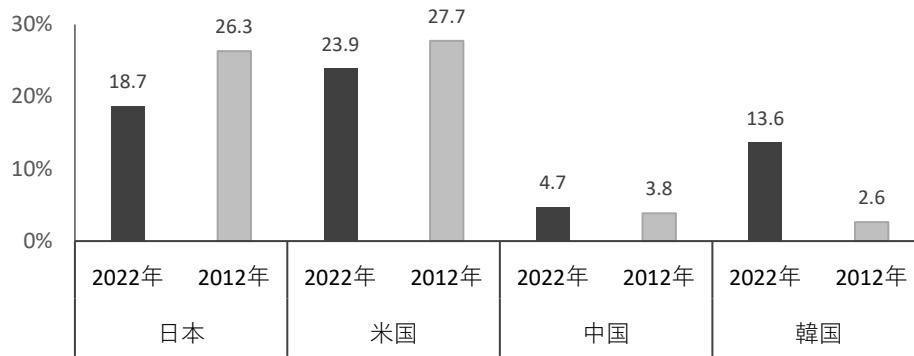


図 7-13 将来、希望する勤務地：地元の市町村(2012年韓国：農村地域)

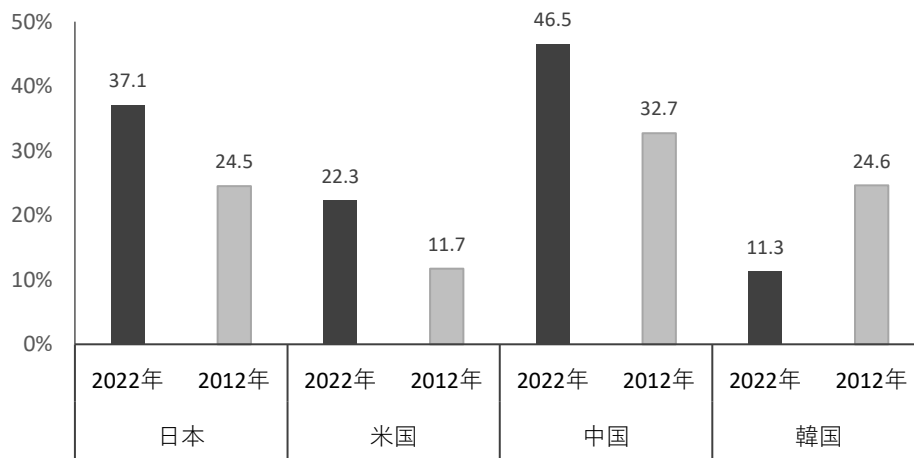


図 7-14 将来、希望する勤務地：地元の中心都市(2012年韓国：中型都市)

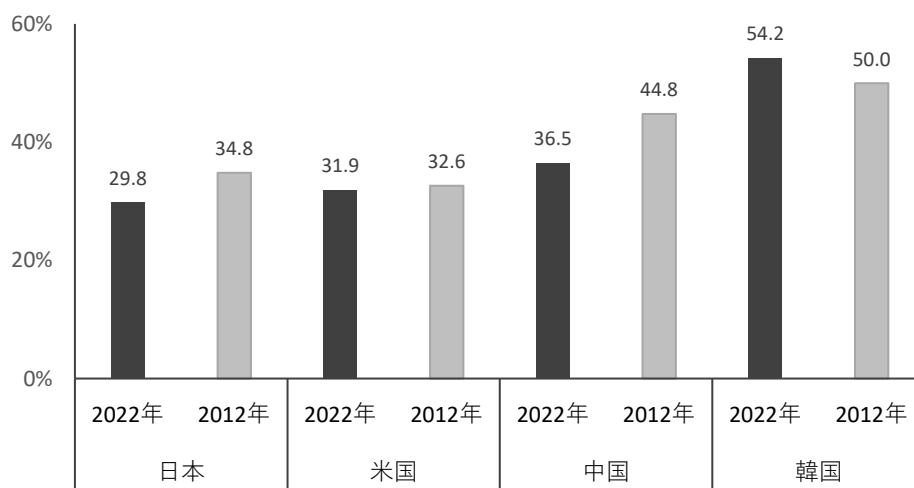


図 7-15 将来、希望する勤務地：(日本)東京や大阪など国内の大都会  
 (米国)ロサンゼルスやニューヨークなど国内の大都会  
 (中国)北京、上海、広州など国内の大都会  
 (韓国)ソウル、釜山など国内の大都会

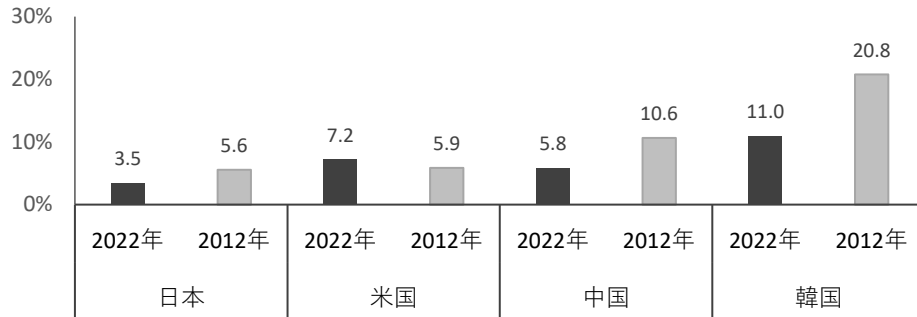


図 7-16 将来、希望する勤務地:欧米など先進国(米国:イギリスや日本など先進国)

#### 4) 生活意識

10 年前と比較して、日本の高校生は「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」と考えている割合が高くなり、「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」は大きく低下している。

生活意識についても 10 年前と比較してみると、「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、4 か国とも低下している (図 7-17)。

「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本と韓国が高くなり、米国と中国はやや低下している (図 7-18)。

「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が 16 ポイント以上も上昇し、米国と中国も高くなっている。これに対し、韓国は約 18 ポイント低下している (図 7-19)。

「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本が 2012 年調査の 16.6%から 35.7%に著しく上昇している。米・中・韓も高くなっている (図 7-20)。

「自分の会社や店を作りたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本が 2012 年調査で 25.6%と米・中・韓に比べて著しく低く、今回の調査でさらに 22.9%まで低下している。米国もやや低下している。中国は 2012 年調査の 74.1%から 58.6%に大きく低下している。これに対し、韓国は 59.8%から 64.1%に上昇している (図 7-21)。

「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本と米国が上昇し、中国と韓国は低下している (図 7-22)。

「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」について、2012 年の調査では「親に反対されても自分がやりたいことをしたい」となっていたが、参考として比較してみると、「とてもそう思う」と回答した割合は、日本と韓国が低下し、米国と中国は上昇している (図 7-23)。

「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本が 2012 年調査の 52.5%から 30.1%に著しく低下している。対照的に、韓国は 31.9%から 55.7%に大きく上昇している。米国と中国はあまり変化が見られなかった (図 7-24)。

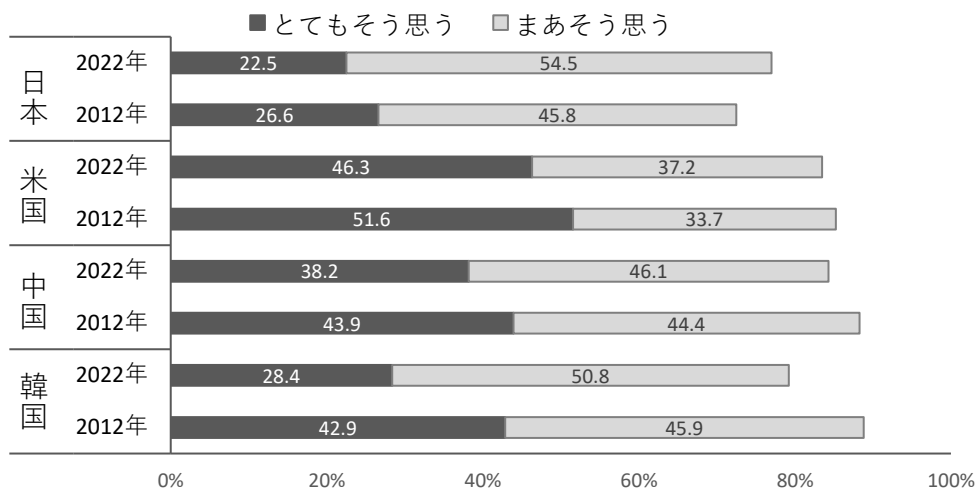


図 7-17 「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」

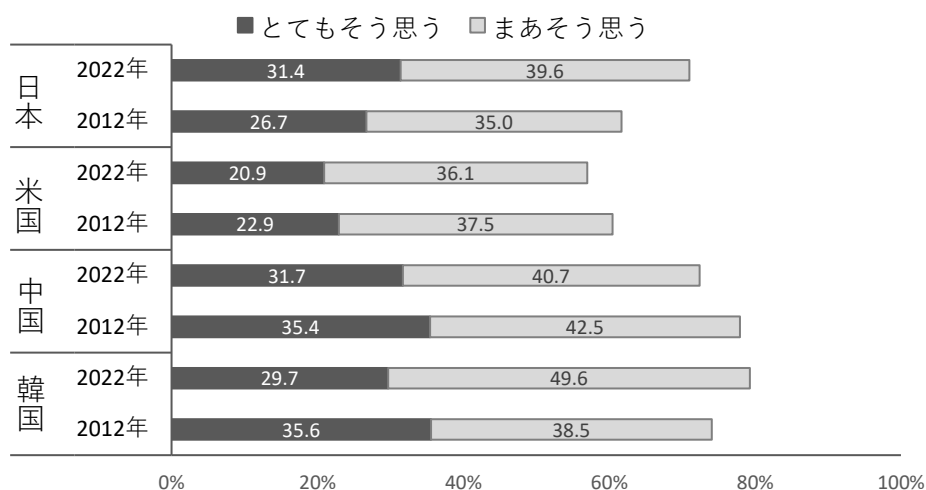


図 7-18 「若いうちはいろいろな仕事を経験したい」

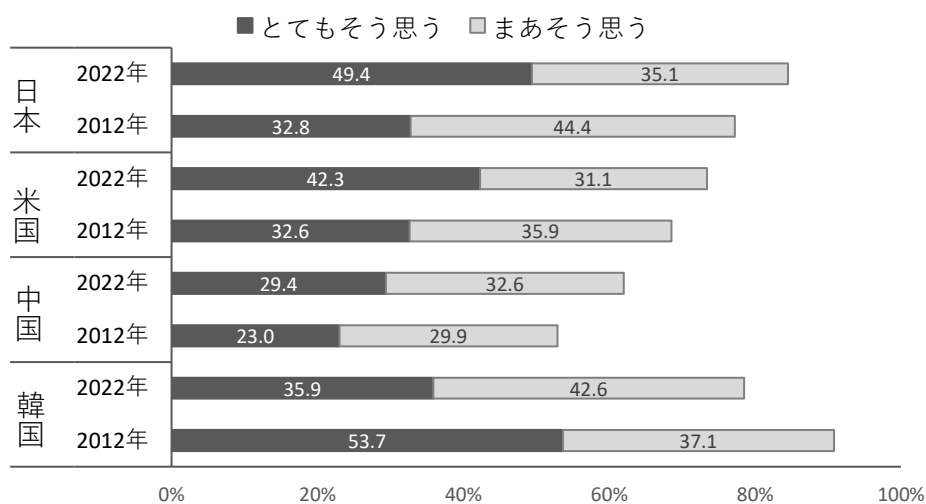


図 7-19 「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」



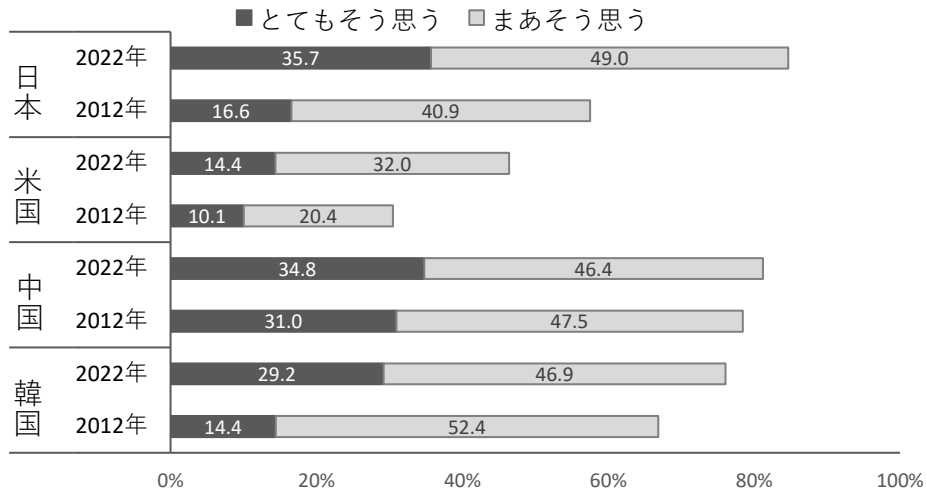


図 7-20 「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」

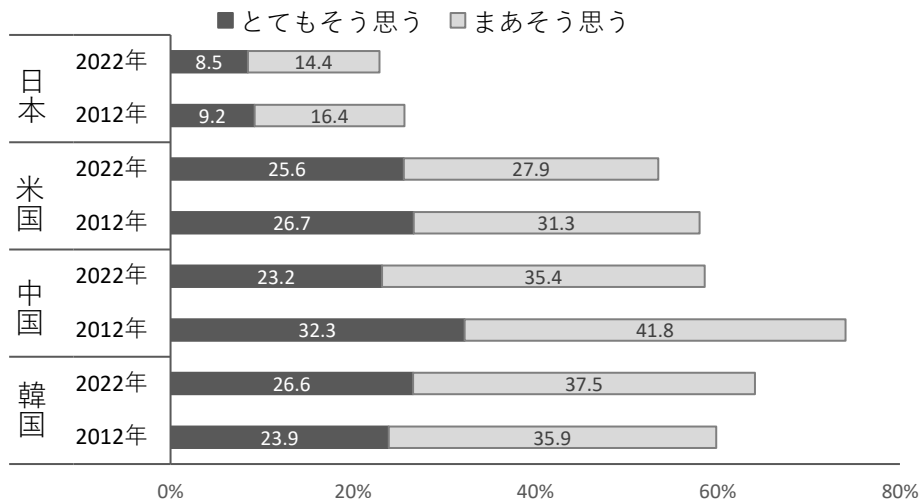


図 7-21 「自分の会社や店を作りたい」

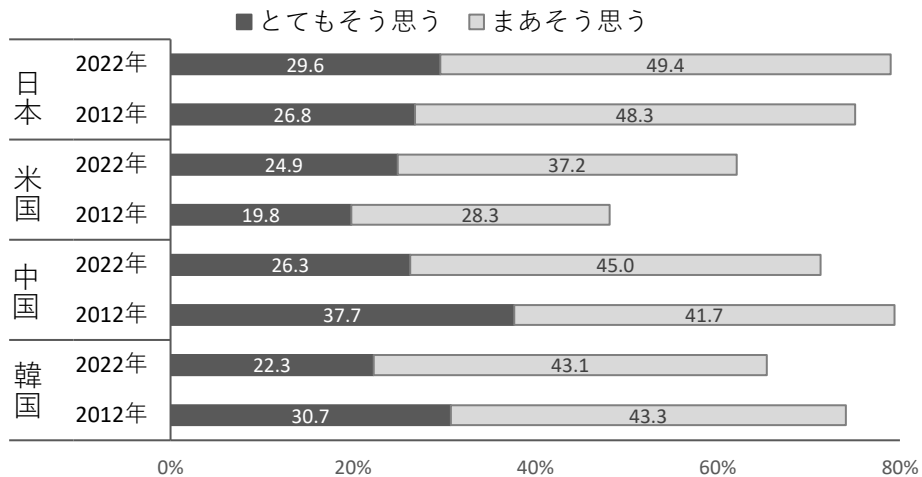


図 7-22 「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」

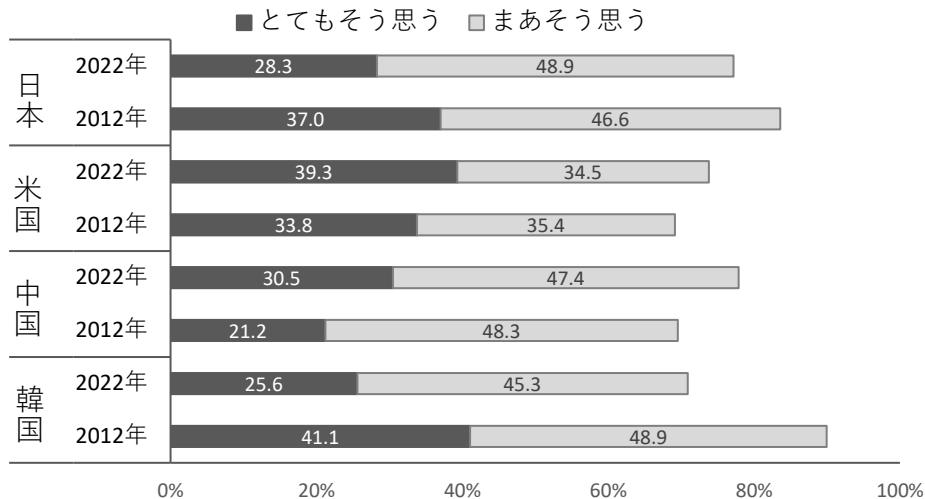


図 7-23 「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」  
(2012年:「親に反対されても自分がやりたいことをしたい」)

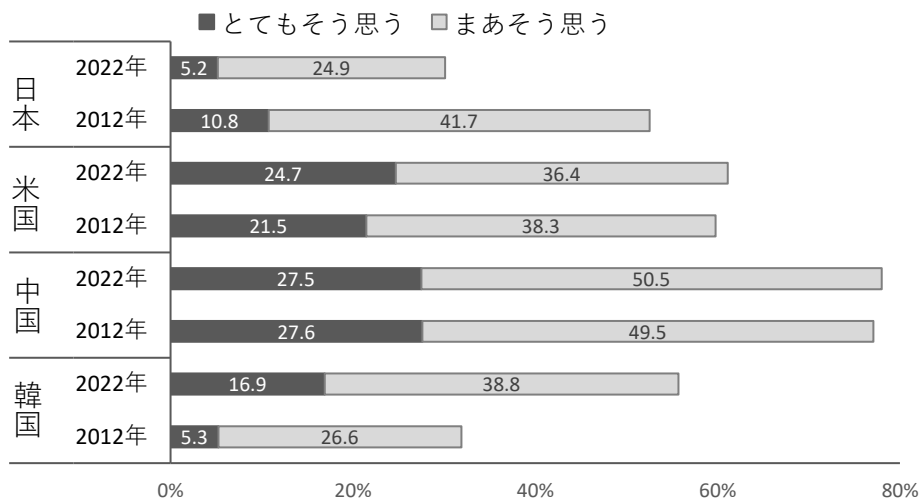


図 7-24 「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」

## 5) 自分自身について

2014年の調査と比較して、日本の高校生は「周りの人の意見に影響されるほうだ」「自分はダメな人間だと思うことがある」と回答した(「とてもそう思う」「まあそう思う」)割合が高くなっている。

自分自身についての評価を経年比較で見える。「周りの人の意見に影響されるほうだ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、2014年の調査に比べて、日本と米国が上昇し、中国と韓国はやや低下している(図7-25)。

「自分はダメな人間だと思うことがある」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回

答した割合は、日本が2014年の調査で72.5%だったが、2018年の調査ではさらに80.8%に上昇し、今回の調査では78.6%とやや低下している。米・韓も同じ傾向が見られた。中国は2014年の調査で56.4%となり、2018年の調査では40.0%に低下したが、今回の調査では51.4%と、上昇傾向にあることがわかる（図7-26）。

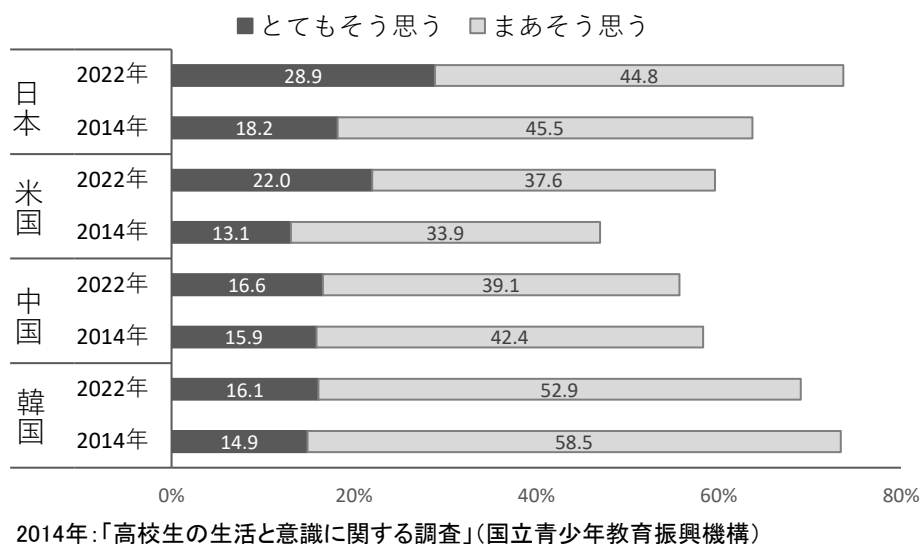


図 7-25 「周りの人の意見に影響されるほうだ」

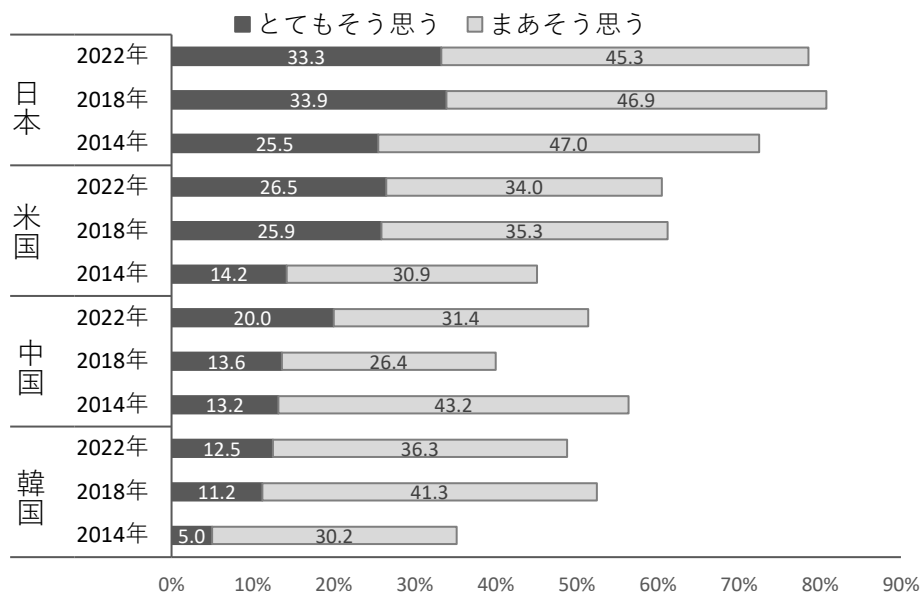


図 7-26 「自分はダメな人間だと思ふことがある」

「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、2012年の調査と比較して、日本と韓国があまり変わらなかったが、米国と中国は低下している（図7-27）。

「今の自分が好きだ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、2018年の調査と比較して、日本が上昇し、米国と中国は低下している。中国はあまり変わらなかった（図7-28）。

「いまの自分を変えたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、2018年の調査と比較して、日本があまり変わらなかったが、米国はやや上昇し、中国と韓国は低下している（図7-29）。

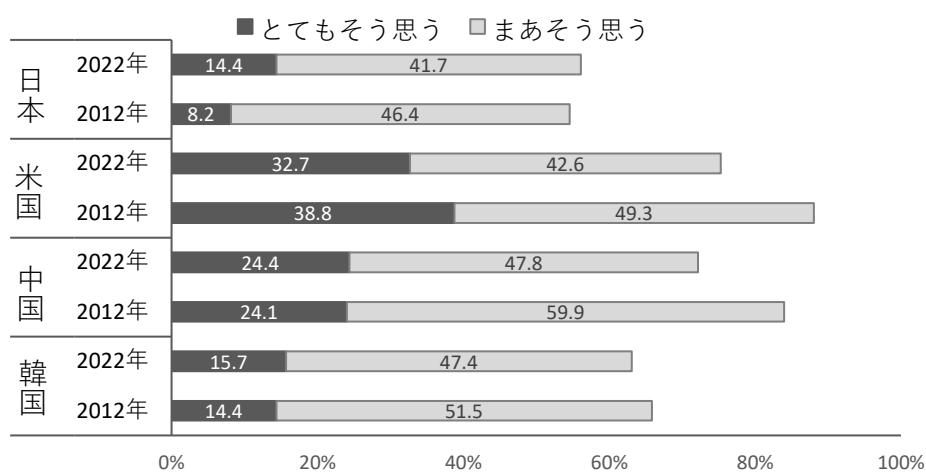


図7-27 「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」

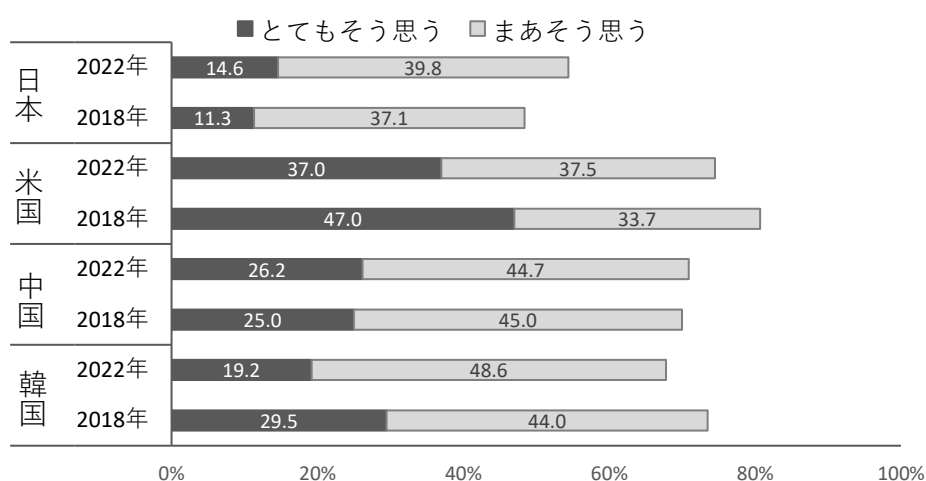


図7-28 「今の自分が好きだ」

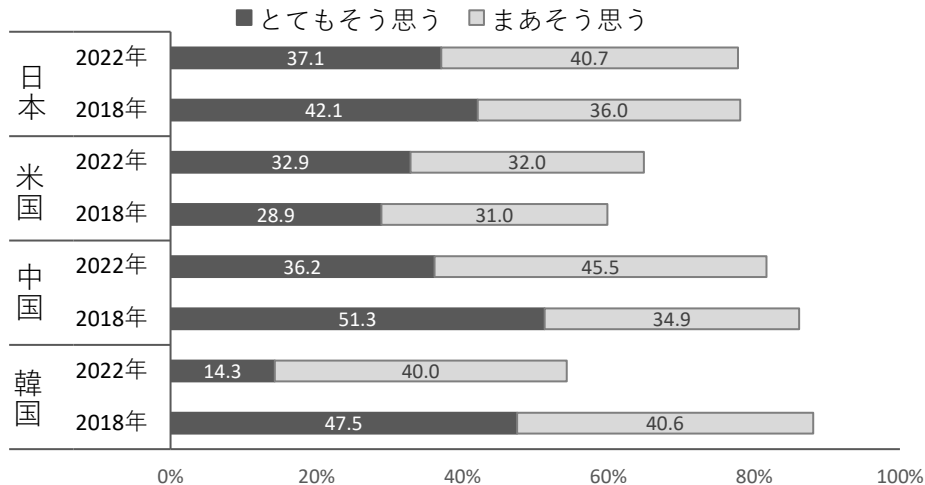


図 7-29 「今の自分を変えたい」

## 6) 自分の将来に関する意識

「今が楽しければいいので先のことは考えない」について、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、2012年の調査に比べて、4か国とも著しく高くなっている。

「自分の将来に不安を感じている」について、2014年、2018年、2021年の3回の調査に比べて、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、日本が年々高くなっている。

自分の将来についての考え方を経年比較してみる。「自分の将来について、はっきり目標をもっている」について、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、2012年の調査に比べて、日・中・韓の3か国が高くなり、米国は低くなっている（図 7-30）。

「今が楽しければいいので先のことは考えない」について、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、2012年の調査に比べて、4か国とも著しく高くなっている（図 7-31）。

「自分の将来に不安を感じている」について、2014年、2018年、2021年の3回の調査に比べてみると、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、日本が年々高くなっている。対照的に韓国は年々低くなっている。米国は1年前より低くなっているが、2018年調査より高くなっている。中国は前3回の調査より大きく上昇している（図 7-32）。

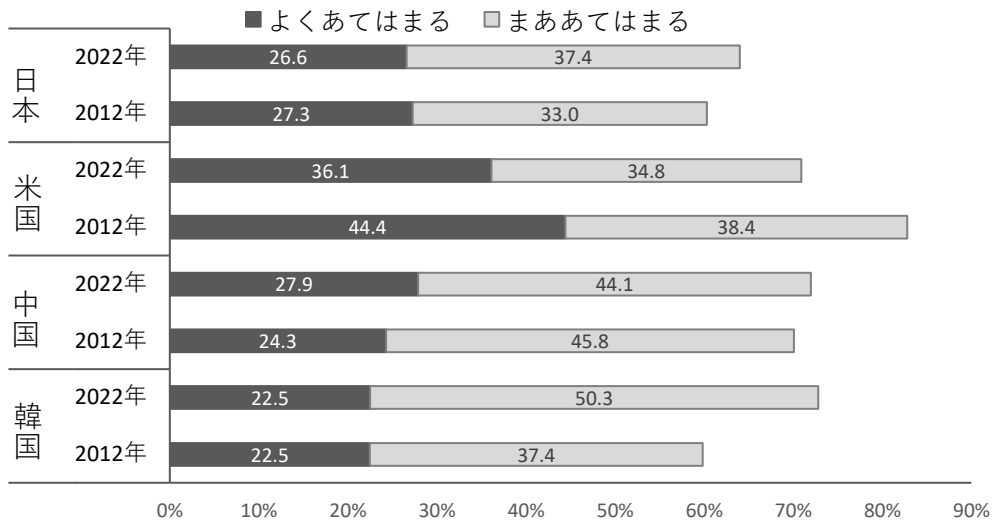


図 7-30 「自分の将来について、はっきり目標を持っている」

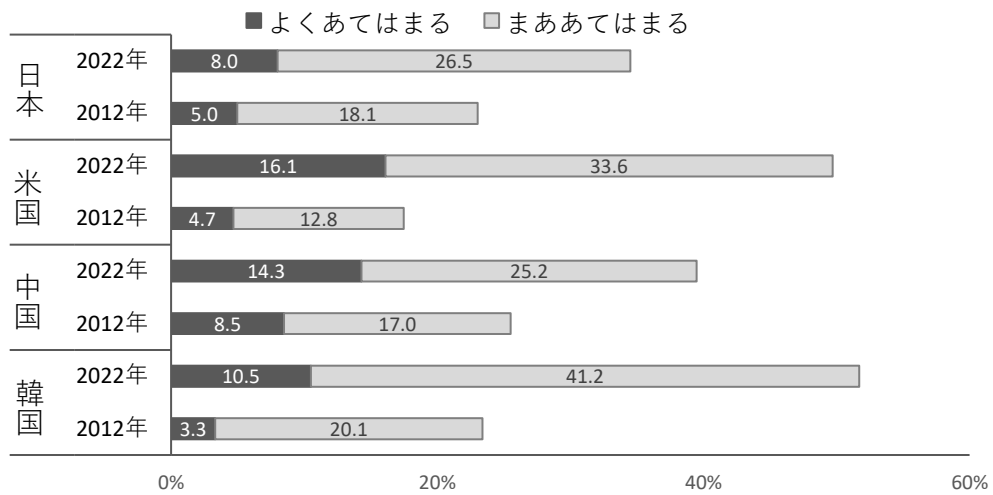
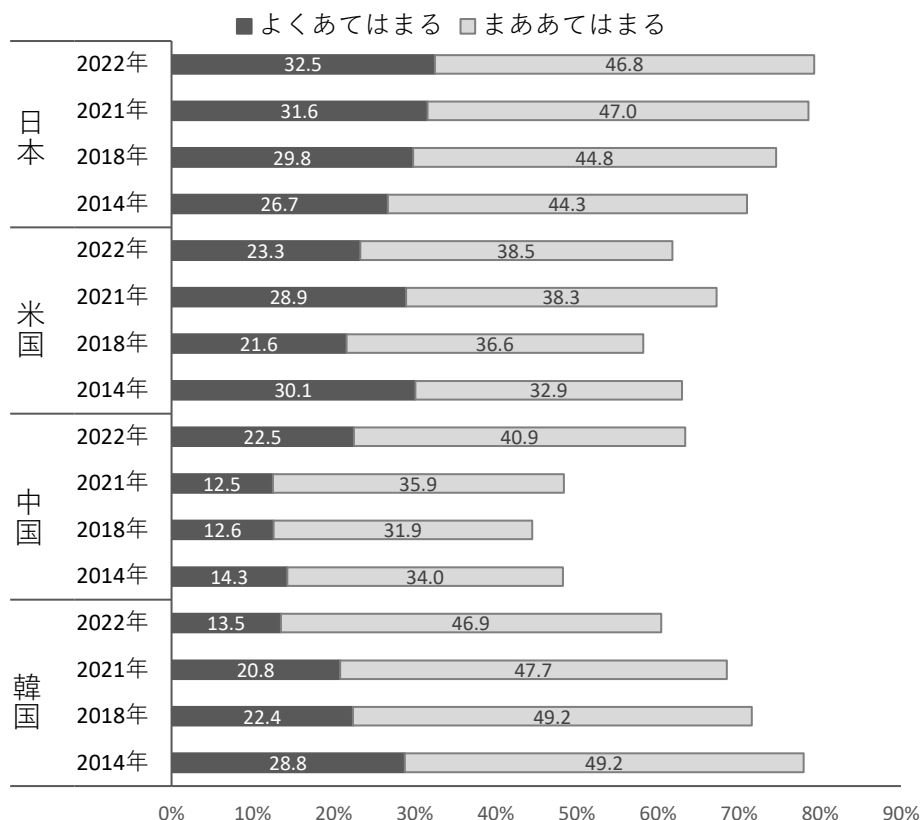


図 7-31 「今が楽しければいいので先のことは考えない」



2021年：コロナ禍を経験した高校生の生活と意識に関する調査

2018年：高校生の留学に関する意識調査(国立青少年教育振興機構)

2014年：高校生の生活と意識に関する調査(国立青少年教育振興機構)

図 7-32 自分の将来に不安を感じている

## 7) 社会に関する意識

2012年の調査と比較して、日本の高校生は「今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする」と回答した(「とてもそう思う」「まあそう思う」)割合が高くなっている。また、2014年の調査と比較して、「いまの社会は貧富の差が大きい」は高くなり、「日本は競争が激しい社会である」は低くなっている。

最後に、社会や経済についての考え方を2012年や2014年の調査と比較してみる。中国は今回の調査でたずねなかったため、比較ができない。

「今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、2012年の調査と比較して、日本と米国が高くなっており、韓国は低くなっている(図7-33)。

「いまの社会は貧富の差が大きい」は2014年の調査と比較してみると、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本がやや高くなっており、韓国は低くなっている。米国はあまり変わらなかった(図7-34)。

「日本(米国、中国、韓国)の未来は明るい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回

答した割合は、2014年の調査と比較してみると、日本があまり変わらず、3割強にとどまっている。米国も変化が見られなかった。これに対し、韓国は高くなっている（図7-35）。

「日本(米国、中国、韓国)は競争が激しい社会である」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、2014年の調査と比較して、日本と韓国が低くなり、米国はあまり変わらなかった（図7-36）。

「日本(米国、中国、韓国)で暮らすことに満足している」について、2014年と2018年の2回の調査と比較してみると、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は、日本ではあまり変化が見られなかった。米国は前2回の調査より低くなっている。韓国は2014年調査より高くなっているが、2018年調査より低くなっている（図7-37）。

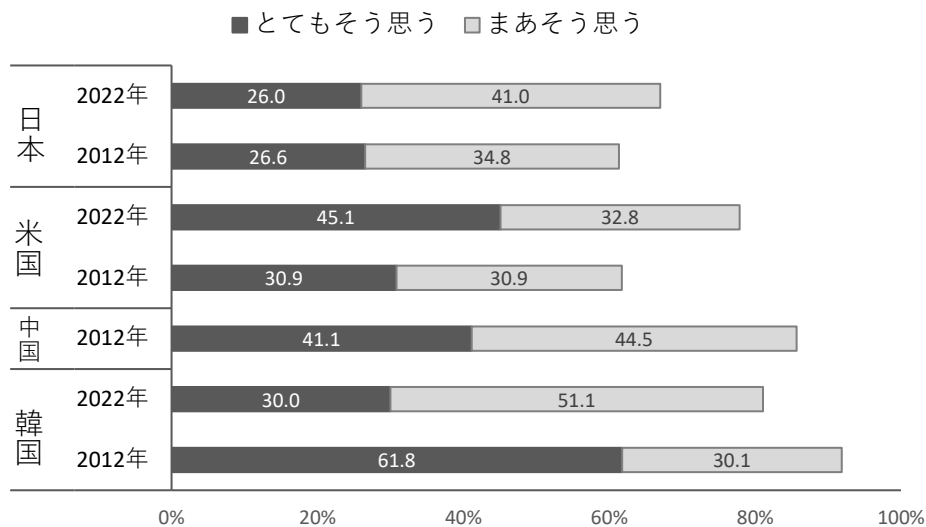


図7-33 「今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする」

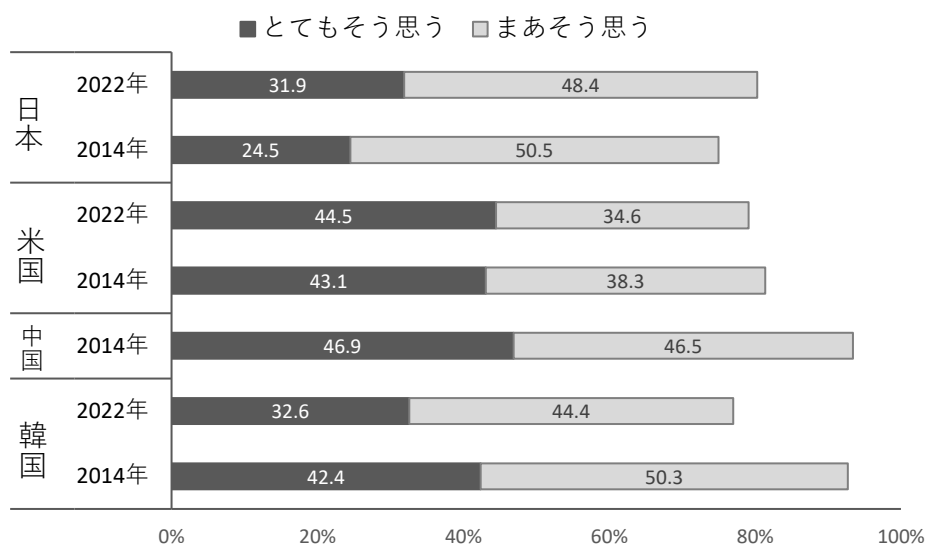


図7-34 「いまの社会は貧富の差が大きい」



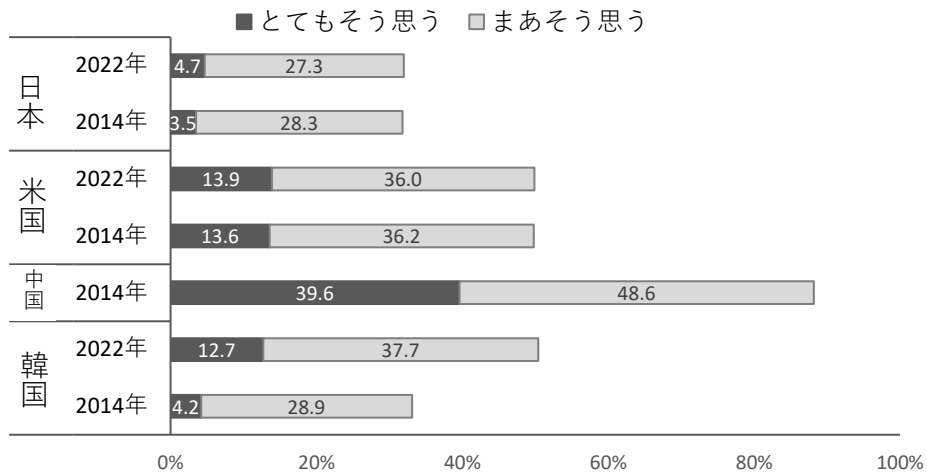


図 7-35 「日本(米国、中国、韓国)の未来は明るい」

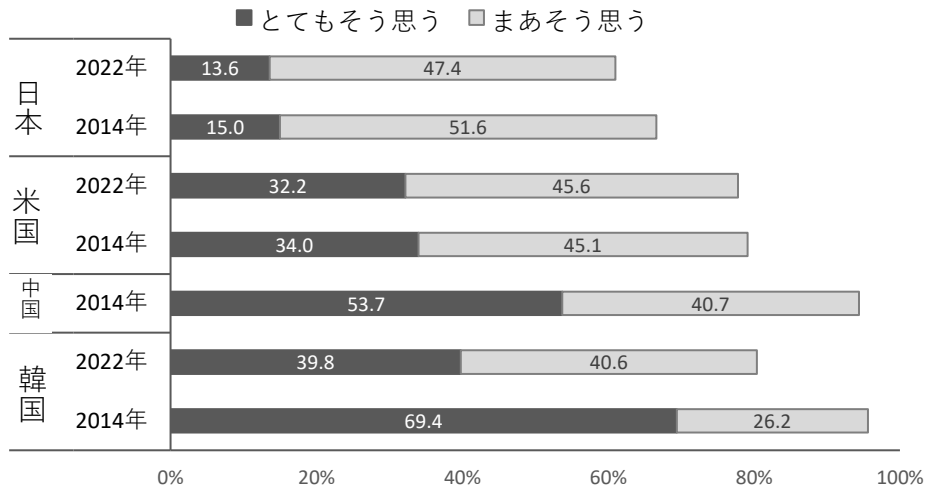


図 7-36 「日本(米国、中国、韓国)は競争が激しい社会である」

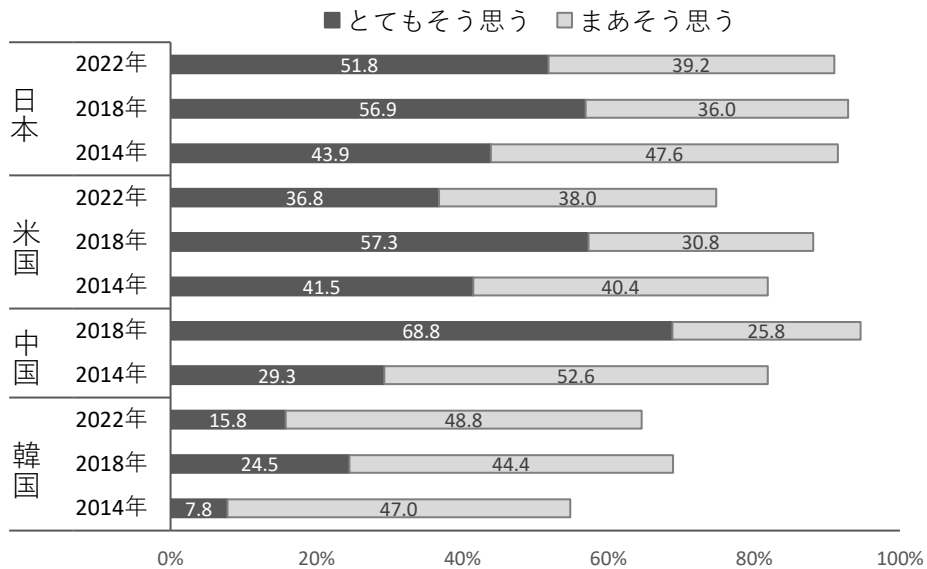


図 7-37 「日本(米国、中国、韓国)で暮らすことに満足している」

## 国際比較からみた日本の高校生の特徴とキャリア教育の役割

筑波大学人間系 助教 京免 徹雄

### はじめに

第4期教育振興基本計画（2023年～2027年）の策定に向けた中央教育審議会（2023）の答申では、計画のコンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられた。ウェルビーイング（Well-being）とは、身体的・精神的・社会的な幸福が持続していることを示す包括的概念であり、世界に共通する教育の目的地とされている。その中でも、自己効力感などの欧米的な文化的価値観に基づく獲得的要素のみならず、利他性など人とのつながり・関係性に基づく協調的要素を一体的に育むことが目指される。一方で、ウェルビーイングが実現される社会は、世代を超えて1人1人が担い手となって創っていくものであり、多様な他者と協働して新たな価値を創造しながら、社会形成に主体的に参画することが求められる。

そのための基本施策の1つに「幼児教育から高等教育まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育」の推進がある。それは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通して、キャリア発達を促す教育」と定義される（中央教育審議会，2011）。キャリア発達とは「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」を指す。ただし、前段の方針に基づくならば、キャリア教育が目的として掲げる「自立」は、既存社会をサバイバルできる強い「個人」ではなく、互いに支え合いながら自己実現を目指し、住みやすい社会の創造に参画する「間人」（カンジン＝人と人の間に生きる存在）になることであると解釈されるべきだろう（京免，2023）。すなわち、自立はケアや共生を前提としており、そのために必要な基礎的・汎用的能力も職業社会で働くためのスキルに矮小化されるものではなく、市民社会で役割を果たすための力を含んでいる。

本稿では、個人と社会のウェルビーイングの実現という視点から、①職業に関する体験活動、②ボランティア学習、③職業観、④自己肯定感、⑤ジェンダー・バイアス、の5つのトピックを設定し、「高校生の進路と職業意識に関する調査」（以下、本調査）の結果について考察する。必要に応じて追加の分析を加えつつ、米国・中国・韓国と比較した日本の特徴を明らかにし、キャリア教育の今後の方向性について提案したい。

### 1. 多機関連携による職業に関する体験活動の推進

本調査の「将来の生き方や進路にかかわる活動への取組」（図2-2）で際立っているのが、日本の高校生における職業に関する体験活動の乏しさである。調べ学習や進学情報収集が7割弱と他国並みであるのに対して、職場見学や就業体験は1割前後で最下位に沈んでいる。コロナ禍の影響も当然想定されるが、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター（2020a）によると、

コロナ禍前の 2018 年度時点でさえも、在学中に 1 回でも就業体験をした 3・4 年生は 34.8%にすぎない（ただし、普通科 22.5%、職業専門学科 68.4%と所属学科によって大きな差がある）。就業体験の充実は、第 1 期教育振興基本計画（2008 年～2012 年）から今日に至るまで一貫して政府が推進してきた施策であり、2014 年まで増加傾向にあったが、その後は横ばい傾向が続きコロナ禍を迎えている。

こうした傾向は「就業」体験に限ったことではなく、京免（2021a）は、2012 年と 2019 年に実施された全国調査（国立政策研究所生徒指導・進路指導研究センター，2013，2020b）の比較に基づき、キャリア教育において学校教育全体での取組（日常）が進展した一方で、反作用として中核となるべき体験活動（非日常）が後退し、日常での学びとのつながりも弱体化していることを指摘している。背景には、価値観ベースからコンピテンシー・ベースへの政策変更や、学校・教師の多忙化があると推察される。しかし、体験活動は、リアリティがあり意義が感じられる文脈において、高校生が日常で獲得した資質・能力を活用して「使える」レベルに発展させる貴重な機会である。実に就業体験に参加した生徒の 9 割が有意義な活動だと感じており（国立政策研究所生徒指導・進路指導研究センター，2020b）、特に普通科を中心に今後の拡充が求められる。

本調査で約 2 割の高校生が就業体験に取り組んでいる米国では、1990 年代以降にアカデミックな教育と職業教育の分離から統合へと舵が切られ、1994 年の「学校から仕事への移行機会法」によって就業体験が広がっていった（石嶺，2017）。2006 年には、高校教育と高等教育を「キャリア・パスウェイ」（特定の職業に就くための学習経路）で有機的につなぎ、二重単位を付与する「学習プログラム」が導入され、進学と職業準備の両立に効果を発揮している。また、学校内学校「キャリアアカデミー」では、低学力や出席不振などの問題を抱えた高校生が、地域雇用ニーズのある職業分野の学習と並行してアカデミック科目の系統学習を行い、夏季には協力企業でインターンシップに参加する（藤田，2021）。こうした高校のキャリア・テクニカル教育を支えるのが、半日プログラムを提供する地域教育センターや、企業、大学等との連携である。例えば、カリフォルニア州のロングビーチ市では全体の 8 割を占める小企業が協力して、就業体験のマッチング、事前学習、受入、評価を担う仲介機関を設立した。さらに、コミュニティ・カレッジを中核に高校、経済界、仲介機関によるコンソーシアムを形成して、「学習プログラム」を拡充している（西，2017）。

日本よりも大学入試の競争が激しいとされる韓国でも、本調査では約 2 割の高校生が就業体験に取り組んでいる。学校教育の受験準備への傾斜と学歴インフレを改善することを目的に、2010 年から「進路教育」が本格的に開始され、中学校と高校に専門職「進路進学相談教師」が配置された。2013 年には、中学校の 6 つの学期（2 学期制×3 学年）のうち 1 学期間、定期試験を行わず、午前中はアクティブ・ラーニングで教科学習を行い、午後に進路探索など多様な体験活動を行う「自由学期制」が導入されている（松本，2016）。高校における体験活動は、日本の特別活動と総合的な学習の時間を合わせた領域に相当する「創意的体験活動」（週 4 時間）を中心に実施される（石川，2018）。自律活動、サークル活動、ボランティア活動、進路活動の 4 分野で構成され、新しい価値あるアイデアやモノを作り出す創意的人材の育成を目指している。家庭や地域と密接に連携して進路教育が展開されているのも、韓国の特徴である。各地域の教育庁では 20 時間以上の研修を受けた保護者を「進路コーチ」として認証し、進路相談や体験活動などに活用している（金・三村，2016）。また、企業等での職場体験に加えて、自治体の運営する「進路体験支援セン

ター」が200箇所以上に設置されており、豊富な体験プログラムを提供している。

上記のような米国・韓国の状況に比べると、日本では職業に関する体験活動を提供したり、コーディネートしたりする学校外の機関や人的・物的リソースが圧倒的に不足している。高校・教師だけで体験活動を拡充させることは難しく、商工会議所等の企業団体、地域学校協働本部、地域コーディネーター、キャリア・コンサルタントなどがより積極的な役割を果たす必要がある。高等教育機関との連携も有効な方策であり、アカデミック・インターンシップ（研究者など、大学等の卒業が前提となる資格を要する職業に関する就業体験）の増加も期待される。本調査によると、日常における「将来の生き方や進路についての学習」（図2-3）は「近年の若者の就業の動向」を除いて他国よりも充実している。ここに非日常的な体験活動が加わることで、相乗効果が発揮されるであろう。

## 2. 主体的かつ創造的なボランティア学習

本調査の「将来の生き方や進路にかかわる活動への取組」でもう1つ着目したいのが、ボランティア活動である。日本で取り組んでいる高校生は2割弱で、4か国中最下位である（図2-2）。さらに、活動に対する関心も5割弱と他の活動に比べて弱く、4か国では韓国に次いで低い（図2-1）。しかし、高校生期におけるボランティア活動は、生涯を通して社会の創造に貢献できる市民を育成する「ボランティア学習」としての側面を有しており、その教育的意義は小さくない。

実際、ボランティアの取組をしている高校生としていない高校生で、本調査の「社会や経済についての考え」（図5-1）における「社会は自分の力で変えていくことができると思う」の回答を比較したところ（図 考察 1-1）、いずれの国においてもボランティアの取組をしている高校生の方が、肯定的な回答の割合が有意に高いことが示された。「とてもそう思う」で比べてみると、日本で9.7ポイント、米国で13.5ポイント、韓国で8.1ポイントの差があり、特に米国において顕著な差が確認できる。

長沼（2008）によると、ボランティア活動には、①自発性・主体性、②無償性・非営利性、③公益性・公共性、④先駆性・創造性、といった特徴がある。ところが日本では、学校におけるボランティア学習は「奉仕活動」として推進されてきた歴史がある。奉仕活動は②と③を強調する反面、①と④が弱いため、青少年が既存社会を批判的に検討し、創育工夫して改善していく機会になりにくい。「上からの」ボランティア学習が、高校生の関心の低下につながっている側面もあるのではないだろうか。

本調査でボランティア活動をしている高校生が約5割と最も高い米国では、1990年代以降にサービス・ラーニング（Service Learning, 以下SL）が発展・定着してきた。SLとは、地域貢献活動（コミュニティ・サービス）を教科等に結びつけて青少年の健全な発達や市民性育成を目指す教育方法であり、参加民主主義論を基盤として成立する、「慈善」よりも「変革」を志向する、学校教育改革の有効な手段として機能する、といった理論的特徴をもつ（唐木, 2010）。SLは、生徒の主体性を保障しながら、地域の民間団体と連携して社会問題を解決するプロジェクト型学習であり、地域ニーズ・批判的な思考・教科学習とのリンクを重視するという点で、日本の奉仕型ボランティア学習とは異なる。

本調査の「社会や経済についての考え」（図5-1）で、「日本の未来は明るい」「社会は自分の力で変えていくことができると思う」に「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した日本の高校

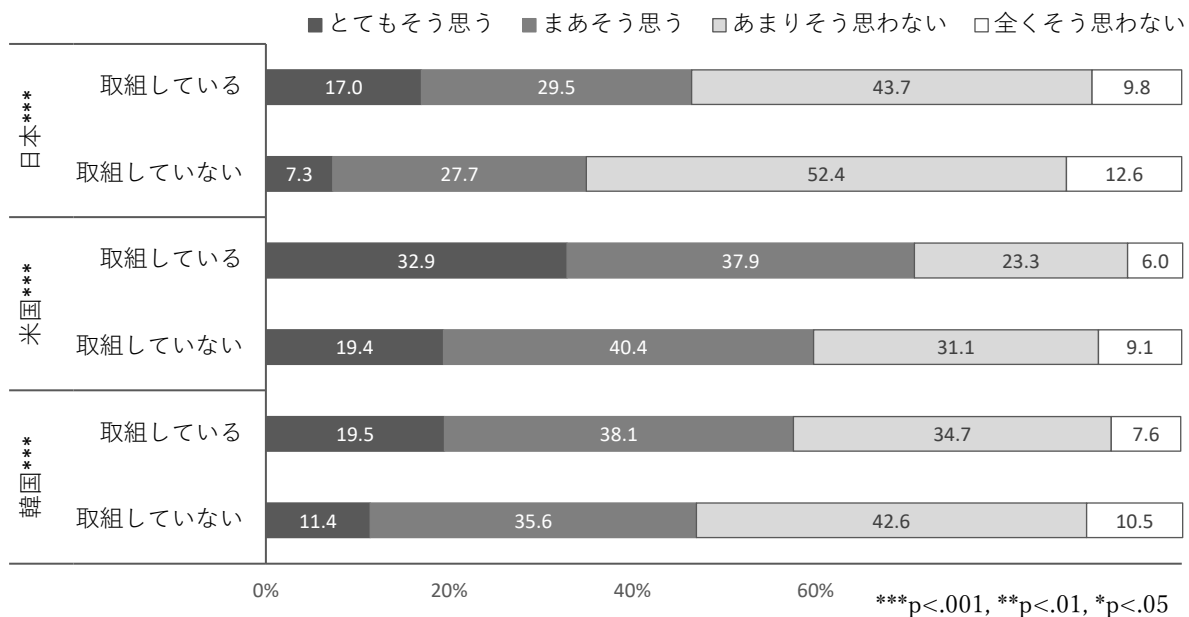


図 考察 1-1 ボランティアの取組別にみた「社会は自分の力で変えていくことができると思う」の割合

※ $\chi^2$  検定の結果、3 項目の全てで有意差が認められた。日本： $\chi^2(3) = 85.398, p < .001$ 、米国： $\chi^2(3) = 49.770, p < .001$ 、韓国： $\chi^2(3) = 28.684, p < .001$

生は3割強にとどまる。米国や韓国に比べて著しく低いことを踏まえると、ボランティア学習を「④先駆性・創造性」あるものに編み直し、高校生の自発性・主体性を高めることが必要である。

アップル&ビーン (2013) は、子どもたちが社会の「批判的な読み手」になることで、より多岐にわたる視点や声に向き合うことになり、「知識の消費者」という受動的な役割を捨て去って、「意味の作り手」という能動的役割を担うことができるとしている。そのためには、将来の民主主義社会のより望ましい成員を育てる単なる準備教育ではなく、今の学習活動自体が社会・政治参画の経験にならなければならない。

とりわけ高校の生徒会活動は、「地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること」(文部科学省, 2018) を内容に含んでいる。学校行事の運営といった従来の活動を超えて、高校生が地域社会と対話しつつ、地域の一員としてそれをより公正なものに改造していく、主体的かつ創造的な学習の場になることが期待される。それは、シティズンシップ教育としてのキャリア教育、すなわち「自己および他者にとって生きやすい社会・世界の創造を視野に入れて役割を果たすことができる個人を連続的に育成するプロセス」(京免, 2021b) として機能するだろう。個人のウェルビーイングが社会のウェルビーイングに貢献し、社会的恩恵がまた個人に還元されるという循環関係の促進に向けて、生徒会活動が果たすべき役割は大きいといえる。

### 3. キャリアモデルを通じたバランスの取れた職業観の育成

本調査の「将来希望する職業を決めているか」(図 3-1) において、「まだ考えていない」日本の

高校生は1割強と4か国で最も高い。日本では欧米のように職務を特定して賃金契約を結ぶジョブ型雇用は主流でなく、ヒトを基準に賃金契約を結び、企業内労働市場で職務ローテーションを繰り返すメンバーシップ型雇用が根強く残っている（濱口，2021）。ゆえに、高校生の時点で就きたい職業を決めることは一部専門職を除き確かに難しい。とはいえ、考えたことすらない状態は、目的意識のない進学や就職につながりかねない。

また、『仕事』『働くこと』のイメージについて「とてもそう思う」と回答した割合（図3-8）は、2割弱の「楽しい」が4か国中最下位、7割弱の「生活のため」と4割弱の「社会人としての義務」が最上位となっている。また「職業を選ぶにあたって重視すること」について、「とても重要」と回答した割合（図3-9）は、7割弱の「仕事の環境」と6割強の「自分の興味や好みに合っていること」が最上位、1割強の「社会的地位」が最下位、3割弱の「仕事の内容や仕方が自分で決められる」は韓国に次いで低い。日本と対照的なのが米国で、仕事・働くことに対して「楽しい」（3割強）、「やりがいがある」（6割弱）といったイメージが強く、職業を選ぶにあたっては「収入」（7割弱）、「勤務先の福利厚生」（6割弱）、「仕事の内容や方法を自分で決められる」（4割強）ことを重視している。

こうした日米の違いは、先行研究とも部分的に符号している。寺田ほか（2012）は、高校生の職業観形成とその要因を国際比較するために、米、独、尼、日、韓、中の6か国で調査を行った。そのデータに基づき、「自己実現・生活享受」（自分らしさの表現、夢の追求など10項目）、「社会・奉仕」（企業の発展、組織の一員としての協力など6項目）、「経済・安定」（よい労働条件、失業しないなど5項目）、「リーダー・富裕家」（リーダー、多くの金銭など3項目）の4因子構造からなる職業観尺度を開発している。日本は「経済・安定」以外の3つの志向について他国より得点が有意に低い傾向にあった。逆に米国は「経済・安定」以外の得点が高い傾向にあり、特に「リーダー・富裕家」の高さが際立った。さらに、6か国トータルでみると、自分にとってプラスのキャリアモデルをもっている場合、モデルなしやマイナスのモデルのみもつ高校生に比べて「自己実現・生活享受」と「社会・奉仕」志向が強いことも明らかになっている。

尾崎（1941）の古典的研究によると、職業は「生業」（生計の維持）、「天職」（個性の発揮）、「職分」（役割の実現）の3要素に分類されるが、日本の高校生は国際的にみて「生業」や「職分」志向が強く、「天職」志向が弱いことが本調査から読み取れる。才能や適性を自律的に発揮して新たな文化を生み出す営みとして職業をポジティブに認識できるようにするには、労働環境を改善していくことが不可欠であろう。

一方で、寺田（2012）の研究は、実際にそのような働き方をしている社会人の生き方に触れることの有効性を示唆している。しかし、一般社団法人全国高等学校PTA連合会・（株）リクルート（2022）の調査では、目指している人・あこがれている人がいる高校生はわずか18.7%にすぎない。またその約3割が著名人を挙げているが、高校生との心理的・社会的距離が遠いため、理想と現実の大きなギャップに「あきらめ」を感じてしまう恐れもある。キャリア形成に対する自己効力感を高めるためには、ヒントとなるような生き方を提供してくれる存在が身近にもいることが望ましい。例えば、そうした機会の1つになりうるのが同じ高校の先輩による体験発表会であり、生徒の多様なニーズに応じた異なる卒業生と交流して複数のキャリア・パターンから学ぶことで、自分が指針とする固有の「モデル」を構築することができる（京免，2016）。このように、「天職」志向を強化し、3要素に関する職業観をバランスよく育むことは、個人のウェルビーイング

グと社会のウェルビーイングの両立につながる。

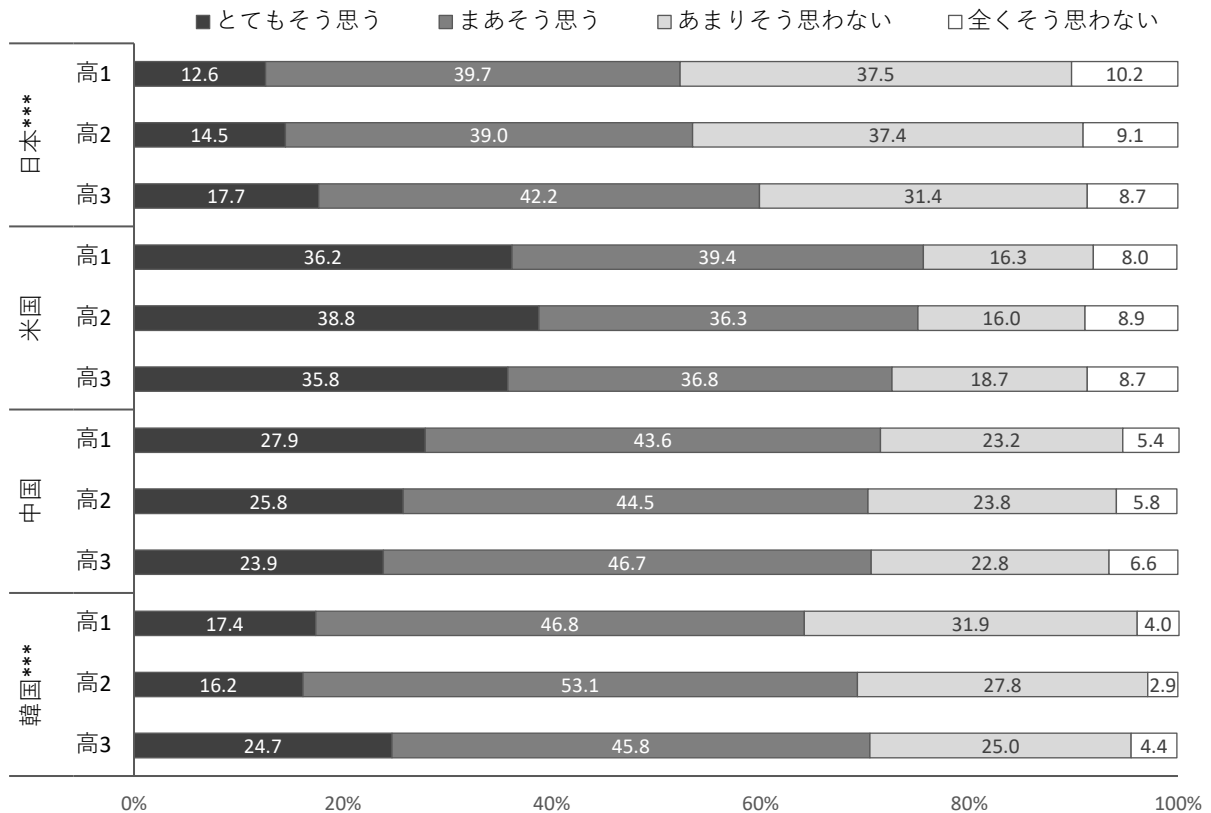
#### 4. 発達段階に応じた肯定的自己理解の促進

本調査の「自分自身について」の問いで「とても思う」「まあそう思う」と回答した割合を4か国で比較すると（図 4-1）、日本は8割弱の「自分はダメな人間だと思ふことがある」が最上位、6割弱の「自分にはどのような適性・能力があるか知っている」と5割強の「今の自分が好きだ」が最下位となっており、肯定的自己理解に課題がみられる。「自分の将来は明るい」（図 4-3）に「よくあてはまる」と回答した高校生もわずか1割程度であり、「まああてはまる」を合わせても5割強と最下位につけている。こうした主観的ウェルビーイングの低さはかねてから指摘されており、国による文化差も要因の1つとされる。一方で、社会情動的（非認知的）スキルとして認識し、青年期に適切な環境を整備することで伸ばしていくことが期待される。

高校生の自己肯定感は、時間とともに変化している。約1万3,000人（調査開始時点）に対する3年間11回にわたる追跡調査を分析した京免（2019）によると、全体平均でみると1年生の4月～11月にかけて低下しており、入学直後のケアが重要であることがわかる。その後3年生の11月に向けてゆるやかに上昇し、最終的には1年生の4月の水準に戻っている。本調査でも「今の自分が好きだ」の割合を学年で比較してみたところ、4か国のうち日本と韓国で有意差が認められた（図 考察1-2）。「とてもそう思う」に注目すると、日本では高1で12.6%、高2で14.5%、高3で17.7%となっており、高1が最も低く、高3にかけて少しずつ上昇している。その要因は特定できないが、受験や就職活動など卒業後の進路選択に向けた自覚が芽生え、実際に行動を開始することがあると想定される。教師が意識的な取組を行うことで、この伸びをさらに大きくしていくことができるだろう。

京免（2019）の重回帰分析によると、個々の自己肯定感の変化に最も大きな影響を与えたのは授業であり、特に「好きな授業がある」ことの効果は「まじめに授業を受けている」ことや「授業がよくわかる」ことよりも大きかった。友人からのサポートも強い影響を与えており、自分のことを理解し、話しかけたり励ましたりしてくれる友人がいる生徒は高い傾向にあった。教師が生徒を直接支援するだけでなく、生徒の周囲に間接的に働きかけ、その人間関係を豊かなものにしていくことが有効といえる。さらに、学校行事は自己肯定感にも一定の影響を与えていたが、むしろ学校適応感と学校生活期待感に対する影響が強かった。学年が上がるほどその効果は大きく、学校行事で中心的・指導的役割を担うようになることにあると思われる。ゆえに、1人1人の生徒が個性を活かして活躍できる場を用意することが重要であり、また1年生など下級学年でも自らの長所を発揮して役割を担う機会を創出することで、同様の効果が期待できる。

こうした点を考慮するならば、コロナ禍において集団活動である特別活動が大きく制限され、生徒同士および生徒と教師が交流する機会が減少したことは、憂慮される（久保田ほか、2021）。本調査でも「勉強や学習」に対するコロナ禍の影響の大きさが示されているが（図 6-1）、ようやくコロナ後の生活を見通すことができる状況になってきた。学校の内外において、高校生1人1人が自分のよさや可能性を発揮できる環境を整備し、肯定的自己理解の促進につなげていくことが急務であろう。



\*\*\*p<.001, \*\*p<.01, \*p<.05

図 考察 1-2 学年別にみた「今の自分が好きだ」の割合

※  $\chi^2$ 検定の結果、2項目で有意差が認められた。日本： $\chi^2(6) = 29.024, p<.001$ 、韓国： $\chi^2(6) = 24.246, p<.001$

## 5. ジェンダー・バイアスの解消に向けた男女へのアプローチ

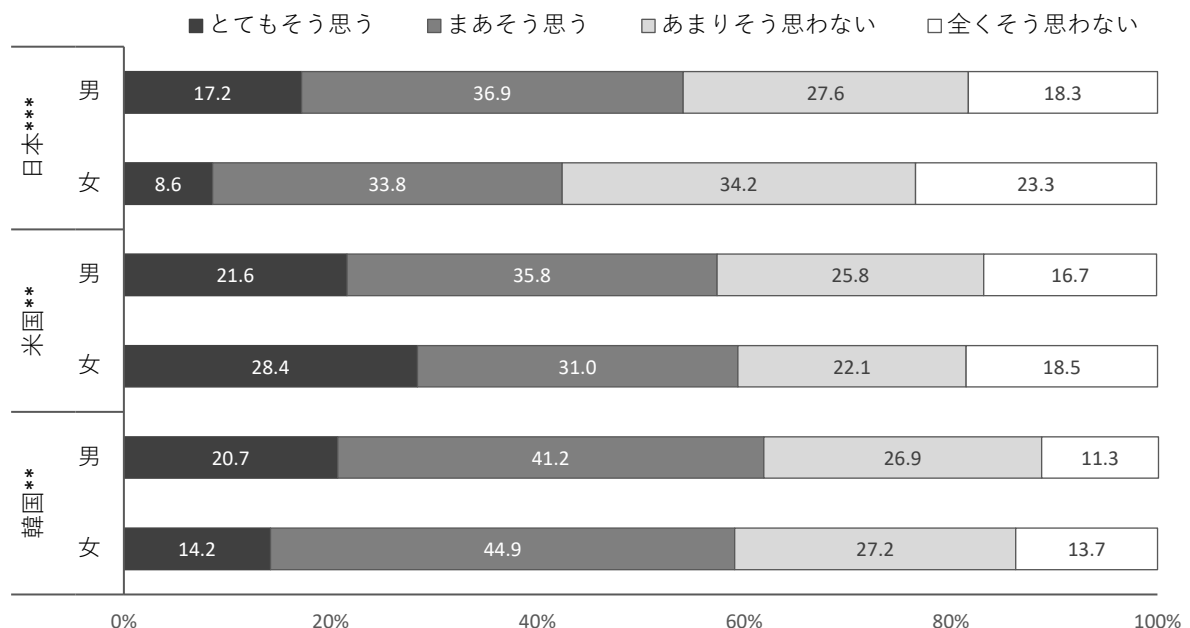
日本が男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数で低迷していることは、古くて新しい問題である。2022年の順位は146か国中116位と、依然として先進国で最低レベルにある(World Economic Forum, 2022)。安達(2022)によると、仕事社会におけるジェンダー不平等には、地位の高いポジションに行くほど女性の比率が下がるという垂直的分離と、特定の分野や領域における占有率がいずれかの性別に偏るといった水平的分離がある。タテの分離に関しては、2015年に施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」をはじめ、不十分ながらも様々な施策が講じられるようになってきている。一方で、ヨコの分離は可視化されにくく、興味や関心に基づく個人の選択として捉えられるため、アクションが起きにくい傾向にあるという。

本調査の「社会や経済についての考え」(図5-1)において、「性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない」に「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した高校生は日本5割弱、米国6割弱、韓国6割弱である。日本は米・韓を少し下回っているものの、職業領域における男女占有率の偏りを反映したステレオタイプが潜んでいる可能性は否定できない。ステレオタイプに基づいて男性らしい職業と女性らしい職業が峻別されると、異性の領域として認識された職業に対する自己効力感が育ちにくくなり、将来の選択肢から除外されることで、ジェンダー不平等な社会構造が再生産される(安達, 2022)。



水平的分離の改善に向けた数少ない動きの1つが、キャリアモデルとの交流や体験活動を通して、STEM (Science, Technology, Engineering and Mathematics) 領域への女性の参入を促す取組である。確かに意義のある活動だが、こうした女性に対するアプローチだけでよいのだろうか。本調査の「性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない」の回答を男女で比較したところ、3か国全てで違いが有意に認められた(図 考察 1-3)。日本においては「とてもそう思う」の割合が女子よりも男子で8.6ポイント高く、「まあそう思う」を合わせると11.7ポイント高い。つまり、女子に比べて男子の方がステレオタイプをもっている可能性がある。韓国は日本と同傾向であるが、逆に米国は「まあそう思う」と回答した割合が男子よりも女子で6.8ポイント高くなっている。この結果を踏まえると、特に日本においては男子に対しても積極的にアプローチし、自分やパートナーの自由な選択を阻みかねない伝統的な性役割態度やジェンダー規範を変化させる必要がある。

さらに、高校生をはじめとする次世代にジェンダー・バイアスを抱かせないためには、何よりもまず教育する側の大人がステレオタイプをもたないことが重要であろう。しかし、学校の教師は授業等を通して、無意識のうちに児童生徒のバイアスを強化してしまっているという指摘がある(園山ほか, 2022)。ジェンダーに関する教師・指導者の養成や研修の機会は圧倒的に不足しており、まずは量的拡大が求められるであろう。同時に、単にジェンダーを教養として学ぶだけにとどまらず、教科指導や様々な教育活動に特有の文脈で陥りやすいバイアスを具体的に自覚できるような質の向上も期待される。



\*\*\*p<.001, \*\*p<.01, \*p<.05

図 考察 1-3 男女別にみた「性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない」の割合

※ $\chi^2$  検定の結果、3項目の全てで有意差が認められた。日本： $\chi^2(3) = 99.874, p < .001$ 、米国： $\chi^2(3) = 14.818, p < .01$ 、韓国： $\chi^2(3) = 13.220, p < .01$

## おわりに

本稿では、5つのトピックについて若干の分析を加えて考察することで、日本の高校生の特徴について論じた。さらに、個人と社会のウェルビーイングの実現に向けて、キャリア発達を促進するための方策を提案した。全体を通して重要なのは、よき市民の育成とよい職業人の育成のバランスを取ることで、両者のつながりを高校生が認識できるようにすることだろう。仕事は衣食住の糧を得るための手段であり、個人の自己実現のための場であり、社会を発展させるための役割分担でもある。また職を得て働くためには既存社会に適応する必要があるが、同時に市民として社会を変革していくこともできる。ジェンダー・バイアスに左右されないことは、自らのキャリアにおける自律的な意思決定を可能にするとともに、ジェンダー平等が達成されることで、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会の形成につながる。

そのためにキャリア教育では、人とのつながりを大切にする日本の文化的特質を生かして、ボランティアや就業などの体験活動、キャリアモデルとの出会いなどが創出されるべきだろう。他者との関係性の中で自らのよさを発揮し、承認されることは肯定的自己理解能力の獲得にもつながるはずである。こうした期待に学校や教師だけで応答することは不可能であり、既にある学校外のリソースを積極的に活用することに加えて、新たなキャリア支援のための専門機関の創設や人材開発も希求される。

## 参考文献

- 安達智子 (2022) 「若者のキャリア形成とジェンダー—社会正義からの再考—」『キャリア教育研究』第40巻第2号、39-44頁。
- 中央教育審議会 (2011) 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について (答申)」
- 中央教育審議会 (2023) 「次期教育振興基本計画について (答申)」
- 藤田晃之 (2021) 「アメリカの教育改革 (2) —働くための教育—」坂野慎二・藤田晃之編『改訂版 海外の教育改革』放送大学教育振興会、102-122頁。
- 濱口桂一郎 (2021) 『ジョブ型雇用社会とは何か—正社員体制の矛盾と転機』岩波書店。
- 石川裕之 (2018) 「韓国における教科外活動の概要とその特徴—『創意的体験活動』に注目して—」『畿央大学紀要』第15巻第2号、31-37頁。
- 石嶺ちづる (2017) 「1990年代以降のアメリカのハイスクールにおける職業教育改革の特徴 —『新しい3R's』の明確化とテック・プレップからプログラム・オブ・スタディへの転換—」『産業教育学研究』第47巻第1号、13-20頁。
- 一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート (2022) 『第10回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2021年報告書』
- 唐木清志 (2010) 『アメリカ公民教育におけるサービス・ラーニング』東信堂。
- 金鉉哲・三村隆男 (2016) 「日本と韓国におけるキャリア教育の展開」『進路指導』第89巻1号、3-11頁。
- 国立政策研究所生徒指導・進路指導研究センター (2013) 『キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査 第一次報告書』。
- 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター (2020a) 「職場体験・インターンシップ実施状況

等結果（平成 30 年度）」。

国立政策研究所生徒指導・進路指導研究センター（2020b）『キャリア教育に関する総合的研究 第一次報告書』。

久保田愛子・利根川明子・藤堂直弥（2021）「学校・教育環境の変化の経験と児童生徒への影響」『新型コロナウイルス感染症流行下における児童生徒の社会情緒的（非認知）能力をめぐる状況：流行初期に関する文献調査』国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター、33-88 頁。

京免徹雄（2016）「キャリア教育における『卒業生の体験発表会』の意義」『再分析から見えるキャリア教育の可能性—将来のリスク対応や学習意欲，インターンシップ等を例として—』国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター、39-43 頁。

京免徹雄（2019）「いつ、何が自己肯定感・学校適応感・高校生活期待感を育むか？」『質問紙調査結果に見る我が国児童生徒の意欲・態度等に関する調査研究報告書』国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター、359-378 頁。

京免徹雄（2021a）「キャリア教育における『日常』と『非日常』の相克—『キャリア教育に関する総合的研究』調査の経年比較に基づく考察—」『早稲田キャリア教育研究』第 1 巻、4-11 頁。

京免徹雄（2021b）『現代キャリア教育システムの日仏比較研究—学校・教師の役割とそれを支えるメカニズム—』風間書房。

京免徹雄（2023）「子どもと社会のウェルビーイングに向けた『ともに歩む』キャリア教育」『兵庫教育』第 74 巻第 11 号、4-7 頁。

アップル，M. W. ・ビーン，J. A. （2013）『デモクラティック・スクール』（澤田稔訳）、ぎょうせい。

松本麻人（2016）「韓国における中学校「自由学期制」の導入—キャリア教育振興のための制度的枠組みの形成—」『教育制度学研究』第 23 号、170-180 頁。

文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』東京書籍。

長沼豊（2008）『新しいボランティア学習の創造』ミネルヴァ書房。

西美江（2017）「アメリカ合衆国におけるキャリア・パスウェイの開発—地域パートナーシップに着目して—」『関西女子短期大学紀要』第 26 号、23-39 頁。

尾高邦雄（1941）『職業社会学』岩波書店。

園山大祐監修、園山大祐・田川千尋監訳、京免徹雄・小畑理香編著（2022）『教師の社会学：フランスにみる教職の現在とジェンダー』勁草書房。

寺田盛紀・紺田広明・清水和秋（2013）「高校生の職業観形成とその要因に関する比較教育文化的研究—6 か国における第 10 年次生に対するアンケート調査結果の分析から—」『キャリア教育研究』第 31 巻第 1 号、1-13 頁。

World Economic Forum（2022）*Global Gender Gap Report 2022: INSIGHT REPORT JULY 2022.*

# 高校生が持つ将来へのイメージと就労観

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター 研究員 大山 宏

## 1. 若者のライフコースへの視点

日本の若者がどのようなライフコースをたどるのかについては、これまでに様々な研究がなされてきており、その特殊性についても言及されてきた。乾彰夫は1960年代以降の企業社会の成立とともに、学校卒業後すぐに就職（正規雇用）するという状況が日本社会に広く定着していったと指摘し、こうした日本特有の〈学校から仕事へ〉の移行過程を「戦後日本型青年期」として論じている<sup>1</sup>。高度経済成長期以降、特に日本においては、就労への意識がライフコースへのイメージに大きく影響していたことが、こうした青年像・若者像から見て取ることができる。

一方で、乾自身も1990年代以降「戦後日本型青年期」が解体されてきたと論じているように、就労を基盤としたライフコースイメージは、現代では解体されてきていることも指摘されている。しかし、それでは今の若者たちは自身の将来をどのようにイメージし、今後どのように生きていくつもりであるのか、そしてその若者のライフコースにおいて、現代的な日本の特徴はどこにあるのかについては、まだ十分に議論されたとは言い難い状況にある。

そこで、本稿は2022年度に国立青少年教育振興機構が実施した「高校生の進路と職業意識に関する調査」の結果を基に考察を行い、高校生が将来に向けてどのようなイメージを持っているのか、そこに職業へのイメージをはじめ、どのような要素が関わっているのかを検討していく。この調査は高校生を対象に行われた意識調査であり、若者のライフコースそのものを明らかにするものではない。しかし、若者自身が将来にどのようなイメージを持ち得ているかを検討することは、ライフコースのあり方を考える際に重要なことである。特に、現在でも若者支援等で就労が重視されることの多い状況にあって、若者自身は自身の人生設計をどのように行っているのかを検討することは、社会全体での若者への向き合い方を問い直すことにもつながるだろう。

本稿では、調査票のうち主に【将来についての考え方】の各項目を用い、高校生が将来に向けて抱いているイメージ（目標の有無や不安の大きさ等）に、どのような要素が影響しているかを検討していく。また、各項目間の相関係数を表で示す場合、0.1以上または-0.1以下を小程度、0.3以上または-0.3以下を中程度、0.5以上または-0.5以下を大程度の相関関係として、相関関係が強く認められるほど濃い色で示している<sup>2</sup>。

表考察 2-1 日本の高校生が「とてもそう思う」と答えた割合の高低と将来のイメージの相関

		「とても そう思 う」と答 えた割合	自分の将来 について、 はっきり目 標をもって いる	今が楽しけ ればいいの で先のこと は考えない	自分の将来 に不安を感 じている	自分の将来 は明るい	
日本 の 選 択 率 が 最 も 高 か っ た 項 目	「仕事」のイメージ	生活のため	68.6%	-.067**	.047**	.175**	-.053**
		社会人としての義務	36.0%	.059**	-0.025	.125**	.041**
	職業選択時に重視すること	仕事環境	67.9%	.076**	-0.021	.111**	.074**
		安定性	65.9%	0.024	0.019	.114**	.034*
	仕事や生活に関する意識	興味や好み	64.1%	.165**	.038**	.045**	.153**
		のんびりと暮らしたい	49.4%	-.091**	.199**	.149**	-.048**
	自分自身について	社会に役に立つ仕事を	37.6%	.305**	-.139**	.046**	.243**
		仕事より趣味や自由な時間	35.7%	-.113**	.235**	.137**	-.059**
		学歴より技術や技能	29.6%	.134**	.088**	.054**	.128**
		今の生活には満足	33.0%	.160**	.067**	-.116**	.266**
	社会や経済について	自分はダメな人間だと思う	33.3%	-.060**	.066**	.412**	-.249**
		今の自分を変えたい	37.1%	.085**	-.046**	.326**	-.033*
	テクノロジーについて	周りの意見に影響される	28.9%	-.067**	.095**	.276**	-.091**
		日本で暮らすことに満足	51.8%	.102**	.037*	.073**	.160**
日 本 の 選 択 率 が 最 も 低 か っ た 項 目	「仕事」のイメージ	人とつながりの大切さは変わらない	49.7%	.145**	-0.026	.111**	.150**
		就職先や雇用機会が減る	26.4%	.116**	0.011	.177**	.056**
	「仕事」のイメージ	楽しい	18.8%	.353**	-.053**	-.065**	.306**
		つまらない	5.2%	-.271**	.204**	.140**	-.188**
	職業選択時に重視すること	社会的地位	13.5%	.058**	0.008	.034*	.102**
		積極的に転職	23.3%	.044**	.080**	.089**	.081**
	仕事や生活に関する意識	やりたいことには挑戦	22.5%	.349**	-.089**	-0.010	.271**
		地元で仕事や生活	17.0%	.108**	.033*	.039**	.094**
	自分自身について	できるだけ高い地位	13.1%	.094**	0.024	.044**	.175**
		自分の会社や店	8.5%	.061**	.080**	-0.020	.170**
	社会や経済について	望む仕事につけなくても我慢して働く	5.2%	-.039**	.080**	.084**	-0.006
		自分の能力・適性を知っている	14.4%	.325**	-0.011	-.126**	.343**
	テクノロジーについて	今の自分が好きだ	14.6%	.213**	.068**	-.180**	.433**
		相手が誰でも意見を言える	15.7%	.195**	.071**	-.090**	.262**
社会や経済について	今の社会は息苦しい	26.0%	.058**	.056**	.185**	-0.024	
	今の社会は貧富の差が大きい	31.9%	.100**	0.027	.158**	.044**	
テクノロジーについて	競争が激しい社会である	13.6%	.076**	.081**	.123**	.059**	
	日本の未来は明るい	4.7%	.114**	.105**	-.076**	.336**	
テクノロジーについて	社会は自分の力で変えられる	9.0%	.215**	0.004	-.042**	.306**	
	性別による役割の違いはやむを得ない	12.8%	0.023	.135**	.048**	.080**	
テクノロジーについて	変化するときが大きなチャンス	16.4%	.107**	.045**	.085**	.151**	
	情報を集めている	10.5%	.184**	.043**	0.027	.150**	
テクノロジーについて	私たちの生活は変わらない	4.4%	.055**	.197**	-0.028	.135**	

## 2. 日本の高校生の特徴

### 2-1. 回答の傾向と将来のイメージ

表考察 2-1 は【「仕事」のイメージ・職業選択時に重視すること・仕事や生活に関する意識・自分自身について・社会についての意識・テクノロジーの変化に関する意識】の各設問で、4か国の中で日本の高校生の「とてもそう思う」と答えた割合が最も高かった項目と低かった項目をそれぞれ一覧にし、【将来についての考え方】に関する各設問との相関係数を出したものである。また、日本の高校生の特徴を示す項目として、「とてもそう思う」と答えた高校生の割合が他のどの国とも10%以上離れていた項目は太字で示している。これらの項目の一覧をみると、日本の高校生は全体的に今の社会や生活に満足しており、趣味の時間等を大切にしながらのんびりと暮らしたいと考えている一方で、自己肯定感は低く、社会を変えられるとも思っていない。また、仕事は生活のためのもの、あるいは社会人としての義務のものと認識しており、仕事によって高い地位に就こうとも、独立して自分の会社や店を持つとも考えていない。そのためか、やりたくない仕事でも我慢して働くという意識は低く、最新の情報を集める等の積極的な行動もしていない。

豊泉周治は、1980年代から2000年代にかけての約20年間で、「他人に負けまいとがんばる」から「のんびりと自分の人生を楽しむ」へ、「望ましい生き方」であると若者自身に捉えられる生き方が変化し、これに伴って「幸福感」の内実も反転したことで、生活に満足し「幸福」だと感じる若者も増加してきたことを指摘しているが<sup>3</sup>、今回の調査結果はこの豊泉の指摘とある程度符合しているように思われる。ここでの「幸福感」の反転を、他者との競争に勝ち抜いたうえで獲得できる立身出世から、のんびりと生活する中で得られる即自的・反手段的（豊泉はコンサマトリーと論じている）への変化ととらえれば、社会的な地位への関心の低さや、店や会社を持つことへの意識の低さにも説明がつく。また、生活満足度とは別に社会への不満や無力感が高まっていることも豊泉は指摘するが、これも「日本の未来は明るい」や「社会は自分の力で変えられる」等の項目の極端な低さを見る限り当てはまっている。

そして、豊泉が日本の若者をめぐる課題として言及しているのが自己肯定感の低さであり、希望を持つことのできない社会のあり方であった。今回の調査結果でも「自分はダメな人間だと思ふ」と答えた割合は日本が最も高くなっている。若者をめぐる重要な論点として、これらの結果からは将来に希望を持つことができない構造があることが指摘できるであろう。実際に、日本の高校生が「そう思う」と答えた項目の多くは将来への不安との間に相関関係が確認されている（16項目中12項目）。就労に関する項目だけでなく、生活への意識や自己認識、テクノロジーへの意識等の項目でも将来への不安との相関関係が確認できるということからは、日本の高校生が日常的に感じていることが不安につながる構造ができていることがうかがえる。

### 2-2. コロナによる将来のイメージへの影響

2020年代に入って以降、新型コロナウイルスが世界各国に大きな影響を与えてきた。調査対象となっている4か国も、いずれも新型コロナウイルスの影響を受けており、社会のあり方が変化していくにつれて、若者のイメージする将来像も影響を受けてきたことが予想される。ただし、生活のこういった側面に影響があったのか、そしてそれによって若者は何を感じたのかは、国によって異なると思われる。そこで、近年の若者が持つ将来のイメージに影響を与えたであろう要因として、コロナの影響について検討しておきたい。

コロナによって生活のどのような面に影響があったと感じたかと、将来のイメージをどのように持っているかについて、相関係数を出した結果が表考察 2-2 である。この結果を見ると、日本ではコロナによる学習面・友人関係・経済状況への影響を感じている人ほど、将来への不安を感じていることが示されている。逆に言えば、学習の達成状況や安定した友人関係、経済状況の向上が、高校生が抱える不安を軽減していくことにつながると考えられる。

また、国別にみると、どの国でもコロナの影響が将来への不安につながっており、特に中国・韓国では全ての項目が将来の不安に結びついていることがわかる。また、中国・韓国では「先のことは考えない」という刹那的な志向にもつながっていることがうかがえるが、それ以外にはコロナによる明確な影響はみられなかった。これらのことから、コロナの影響は将来への不安の増

表考察 2-2 コロナの影響と将来のイメージ

		将来について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか				
		自分の将来について、はっきり目標をもっている	今が楽しければいいので先のことは考えない	自分の将来に不安を感じている	自分の将来は明るい	
の 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス の 感 染 が 拡 大 し て か ら い ま ま で 、 あ な た は 以 下	日 本	睡眠や食事などの生活習慣	-0.002	0.027	.082**	-0.012
		健康状況	.032*	.036*	.086**	0.011
		勉強や学習	0.026	-.041**	.130**	-.030*
		友人関係	0.017	0.018	.122**	-.033*
		家族との関係	-0.017	0.018	.075**	-.038**
		家の経済状況	-0.016	0.020	.114**	-.056**
		将来の進路	0.011	0.019	.097**	-.041**
	米 国	睡眠や食事などの生活習慣	-0.014	0.029	.118**	-0.042
		健康状況	-0.044	.048*	.116**	-.049*
		勉強や学習	0.020	0.009	.068**	-0.003
		友人関係	-0.024	-0.016	.097**	-0.033
		家族との関係	-0.037	0.001	.087**	-.070**
		家の経済状況	-.049*	0.014	.086**	-.120**
		将来の進路	-.074**	0.036	.151**	-.090**
	中 国	睡眠や食事などの生活習慣	0.011	.105**	.155**	-0.027
		健康状況	-0.017	.116**	.150**	-.042**
		勉強や学習	-0.025	.038*	.158**	-.080**
		友人関係	-0.005	.105**	.135**	-.041*
		家族との関係	-0.025	.088**	.136**	-.062**
		家の経済状況	-.039*	.058**	.141**	-.076**
		将来の進路	-.033*	.089**	.162**	-.042*
	韓 国	睡眠や食事などの生活習慣	.108**	.202**	.159**	-0.003
		健康状況	.087**	.164**	.128**	0.037
		勉強や学習	.065**	.104**	.192**	.049*
友人関係		0.042	.192**	.142**	0.001	
家族との関係		.061**	.255**	.122**	0.019	
家の経済状況		0.031	.213**	.113**	0.006	
将来の進路		.062**	.220**	.102**	0.038	

大につながっているが、中韓に比べて日米ではその影響は限定的であることがわかる。

自己認識に対するコロナの影響をみると(表考察2-3)、日本の高校生にとってコロナの影響は、複数の項目で今の生活満足度との間に相関関係が確認された。一方で他の3か国ではコロナの影響があるほど自己肯定感が低下する傾向があるが(「自分はダメな人間だと思ふことがある」)、日本では学習面と経済状況以外の項目では有意な関係性が見られなかった。学習と経済状況は将来への不安にも結びついてきた項目であり、日本ではこれらの項目が高校生の精神状況に比較的大きな影響を与えていた項目であると考えられる。

また、日本では「生活習慣」と「健康状況」の2項目については、他の3か国に比べて日本の高校生が受けた影響が小さかったわけではないにも関わらず(図6-1参照)、将来のイメージと現在

表考察 2-3 コロナの影響と自己認識

		あなた自身のことをお聞きします。									
		いまの生活には満足している	周りの人の意見に影響されるほうだ	自分はダメな人間だと思ふことがある	自分にはどのような能力・適性があるか知っている	今の自分が好きだ	今の自分を変えたい	自分には自分らしさがある	相手が誰でもあっても自分の意見を言える	見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする	
以下型のコロナ項目にうつりやすいと感じる、どのくらい大きな影響を受けましたか。あなたは	日本	睡眠や食事などの生活習慣	-.072**	.061**	.075**	0.005	-.035*	.073**	-0.012	0.013	0.016
		健康状況	-.043**	.076**	.072**	0.028	0.001	.089**	.036*	.030*	.058**
		勉強や学習	-.053**	.054**	.107**	0.023	-0.024	.126**	0.013	.036*	.069**
		友人関係	-.102**	.065**	.096**	0.017	-.046**	.081**	-.031*	0.003	.045**
		家族との関係	-.130**	.053**	.081**	0.006	-.053**	.064**	-.054**	0.002	0.016
		家の経済状況	-.119**	.067**	.121**	-0.004	-.054**	.079**	-.048**	-0.018	0.018
		将来の進路	-.106**	.064**	.085**	0.005	-.041**	.070**	-.050**	0.003	0.026
	米国	睡眠や食事などの生活習慣	-.108**	.095**	.171**	-0.028	-.153**	.099**	-0.006	0.005	0.034
		健康状況	-.124**	.090**	.154**	-.063**	-.142**	.156**	-.051*	-0.015	-0.009
		勉強や学習	-.055*	.110**	.154**	-0.021	-.057*	.098**	0.033	-0.004	0.024
		友人関係	-.093**	.114**	.157**	-0.013	-.112**	.125**	0.000	-.046*	0.025
		家族との関係	-.081**	.105**	.132**	-0.030	-.145**	.103**	-.069**	-0.018	-0.024
		家の経済状況	-.129**	0.039	.081**	-.110**	-.127**	.109**	-.103**	-0.039	-.092**
		将来の進路	-.112**	0.031	.107**	-.091**	-.115**	.114**	-.053*	-0.038	-.070**
	中国	睡眠や食事などの生活習慣	-.096**	.132**	.168**	-.045**	-.079**	-0.002	-.063**	0.007	-.047**
		健康状況	-.105**	.139**	.177**	-.052**	-.093**	0.008	-.094**	0.002	-.056**
		勉強や学習	-.136**	.117**	.158**	-.060**	-.127**	.039*	-.063**	-0.016	-.058**
		友人関係	-.117**	.133**	.153**	-.050**	-.094**	-0.001	-.091**	-0.009	-.072**
		家族との関係	-.144**	.132**	.176**	-.077**	-.111**	-0.004	-.119**	-0.030	-.086**
		家の経済状況	-.165**	.102**	.118**	-.091**	-.122**	.045**	-.089**	-0.020	-.067**
		将来の進路	-.117**	.134**	.147**	-.062**	-.093**	0.019	-.078**	-0.010	-.056**
	韓国	睡眠や食事などの生活習慣	.087**	.071**	.198**	0.018	-0.021	0.045	-0.029	-0.018	-0.001
		健康状況	.056*	.102**	.181**	.053*	0.038	.048*	0.020	0.019	0.024
		勉強や学習	0.041	.096**	.110**	.064**	.048*	.069**	.080**	.050*	.063**
友人関係		0.012	.066**	.222**	0.023	0.016	.071**	-0.024	-0.010	0.009	
家族との関係		0.043	.080**	.271**	0.021	-0.007	.084**	-0.005	-0.033	-0.012	
家の経済状況		0.000	.048*	.221**	0.036	-0.014	.080**	-0.008	-0.015	0.000	
将来の進路		0.040	.079**	.238**	0.045	0.020	.104**	0.013	0.019	0.027	



の考え方のいずれの項目とも相関関係が認められなかった。

### 3. 将来のイメージと就労

#### 3-1. 相関係数から

就業に対するイメージと将来のイメージに関する項目の相関関係を示したものが表考察 2-4 である。どの国でも「楽しい」「やりがいがある」といったプラスのイメージを持っているほど、将来の目標を持っていたり、将来に明るいイメージを持っていたりする割合が増える傾向にあり、日本でも比較的強い相関関係が確認されている。その一方で「苦しい」「つまらない」といった就業に対する負のイメージや、「生活のため」「社会人としての義務」といった義務感につながる項目は、将来への不安に結びつきやすいことが示されている。

これらの結果からは、どの国であっても就業へのイメージが将来のイメージ形成に強く影響していることがうかがえる。むしろ、相関関係が確認された項目の数を見るならば、日本よりも中国・韓国において就業へのイメージが将来のイメージ形成に大きく影響している。

表考察 2-4 将来のイメージと仕事のイメージの相関係数

		あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？					
		楽しい	苦しい	やりがいがある	つまらない	生活のため	社会人としての義務
日本	自分の将来について、はっきり目標をもっている	.353**	-.029*	.379**	-.271**	-.067**	.059**
	今が楽しければいいので先のことは考えない	-.053**	.094**	-.082**	.204**	.047**	-0.03
	自分の将来に不安を感じている	-.065**	.241**	0.01	.140**	.175**	.125**
	自分の将来は明るい	.306**	-.099**	.293**	-.188**	-.053**	.041**
米国	自分の将来について、はっきり目標をもっている	.247**	-.089**	.210**	-.192**	-.076**	-0.01
	今が楽しければいいので先のことは考えない	0.03	.103**	-.080**	.133**	.147**	0.01
	自分の将来に不安を感じている	-.088**	0.04	-0.01	.164**	.137**	.064**
	自分の将来は明るい	.267**	-.158**	.285**	-.177**	-.088**	0.00
中国	自分の将来について、はっきり目標をもっている	.401**	.146**	.386**	-.060**	-.043**	.145**
	今が楽しければいいので先のことは考えない	.155**	.115**	0.03	.307**	.272**	.140**
	自分の将来に不安を感じている	0.03	.207**	.038*	.256**	.272**	.154**
	自分の将来は明るい	.377**	.123**	.352**	-0.02	-0.02	.181**
韓国	自分の将来について、はっきり目標をもっている	.433**	0.00	.325**	-0.02	.107**	.168**
	今が楽しければいいので先のことは考えない	.143**	.299**	-0.03	.310**	0.02	0.03
	自分の将来に不安を感じている	0.01	.190**	.102**	.111**	.155**	.140**
	自分の将来は明るい	.329**	-0.01	.341**	0.00	.142**	.174**

次に、職業選択時に重視する項目と将来のイメージの相関関係について示したものが表考察 2-5 である。こちらでも日本よりも中国・韓国において、職業への意識と将来のイメージの間の相関関係が多様な項目で見いだされた。また米国では将来への目標を持っていることと、将来が明るいと思えることが、職業選択時に多様な要素を重視することと結びついている。

一方で、日本では「収入」「職場の所在地」「福利厚生」の各項目において、いかなる将来のイメージとも有意な相関関係を見出すことができず、将来の目標の有無や、将来に対する不安の大き

さは、職業選択時にこうした労働条件に関わる項目に影響していないことが示されている。また、将来の目標を持っていることは、「自分の興味や好み」「能力の発揮」「社会や人への貢献」「チャレンジできる」といった、自己実現的な内容の各項目と相関関係にある。これらの結果からは、日本の高校生が持つ将来のイメージの中で、就労については自分自身の適性に合った仕事ができるか、あるいは社会や他者に貢献できるかといった、自己実現的なイメージを持っている一方で、

表考察 2-5 将来のイメージと職業選択時に重視することの相関係数(国別)

		日本				米国			
		自分の将来について、はっきり目標をもっている	今が楽しいので先のことは考えない	自分の将来に不安を感じている	自分の将来は明るい	自分の将来について、はっきり目標をもっている	今が楽しいので先のことは考えない	自分の将来に不安を感じている	自分の将来は明るい
職業を選ぶにあたって、次のことをどのくらい重要視しますか。	収入	-.036*	.043**	.063**	.051**	.159**	0.004	.076**	.223**
	社会的地位	.058**	0.008	.034*	.102**	.056*	.065**	-0.020	.048*
	安定性	0.024	0.019	.114**	.034*	.182**	-.056*	.084**	.288**
	仕事の内容や仕方が自分で決められる	.047**	.102**	.029*	.091**	.173**	0.043	.072**	.207**
	自分の興味や好みに合っていること	.165**	.038**	.045**	.153**	.191**	-0.024	.073**	.283**
	働く時間の自由度(柔軟な労働時間配分)	-.066**	.111**	.089**	0.023	.093**	.089**	.068**	.167**
	能力の発揮	.188**	-.053**	.044**	.190**	.256**	-0.044	0.017	.319**
	社会や人のために役立ち、貢献できること	.298**	-.108**	.042**	.229**	.258**	-.047*	-0.005	.290**
	仕事の環境	.076**	-0.021	.111**	.074**	.188**	-0.010	.055*	.293**
	チャレンジできること	.248**	-.056**	0.000	.245**	.266**	-.051*	-.061**	.256**
	勤務地の場所・所在地	0.020	.037**	.063**	.060**	.087**	.046*	0.045	.119**
	勤務先の福利厚生	.054**	0.017	.095**	.051**	.182**	0.019	.065**	.236**
		中国				韓国			
		自分の将来について、はっきり目標をもっている	今が楽しいので先のことは考えない	自分の将来に不安を感じている	自分の将来は明るい	自分の将来について、はっきり目標をもっている	今が楽しいので先のことは考えない	自分の将来に不安を感じている	自分の将来は明るい
職業を選ぶにあたって、次のことをどのくらい重要視しますか。	収入	.175**	.138**	.214**	.124**	.109**	0.042	.132**	.172**
	社会的地位	.266**	.174**	.175**	.247**	.150**	.089**	.103**	.199**
	安定性	.199**	.058**	.189**	.145**	.114**	-0.035	.145**	.166**
	仕事の内容や仕方が自分で決められる	.265**	.099**	.135**	.225**	.178**	.048*	.088**	.234**
	自分の興味や好みに合っていること	.325**	.106**	.105**	.264**	.169**	-0.013	.095**	.250**
	働く時間の自由度(柔軟な労働時間配分)	.261**	.179**	.152**	.241**	.148**	0.028	.124**	.233**
	能力の発揮	.328**	.039*	.124**	.278**	.225**	-0.016	.119**	.263**
	社会や人のために役立ち、貢献できること	.325**	.038*	.108**	.308**	.205**	.066**	.120**	.267**
	仕事の環境	.281**	.113**	.138**	.242**	.122**	0.001	.124**	.215**
	チャレンジできること	.397**	.142**	.090**	.371**	.235**	.076**	.118**	.270**
	勤務地の場所・所在地	.277**	.182**	.188**	.276**	.133**	0.022	.126**	.200**
	勤務先の福利厚生	.191**	.194**	.213**	.189**	.116**	0.011	.135**	.189**

仕事を通してどの程度の報酬を受け取り、どういった生活をするかという面については具体的なイメージを持つことができていないように思われる。

### 3.2 【将来の目標】の内実

高校生の【将来の目標】は、具体的にどのような内容を含んでいるか、まず職業との関係性を検討するために、将来の目標の有無と、希望する職業の有無の相関係数を示したものが表考察 2-6 である。どの国も中程度以上の比較的強い相関を示すが、その中でも特に日本は大程度の相関関係を示しており、将来の目標に仕事が強くと結びついていることがわかる。

表考察2-6 将来の目標の有無と希望する職業の有無の相関係数

日本	米国	中国	韓国
.721**	.418**	.446**	.460**

一方で、日本では「収入」「職場の所在地」「福利厚生」等の、生活を成立させる要件と、目標の有無を含めた将来のイメージとの間で有意な相関関係が確認できておらず（表考察 2-5）、仕事に就くことは重視している一方で、労働条件はあまり将来の目標に結びついていないことが示されている。特に「収入」と将来の目標の有無の関係性については、米中韓の3か国ではいずれも有意な正の相関関係が確認でき、収入を重視するほど目標を持つ人の割合も増加していることがわかる。言い換えれば、これらの3か国では収入を得ること（おそらくはそれで一定の生活水準を維持すること）が目標の一部に含みこまれていることがうかがえる一方で、日本のみ負の相関関係が見られ、目標を持っているほど収入を重視する人が減少するという結果が示されている。このことから「目標」として認識されている内容が他の3か国とは異なっており、他国ではどの程度の収入（報酬）を得るかも含めての目標となっているが、日本ではそれとは別の部分で目標が捉えられていると考えられる。

では、日本の高校生が考える「目標」の内実とは何であろうか。将来の目標の有無と【仕事や生活に関する意識】・【自分自身について】・【社会や経済についての考え】の各項目の相関係数を示したものが表考察 2-7 である。比較的強い相関関係が確認される項目からは、自身の能力や適性を発揮し、困難なことにも挑戦し、社会に貢献していくことが「目標」に関わっていることが示唆されている。特に「自分にはどのような能力・適性があるか知っている」という項目は、どの国でも強い相関を示しており、自身の能力を把握し、発揮していくことが目標のあり方に強く関わっていることが示されている。逆に高い地位に就くことや、社会全体の経済的発展などは、他の3か国では相関関係が確認される一方で日本では有意な関係性が見出されなかった。特に「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」という項目では、他の3か国では正の相関が確認できる一方で、日本では弱いとはいえ負の相関が示されており、日本では望まない仕事に従事することは目標から遠ざかることと認識されている。

また、「社会に役立つ仕事をしたい」の他にも、「国や社会のために自分も貢献していきたいと思う」や「社会は自分の力で変えていくことができると思う」等の、「社会」への意識に関わる項目は、どの国でも「目標」との間に比較的強い正の相関を示しており、将来の「目標」の内実に「社会」へのアプローチの意識が含まれていることが示されている。

表考察 2-7 将来の目標の有無と各種意識調査の項目の相関係数

		自分の将来について、はっきり目標をもっている			
		日本	米国	中国	韓国
仕事や生活に関する意識	やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい	.349**	.317**	.452**	.416**
	若いうちはいろいろな仕事を経験したい	.171**	.098**	.358**	.306**
	暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい	-.091**	0.015	.126**	0.045
	仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい	-.113**	-.114**	.261**	.105**
	自分の会社や店を作りたい	.061**	.084**	.314**	.140**
	学歴より技術や技能を身につけることが大事だ	.134**	.111**	.283**	.151**
	周りに反対されても自分がやりたいことをしたい	.257**	.232**	.369**	.242**
	地元で仕事や生活をしたい	.108**	0.013	.212**	.187**
	社会に役に立つ仕事をしたい	.305**	.240**	.419**	.254**
	できるだけ高い地位に就きたい	.094**	.208**	.326**	.163**
	よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい	.044**	.093**	.300**	.160**
	望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ	-.039**	.100**	.248**	.141**
自分自身について	いまの生活には満足している	.160**	.263**	.436**	.379**
	周りの人の意見に影響されるほうだ	-.067**	-.053*	.096**	.176**
	自分はダメな人間だと思ふことがある	-.060**	-.051*	0.020	0.033
	自分にはどのような能力・適性があるか知っている	.325**	.336**	.534**	.385**
	今の自分が好きだ	.213**	.270**	.470**	.352**
	今の自分を変えたい	.085**	0.019	.247**	.075**
	自分には自分らしさがある	.235**	.255**	.507**	.345**
	相手が誰であっても自分の意見を言える	.195**	.241**	.462**	.361**
	見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする	.260**	.272**	.503**	.358**
社会や経済についての考え	今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする	.058**	.097**		.192**
	将来は今よりも経済的に発展していると思う	.065**	.230**		.224**
	国や社会のために自分も貢献していきたいと思う	.262**	.272**		.301**
	社会は自分の力で変えていくことができると思う	.215**	.304**		.293**
	いまの社会は貧富の差が大きい	.100**	.060**		.093**
	日本の未来は明るい	.114**	.176**		.225**
	日本は競争が激しい社会である	.076**	.147**		.090**
	日本で暮らすことに満足している	.102**	.230**		.232**
	性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない	0.023	.080**		.140**

ただし、日本では「社会」に対する意識も労働条件と結びつきにくくなっていることが示唆される。表考察 2-8 は「社会に役立つ仕事をしたい」と職業選択時に重視することを聞いた各項目の相関係数を示している。これをみると、日本のみ「収入」「仕事の興味や好みに合っていること」「働く時間の自由度」との間で有意な関係性がみられず、仕事の社会的な役割や価値が、報酬としての収入に結びつくとは考えられていないことが示されている。また「仕事の内容や仕方が自分で決められる」・「働く時間の自由度」との間にも有意な関係性は確認できず、自己裁量の大きさも「社会」への意識に結びついていない。

表考察 2-8 「社会に役立つ仕事をしたい」と職業選択時に重視することの相関係数

		社会に役に立つ仕事をしたい			
		日本	米国	中国	韓国
職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか。	収入	0.008	.149**	.187**	.180**
	社会的地位	.119**	.088**	.263**	.296**
	安定性	.133**	.258**	.285**	.281**
	仕事の内容や仕方が自分で決められる	.062**	.193**	.317**	.297**
	自分の興味や好みに合っていること	.184**	.304**	.373**	.285**
	働く時間の自由度（柔軟な労働時間配分）	0.022	.183**	.297**	.277**
	能力の発揮	.286**	.344**	.434**	.341**
	社会や人のために役立ち、貢献できること	.701**	.580**	.613**	.488**
	仕事の環境	.199**	.338**	.341**	.303**
	チャレンジできること	.372**	.281**	.459**	.333**
	勤務地の場所・所在地	.107**	.164**	.313**	.277**
	勤務先の福利厚生	.143**	.280**	.237**	.257**

## 2. まとめ：日本の高校生が描く将来像

日本の高校生の将来へのイメージがどのように形成されているのかを検討すると、特徴の一つに就労と将来の目標の関係性があげられる。日本の高校生は、将来のイメージを持つ過程の中で就労を重視している一方で、何を目標とするかについては他の3か国とは異なる傾向がある。「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」や、就労時に「収入」を重視するという意見は、他の3か国では「目標」と正の相関を示しており、労働の対価を用いて「目標」を達成するイメージがあると考えられるが、日本のみ負の相関が確認され、「目標」において労働の対価が重視されているとは言い難い結果となっている。

しかし一方で、日本の高校生は労働だけを重視しているのではなく、むしろ仕事よりも趣味や自由な時間を大切にし、のんびり生活していきたいと考える割合が多い。それにも関わらず、「目標」が「収入」等の労働条件と正の相関にならないということからは、日本の高校生は生活できる資源があればそれ以上を求めなくなっていることが示されているように思われる。ただし、これは日本の高校生が収入を軽視しているということではなく、むしろ「生活のため」に働くと回答している割合は4か国中で最も多いことから考えても、「目標」として言及する必要もない程度に、日本の高校生にとって生活を成立させることは将来のイメージにおける基盤として認識されているとも考えられる。

こうした若者のあり方は、豊泉が指摘するコンサマトリーな生き方を志向する若者像とも結びつくものであり、同時に豊泉が指摘する、社会に対する不満や無力感といった課題にも当てはまっているように思われる。日本の高校生は「日本の将来は明るい」とも、「社会は自分の力で変えていくことができると思う」とも考えていない。また、社会に貢献するような活動をしたところで収入が増えるとも考えていないことから、仮に社会に影響を与えるような活動ができたところ

で、それを評価されるとは思っていないことが示唆される。仕事における自己裁量の大きさが「社会」への意識に結びついていないことも踏まえれば、日本の高校生が考える「社会」への関わり方は、自分で主体的に考え、関わろうとするものではなく、事前に関わり方を示された方針等に従い、その中で貢献をしていくイメージが持たれているのではないかと考えられる。

改めて、ライフコースとしてどのような生き方が想定されているのかに触れるならば、何らかの仕事につき、生活を成立させるために必要な収入を得ることは、生きていくための基盤として位置付けられているように考えられる。しかし一方で、それ以上の高い収入や地位は求めておらず、高収入でなくとも興味があり、能力を発揮できる仕事をする中で、仕事の内容を通して目標を達成していくことが期待されている。また、その目標の中には社会や他者への貢献も含まれているが、ここでの貢献は求められる役割を果たしていくことだと考えられ、社会の構造そのものを問い直すような視点がどの程度含みこまれているかは懸念されることである。

また、日本の高校生が特に強く抱えている将来への不安については、就労関係だけでなく日常的に感じる様々な場面が不安に結びついていることが示されており、社会状況や生活環境から不安を感じやすい状況に置かれていることが危惧されるが、具体的に何が不安に結びついているのかは今回の調査結果からは明らかにされていない。今後さらなる検討が必要である。

---

#### 注釈・参考文献

<sup>1</sup> 乾彰夫 (2010), 「〈学校から仕事へ〉の変容と若者たち 個人化・アイデンティティ・コミュニティ」, 青木書店

<sup>2</sup> 相関分析によって効果量を測定する際の大きさの目安は、Cohen.J. に依拠している。Cohen.J. (1992) . A power primer. *Psychological Bulletin*, 112, 155-159.

<sup>3</sup> 豊泉周治 (2010), 「若者のための社会学 希望の足場をかける」, はるか書房

## 高校生における肯定的な職業イメージに関連する活動や学習内容の検討

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター 研究員 矢野 康介

## 1. 背景と目的

従来の調査研究において、日本人は他国の人々と比較して、将来に対するポジティブな意識を持ちにくく、ネガティブな意識を持ちやすいことが報告されてきた。例えば、日本、オランダ、コスタリカの成人を対象とした心理学調査では、3ヶ国間における楽観性（ポジティブな結果を期待する傾向）や悲観性（ネガティブな結果を期待する傾向）の程度を比較している<sup>1)</sup>。その結果、日本人は他国の人々よりも楽観性が低いことに加え、悲観性が高いことが明らかとなっている。若者を対象とした調査においても、類似の傾向が見受けられる。内閣府<sup>2)</sup>は平成30年度に、日本、韓国、米国、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンの13～29歳より得られたデータを集計し、主に以下の結果を報告している。すなわち、①自分の将来を心配している割合は、日本（78.1%）が韓国（82.3%）に次いで2番目に多いこと（その他多い順に、フランス：66.7%、米国：63.4%、イギリス：63.2%、ドイツ：56.1%、スウェーデン：49.1%）、②自分の将来について明るい希望を持っていない割合は、日本（39.4%）が最も多く、他国に大きな差をつけていること（多い順に、韓国：22.3%、ドイツ：18.3%、フランス：15.8%、イギリス：11.6%、スウェーデン：11.0%、米国：7.5%）、さらに③自分が40歳になったときに幸せだと思えるかどうかを尋ねる項目では、日本（63.9%）が最も少ない割合を示したこと（多い順に、米国：86.6%、フランス：86.2%、イギリス：84.8%、ドイツ：84.7%、スウェーデン：79.2%、韓国：74.6%）といった3点である。このように、青年期も含めた様々な年代において、日本人は他国の人々よりも自身の将来に対して、ネガティブな意識を持ちやすいと考えられている。しかしながら、ネガティブな将来観は抑うつや不安の高さといった内面の問題に加えて、責任転嫁や諦めといった行動上の問題と関連することが指摘されていることを踏まえると<sup>3)</sup>、その低減に向けた知見を提供することは有意義であるものと期待される。

若者が有する将来観のうち、職業イメージは、特に重要な位置づけであると考えられる。上述の内閣府<sup>2)</sup>の調査では、日本の若者が抱える悩みや心配事の内容について詳細に検討している。その結果、「仕事のこと」や「就職のこと」を心配していると回答した割合は、それぞれ14項目中3番目（70.8%）と4番目（67.7%）に多く、「友人や仲間のこと」（38.3%）、「異性との交際のこと」（45.3%）といった人間関係に関する内容や、「健康のこと」（56.3%）、「体力のこと」（54.9%）といった健康面の内容を上回っていた。内閣府<sup>4)</sup>が実施した別の調査においても、「きちんと仕事ができるか」を不安に思っていると回答した割合は70%を超えており、日本で生活する大半の若者は、「仕事」や「働くこと」にネガティブなイメージを有していることが窺える。本調査の問10においても、「楽しい」「やりがいがある」といった積極的なイメージを有する傾向にあった米国の高校生とは対照的に、日本の高校生は「生活のため」「社会人としての義務」のように、消極的なイメージを有する傾向が示された（図3-8）。このような日本の高校生の特徴は、問14の「暮

らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」や「仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」といった項目の結果からも支持されていると言えよう（図3-12）。

以上のような状況を踏まえると、高校生がポジティブな職業イメージ、ひいては将来観を持てるようになることは、現在や将来における心身の問題改善や well-being の向上にもつながる可能性がある。そこで本稿では、高校生のポジティブな職業イメージに関連する要因を明らかにするため、本調査のデータについて追加分析を行った。具体的には、回答者がこれまでにやってきた、自身の進路に関する活動や学習状況に注目し、それぞれへの取り組みの有無に応じて、ポジティブな職業イメージに差異があるかどうかを検討することを目的とした。

## 2. 方法

### 2.1. 調査対象者

調査対象者は、日本が 4822 名（男性 2266 名、女性 2412 名、その他・無回答 144 名；平均学年 = 1.91、標準偏差 = 0.82）、米国が 1874 名（男性 902 名、女性 913 名、その他・無回答 59 名；平均学年 = 1.99、標準偏差 = 0.81）、中国が 3772 名（男性 1801 名、女性 1971 名；平均学年 = 1.83、標準偏差 = 0.81）、韓国が 1814 名（男性 769 名、女性 861 名、その他・無回答 184 名、平均学年 = 2.04、標準偏差 = 0.78）であった。調査の方法や手続きについては、本報告書 p. 3 を参照されたい。

### 2.2. 分析に使用した項目

#### 2.2.1. 「仕事」や「働くこと」のイメージ

職業イメージの指標として、問 10 の 6 項目を使用した。この設問では、「あなたにとって『仕事』や『働くこと』はどのようなイメージですか？以下のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。（○は1つずつ）」という教示文を呈示し、【a. 楽しい】、【b. 苦しい】、【c. やりがいがある】、【d. つまらない】、【e. 生活のため】、【f. 社会人としての義務】の各項目について、「1. とてもそう思う」から「4. 全くそう思わない」の4件法で評価するよう、回答者に求めた。ただし、本稿では分析結果の解釈を容易にする目的から、「1. 全くそう思わない」から「4. とてもそう思う」となるように逆転処理を行ったうえで分析に使用した。

#### 2.2.2. 進路に関する活動への取り組み

職業イメージへの関連が想定される、進路選択に関する活動内容として、問 6 の 5 項目を使用した。この設問では、「あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）にかかわる次のような活動に関心がありますか？また、そのような活動に取り組んでいますか。あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。（『関心』と『取組』で○は1つずつ）」という教示文を呈示し、【a. 職業について調べること】、【b. 職場の見学】、【c. 就業体験（インターンシップ）】、【d. ボランティア活動】、【e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集】の各項目について、「している」または「していない」の2件法で評価するよう、回答者に求めた<sup>1</sup>。

#### 2.2.3. 進路に関する学習の内容

職業イメージへの関連が想定される、将来の生き方や進路に関する学習内容として、問 7 の 8 項目を使用した。この設問では、「将来の生き方や進路について、あなたが次のことを学習したこ

---

<sup>1</sup> 本節では「取り組み」の内容に焦点を当てていることから、「関心」に関する回答は分析対象外とした。



とがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)」という教示文を呈示し、【a. 自分の個性や適性(向き・不向き)】、【b. 職業の種類や内容】、【c. 学ぶことや働くことの意義】、【d. 進路選択の方法】、【e. 進路に関する不安や悩みへの対処法】、【f. 社会人・職業人としての常識やマナー】、【g. 近年の若者の就業の動向】、【h. 労働に関する法律や制度(労働者の権利など)】の各項目について、「学習したことがある」または「学習したことがない」の2件法で評価するよう、回答者に求めた。

#### 2.2.4. 統制変数

本節で注目した各変数、すなわち、職業イメージや進路に関するさまざまな取り組み、学習内容については、①学年(問1)、②性別(問2)、③主観的経済状況(問20)、④学業成績(問21)に応じて異なる可能性が想定される。そこで、これら4つの要因を統制変数として分析に用いることにより、これらの影響を取り除いたうえで、職業イメージに関連する活動や学習内容を検討することとした。

#### 2.3. 分析手続き

本稿の目的に沿い、まず、肯定的な職業イメージを構成する具体的な因子を抽出するため、『仕事』や『働くこと』のイメージに関する6項目を対象に探索的因子分析を行った。次に、肯定的な職業イメージに関連する活動内容を検討するため、肯定的な職業イメージ得点を従属変数、進路に関するいずれかの活動への取り組みの有無を独立変数、上記4つの統制変数およびその他の活動への取り組みの有無を共変量に指定した、共分散分析を実施した。同様に、進路に関する学習のいずれかの内容の有無を独立変数、4つの統制変数とその他の学習内容の有無を共変量に指定した共分散分析を行った。なお、共分散分析は各国のサンプルごとに実行した。

以上の分析には、Mplus8.3<sup>5)</sup> および HAD18.0<sup>6)</sup> を使用し、統計的有意水準は5%に設定した。ただし、統計的仮説検定の文脈で用いられる  $p$  値はサンプルサイズに影響されやすいため、実質的には変数間の関連や群間の差が弱い(小さい)場合であっても、本調査のように大規模サンプルを扱う分析では、統計的に有意な値が得られやすい(つまり、 $p$  値が小さくなりやすい)ことが指摘されている<sup>7)</sup>。そこで本節の結果を解釈するにあたっては、Cohen's  $d$  の値も参照することとした。この指標は、特定の変数における2群間の差を表す効果量であり、例えば、①特定の活動に取り組んでいる回答者と②取り組んでいない回答者間の肯定的な職業イメージの差の大きさを示す。本節では、Cohen<sup>8)</sup> が推奨する基準に倣い、Cohen's  $d$  が0.20以上を示し、なおかつ  $p$  値が.05未満であった活動や学習内容について、結果の解釈に進むこととした。また、欠損データはペアワイズ除去によって処理した。

### 3. 結果

#### 3.1. 職業イメージを構成する因子の抽出

『仕事』や『働くこと』のイメージを尋ねた6項目について、探索的因子分析(ロバスト重みづけ最小二乗法・プロマックス回転)を行った。固有値の推移は第1因子から順に、2.17、1.70、0.80、0.54、0.48、0.31であったことから、ガットマン基準(固有値が1以上の因子を採用するという基準)に従い、2因子構造を採用した。ただし、【d. つまらない】という項目は、2つの因子に対する負荷量の絶対値が.30以上を示したため、分析から除外し、残った5項目で再度分析を実行した(表考察3-1)。各因子を構成する項目内容に鑑み、第1因子を肯定的な職業イメージ

と解釈した。すなわち、【a. 楽しい】と【c. やりがいがある】の合計得点を算出し、以降の分析に用いることとした。

表考察 3-1 探索的因子分析の結果(ロバスト重みづけ最小二乗法・プロマックス回転)

	第1因子	第2因子	共通性
a. 楽しい	.82	-.12	.68
c. やりがいがある	.78	.10	.63
e. 生活のため	-.11	.75	.57
f. 社会人としての義務	.16	.65	.46
b. 苦しい	-.06	.40	.17

### 3.2. 肯定的な職業イメージに関連する活動内容の検討

各国のサンプル別に、肯定的な職業イメージを従属変数、進路に関する活動への取り組みの有無を独立変数とした共分散分析を実施した(表考察 3-2)。その結果、日本では、すべての活動において、「取り組んでいる」と回答した高校生は、「取り組んでいない」と回答した高校生と比較して、肯定的な職業イメージ得点が有意に高かった。特に、【a. 職業について調べること】【b. 職場の見学】【c. 就業体験(インターンシップ)】の3項目では、一定以上の差(効果量)が認められた(Cohen's  $d = .20-.47$ )。米国では、【a. 職業について調べること】への取り組みの有無による有意な差が認められたものの、効果量の基準は満たさなかった( $d = .12$ )。中国では、【b. 職場の見学】を除く4つの活動において、取り組みの有無による肯定的な職業イメージ得点の有意な差が認められた。このうち、【a. 職業について調べること】と【d. ボランティア活動】において、一定以上の効果量が示された( $d = .22-.24$ )。最後に、韓国では、【e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集】を除く4つの活動において、取り組みの有無による肯定的な職業イメージ得点の有意な差が認められた。このうち、【a. 職業について調べること】と【b. 職場の見学】で一定以上の効果量が示された( $d = .22-.38$ )。

### 3.3. 肯定的な職業イメージに関連する学習内容の検討

各国のサンプル別に、肯定的な職業イメージを従属変数、進路に関するさまざまな内容の学習の有無を独立変数とした共分散分析を実施した(表考察 3-3)。その結果、日本では、【a. 自分の個性や適性(向き・不向き)】【b. 職業の種類や内容】【c. 学ぶことや働くことの意義】【e. 進路に関する不安や悩みへの対処法】【f. 社会人・職業人としての常識やマナー】について学習した経験を有する高校生は、経験を持たない高校生よりも、肯定的な職業イメージ得点が有意に高かった。このうち、【b. 職業の種類や内容】においてのみ、一定以上の差(効果量)が認められた(Cohen's  $d = .39$ )。米国では、いずれの内容に関する学習経験も、肯定的な職業イメージ得点と有意な関連を示さなかった。中国では、【a. 自分の個性や適性(向き・不向き)】【c. 学ぶことや働くことの意義】【e. 進路に関する不安や悩みへの対処法】【h. 労働に関する法律や制度(労働者の権利など)】について学習経験を有する高校生は、有意に高い肯定的な職業イメージ得点を示した。このうち、【c. 学ぶことや働くことの意義】【e. 進路に関する不安や悩みへの対処法】において、一定以上の効果量が示された( $d = .23$ )。最後に、韓国では、【a. 自分の個性や適性

(向き・不向き)】【c. 学ぶことや働くことの意義】【e. 進路に関する不安や悩みへの対処法】【f. 社会人・職業人としての常識やマナー】【h. 労働に関する法律や制度（労働者の権利など）】について学習経験を有する高校生は、有意に高い肯定的な職業イメージ得点を示した。このうち、【a. 自分の個性や適性（向き・不向き)】【c. 学ぶことや働くことの意義】【h. 労働に関する法律や制度（労働者の権利など）】の3項目で、一定以上の効果量が示された ( $d = .21-.31$ )。

表考察 3-2 将来の生き方や進路にかかわる活動への取り組みの有無による肯定的イメージの比較

	日本		米国		中国		韓国	
	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組んでいる	取り組んでいない
a. 職業について調べること	6.38 (1.27)	5.80 (1.32)	6.42 (1.62)	6.22 (1.65)	6.23 (1.43)	5.94 (1.56)	6.12 (1.42)	5.61 (1.44)
	$F(1, 4639) = 189.23^{**}$ Cohen's $d = .47$		$F(1, 1864) = 5.61^*$ Cohen's $d = .12$		$F(1, 3762) = 23.75^{**}$ Cohen's $d = .22$		$F(1, 1676) = 48.38^{**}$ Cohen's $d = .38$	
b. 職場の見学	6.43 (1.41)	6.17 (1.27)	6.33 (1.72)	6.36 (1.66)	6.16 (1.88)	6.14 (1.70)	6.12 (1.68)	5.82 (1.42)
	$F(1, 4639) = 17.68^{**}$ Cohen's $d = .22$		$F(1, 1864) = 0.11$ Cohen's $d = .02$		$F(1, 3762) = 0.06$ Cohen's $d = .01$		$F(1, 1676) = 10.35^{**}$ Cohen's $d = .22$	
c. 就業体験 (インターンシップ)	6.42 (1.41)	6.18 (1.25)	6.35 (1.73)	6.35 (1.62)	6.27 (1.93)	6.07 (1.73)	6.08 (1.61)	5.84 (1.41)
	$F(1, 4639) = 9.49^{**}$ Cohen's $d = .20$		$F(1, 1864) = 0.002$ Cohen's $d = .003$		$F(1, 3762) = 7.55^{**}$ Cohen's $d = .15$		$F(1, 1676) = 5.90^*$ Cohen's $d = .18$	
d. ボランティア活動	6.37 (1.28)	6.17 (1.25)	6.34 (1.64)	6.35 (1.64)	6.31 (1.59)	5.99 (1.58)	6.00 (1.44)	5.83 (1.40)
	$F(1, 4639) = 16.87^{**}$ Cohen's $d = .17$		$F(1, 1864) = 0.02$ Cohen's $d = .008$		$F(1, 3762) = 30.34^{**}$ Cohen's $d = .24$		$F(1, 1676) = 4.99^*$ Cohen's $d = .13$	
e. 大学など進学したい 学校の見学や情報収集	6.25 (1.28)	6.10 (1.32)	6.40 (1.62)	6.23 (1.68)	6.22 (1.46)	5.99 (1.59)	5.91 (1.43)	5.87 (1.43)
	$F(1, 4639) = 12.06^{**}$ Cohen's $d = .12$		$F(1, 1864) = 3.66$ Cohen's $d = .11$		$F(1, 3762) = 14.67^{**}$ Cohen's $d = .17$		$F(1, 1676) = 0.37$ Cohen's $d = .03$	

Notes. その他の活動への取り組みの有無、性別、学年、学業成績、主観的経済状況を共変量として分析に用いた。 $F$ 値は各取り組みの有無における主効果の統計量を表す。なお、有意な差が認められた取り組みは背景をグレーで、一定以上の効果量が示された取り組みは太字で示した。

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$

表考察 3-3 将来の生き方や進路についての学習の有無による肯定的イメージの比較

	日本		米国		中国		韓国	
	学習経験	学習経験	学習経験	学習経験	学習経験	学習経験	学習経験	学習経験
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
a. 自分の個性や適性 (向き・不向き)	6.25 (1.29) $F(1, 4652) = 16.26^{**}$ Cohen's $d = .15$	6.07 (1.33)	6.39 (1.62) $F(1, 1861) = 2.11$ Cohen's $d = .08$	6.26 (1.67)	6.22 (1.47) $F(1, 3759) = 9.61^{**}$ Cohen's $d = .13$	6.04 (1.54)	<b>6.02</b> <b>(1.42)</b> $F(1, 1774) = 15.46^{**}$ Cohen's $d = .25$	<b>5.69</b> <b>(1.56)</b>
b. 職業の種類や内容	<b>6.27</b> <b>(1.27)</b> $F(1, 4652) = 67.02^{**}$ Cohen's $d = .39$	<b>5.79</b> <b>(1.37)</b>	6.33 (1.66) $F(1, 1861) = 0.28$ Cohen's $d = .03$	6.38 (1.70)	6.19 (1.60) $F(1, 3759) = 2.40$ Cohen's $d = .07$	6.10 (1.58)	5.91 (1.43) $F(1, 1774) = 0.50$ Cohen's $d = .04$	5.97 (1.55)
c. 学ぶことや働くことの 意義	6.25 (1.30) $F(1, 4652) = 15.28^{**}$ Cohen's $d = .15$	6.07 (1.39)	6.39 (1.63) $F(1, 1861) = 2.88$ Cohen's $d = .10$	6.24 (1.70)	<b>6.27</b> <b>(1.53)</b> $F(1, 3759) = 27.51^{**}$ Cohen's $d = .23$	<b>5.96</b> <b>(1.61)</b>	<b>6.10</b> <b>(1.46)</b> $F(1, 1774) = 27.67^{**}$ Cohen's $d = .31$	<b>5.69</b> <b>(1.51)</b>
d. 進路選択の方法	6.21 (1.27) $F(1, 4652) = 1.58$ Cohen's $d = .06$	6.15 (1.37)	6.41 (1.72) $F(1, 1861) = 2.07$ Cohen's $d = .08$	6.28 (1.74)	6.18 (1.60) $F(1, 3759) = 1.10$ Cohen's $d = .05$	6.11 (1.62)	5.94 (1.43) $F(1, 1774) = 0.14$ Cohen's $d = .02$	5.91 (1.48)
e. 進路に関する不安や悩み への対処法	6.24 (1.35) $F(1, 4652) = 4.15^*$ Cohen's $d = .07$	6.16 (1.35)	6.31 (1.75) $F(1, 1861) = 0.65$ Cohen's $d = .04$	6.38 (1.72)	<b>6.32</b> <b>(1.61)</b> $F(1, 3759) = 27.40^{**}$ Cohen's $d = .23$	<b>6.02</b> <b>(1.54)</b>	6.02 (1.45) $F(1, 1774) = 5.72^*$ Cohen's $d = .13$	5.85 (1.44)
f. 社会人・職業人としての マナー	6.29 (1.30) $F(1, 4652) = 32.23^{**}$ Cohen's $d = .19$	6.06 (1.33)	6.35 (1.71) $F(1, 1861) = 0.001$ Cohen's $d = .002$	6.35 (1.70)	6.19 (1.52) $F(1, 3759) = 3.38$ Cohen's $d = .08$	6.09 (1.57)	6.03 (1.46) $F(1, 1774) = 5.62^*$ Cohen's $d = .13$	5.85 (1.44)
g. 近年の若者の就業の動向	6.25 (1.37) $F(1, 4652) = 1.85$ Cohen's $d = .05$	6.19 (1.30)	6.35 (1.73) $F(1, 1861) = 0.000$ Cohen's $d = .000$	6.35 (1.70)	6.15 (1.57) $F(1, 3759) = 0.007$ Cohen's $d = .004$	6.14 (1.57)	5.96 (1.44) $F(1, 1774) = 0.77$ Cohen's $d = .05$	5.90 (1.43)
h. 労働に関する法律や制度 (労働者の権利など)	6.18 (1.31) $F(1, 4652) = 1.47$ Cohen's $d = .04$	6.23 (1.32)	6.36 (1.77) $F(1, 1861) = 0.07$ Cohen's $d = .02$	6.25 (1.68)	6.21 (1.55) $F(1, 3759) = 4.56^*$ Cohen's $d = .09$	6.09 (1.55)	<b>6.08</b> <b>(1.44)</b> $F(1, 1774) = 15.22^{**}$ Cohen's $d = .21$	<b>5.80</b> <b>(1.42)</b>

Notes. その他の内容の学習有無、性別、学年、学業成績、主観的経済状況を共変量として分析に用いた。F値は各取り組みの有無における主効果の統計量を表す。なお、有意な差が認められた学習内容は背景をグレーで、一定以上の効果量が示された学習内容は太字で示した。

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$

## 4. 考察

### 4.1. 日本の高校生における特徴

本稿で行った追加分析により、各国の高校生において、肯定的な職業イメージに関連を持つ活動や学習の内容が明らかとなった。具体的には、日本では、【職業について調べること】【職場の見学】【就業体験（インターンシップ）】（いずれも問6）といった活動に取り組んでいる高校生や、【職業の種類や内容】（問7）について学習した経験を有する高校生が、肯定的な職業イメージをより強く持つ傾向にあることが示唆された。他国の結果と比較すると、まず【職業について調べること】は、中国、韓国でも同様の結果が得られた（表考察3-2）。図2-2に注目すると、いずれの国においても、【職業について調べること】に取り組んでいる割合は他の活動よりも概ね高いことが示されている。つまり、高校生が自身の進路について考える際、本調査で尋ねた5項目の中で多くの高校生が最初に取り組む、初歩的な活動であると考えられる。

次に、【職場の見学】は韓国においても、肯定的な職業イメージの強さに関連していた。大学生を対象としたキャリア教育の効果を検証した平野<sup>9)</sup>は、職場の業務を見学することが、業種や職種に対する理解を促進することを報告している。本調査における日本と韓国の回答者は、【職場の見学】によって当該職種への理解が深まり、楽しさややりがいを見出すきっかけになったものと推察される。その一方で、中国と米国では【職場の見学】に取り組んでいる割合が日本や韓国よりも高いものの（34.4-38.7%；図2-2）、それが必ずしも肯定的な職業イメージには結び付いていなかった。取り組んでいる割合が多いがゆえに、その中には職種への理解を深められなかった高校生が含まれている可能性があるが、本調査からその理由を考察することは困難である。

日本でのみ見出された特徴として、【就業体験（インターンシップ）】における取り組みの有無と肯定的な職業イメージとの関連が挙げられる。前述の平野<sup>9)</sup>によれば、インターンシップで通常業務に従事した学生は、正社員として働くことの楽しさや面白さ、責任感を感じることに加え、社会人として働くことのイメージが明確になり、自信も向上するといった、多様な効果を得られることが指摘されている。中国や韓国では、一定の効果量が得られなかったものの、日本との差はわずかであり、この3か国は概ね、平野<sup>9)</sup>の知見を支持する結果が得られたと言えよう。その一方で、米国ではCohen's  $d$ が0.01を下回っており、【就業体験（インターンシップ）】への取り組みの有無による、肯定的な職業イメージへの効果はほとんどなかった。このような結果の不一致には、文化的要因が影響している可能性が考えられるが、【職場の見学】と同様に、詳細な理由は今後の検討課題である。

最後に、【職業の種類や内容】の学習経験が肯定的な職業イメージに関連する点も、日本独自の特徴であるが、両者が関連するメカニズムは、前述の【職場の見学】や【就業体験（インターンシップ）】と同様であると考えられる。つまり、【職業の種類や内容】について学習することで、具体的な業務内容や勤務形態などについての理解が深まり、楽しさややりがいを見出すことにつながっている可能性が指摘できる。

### 4.2. キャリア教育の実践に向けた示唆と今後の展望

上記の知見を踏まえると、社会にはどのような職業があるのかを調べ、興味が湧いた職場の見学や体験を通じて、職業への理解を深めたり、楽しさを実感したりする経験を持つことで、日本人高校生における肯定的な職業イメージを高めることができるものと推察される。高校生を対象にキャリア教育を実施する場合には、これらの点に留意する必要があるだろう。例えば、定期的にイ

ンターネットなどを用いて職業に関する情報を検索し、理解した内容をレポートにまとめるなどの課題を行うことで、ある程度の肯定的な職業イメージを保つことができると考えられる。また、職場見学やインターンシップを行う場合には、業務への理解を深めることに加えて、業務の楽しさや面白さ、やりがいなどを実感できるように、学校側と企業側で事前に入念な打ち合わせを行うなどの工夫を施すことで、一層の効果をもたらすことが期待される。

本調査の日本人サンプルでは他国と異なり、【ボランティア活動】への取り組みや、【自分の個性や適性（向き・不向き）】【学ぶことや働くことの意義】【進路に関する不安や悩みへの対処法】【労働に関する法律や制度（労働者の権利など）】を学習する経験において、肯定的な職業イメージとの十分な関連を見出すことができなかつた。ただし、本稿の結果は、日本の高校におけるこれらの取り組みが無意味であることを示すものではない。今後の調査研究では、職業イメージだけでなく、楽観性や悲観性といったより広義の将来観・人生観や、メンタルヘルスや行動上の問題といった様々な指標に注目した検討を行うことも必要であろう。それにより、従来のキャリア教育で展開されてきた上記の取り組みがどのような指標に対して効果を有するのか明らかにしていくことも、青少年の健全な発達において重要な意味を持つものと考えられる。

## 参考文献

- 1) 田中芳幸・津田彰・内田由紀子・高橋義明「日本・オランダ・コスタリカ3か国におけるさまざまな幸福感と楽観性・悲観性との関連性」『Journal of Health Psychology Research』、33、2021、pp. 259-270.
- 2) 内閣府『我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年度）』、2019、<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/h30/pdf-index.html>、2023年4月18日参照
- 3) 外山美樹「楽観・悲観性尺度の作成ならびに信頼性・妥当性の検討」『心理学研究』、84、2013、pp. 256-266.
- 4) 内閣府『子供・若者の現状と意識に関する調査（平成29年度）』、2018、<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/h29/pdf-index.html>、2023年4月18日参照
- 5) Muthén, L. K., & Muthén, B. O. “*Mplus user's guide* (Eight ed.)” Muthén & Muthén, 1998-2017.
- 6) 清水裕士「フリーの統計分析ソフトHAD：機能の紹介と統計学習・教育、研究実践における利用方法の提案」『メディア・情報・コミュニケーション研究』、1、2016、pp. 59-73.
- 7) 水本篤・竹内理「研究論文における効果量の報告のために—基本的概念と注意点—」『英語教育研究』、31、2008、pp. 57-66.
- 8) Cohen, J. “A power primer” *Psychological Bulletin*, 112, 1992, pp. 155-159.
- 9) 平野大昌「インターンシップと大学生の就業意識に関する実証研究」『生活経済学研究』、31、2010、pp. 49-65.

## 「高校生の進路と職業意識に関する調査」について

国立青少年教育振興機構

この調査は、日本、米国、中国、韓国の高校生の進路と職業意識を把握し、諸外国との比較を行うことで、我が国の今後の青少年教育の参考にすることを目的としています。質問の中には、一部新型コロナウイルスに関する内容が含まれます。

### ご記入に際してのお願い

- (1) あなたの名前を書く必要はありません。  
調査の結果は、「〇〇と回答した日本の高校生が何%」といったように集計・分析され、個人がどの質問に、どのように回答したかなど、学校名や個人の名前が明らかになることはありませんので、思ったとおりに答えてください。
- (2) この調査票は、ご自身で記入をお願いします。
- (3) 回答は、それぞれあてはまる番号を○で囲んでください。
- (4) 回答していただく○印の数は、質問文に「○は1つ」、「○はいくつでも」などと示していますので、それに従って回答してください。
- (5) 答えたくないと思ったものは答えなくてもかまいません。答えた内容や、答えなかったことによっては、あなたが不利益を受けることはありません。
- (6) この調査に答えることで、この調査に協力することに賛成してくれたとみなします。
- (7) 個人の回答が外部に漏れることはありません。また、回答を、本調査の実施に関わっていない第三者に提供したり、貸与したりすることはありません。
- (8) 調査票の裏表紙は切り取って必ずお持ち帰りください。
- (9) この調査票の提出後に調査への協力をやめなくなった場合は、裏表紙の指示に従ってご連絡ください。

### 答え方の例

問Ⅰ あなたは犬が好きですか。あてはまるものに○をつけてください。

- ① はい            2. いいえ

例) 「はい (犬が好き)」と回答する場合は、1を○で囲みます。

問Ⅱ 次のことについて、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

	とても好き	まあ好き	あまり好きでない	嫌い
スポーツをすること	①	2	3	4

例) 「とても好き」と回答する場合は、1を○で囲みます。

## 質問票

問 1 あなたの学年 (○は1つ)

1. 高1                      2. 高2                      3. 高3

問 2 あなたの性別 (○は1つ)

1. 男                      2. 女                      3. どちらとも言えない                      4. 答えたくない

問 3 新型コロナウイルスの感染が拡大してからいままで、あなたは以下の項目について、どのくらい影響を受けましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	強く 受けた	多少 受けた	あまり受け なかった	全く受け なかった
a. 睡眠や食事などの生活習慣	1	2	3	4
b. 健康状況	1	2	3	4
c. 勉強や学習	1	2	3	4
d. 友人関係	1	2	3	4
e. 家族との関係	1	2	3	4
f. 家の経済状況	1	2	3	4
g. 将来の進路	1	2	3	4

問 4 あなたは将来、どの程度の教育を受けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 高校まで       | 2. 専門・専修学校まで |
| 3. 短大・高専まで    | 4. 四年制大学まで   |
| 5. 大学院修士まで    | 6. 大学院博士まで   |
| 7. 学歴にはこだわらない | 8. まだ考えていない  |

問 5 あなたが進路について考えたり決めたりする際、主に影響を受けているのは次の項目のうちどれですか。3つまで選んでください。

- |           |          |                      |
|-----------|----------|----------------------|
| 1. 親（保護者） | 2. きょうだい | 3. 親（保護者）やきょうだい以外の親族 |
| 4. 学校の先生  | 5. 先輩    | 6. 友達                |
| 7. 新聞・雑誌  | 8. テレビ   | 9. インターネットやSNS       |
| 10. 著名人   | 11. その他  | 12. 特に他人などに影響されない    |



問 6 あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）にかかわる次のような活動に関心がありますか？また、そのような活動に取り組んでいますか。あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。（「関心」と「取組」で○は1つずつ）

	関心		取り組み	
	ある	ない	している	していない
a. 職業について調べること	1	2	1	2
b. 職場の見学	1	2	1	2
c. 就業体験（インターンシップ）	1	2	1	2
d. ボランティア活動	1	2	1	2
e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集	1	2	1	2

問 7 将来の生き方や進路について、あなたが次のことを学習したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（○は1つずつ）

	学習したことがある	学習したことがない
a. 自分の個性や適性（向き・不向き）	1	2
b. 職業の種類や内容	1	2
c. 学ぶことや働くことの意義	1	2
d. 進路選択の方法	1	2
e. 進路に関する不安や悩みへの対処法	1	2
f. 社会人・職業人としての常識やマナー	1	2
g. 近年の若者の就業の動向	1	2
h. 労働に関する法律や制度（労働者の権利など）	1	2

問 8 あなたは将来の生き方や進路について、親（保護者）とどの程度話しあっていますか。  
（○は1つ）

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. よく話しあっている   | 2. ときどき話しあっている  |
| 3. あまり話しあっていない | 4. ほとんど話しあっていない |

問 9 あなたは、将来希望する職業を決めていますか。（○は1つ）

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. はっきり決めている          | 2. おおよそ決めている |
| 3. 考えているが、まだ決めていない    | 4. まだ考えていない  |
| 5. 将来、職業や仕事に就きたいと思わない |              |

問10 あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？ 以下のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
a. 楽しい	1	2	3	4
b. 苦しい	1	2	3	4
c. やりがいがある	1	2	3	4
d. つまらない	1	2	3	4
e. 生活のため	1	2	3	4
f. 社会人としての義務	1	2	3	4

問11 職業を選ぶにあたって、次のことをどのくらい重要視しますか。それぞれにつき、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても重要	やや重要	あまり重要 でない	全く重要 でない
a. 収入	1	2	3	4
b. 社会的地位	1	2	3	4
c. 安定性	1	2	3	4
d. 仕事の内容や仕方が自分で決められる	1	2	3	4
e. 自分の興味や好みに合っていること	1	2	3	4
f. 働く時間の自由度 (柔軟な労働時間配分)	1	2	3	4
g. 能力の発揮	1	2	3	4
h. 社会や人のために役立ち、貢献できること	1	2	3	4
i. 仕事の環境	1	2	3	4
j. チャレンジできること	1	2	3	4
k. 勤務地の場所・所在地	1	2	3	4
l. 勤務先の福利厚生	1	2	3	4

問12 あなたは将来、どこで働きたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |            |            |                  |
|------------|------------|------------------|
| 1. 地元の市町村  | 2. 地元の中心都市 | 3. 東京や大阪など国内の大都会 |
| 4. 欧米など先進国 | 5. 発展途上国   | 6. その他           |

問 13 あなたは将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方をどのくらい希望しますか。(○は1つ)

1. 強く希望する      2. まあ希望する      3. あまり希望しない      4. 希望しない  
5. 特にこだわりはない

問 14 次にあげたことは、あなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるもの○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
a. やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい	1	2	3	4
b. 若いうちはいろいろな仕事を経験したい	1	2	3	4
c. 暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい	1	2	3	4
d. 仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい	1	2	3	4
e. 自分の会社や店を作りたい	1	2	3	4
f. 学歴より技術や技能を身につけることが大事だ	1	2	3	4
g. 周りに反対されても自分がやりたいことをしたい	1	2	3	4
h. 地元で仕事や生活をしたい	1	2	3	4
i. 社会に役に立つ仕事をしたい	1	2	3	4
j. できるだけ高い地位に就きたい	1	2	3	4
k. よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい	1	2	3	4
l. 望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ	1	2	3	4

問 15 仮に日常生活全体にかかる力を100%としたら、あなたは将来、生活全体にかかる力のうち、どのくらい仕事に注ぎたいと思いますか。次の中からあてはまる場所に1つだけ○をつけてください。

1. 0～20%      2. 21～40%      3. 41～60%      4. 61～80%      5. 81～100%

問 16 あなた自身のことをお聞きします。次の a から i までのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
a. いまの生活には満足している	1	2	3	4
b. 周りの人の意見に影響されるほうだ	1	2	3	4
c. 自分はダメな人間だと思ふことがある	1	2	3	4
d. 自分にはどのような能力・適性があるか知っている	1	2	3	4
e. 今の自分が好きだ	1	2	3	4
f. 今の自分を変えたい	1	2	3	4
g. 自分には自分らしさがある	1	2	3	4
h. 相手が誰であっても自分の意見を言える	1	2	3	4
i. 見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする	1	2	3	4

問 17 社会や経済について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについてあてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
a. 今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする	1	2	3	4
b. 将来は今よりも経済的に発展していると思う	1	2	3	4
c. 国や社会のために自分も貢献していきたいと思う	1	2	3	4
d. 社会は自分の力で変えていくことができると思う	1	2	3	4
e. いまの社会は貧富の差が大きい	1	2	3	4
f. 日本の未来は明るい	1	2	3	4
g. 日本は競争が激しい社会である	1	2	3	4
h. 日本で暮らすことに満足している	1	2	3	4
i. 性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない	1	2	3	4

問 18 将来について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	よくあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
a. 自分の将来について、はっきり目標をもっている	1	2	3	4
b. 今が楽しければいいので先のことは考えない	1	2	3	4
c. 自分の将来に不安を感じている	1	2	3	4
d. 自分の将来は明るい	1	2	3	4

問 19 AI (人工知能) などのテクノロジーの変化について、あなたがどのように思っていますか。以下のそれぞれについて、あなたの考えに近いものに○をつけてください (○は1つずつ)。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
a. テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている	1	2	3	4
b. テクノロジーの変化が楽しみだ	1	2	3	4
c. テクノロジーの変化に不安を感じる	1	2	3	4
d. テクノロジーが変化しても私たちの生活は変わらない	1	2	3	4
e. テクノロジーの変化に適応するための知識を学校で教えてほしい	1	2	3	4
f. テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである	1	2	3	4
g. テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる	1	2	3	4
h. テクノロジーが変化しても、人と人とのつながりの大切さは変わらない	1	2	3	4
i. テクノロジーが変化するときこそ、リアルな体験をすることが重要になる	1	2	3	4
j. テクノロジーの変化によって、これから人間はもっと楽に暮らせる	1	2	3	4

問 20 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。(○は1つ)

1. 裕福なほう                      2. わりと裕福なほう                      3. ふつう  
4. わりと厳しいほう                      5. 厳しいほう

問 21 あなたの学校での成績は、クラスの中でどのくらいですか。(○は1つ)

1. 上                      2. 中の上                      3. 中                      4. 中の下                      5. 下

**以上です。ご協力ありがとうございました!**

## Survey of High School Students' Views on Career and Path after High School

The National Institute for Youth Education is conducting this survey in several countries,  
which includes the United States, Japan, China and Korea.

The goal of this survey is to utilize its findings for future educational purposes

\*Instructions for completing the survey

- (1) Please answer every question yourself.
- (2) There is no right or wrong answer to any question. Please choose the answer that best describes your opinion or situation.
- (3) Each question indicates the number of answers needed. Please follow the instructions.

Thank you very much for your participation.

**Q1 What grade are you in? Please check ONE answer.**

1. 10<sup>th</sup>                      2. 11<sup>th</sup>                      3. 12<sup>th</sup>

**Q2 Are you male or female? Pleaes check ONE answer.**

1. Male                      2. Female                      3. Other                      4. I don't want to answer

**Q3 How much has the COVID pandemic affected the following aspects of your life?**

**Please check ONE answer on each row.**

	Strongly Affected	Somewhat Affected	Not much Affected	Not at all Affected
a. My daily habits such as sleeping or eating.	1	2	3	4
b. My health	1	2	3	4
c. My study habit	1	2	3	4
d. Relationships with my friends	1	2	3	4
e. Relationships with my family	1	2	3	4
f. My family's financial situation	1	2	3	4
g. My future path	1	2	3	4

**Q4 How far do you want to go in your education? Please check ONE answer.**

1. Graduating High school
2. Graduating from a vocational or special training school
3. 2 year community college or junior college (Associate degree, e.g. AS, AA)
4. 4 year college or university (Bachelor's degree, e.g. BA, BS)
5. Master's degree (MA, MS, MBA degree)
6. Doctorate degree (PhD, MD, JD degree)
7. I don't care about an education background.
8. I haven't thought about it yet.

**Q5 Who or what influences you more when you think about choosing a career?**

**Please check up to 3 answers that would apply.**

1. My parents (Guardians)
2. My siblings
3. Family members besides my parents or siblings
4. Teachers
5. Older students at school or former graduates from high school
6. Friends
7. Newspapers or magazines
8. TV
9. Internet or social media
10. Celebrities
11. Others
12. I'm not influenced by anybody or anything

**Q6-1 Are you interested in the following activities that influence your choices after High school? Please check ONE on each row.**

	Yes	No
a. Researching jobs.	1	2
b. Visiting workplaces	1	2
c. Internships	1	2
d. Volunteer activities	1	2
e. Gathering information about colleges I want to attend.	1	2

**Q6-2 Have you done any of the following activities that would influence your choices after High school? Please check ONE on each row.**

	Yes	No
a. Researching jobs.	1	2
b. Visiting workplaces	1	2
c. Internships	1	2
d. Volunteer activities	1	2
e. Gathering information about colleges I want to attend.	1	2

**Q7 Have you researched any of the following to help you think about your choices after high school? Please check ONE on each row.**

	Yes	No
a. My personality and aptitude for certain career fields.	1	2
b. The available jobs in a market and their job descriptions.	1	2
c. Importance of learning/work.	1	2
d. How to select a path after high school.	1	2
e. How to deal with worries and concerns about my future path.	1	2
f. The etiquette and common sense of a professional in the workforce.	1	2
g. Recent trends of employment opportunities for young people.	1	2
h. Labor laws and regulations such as worker's rights.	1	2

**Q8 How often do you discuss your choices after high school with your parents (guardians)? Please check ONE that applies.**

1. Often                      2. Sometimes                      3. Not very often                      4. Rarely



**Q9 Have you decided which job/career you want to have in the future?**

**Please check ONE that applies.**

1. Clearly decided
2. Somewhat decided
3. I have thought about it but not decided.
4. I haven't thought about it yet.
5. I don't want to have a job/career in the future.

**Q10 What mental images do you have for "a job" or "to work"? Please check ONE on each row.**

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. Fun	1	2	3	4
b. Painful	1	2	3	4
c. Rewarding	1	2	3	4
d. Boring	1	2	3	4
e. Only to make a living	1	2	3	4
f. Obligation as a member of society	1	2	3	4

**Q11 How important are the following factors to you when choosing a job?**

**Please check ONE on each row.**

	Very important	Somewhat important	Not so important	Not at all important
a. Income	1	2	3	4
b. Social status	1	2	3	4
c. Stability	1	2	3	4
d. Being able to decide how to work and what to work on by myself.	1	2	3	4
e. Being well-suited to my interests and preferences	1	2	3	4
f. Having flexible working hours.	1	2	3	4
g. Having opportunities to demonstrate my abilities.	1	2	3	4
h. Being able to contribute to society	1	2	3	4
i. Work environment	1	2	3	4
j. Challenging	1	2	3	4
k. Office location.	1	2	3	4
l. Work benefits (e.g health insurance, vacation)	1	2	3	4

**Q12 Where do you like to work in the future? Please check ONE that applies.**

1. Local city, town, village where I live now
2. Main central city of the region where I live now
3. Big cities in the U.S. such as Los Angeles, New York
4. Other developed countries such as England, Japan
5. Developing countries
6. Other

**Q13 How much do you like to work remotely in the future? Please check ONE that applies.**

1. A lot
2. Somewhat
3. Not much
4. Not at all
5. I don't have a preference.

**Q14 How much do you agree with the following statements? Please check ONE on each row.**

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. I want to do what I want, even if it is very difficult.	1	2	3	4
b. I want to experience many jobs while I am young.	1	2	3	4
c. If I have enough income to live, I want to have relaxed, laid-back life.	1	2	3	4
d. My hobbies and free time are more important for me than my work.	1	2	3	4
e. I want to own my company or shop.	1	2	3	4
f. It is more important to have job-related specialized knowledge and skills than schooling.	1	2	3	4
g. I want to do what I want, even if people around me oppose it.	1	2	3	4
h. I want to work and live in the area where I live now.	1	2	3	4
i. I want to have a job that is beneficial to society.	1	2	3	4
j. I want to reach as high a status as possible.	1	2	3	4
k. If you find a better job than a current one, you should take it.	1	2	3	4
l. You should be patient and work even though the job is not what you wanted.	1	2	3	4

**Q15 In your future daily life, how much time and effort would you want to spend on a job?**

**Please check ONE that applies.**

1. 0-20% of my daily life      2. 21-40% of my daily life      3. 41-60% of my daily life  
 4. 61-80% of my daily life      5. 81-100% of my daily life

**Q16 The following questions are about yourself. Please check ONE that applies to you on each row.**

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. I'm satisfied with my life now.	1	2	3	4
b. I tend to be affected by other people's opinions.	1	2	3	4
c. Sometimes I feel like a failure.	1	2	3	4
d. I know my abilities and aptitude.	1	2	3	4
e. I like myself.	1	2	3	4
f. I want to change myself.	1	2	3	4
g. I have my own personality.	1	2	3	4
h. I can speak my mind honestly to anyone.	1	2	3	4
i. I am able to question the information I have gathered and I am able to research it on my own.	1	2	3	4

**Q17 The following questions are about the society and the economy. Please check ONE on each row.**

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. I feel today's society puts too much pressure on young people.	1	2	3	4
b. Our society will be more economically developed in the future.	1	2	3	4
c. I want to contribute to our society and country.	1	2	3	4
d. I can make changes in our society.	1	2	3	4
e. There is a big gap between the rich and the poor.	1	2	3	4
f. The future for the US is bright.	1	2	3	4
g. The competition is fierce in the US.	1	2	3	4
h. I am satisfied living in the US.	1	2	3	4
i. It can't help that there are difference in job roles based on gender.	1	2	3	4

**Q18 The following questions are about your future. Please check ONE that applies to you on each row.**

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. I have clear goals for my future.	1	2	3	4
b. I just want to have fun now and don't want to think about the future.	1	2	3	4
c. I feel uncertain about the future.	1	2	3	4
d. I feel my future is bright.	1	2	3	4

**Q19 What do you think about technological changes such as Artificial Intelligence (AI)? Please check ONE on each row.**

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. I gather information with technological changes in mind.	1	2	3	4
b. I am looking forward to seeing more technological changes.	1	2	3	4
c. I'm worried about technological changes.	1	2	3	4
d. Technological changes won't affect our lives.	1	2	3	4
e. I want my school to teach us how to deal with technological change.	1	2	3	4
f. There are huge opportunities when technological changes happen.	1	2	3	4
g. Technological changes will reduce employment opportunities for us.	1	2	3	4
h. Even though technological changes happen, the importance of human relationships will remain the same.	1	2	3	4
i. When technological changes happen, we should value offline experiences more.	1	2	3	4
j. Technological changes will make our lives easier.	1	2	3	4

**Q20 How would you rank your school performance? Please check ONE that applies.**

1. Top
2. Upper middle
3. Middle
4. Lower middle
5. Bottom

**Q21 What do you think your family's financial situation is? Please check ONE that applies.**

1. Wealthier than many families
2. Wealthier than average
3. Average
4. Poorer than average
5. Poorer than many families

***Thank you very much for your cooperation!***

・単純集計結果

(パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも100.0%に一致しない。)

問1 あなたの学年(○は1つ)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 高1	38.8	33.3	42.8	28.9
2. 高2	31.4	34.7	31.8	38.4
3. 高3	29.5	32.0	25.4	32.6
無回答	0.3	0.0	0.0	0.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問2 あなたの性別(○は1つ)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 男	47.0	48.1	47.7	42.4
2. 女	50.0	48.7	52.3	47.5
3. どちらとも言えない	0.9	1.3	-	6.0
4. 答えたくない	1.5	1.8	-	4.0
無回答	0.6	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問3 新型コロナウイルスの感染が拡大してからいままで、あなたは以下の項目について、どのくらい影響を受けましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

a. 睡眠や食事などの生活習慣

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	9.1	17.6	10.7	21.6
多少受けた	27.7	27.4	21.5	45.5
あまり受けなかった	32.1	27.3	44.1	19.8
全く受けなかった	30.4	27.7	23.6	12.7
無回答	0.6	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 健康状況

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	11.7	13.4	8.7	14.7
多少受けた	26.4	24.9	16.2	43.3
あまり受けなかった	31.8	33.3	44.2	29.3
全く受けなかった	29.1	28.4	30.8	12.3
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## c. 勉強や学習

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	16.1	24.3	15.4	20.5
多少受けた	39.1	28.3	32.6	41.6
あまり受けなかった	25.8	25.7	35.8	26.0
全く受けなかった	18.1	21.7	16.2	11.4
無回答	0.9	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## d. 友人関係

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	9.8	19.4	9.0	13.3
多少受けた	25.3	27.0	17.0	39.9
あまり受けなかった	30.2	25.4	43.0	29.7
全く受けなかった	33.8	28.2	31.0	16.8
無回答	0.9	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## e. 家族との関係

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	3.5	14.7	8.3	11.4
多少受けた	11.5	21.5	13.9	31.9
あまり受けなかった	32.7	26.8	40.1	32.9
全く受けなかった	51.2	37.0	37.8	23.4
無回答	1.1	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## f. 家の経済状況

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	5.0	14.5	15.4	10.6
多少受けた	23.7	20.9	29.4	38.8
あまり受けなかった	38.7	29.9	35.6	31.3
全く受けなかった	31.2	34.7	19.6	18.9
無回答	1.4	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## g. 将来の進路

(%)

	日本	米国	中国	韓国
強く受けた	4.1	14.0	11.4	11.6
多少受けた	12.9	20.7	22.9	34.1
あまり受けなかった	37.1	29.9	40.7	31.6
全く受けなかった	44.7	35.4	25.0	22.1
無回答	1.2	0.0	0.0	0.5
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問4 あなたは将来、どの程度の教育を受けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 高校まで	4.4	9.9	1.6	6.7
2. 専門・専修学校まで	10.3	3.5	-	17.8
3. 短大・高専まで	3.2	5.6	4.9	5.4
4. 四年制大学まで	61.3	35.4	29.1	48.0
5. 大学院修士まで	4.9	19.1	33.6	5.2
6. 大学院博士まで	1.6	14.6	18.9	6.0
7. 学歴にはこだわらない	4.1	0.6	4.3	3.7
8. まだ考えていない	9.8	11.3	7.6	6.8
無回答	0.4	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問5 あなたが進路について考えたり決めたりする際、主に影響を受けているのは次の項目のうちどれですか。3つまで選んでください。

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 親(保護者)	63.7	72.1	59.4	49.1
2. きょうだい	16.1	25.4	15.8	22.0
3. 親(保護者)やきょうだい以外の親族	8.3	30.9	9.9	20.2
4. 学校の先生	30.1	20.3	28.2	32.7
5. 先輩	8.9	10.5	7.1	17.8
6. 友達	26.3	31.9	26.2	31.5
7. 新聞・雑誌	3.3	1.8	3.4	6.3
8. テレビ	10.1	8.7	2.3	15.7
9. インターネットやSNS	34.4	28.9	13.4	30.4
10. 著名人	5.4	7.4	8.9	5.7
11. その他	9.9	17.9	3.1	10.2
12. 特に他人などに影響されない	15.7	6.4	24.5	18.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問6の1 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)にかかわる次のような活動に関心がありますか？

a. 職業について調べること (％)

	日本	米国	中国	韓国
関心がある	85.0	78.3	88.5	67.5
関心がない	14.5	21.7	11.5	29.3
無回答	0.5	0.0	0.0	3.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 職場の見学 (％)

	日本	米国	中国	韓国
関心がある	68.0	75.0	75.6	47.8
関心がない	31.2	25.0	24.4	48.7
無回答	0.8	0.0	0.0	3.5
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c. 就業体験(インターンシップ) (％)

	日本	米国	中国	韓国
関心がある	63.4	74.9	83.4	51.8
関心がない	35.7	25.1	16.6	44.8
無回答	0.9	0.0	0.0	3.5
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d. ボランティア活動 (％)

	日本	米国	中国	韓国
関心がある	48.8	65.1	77.3	47.0
関心がない	50.2	34.9	22.7	49.6
無回答	1.0	0.0	0.0	3.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集 (％)

	日本	米国	中国	韓国
関心がある	82.0	81.9	88.4	61.1
関心がない	17.1	18.1	11.6	35.4
無回答	0.9	0.0	0.0	3.5
基数(人)	4822	1874	3772	1814



問6の2 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)にかかわる次のような活動に取り組んでいますか？

a.職業について調べること (％)

	日本	米国	中国	韓国
取組している	68.4	65.0	72.2	52.8
取組していない	30.8	35.0	27.8	41.7
無回答	0.8	0.0	0.0	5.5
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b.職場の見学 (％)

	日本	米国	中国	韓国
取組している	12.3	34.4	38.7	23.2
取組していない	86.2	65.6	61.3	71.7
無回答	1.5	0.0	0.0	5.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c.就業体験(インターンシップ) (％)

	日本	米国	中国	韓国
取組している	7.4	21.0	38.8	20.2
取組していない	91.2	79.0	61.2	74.6
無回答	1.4	0.0	0.0	5.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d.ボランティア活動 (％)

	日本	米国	中国	韓国
取組している	16.8	48.9	48.6	34.1
取組していない	81.6	51.1	51.4	60.7
無回答	1.6	0.0	0.0	5.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

e.大学など進学したい学校の見学や情報収集 (％)

	日本	米国	中国	韓国
取組している	68.5	70.4	67.2	49.2
取組していない	30.3	29.6	32.8	45.7
無回答	1.2	0.0	0.0	5.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問7 将来の生き方や進路について、あなたが次のことを学習したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

a. 自分の個性や適性(向き・不向き)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	73.0	71.5	59.1	70.9
学習したことがない	26.5	28.5	40.9	28.8
無回答	0.5	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 職業の種類や内容

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	85.8	59.9	48.3	67.5
学習したことがない	13.4	40.1	51.7	32.2
無回答	0.8	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c. 学ぶことや働くことの意義

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	73.5	73.2	58.9	58.8
学習したことがない	25.6	26.8	41.1	40.9
無回答	0.9	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d. 進路選択の方法

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	83.4	53.9	51.7	61.4
学習したことがない	15.6	46.1	48.3	38.3
無回答	1.0	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

e. 進路に関する不安や悩みへの対処法

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	51.7	45.3	42.3	47.0
学習したことがない	47.2	54.7	57.7	52.6
無回答	1.1	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## f. 社会人・職業人としての常識やマナー

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	61.3	48.3	56.2	43.9
学習したことがない	37.7	51.7	43.8	55.7
無回答	1.0	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## g. 近年の若者の就業の動向

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	30.1	42.4	50.2	47.1
学習したことがない	68.9	57.6	49.8	52.5
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## h. 労働に関する法律や制度(労働者の権利など)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
学習したことがある	53.6	33.0	49.7	45.3
学習したことがない	45.4	67.0	50.3	54.3
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## 問8 あなたは将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話しあっていますか。(〇は1つ)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. よく話しあっている	25.2	31.4	22.8	23.8
2. ときどき話しあっている	56.1	42.5	55.9	54.6
3. あまり話しあっていない	14.7	16.4	14.0	10.3
4. ほとんど話しあっていない	3.8	9.7	7.3	11.2
無回答	0.2	0.0	0.0	0.1
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## 問9 あなたは、将来希望する職業を決めていますか。(〇は1つ)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. はっきり決めている	22.0	19.9	13.8	18.9
2. おおよそ決めている	32.6	38.3	32.5	50.0
3. 考えているが、まだ決めていない	31.3	35.6	46.7	19.2
4. まだ考えていない	13.3	5.4	5.5	7.4
5. 将来、職業や仕事に就きたいと思わない	0.4	0.8	1.5	4.2
無回答	0.4	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問10 あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？ 以下のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. 楽しい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	18.8	34.5	26.0	29.0
まあそう思う	53.1	42.7	48.0	43.6
あまりそう思わない	23.2	16.4	20.9	22.6
全くそう思わない	4.4	6.4	5.1	4.6
無回答	0.5	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 苦しい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	24.8	8.6	31.4	10.8
まあそう思う	61.9	27.3	54.9	38.3
あまりそう思わない	11.3	31.4	10.5	38.9
全くそう思わない	1.3	32.8	3.2	11.9
無回答	0.7	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c. やりがいがある (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	44.2	55.5	37.6	26.1
まあそう思う	45.9	27.0	48.4	46.8
あまりそう思わない	7.5	9.0	10.2	22.5
全くそう思わない	1.6	8.5	3.8	4.3
無回答	0.8	0.0	0.0	0.3
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d. つまらない (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	5.2	9.8	10.2	8.8
まあそう思う	24.8	24.7	22.0	27.0
あまりそう思わない	54.0	31.1	43.9	44.4
全くそう思わない	15.0	34.4	24.0	19.6
無回答	1.0	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## e. 生活のため

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	68.6	16.3	17.7	32.4
まあそう思う	27.8	29.5	31.2	45.8
あまりそう思わない	2.1	33.2	35.3	16.9
全くそう思わない	0.6	20.9	15.7	4.7
無回答	0.8	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## f. 社会人としての義務

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	36.0	18.9	22.0	22.2
まあそう思う	44.5	32.9	42.5	40.6
あまりそう思わない	15.3	27.4	25.2	26.9
全くそう思わない	3.4	20.8	10.3	10.1
無回答	0.8	0.0	0.0	0.2
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問11 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか。それぞれにつき、あてはまるものに○をつけてください。

## a. 収入

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	59.1	66.6	50.2	43.8
やや重要	37.7	22.0	44.1	45.8
あまり重要でない	2.5	4.9	4.1	8.2
全く重要でない	0.4	6.5	1.6	1.7
無回答	0.3	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## b. 社会的地位

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	13.5	18.1	31.1	24.1
やや重要	47.0	29.9	47.3	53.2
あまり重要でない	34.3	35.7	18.9	19.6
全く重要でない	4.5	16.2	2.7	2.4
無回答	0.7	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## c. 安定性

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	65.9	65.4	54.0	38.9
やや重要	30.2	22.3	38.4	45.7
あまり重要でない	2.6	5.3	5.7	13.5
全く重要でない	0.6	7.0	1.9	1.3
無回答	0.7	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## d. 仕事の内容や仕方が自分で決められる

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	27.5	42.3	44.2	25.6
やや重要	48.1	32.7	43.7	50.3
あまり重要でない	22.2	18.4	9.9	20.8
全く重要でない	1.5	6.6	2.1	2.6
無回答	0.8	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## e. 自分の興味や好みに合っていること

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	64.1	57.9	49.2	36.7
やや重要	30.2	28.0	41.9	43.4
あまり重要でない	4.4	8.0	6.9	17.0
全く重要でない	0.6	6.2	2.0	2.1
無回答	0.7	0.0	0.0	0.8
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## f. 働く時間の自由度(柔軟な労働時間配分)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	41.1	42.5	38.4	32.1
やや重要	45.9	36.6	46.4	47.1
あまり重要でない	11.0	15.2	13.1	18.4
全く重要でない	1.2	5.8	2.0	1.7
無回答	0.8	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## g. 能力の発揮

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	46.3	49.7	47.4	31.9
やや重要	43.2	31.3	43.7	44.5
あまり重要でない	8.3	13.2	7.1	20.5
全く重要でない	1.0	5.8	1.9	2.4
無回答	1.2	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## h. 社会や人のために役立ち、貢献できること

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	42.4	40.1	43.2	22.3
やや重要	39.7	33.0	43.1	45.3
あまり重要でない	14.2	18.2	9.9	25.9
全く重要でない	3.0	8.6	3.8	5.8
無回答	0.7	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## i. 仕事の環境

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	67.9	54.4	45.0	35.9
やや重要	29.0	29.0	46.1	43.5
あまり重要でない	2.0	9.9	6.9	17.3
全く重要でない	0.5	6.7	2.0	2.4
無回答	0.6	0.0	0.0	0.8
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## j. チャレンジできること

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	25.6	23.8	29.8	24.5
やや重要	44.9	42.6	41.9	41.7
あまり重要でない	25.4	25.3	23.4	27.4
全く重要でない	3.3	8.2	4.9	5.7
無回答	0.8	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## k. 勤務地の場所・所在地

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	34.9	24.3	35.8	28.4
やや重要	44.8	32.2	46.5	48.1
あまり重要でない	17.0	29.3	15.2	18.9
全く重要でない	2.6	14.2	2.5	3.7
無回答	0.7	0.0	0.0	0.8
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## l. 勤務先の福利厚生

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とても重要	44.9	58.1	40.6	36.2
やや重要	44.4	26.9	44.3	46.4
あまり重要でない	8.4	7.7	13.1	13.3
全く重要でない	1.2	7.3	2.1	3.3
無回答	1.0	0.0	0.0	0.8
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問12 あなたは将来、どこで働きたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 地元の市町村	18.7	23.9	4.7	13.6
2. 地元の中心都市	37.1	22.3	46.5	11.3
3. 東京や大阪など国内の大都会 米国:ロサンゼルスやニューヨークなど国内の大都会 中国:北京、上海、広州など国内の大都会 韓国:ソウル、釜山など国内の大都会	29.8	31.9	36.5	54.2
4. 欧米など先進国(米国:イギリスや日本など先進国)	3.5	7.2	5.8	11.0
5. 発展途上国	1.2	1.3	4.6	4.9
6. その他	8.9	13.6	2.0	4.4
無回答	0.8	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814



問13 あなたは将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方をどのくらい希望しますか。(○は1つ)

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 強く希望する	4.9	14.7	16.1	14.7
2. まあ希望する	22.5	40.8	32.1	46.9
3. あまり希望しない	32.6	20.1	24.0	19.6
4. 希望しない	9.7	9.8	4.0	4.0
5. 特にこだわりはない	28.7	14.6	23.8	14.6
無回答	1.6	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問14 次にあげたことは、あなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. やりたいことにはいくら困難があっても挑戦してみたい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	22.5	46.3	38.2	28.4
まあそう思う	54.5	37.2	46.1	50.8
あまりそう思わない	20.2	10.6	13.1	18.2
全くそう思わない	2.2	5.9	2.5	2.1
無回答	0.6	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 若いうちはいろいろな仕事を経験したい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	31.4	20.9	31.7	29.7
まあそう思う	39.6	36.1	40.7	49.6
あまりそう思わない	24.8	34.1	23.2	18.5
全くそう思わない	3.4	8.9	4.4	1.8
無回答	0.8	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c. 暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	49.4	42.3	29.4	35.9
まあそう思う	35.1	31.1	32.6	42.6
あまりそう思わない	13.0	18.7	28.2	18.6
全くそう思わない	1.7	8.0	9.8	2.5
無回答	0.8	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d. 仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	35.7	14.4	34.8	29.2
まあそう思う	49.0	32.0	46.4	46.9
あまりそう思わない	13.7	40.6	15.2	20.4
全くそう思わない	0.7	13.0	3.6	3.0
無回答	0.9	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

e. 自分の会社や店を作りたい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	8.5	25.6	23.2	26.6
まあそう思う	14.4	27.9	35.4	37.5
あまりそう思わない	43.0	25.7	33.2	29.2
全くそう思わない	32.8	20.9	8.2	6.3
無回答	1.3	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

f. 学歴より技術や技能を身につけることが大事だ (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	29.6	24.9	26.3	22.3
まあそう思う	49.4	37.2	45.0	43.1
あまりそう思わない	18.4	30.6	23.8	29.1
全くそう思わない	1.6	7.3	4.9	5.2
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

g. 周りに反対されても自分がやりたいことをしたい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	28.3	39.3	30.5	25.6
まあそう思う	48.9	34.5	47.4	45.3
あまりそう思わない	20.1	18.3	19.1	24.6
全くそう思わない	1.8	8.0	3.0	4.0
無回答	0.9	0.0	0.0	0.5
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## h. 地元で仕事や生活をしたい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	17.0	18.5	32.4	20.6
まあそう思う	37.7	29.8	41.3	47.2
あまりそう思わない	35.5	30.0	20.1	25.9
全くそう思わない	8.8	21.7	6.2	5.9
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## i. 社会に役に立つ仕事をしたい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	37.6	35.3	37.4	20.1
まあそう思う	43.6	38.8	49.7	43.2
あまりそう思わない	14.5	19.7	10.1	28.9
全くそう思わない	3.2	6.1	2.8	7.3
無回答	1.1	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## j. できるだけ高い地位に就きたい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	13.1	30.5	31.7	27.6
まあそう思う	36.2	31.3	45.5	39.9
あまりそう思わない	40.7	25.9	19.8	25.5
全くそう思わない	8.9	12.2	3.0	6.6
無回答	1.1	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## k. よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	23.3	42.5	27.2	30.2
まあそう思う	45.6	37.5	42.3	44.5
あまりそう思わない	26.8	15.3	25.4	20.9
全くそう思わない	3.3	4.7	5.1	4.0
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

I. 望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	5.2	24.7	27.5	16.9
まあそう思う	24.9	36.4	50.5	38.8
あまりそう思わない	46.3	28.3	17.7	32.1
全くそう思わない	22.6	10.7	4.3	11.7
無回答	1.0	0.0	0.0	0.4
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問15 仮に日常生活全体にかける力を100%としたら、あなたは将来、生活全体にかける力のうち、どのくらい仕事に注ぎたいと思いますか。

(%)

	日本	米国	中国	韓国
1. 0～20%	1.7	2.4	3.6	3.7
2. 21～40%	11.9	16.6	6.4	11.0
3. 41～60%	54.6	48.6	30.1	31.7
4. 61～80%	27.4	26.5	43.8	38.1
5. 81～100%	4.0	5.9	16.2	14.9
無回答	0.4	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問16 あなた自身のことをお聞きます。次のaからiまでのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. いまの生活には満足している

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	33.0	26.4	26.4	19.6
まあそう思う	51.3	40.8	49.7	58.1
あまりそう思わない	12.7	23.1	19.2	19.7
全くそう思わない	2.3	9.8	4.7	2.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 周りの人の意見に影響されるほうだ

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	28.9	22.0	16.6	16.1
まあそう思う	44.8	37.6	39.1	52.9
あまりそう思わない	21.1	26.0	34.2	26.8
全くそう思わない	4.2	14.4	10.1	3.5
無回答	1.0	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## c. 自分はダメな人間だと思うことがある

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	33.3	26.5	20.0	12.5
まあそう思う	45.3	34.0	31.4	36.3
あまりそう思わない	16.4	22.4	31.9	36.2
全くそう思わない	3.9	17.1	16.7	14.3
無回答	1.1	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## d. 自分にはどのような能力・適性があるか知っている

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	14.4	32.7	24.4	15.7
まあそう思う	41.7	42.6	47.8	47.4
あまりそう思わない	36.4	19.6	23.5	32.4
全くそう思わない	6.5	5.1	4.3	3.9
無回答	1.0	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## e. 今の自分が好きだ

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	14.6	37.0	26.2	19.2
まあそう思う	39.8	37.5	44.7	48.6
あまりそう思わない	35.3	17.0	23.3	27.9
全くそう思わない	9.3	8.5	5.8	3.7
無回答	1.0	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## f. 今の自分を変えたい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	37.1	32.9	36.2	14.3
まあそう思う	40.7	32.0	45.5	40.0
あまりそう思わない	17.7	20.2	14.8	36.2
全くそう思わない	3.5	14.9	3.5	8.8
無回答	1.0	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## g. 自分には自分らしさがある

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	31.8	59.2	36.7	20.1
まあそう思う	47.9	29.2	50.5	49.7
あまりそう思わない	16.7	6.0	10.5	26.2
全くそう思わない	2.5	5.5	2.3	3.4
無回答	1.1	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## h. 相手が誰であっても自分の意見を言える

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	15.7	33.2	25.5	20.1
まあそう思う	35.4	30.7	40.7	48.6
あまりそう思わない	39.2	25.0	28.2	27.2
全くそう思わない	8.7	11.2	5.6	3.5
無回答	1.0	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## i. 見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	24.0	40.5	31.9	21.3
まあそう思う	50.0	39.8	52.9	44.8
あまりそう思わない	21.5	14.9	12.1	27.0
全くそう思わない	3.3	4.9	3.0	6.2
無回答	1.2	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問17 社会や経済について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

## a. 今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	26.0	45.1	-	30.0
まあそう思う	41.0	32.8	-	51.1
あまりそう思わない	30.3	15.4	-	15.7
全くそう思わない	2.1	6.8	-	2.7
無回答	0.6	0.0	-	0.5
基数(人)	4822	1874	-	1814

b. 将来は今よりも経済的に発展していると思う (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	18.7	21.0	-	17.9
まあそう思う	36.7	48.6	-	53.9
あまりそう思わない	34.8	24.5	-	24.3
全くそう思わない	8.8	5.9	-	3.5
無回答	1.0	0.0	-	0.5
基数(人)	4822	1874	-	1814

c. 国や社会のために自分も貢献していきたいと思う (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	22.9	34.4	-	15.7
まあそう思う	49.7	42.7	-	43.6
あまりそう思わない	21.6	17.6	-	32.9
全くそう思わない	4.8	5.3	-	7.3
無回答	1.0	0.0	-	0.5
基数(人)	4822	1874	-	1814

d. 社会は自分の力で変えていくことができると思う (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	9.0	26.0	-	14.3
まあそう思う	27.7	39.2	-	36.7
あまりそう思わない	50.3	27.3	-	39.1
全くそう思わない	11.9	7.6	-	9.5
無回答	1.1	0.0	-	0.4
基数(人)	4822	1874	-	1814

e. いまの社会は貧富の差が大きい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	31.9	44.5	-	32.6
まあそう思う	48.4	34.6	-	44.4
あまりそう思わない	17.5	15.3	-	18.7
全くそう思わない	1.0	5.7	-	3.6
無回答	1.2	0.0	-	0.6
基数(人)	4822	1874	-	1814

## f.日本の未来は明るい

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	4.7	13.9	-	12.7
まあそう思う	27.3	36.0	-	37.7
あまりそう思わない	50.1	37.1	-	36.4
全くそう思わない	16.7	13.0	-	12.7
無回答	1.2	0.0	-	0.4
基数(人)	4822	1874	-	1814

## g.日本は競争が激しい社会である

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	13.6	32.2	-	39.8
まあそう思う	47.4	45.6	-	40.6
あまりそう思わない	34.1	16.9	-	16.0
全くそう思わない	3.6	5.3	-	3.0
無回答	1.3	0.0	-	0.6
基数(人)	4822	1874	-	1814

## h.日本で暮らすことに満足している

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	51.8	36.8	-	15.8
まあそう思う	39.2	38.0	-	48.8
あまりそう思わない	6.2	17.3	-	27.2
全くそう思わない	1.7	8.0	-	7.7
無回答	1.1	0.0	-	0.5
基数(人)	4822	1874	-	1814

## i.性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない

(%)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	12.8	25.1	-	16.5
まあそう思う	34.6	33.1	-	42.1
あまりそう思わない	30.5	23.6	-	27.5
全くそう思わない	21.0	18.1	-	13.3
無回答	1.1	0.0	-	0.5
基数(人)	4822	1874	-	1814



問18 将来について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. 自分の将来について、はっきり目標をもっている (％)

	日本	米国	中国	韓国
よくあてはまる	26.6	36.1	27.9	22.5
まああてはまる	37.4	34.8	44.1	50.3
あまりあてはまらない	28.1	20.9	24.5	23.8
全くあてはまらない	7.1	8.2	3.4	2.9
無回答	0.8	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. 今が楽しければいいので先のことは考えない (％)

	日本	米国	中国	韓国
よくあてはまる	8.0	16.1	14.3	10.5
まああてはまる	26.5	33.6	25.2	41.2
あまりあてはまらない	51.2	35.5	43.3	37.3
全くあてはまらない	13.0	14.8	17.2	10.3
無回答	1.3	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c. 自分の将来に不安を感じている (％)

	日本	米国	中国	韓国
よくあてはまる	32.5	23.3	22.5	13.5
まああてはまる	46.8	38.5	40.9	46.9
あまりあてはまらない	16.4	25.8	28.0	31.6
全くあてはまらない	3.0	12.4	8.7	7.4
無回答	1.3	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d. 自分の将来は明るい (％)

	日本	米国	中国	韓国
よくあてはまる	11.2	41.8	22.4	16.9
まああてはまる	42.7	39.9	41.6	45.2
あまりあてはまらない	38.4	13.1	29.8	31.6
全くあてはまらない	6.3	5.2	6.1	5.6
無回答	1.5	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問19 AI(人工知能)などのテクノロジーの変化について、あなたがどのように思っていますか。  
以下のそれぞれについて、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

a. テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	10.5	20.9	36.5	23.5
まあそう思う	32.2	41.4	49.9	55.5
あまりそう思わない	44.0	29.0	10.5	16.6
全くそう思わない	12.4	8.6	3.1	3.7
無回答	0.8	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

b. テクノロジーの変化が楽しみだ (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	23.5	30.8	38.1	17.5
まあそう思う	43.6	43.2	51.0	49.6
あまりそう思わない	25.2	19.9	8.2	28.5
全くそう思わない	6.7	6.1	2.6	3.8
無回答	1.0	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

c. テクノロジーの変化に不安を感じる (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	13.5	18.6	20.0	12.8
まあそう思う	38.2	36.0	30.7	42.3
あまりそう思わない	38.5	32.3	38.4	35.7
全くそう思わない	8.7	13.1	10.9	8.3
無回答	1.1	0.0	0.0	0.8
基数(人)	4822	1874	3772	1814

d. テクノロジーが変化しても私たちの生活は変わらない (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	4.4	9.9	22.4	11.2
まあそう思う	20.1	16.5	33.9	35.9
あまりそう思わない	53.9	32.7	34.5	38.6
全くそう思わない	20.4	40.9	9.2	13.7
無回答	1.2	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

e. テクノロジーの変化に適応するための知識を学校で教えてほしい (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	24.8	23.4	36.9	23.9
まあそう思う	46.1	44.8	53.2	48.5
あまりそう思わない	22.6	24.7	7.3	23.8
全くそう思わない	5.4	7.2	2.5	3.3
無回答	1.1	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

f. テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	16.4	30.6	35.5	19.2
まあそう思う	43.4	46.2	53.1	49.8
あまりそう思わない	33.5	17.9	9.4	26.8
全くそう思わない	5.5	5.3	2.0	3.5
無回答	1.2	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

g. テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	26.4	22.8	25.0	20.0
まあそう思う	48.1	43.0	43.4	42.1
あまりそう思わない	21.0	26.3	26.5	30.8
全くそう思わない	3.4	8.0	5.2	6.4
無回答	1.1	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

h. テクノロジーが変化しても、人と人とのつながりの大切さは変わらない (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	49.6	30.0	39.5	23.1
まあそう思う	34.0	34.8	47.3	43.2
あまりそう思わない	12.6	27.6	10.3	26.1
全くそう思わない	2.7	7.6	2.9	7.1
無回答	1.1	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

i. テクノロジーが変化するときこそ、リアルな体験をすることが重要になる (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	27.1	38.3	35.4	21.3
まあそう思う	47.5	38.5	52.7	50.6
あまりそう思わない	21.3	16.7	9.4	23.0
全くそう思わない	3.0	6.6	2.4	4.5
無回答	1.1	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

j. テクノロジーの変化によって、これから人間はもっと楽に暮らせる (％)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	22.6	22.1	31.9	24.9
まあそう思う	52.8	48.0	51.7	49.8
あまりそう思わない	19.6	24.2	12.9	20.2
全くそう思わない	3.3	5.7	3.5	4.5
無回答	1.7	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問20 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。(○は1つ) (％)

	日本	米国	中国	韓国
1. 裕福なほう	6.2	6.9	5.9	9.4
2. わりと裕福なほう	22.1	30.8	19.6	20.6
3. ふつう	57.6	51.9	62.3	40.2
4. わりと厳しいほう	11.7	9.1	9.3	21.1
5. 厳しいほう	1.7	1.2	2.9	8.1
無回答	0.7	0.0	0.0	0.7
基数(人)	4822	1874	3772	1814

問21 あなたの学校での成績は、クラスの中でどのくらいですか。(○は1つ) (％)

	日本	米国	中国	韓国
1. 上	9.8	16.6	14.7	7.9
2. 中の上	23.0	42.8	26.2	26.0
3. 中	28.5	30.8	31.8	52.3
4. 中の下	21.8	7.0	18.8	8.8
5. 下	16.2	2.7	8.5	4.4
無回答	0.7	0.0	0.0	0.6
基数(人)	4822	1874	3772	1814

## 男女別集計結果

(パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも100.0%に一致しない。)

問1 あなたの学年(○は1つ)

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 高1	37.3	40.5	27.9	38.8	44.4	41.4	35.6	25.9
2. 高2	32.3	30.5	40.2	29.4	30.9	32.7	34.5	43.7
3. 高3	30.3	29.0	31.8	31.9	24.8	25.9	29.9	30.3
無回答	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問3 新型コロナウイルスの感染が拡大してからいままで、あなたは以下の項目について、どのくらい影響を受けましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

a. 睡眠や食事などの生活習慣

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	9.8	8.3	15.2	19.3	14.6	7.2	14.7	24.7
多少受けた	27.9	27.8	25.6	28.7	21.2	21.8	46.8	45.6
あまり受けなかった	31.9	32.8	25.6	29.9	39.9	47.9	21.8	18.8
全く受けなかった	29.8	30.8	33.6	22.1	24.3	23.0	16.4	10.6
無回答	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

b. 健康状況

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	13.1	10.4	13.1	13.0	11.4	6.3	13.8	15.2
多少受けた	26.9	26.0	22.4	26.9	17.1	15.4	38.8	46.5
あまり受けなかった	30.8	33.2	31.5	35.7	39.6	48.5	31.3	28.2
全く受けなかった	28.2	29.9	33.0	24.3	31.9	29.8	15.9	9.9
無回答	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

c. 勉強や学習

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	17.9	13.9	21.4	26.2	17.7	13.2	19.6	21.4
多少受けた	36.2	42.5	25.4	31.7	29.4	35.6	39.4	44.0
あまり受けなかった	25.6	26.4	27.8	24.2	33.9	37.5	26.1	25.0
全く受けなかった	19.3	16.8	25.4	18.0	19.0	13.6	14.3	9.3
無回答	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## d. 友人関係

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	10.3	8.8	16.3	21.9	11.3	6.9	12.2	14.9
多少受けた	25.4	25.5	25.1	29.5	16.9	17.1	38.4	39.4
あまり受けなかった	30.2	30.6	25.4	25.3	39.2	46.4	29.0	31.0
全く受けなかった	33.1	34.7	33.3	23.3	32.5	29.6	20.2	14.5
無回答	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## e. 家族との関係

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	4.1	3.0	13.7	15.7	10.3	6.4	9.8	12.1
多少受けた	12.3	10.5	17.6	25.2	14.8	13.0	30.6	32.5
あまり受けなかった	33.2	32.3	26.1	27.6	36.8	43.1	32.6	33.1
全く受けなかった	49.3	53.5	42.6	31.5	38.2	37.4	26.8	22.1
無回答	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## f. 家の経済状況

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	4.9	4.9	13.2	15.2	17.5	13.4	11.2	10.0
多少受けた	24.5	22.8	20.1	21.8	26.9	31.7	36.4	40.9
あまり受けなかった	38.0	39.8	29.5	30.3	34.5	36.6	31.3	30.7
全く受けなかった	31.0	31.6	37.3	32.6	21.0	18.3	20.8	18.1
無回答	1.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## g. 将来の進路

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
強く受けた	5.1	2.9	12.7	14.9	13.1	9.8	10.5	12.0
多少受けた	12.0	13.4	19.8	21.0	21.4	24.2	32.6	36.7
あまり受けなかった	36.9	37.9	29.8	30.3	38.9	42.3	31.7	30.9
全く受けなかった	44.7	45.1	37.6	33.7	26.5	23.6	24.7	20.1
無回答	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問4 あなたは将来、どの程度の教育を受けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 高校まで	6.0	3.0	14.0	5.6	2.4	1.0	9.1	5.5
2. 専門・専修学校まで	5.1	15.3	5.7	1.4	-	-	14.7	15.4
3. 短大・高専まで	0.5	5.8	5.1	5.8	6.6	3.3	6.6	4.6
4. 四年制大学まで	64.4	59.4	35.8	35.6	28.4	29.6	46.4	53.3
5. 大学院修士まで	5.8	3.7	16.4	22.5	27.4	39.2	5.6	4.9
6. 大学院博士まで	2.3	0.8	9.3	19.8	20.9	17.0	5.1	6.9
7. 学歴にはこだわらない	5.1	2.9	0.9	0.1	5.2	3.6	3.6	3.6
8. まだ考えていない	10.5	8.7	12.9	9.2	9.1	6.3	8.5	5.8
無回答	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問5 あなたが進路について考えたり決めたりする際、主に影響を受けているのは次の項目のうちどれですか。3つまで選んでください。

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 親(保護者)	60.5	68.0	73.6	72.7	57.9	60.8	51.2	53.7
2. きょうだい	13.7	18.5	23.6	27.6	16.4	15.2	20.9	22.0
3. 親(保護者)やきょうだい以外の親族	7.3	9.2	31.4	31.4	10.6	9.3	20.9	18.6
4. 学校の先生	32.5	28.5	19.3	20.6	29.0	27.4	35.1	34.7
5. 先輩	9.6	8.1	9.4	11.5	7.3	6.9	18.6	16.3
6. 友達	28.9	24.2	35.7	27.5	26.5	26.0	30.2	33.4
7. 新聞・雑誌	3.7	2.7	0.7	2.6	3.3	3.5	4.9	6.4
8. テレビ	9.1	11.2	5.3	12.2	1.8	2.7	15.2	13.7
9. インターネットやSNS	34.9	34.2	27.6	30.1	11.3	15.4	34.2	27.8
10. 著名人	6.1	4.7	7.8	7.2	7.5	10.1	6.5	4.4
11. その他	9.9	9.4	18.1	17.3	2.9	3.2	10.0	8.7
12. 特に他人などに影響されない	17.6	13.6	7.8	4.4	25.7	23.3	17.6	20.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問6\_1 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)にかかわる次のような活動に関心がありますか？

「関心がある」と回答した割合

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
a. 職業について調べる	80.4	89.9	74.9	82.3	86.3	90.4	64.2	74.9
b. 職場の見学	60.1	75.9	71.8	78.9	74.3	76.8	40.4	56.7
c. 就業体験(インターンシップ)	56.4	70.7	69.5	80.7	79.5	86.9	45.5	58.1
d. ボランティア活動	41.5	55.9	54.2	76.5	74.2	80.1	39.5	53.8
e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集	76.5	87.9	76.3	88.2	85.8	90.8	56.8	67.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問6\_2 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)にかかわる次のような活動に取り組んでいますか？

「取り組んでいる」と回答した割合

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
a.職業について調べること	60.9	76.2	62.6	67.3	70.7	73.6	45.9	60.6
b.職場の見学	11.7	12.9	37.3	31.5	45.2	32.8	20.8	23.2
c.就業体験(インターンシップ)	7.1	7.5	23.4	18.9	45.8	32.4	16.5	20.2
d.ボランティア活動	15.0	18.1	44.5	53.7	52.9	44.7	28.5	37.6
e.大学など進学したい学校の見学や情報収集	63.2	74.1	66.5	75.2	65.7	68.6	44.0	55.7
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問7 将来の生き方や進路について、あなたが次のことを学習したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

「学習したことがある」と回答した割合

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
a. 自分の個性や適性(向き・不向き)	71.8	74.6	67.0	75.5	59.7	58.6	67.4	74.9
b. 職業の種類や内容	82.0	90.2	60.1	59.7	52.2	44.7	64.9	72.8
c. 学ぶことや働くことの意義	72.2	75.0	73.5	73.3	61.5	56.6	52.7	65.3
d. 進路選択の方法	82.0	85.2	51.9	56.0	54.5	49.2	56.2	67.4
e. 進路に関する不安や悩みへの対処法	52.4	51.4	46.1	44.5	47.1	38.0	40.1	52.4
f. 社会人・職業人としての常識やマナー	62.7	60.1	50.1	47.0	61.0	51.9	39.5	48.0
g. 近年の若者の就業の動向	33.1	27.2	43.5	41.6	53.9	46.8	44.1	50.1
h. 労働に関する法律や制度(労働者の権利など)	53.9	53.4	35.8	29.9	53.9	45.9	40.3	48.9
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問8 あなたは将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話しあっていますか。(○は1つ)

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. よく話しあっている	19.8	30.5	26.8	36.5	21.9	23.5	21.3	28.6
2. ときどき話しあっている	58.2	54.6	43.9	41.4	53.2	58.3	52.4	55.6
3. あまり話しあっていない	17.3	12.0	17.8	15.1	15.8	12.3	12.7	8.7
4. ほとんど話しあっていない	4.4	2.8	11.4	7.0	9.0	5.8	13.4	7.1
無回答	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問9 あなたは、将来希望する職業を決めていますか。(○は1つ)？

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. はっきり決めている	18.4	25.5	20.3	20.2	14.9	12.7	19.5	19.6
2. おおよそ決めている	31.1	34.0	36.8	39.4	30.0	34.8	46.6	52.4
3. 考えているが、まだ決めていない	33.0	30.3	35.3	36.3	45.6	47.7	18.1	20.8
4. まだ考えていない	16.5	9.8	7.1	3.7	7.7	3.6	10.4	4.6
5. 将来、職業や仕事に就きたいと思わない	0.7	0.2	0.6	0.4	1.8	1.2	5.2	2.4
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861



問10 あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？以下のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. 楽しい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	18.8	18.5	33.5	35.3	29.7	22.5	22.9	32.2
まあそう思う	49.4	57.3	41.2	44.2	43.6	52.1	43.3	44.5
あまりそう思わない	25.2	21.5	17.6	15.6	20.5	21.3	27.2	20.3
全くそう思わない	6.0	2.6	7.6	4.9	6.2	4.1	6.4	3.0
無回答	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

b. 苦しい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	26.7	22.5	8.2	8.8	33.8	29.2	10.1	10.3
まあそう思う	58.9	65.4	32.3	22.7	50.8	58.7	35.5	38.8
あまりそう思わない	11.9	10.9	32.5	30.1	11.5	9.6	41.0	39.3
全くそう思わない	1.6	0.8	27.1	38.4	3.9	2.5	13.1	11.6
無回答	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

c. やりがいがある

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	39.1	49.4	55.4	56.4	40.3	35.1	23.1	29.3
まあそう思う	47.9	44.3	26.5	27.1	44.4	52.0	44.3	51.0
あまりそう思わない	9.7	5.1	9.5	7.9	10.3	10.0	26.0	17.3
全くそう思わない	2.4	0.7	8.5	8.7	4.9	2.8	6.1	2.4
無回答	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

d. つまらない

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	7.2	2.8	10.8	8.4	12.8	7.7	8.1	9.1
まあそう思う	28.9	21.1	27.4	22.8	23.7	20.4	24.6	25.6
あまりそう思わない	49.8	58.4	30.5	31.3	39.6	47.7	43.6	47.2
全くそう思わない	13.2	17.0	31.4	37.5	23.8	24.1	23.4	18.2
無回答	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

e. 生活のため

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	68.0	69.3	17.7	14.7	21.4	14.4	31.7	34.6
まあそう思う	28.2	28.1	32.0	26.6	31.0	31.5	46.6	47.2
あまりそう思わない	2.2	1.8	30.7	36.1	32.8	37.6	15.7	15.1
全くそう思わない	0.9	0.3	19.5	22.6	14.8	16.5	5.7	3.1
無回答	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## f. 社会人としての義務

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	35.3	36.6	21.3	16.6	25.0	19.3	20.2	24.4
まあそう思う	41.1	48.3	32.9	32.6	42.6	42.4	38.9	45.2
あまりそう思わない	17.5	13.2	26.9	28.1	21.7	28.3	27.8	24.3
全くそう思わない	5.3	1.4	18.8	22.6	10.7	9.9	12.9	6.2
無回答	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問11 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか。それぞれにつき、あてはまるものに○をつけてください。

## a. 収入

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	62.3	55.9	68.7	65.6	50.6	49.9	46.2	43.3
やや重要	34.4	41.2	19.8	23.5	41.5	46.4	43.8	48.2
あまり重要でない	2.5	2.6	5.0	4.5	5.3	3.0	8.1	7.2
全く重要でない	0.4	0.2	6.4	6.4	2.6	0.7	1.0	0.9
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## b. 社会的地位

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	17.7	8.8	20.4	16.5	35.8	26.8	25.4	24.4
やや重要	47.1	47.6	29.6	30.8	44.1	50.3	50.3	56.8
あまり重要でない	29.5	39.3	34.9	36.7	16.4	21.2	20.2	17.5
全く重要でない	4.8	4.0	15.1	16.0	3.8	1.6	3.3	0.9
無回答	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## c. 安定性

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	64.1	67.7	62.1	69.4	55.0	53.1	39.9	41.5
やや重要	30.8	29.8	25.1	19.6	36.4	40.2	47.1	44.7
あまり重要でない	3.4	1.8	5.8	4.4	5.6	5.8	11.1	12.7
全く重要でない	1.1	0.1	7.1	6.6	3.0	0.9	1.0	0.8
無回答	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## d. 仕事の内容や仕方が自分で決められる

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	32.4	22.5	41.1	43.6	46.4	42.2	26.7	27.1
やや重要	46.9	49.8	34.8	31.2	40.6	46.5	49.7	52.0
あまり重要でない	18.3	26.0	16.9	19.2	9.6	10.3	20.7	18.5
全く重要でない	1.6	1.2	7.2	6.0	3.4	1.0	2.1	2.0
無回答	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

e. 自分の興味や好みに合っていること (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	65.0	63.8	54.8	61.4	51.5	47.1	36.4	39.5
やや重要	28.9	31.3	29.5	26.4	38.3	45.1	43.8	43.8
あまり重要でない	4.7	4.0	9.9	5.8	7.2	6.7	16.8	14.8
全く重要でない	0.7	0.5	5.9	6.4	3.1	1.1	2.1	1.3
無回答	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.7
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

f. 働く時間の自由度(柔軟な労働時間配分) (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	44.3	38.0	42.7	41.9	41.6	35.5	32.6	34.0
やや重要	42.4	49.6	35.6	37.7	42.6	49.9	46.9	48.0
あまり重要でない	11.1	11.0	15.5	15.1	12.7	13.5	17.8	16.1
全く重要でない	1.4	0.9	6.2	5.3	3.1	1.1	1.7	1.4
無回答	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

g. 能力の発揮 (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	50.7	42.2	47.1	52.5	51.2	43.9	31.3	34.6
やや重要	38.9	47.6	32.6	30.3	39.4	47.6	43.4	47.9
あまり重要でない	7.5	8.9	14.6	11.4	6.3	7.7	22.2	15.1
全く重要でない	1.4	0.6	5.7	5.8	3.1	0.8	2.1	1.9
無回答	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.6
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

h. 社会や人のために役立ち、貢献できること (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	40.2	44.9	35.6	45.2	46.5	40.1	22.0	23.8
やや重要	38.6	41.1	33.6	32.3	39.5	46.4	44.3	47.9
あまり重要でない	15.7	12.4	20.8	15.7	9.0	10.8	25.9	24.6
全く重要でない	4.6	1.2	10.0	6.8	5.0	2.7	6.9	3.3
無回答	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

i. 仕事の環境 (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	64.0	71.5	49.7	59.6	46.8	43.5	36.0	39.5
やや重要	32.2	26.5	31.9	26.2	41.5	50.3	45.3	43.1
あまり重要でない	2.2	1.7	11.5	8.0	8.7	5.2	16.3	15.4
全く重要でない	0.8	0.1	6.9	6.2	3.1	1.0	1.3	1.5
無回答	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## j. チャレンジできること

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	27.7	23.4	24.1	24.2	35.1	25.0	24.2	27.1
やや重要	44.4	45.8	42.5	43.2	38.9	44.6	40.6	43.4
あまり重要でない	23.4	27.7	24.1	26.2	19.9	26.6	28.7	24.4
全く重要でない	3.6	2.8	9.4	6.5	6.1	3.8	5.6	4.6
無回答	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## k. 勤務地の場所・所在地

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	33.8	35.9	23.1	25.7	38.6	33.2	28.1	30.9
やや重要	42.9	46.6	31.9	32.5	41.2	51.3	49.8	48.1
あまり重要でない	18.8	15.6	29.4	29.2	16.7	13.9	18.5	17.3
全く重要でない	3.6	1.7	15.6	12.5	3.6	1.6	2.7	3.0
無回答	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.7
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## l. 勤務先の福利厚生

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とても重要	45.9	43.5	56.8	60.2	43.0	38.3	35.2	39.4
やや重要	43.6	45.9	26.9	26.5	40.1	48.1	48.8	46.2
あまり重要でない	7.8	9.2	8.8	6.5	13.7	12.5	13.1	11.7
全く重要でない	1.6	0.7	7.5	6.8	3.2	1.0	1.8	2.2
無回答	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## 問12 あなたは将来、どこで働きたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 地元の市町村	15.3	22.1	26.1	22.0	5.9	3.7	16.6	12.5
2. 地元の中心都市	37.6	37.4	19.6	24.9	45.5	47.3	11.8	11.4
3. 東京や大阪など国内の大都会	31.8	27.9	31.4	32.5	34.6	38.2	55.3	55.1
4. 欧米など先進国	4.3	2.6	7.3	6.9	6.8	4.9	8.7	12.8
5. 発展途上国	1.3	1.0	1.3	1.2	5.2	4.0	3.3	3.7
6. その他	9.0	8.4	14.3	12.5	2.0	1.9	3.6	3.9
無回答	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問13 あなたは将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方をどのくらい希望しますか。 (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 強く希望する	6.3	3.4	17.6	12.3	18.7	13.7	15.3	15.0
2. まあ希望する	24.4	20.6	41.1	41.0	31.1	33.0	47.3	48.9
3. あまり希望しない	29.8	35.8	19.1	20.9	22.4	25.6	15.6	20.2
4. 希望しない	8.0	11.3	8.0	11.4	3.9	4.0	4.6	3.6
5. 特にこだわりはない	29.9	27.4	14.2	14.5	23.9	23.7	16.6	12.1
無回答	1.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問14 次にあげたことは、あなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	24.3	20.5	46.7	46.3	43.5	33.3	25.6	30.9
まあそう思う	54.1	55.1	36.9	37.6	41.9	50.0	49.4	53.3
あまりそう思わない	18.7	22.1	10.6	10.3	10.8	15.3	21.8	14.5
全くそう思わない	2.4	1.9	5.8	5.8	3.7	1.4	2.5	1.0
無回答	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

b. 若いうちはいろいろな仕事を体験したい (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	31.1	31.3	20.6	21.1	35.4	28.3	27.6	35.0
まあそう思う	38.8	40.8	36.0	35.9	38.7	42.6	45.6	50.6
あまりそう思わない	25.0	24.8	34.3	34.6	20.5	25.7	23.5	13.6
全くそう思わない	4.3	2.5	9.1	8.3	5.4	3.5	2.6	0.7
無回答	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

c. 暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	49.9	49.0	43.7	40.2	31.1	27.9	36.5	37.7
まあそう思う	34.2	36.2	31.6	30.7	30.0	35.0	41.4	44.7
あまりそう思わない	13.0	13.0	16.6	21.0	27.4	28.9	19.0	15.3
全くそう思わない	2.1	1.2	8.1	8.1	11.4	8.3	2.5	2.0
無回答	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

d. 仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	40.2	30.7	17.4	10.6	37.8	32.0	30.3	30.2
まあそう思う	48.0	50.7	35.1	29.0	43.9	48.8	47.1	48.9
あまりそう思わない	10.1	17.5	36.5	44.8	13.7	16.6	19.5	18.4
全くそう思わない	0.8	0.6	11.0	15.6	4.7	2.6	2.5	2.3
無回答	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## e. 自分の会社や店を作りたい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	10.9	6.0	29.6	22.0	27.9	18.9	28.2	27.8
まあそう思う	17.1	11.7	29.0	27.4	34.1	36.5	36.0	38.8
あまりそう思わない	42.9	43.6	24.9	26.0	29.0	37.1	28.6	27.9
全くそう思わない	27.7	38.0	16.4	24.6	8.9	7.5	6.5	5.5
無回答	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## f. 学歴より技術や技能を身につけることが大事だ

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	32.4	26.7	32.5	17.9	32.8	20.3	22.0	24.0
まあそう思う	47.3	51.8	37.5	37.0	43.0	46.9	46.2	42.0
あまりそう思わない	17.4	19.7	24.3	36.6	18.4	28.8	27.4	28.8
全くそう思わない	2.1	1.2	5.8	8.5	5.9	4.0	3.8	5.0
無回答	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## g. 周りに反対されても自分がやりたいことをしたい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	29.4	26.8	40.0	38.0	36.3	25.2	27.4	26.2
まあそう思う	50.1	48.5	34.6	35.2	44.7	49.9	45.1	46.6
あまりそう思わない	18.0	22.1	18.3	17.9	15.5	22.3	23.7	23.7
全くそう思わない	1.5	2.0	7.1	9.0	3.5	2.6	3.1	3.4
無回答	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## h. 地元で仕事や生活をしたい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	15.8	18.0	20.8	15.9	34.7	30.2	20.4	22.8
まあそう思う	36.9	39.1	33.0	26.5	41.6	41.1	46.2	50.3
あまりそう思わない	37.1	34.4	31.5	28.4	17.6	22.3	27.2	22.9
全くそう思わない	9.1	7.8	14.6	29.2	6.1	6.3	5.6	3.9
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## i. 社会に役に立つ仕事をしたい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	34.1	41.2	30.5	40.4	42.2	33.1	19.5	22.8
まあそう思う	43.0	44.9	38.1	39.5	44.0	54.8	41.2	46.3
あまりそう思わない	17.0	11.6	24.3	14.9	9.7	10.5	30.8	25.9
全くそう思わない	4.6	1.8	7.1	5.1	4.1	1.7	7.7	4.6
無回答	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

j. できるだけ高い地位に就きたい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	17.7	8.3	32.9	29.2	35.6	28.2	28.9	29.4
まあそう思う	38.5	34.5	30.7	32.3	44.0	46.8	40.1	41.8
あまりそう思わない	34.8	46.9	24.6	26.8	16.3	23.0	25.0	23.7
全くそう思わない	7.7	9.7	11.8	11.6	4.1	2.0	5.5	5.0
無回答	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

k. よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	23.5	22.6	42.4	43.0	31.1	23.6	28.5	35.4
まあそう思う	46.5	45.4	36.0	38.7	40.8	43.6	45.8	45.1
あまりそう思わない	25.2	28.5	17.0	13.5	22.4	28.2	22.1	17.0
全くそう思わない	3.7	2.8	4.7	4.8	5.7	4.6	3.0	2.4
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

l. 望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	7.2	2.9	26.3	22.7	31.5	23.8	17.0	17.8
まあそう思う	27.0	23.3	37.5	35.8	47.8	53.0	35.6	43.1
あまりそう思わない	41.4	51.7	25.2	31.4	15.4	19.8	34.5	30.2
全くそう思わない	23.4	21.4	11.1	10.1	5.3	3.5	12.2	8.8
無回答	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問15 仮に日常生活全体にかかる力を100%としたら、あなたは将来、生活全体にかかる力のうち、どのくらい仕事に注ぎたいと思いますか。次の中からあてはまるところに1つだけ○をつけてください。

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 0~20%	2.5	0.7	4.0	0.9	4.2	3.0	4.3	2.2
2. 21~40%	12.7	10.7	19.6	13.1	7.2	5.6	12.7	10.1
3. 41~60%	51.9	58.1	46.7	50.8	30.0	30.2	29.5	35.2
4. 61~80%	27.3	27.8	23.6	29.7	41.6	45.8	39.8	38.3
5. 81~100%	5.3	2.5	6.1	5.5	17.0	15.4	12.5	14.1
無回答	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問16 あなた自身のことをお聞きます。次のaからiまでのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. いまの生活には満足している

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	33.3	33.1	29.7	23.8	31.6	21.5	16.6	21.3
まあそう思う	50.2	52.8	38.5	43.2	47.1	52.2	57.0	60.5
あまりそう思わない	13.0	12.1	21.0	24.8	16.6	21.7	22.9	16.8
全くそう思わない	2.8	1.5	10.9	8.3	4.7	4.7	2.6	1.4
無回答	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

b. 周りの人の意見に影響されるほうだ

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	25.6	32.1	14.6	28.6	18.4	15.0	15.5	17.2
まあそう思う	46.8	43.3	38.1	37.7	35.4	42.5	50.7	56.3
あまりそう思わない	21.1	20.9	29.9	22.0	34.1	34.3	29.1	22.9
全くそう思わない	5.5	3.1	17.3	11.7	12.2	8.2	3.8	3.6
無回答	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

c. 自分はダメな人間だと思うことがある

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	31.6	34.4	20.3	30.8	23.3	16.9	11.7	12.4
まあそう思う	44.4	47.0	32.6	36.4	27.3	35.2	34.1	36.9
あまりそう思わない	18.0	15.1	25.8	19.2	30.9	32.8	38.4	36.1
全くそう思わない	4.9	2.7	21.3	13.7	18.4	15.1	14.8	14.5
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

d. 自分にはどのような能力・適性があるか知っている

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	16.2	12.3	36.8	28.8	29.9	19.3	13.7	17.7
まあそう思う	43.4	40.8	42.2	43.5	46.3	49.2	44.3	51.3
あまりそう思わない	32.7	40.3	15.4	23.2	18.9	27.6	37.6	27.8
全くそう思わない	6.7	6.0	5.5	4.5	4.8	3.9	3.4	3.3
無回答	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

e. 今の自分が好きだ

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	17.1	11.7	44.7	30.6	31.3	21.6	18.5	20.2
まあそう思う	42.9	37.5	34.3	41.3	42.1	47.0	46.9	51.2
あまりそう思わない	30.8	40.4	13.2	19.8	20.4	25.9	30.2	25.7
全くそう思わない	8.0	9.7	7.9	8.3	6.2	5.5	3.5	2.9
無回答	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861



## f. 今の自分を変えたい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	36.1	38.0	35.1	30.2	39.7	33.1	13.9	15.6
まあそう思う	38.0	43.8	30.0	34.2	42.3	48.5	40.3	39.4
あまりそう思わない	19.9	15.6	18.7	21.5	13.9	15.6	35.2	37.5
全くそう思わない	4.9	1.9	16.1	14.1	4.1	2.9	9.6	7.5
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## g. 自分には自分らしさがある

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	34.9	28.5	61.0	58.6	41.0	32.8	19.0	21.8
まあそう思う	46.6	50.0	27.2	30.9	47.4	53.3	50.2	51.9
あまりそう思わない	14.4	18.8	6.1	5.5	8.5	12.3	26.7	23.6
全くそう思わない	2.9	1.9	5.8	5.0	3.1	1.6	3.3	2.6
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## h. 相手が誰であっても自分の意見を言える

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	19.8	11.5	33.7	34.0	30.7	20.7	20.4	20.9
まあそう思う	40.2	30.8	32.4	29.4	42.3	39.3	46.6	52.3
あまりそう思わない	32.6	46.1	23.4	26.0	21.5	34.3	29.0	24.5
全くそう思わない	6.3	10.8	10.5	10.7	5.6	5.7	3.1	2.3
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## i. 見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	26.1	21.6	42.4	39.3	38.1	26.3	19.5	24.3
まあそう思う	50.8	49.7	39.2	40.3	47.3	57.9	44.2	47.6
あまりそう思わない	18.8	24.4	13.2	16.2	10.9	13.3	28.2	24.9
全くそう思わない	3.1	3.4	5.2	4.2	3.7	2.5	6.9	3.3
無回答	1.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問17 社会や経済について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

## a. 今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	30.5	21.1	35.8	53.0	-	-	29.9	31.7
まあそう思う	38.0	43.9	36.4	30.3	-	-	52.4	53.0
あまりそう思わない	27.9	33.1	19.1	11.7	-	-	14.7	13.2
全くそう思わない	2.9	1.2	8.8	4.9	-	-	2.3	1.9
無回答	0.6	0.5	0.0	0.0	-	-	0.7	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

## b. 将来は今よりも経済的に発展していると思う

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	18.8	18.5	23.1	19.6	-	-	17.3	20.0
まあそう思う	33.6	40.3	47.3	50.3	-	-	53.3	55.9
あまりそう思わない	35.3	34.4	22.9	25.3	-	-	25.1	21.1
全くそう思わない	11.3	5.9	6.7	4.8	-	-	3.6	2.8
無回答	1.0	0.9	0.0	0.0	-	-	0.7	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

## c. 国や社会のために自分も貢献していきたいと思う

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	22.6	23.4	32.6	36.8	-	-	15.1	17.4
まあそう思う	48.4	52.0	42.2	43.4	-	-	39.8	48.4
あまりそう思わない	21.6	21.1	19.5	14.9	-	-	36.5	28.7
全くそう思わない	6.5	2.6	5.7	4.9	-	-	7.9	5.2
無回答	0.9	0.9	0.0	0.0	-	-	0.7	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

## d. 社会は自分の力で変えていくことができると思う

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	11.3	6.5	25.4	26.5	-	-	13.7	16.1
まあそう思う	28.9	27.2	38.1	40.9	-	-	34.2	40.3
あまりそう思わない	46.7	54.4	28.0	26.4	-	-	41.2	36.2
全くそう思わない	12.2	11.0	8.4	6.2	-	-	10.3	7.2
無回答	0.9	1.0	0.0	0.0	-	-	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

## e. いまの社会は貧富の差が大きい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	34.4	29.4	45.5	42.8	-	-	35.0	33.2
まあそう思う	46.2	51.0	35.5	34.1	-	-	43.4	47.5
あまりそう思わない	16.9	18.2	13.7	17.1	-	-	18.2	16.5
全くそう思わない	1.4	0.7	5.3	6.0	-	-	2.6	2.4
無回答	1.1	0.9	0.0	0.0	-	-	0.8	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

## f. 日本の未来は明るい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	5.6	3.7	16.6	11.9	-	-	12.4	14.8
まあそう思う	23.5	31.6	38.7	34.5	-	-	35.6	40.8
あまりそう思わない	47.8	52.7	32.2	41.4	-	-	36.4	35.2
全くそう思わない	21.8	11.2	12.5	12.2	-	-	15.0	9.2
無回答	1.3	0.9	0.0	0.0	-	-	0.7	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

g. 日本は競争が激しい社会である

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	17.2	10.0	34.3	31.0	-	-	42.1	42.6
まあそう思う	49.1	46.5	44.9	46.0	-	-	40.6	40.8
あまりそう思わない	28.6	39.4	15.5	17.9	-	-	14.7	14.4
全くそう思わない	4.0	3.0	5.3	5.1	-	-	1.7	2.0
無回答	1.2	1.1	0.0	0.0	-	-	0.9	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

h. 日本で暮らすことに満足している

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	48.9	55.2	43.9	31.4	-	-	15.3	17.3
まあそう思う	40.2	38.4	36.6	39.8	-	-	48.0	52.3
あまりそう思わない	7.5	4.8	13.3	20.0	-	-	29.0	24.5
全くそう思わない	2.3	0.8	6.2	8.8	-	-	6.9	5.8
無回答	1.1	0.8	0.0	0.0	-	-	0.8	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

i. 性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	16.9	8.5	21.6	28.4	-	-	20.5	14.2
まあそう思う	36.5	33.5	35.8	31.0	-	-	40.8	44.8
あまりそう思わない	27.3	34.0	25.8	22.1	-	-	26.7	27.2
全くそう思わない	18.0	23.1	16.7	18.5	-	-	11.2	13.7
無回答	1.3	0.8	0.0	0.0	-	-	0.8	0.1
基数(人)	2266	2412	902	913	-	-	769	861

問18 将来について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. 自分の将来について、はっきり目標をもっている

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
よくあてはまる	24.5	28.7	35.6	37.7	33.5	22.9	20.2	24.5
まああてはまる	38.1	37.1	34.1	35.6	41.0	47.0	47.5	52.4
あまりあてはまらない	29.3	27.1	22.3	18.8	21.2	27.5	27.4	21.5
全くあてはまらない	7.1	6.6	8.0	7.9	4.3	2.6	4.2	1.4
無回答	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

b. 今が楽しければいいので先のことは考えない

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
よくあてはまる	9.8	5.9	17.0	14.9	18.3	10.7	10.1	10.3
まああてはまる	29.3	23.8	35.1	32.2	26.6	24.0	38.2	42.5
あまりあてはまらない	47.6	55.4	36.1	35.0	38.6	47.5	39.8	35.7
全くあてはまらない	11.7	14.1	11.8	17.9	16.5	17.8	11.1	11.1
無回答	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## c. 自分の将来に不安を感じている

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
よくあてはまる	31.9	32.9	22.7	22.9	23.9	21.2	13.1	13.7
まああてはまる	46.1	47.8	40.8	36.6	37.8	43.7	43.0	52.0
あまりあてはまらない	16.7	16.3	25.9	25.8	27.4	28.5	33.9	28.7
全くあてはまらない	3.8	2.2	10.5	14.7	10.9	6.6	9.0	5.2
無回答	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## d. 自分の将来は明るい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
よくあてはまる	11.0	11.0	40.9	44.2	27.1	18.2	17.2	17.5
まああてはまる	39.6	46.6	40.2	39.5	41.0	42.2	42.3	48.9
あまりあてはまらない	40.6	36.2	13.1	11.8	24.9	34.3	34.3	28.9
全くあてはまらない	7.1	5.1	5.8	4.4	6.9	5.3	5.3	4.3
無回答	1.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問19 AI(人工知能)などのテクノロジーの変化について、あなたがどのように思っていますか。以下のそれぞれについて、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

## a. テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	14.9	6.1	25.4	16.5	43.3	30.2	22.5	23.1
まあそう思う	39.0	26.0	43.7	40.3	44.0	55.4	55.9	58.0
あまりそう思わない	36.2	51.9	23.5	33.6	9.2	11.6	17.2	15.9
全くそう思わない	9.0	15.4	7.4	9.5	3.6	2.7	3.6	2.4
無回答	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## b. テクノロジーの変化が楽しみだ

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	33.8	13.6	38.0	24.1	44.4	32.4	17.9	18.1
まあそう思う	42.3	45.2	40.5	46.1	43.9	57.6	47.3	51.2
あまりそう思わない	18.6	31.8	16.1	23.3	8.2	8.2	28.6	28.0
全くそう思わない	4.1	8.7	5.4	6.5	3.5	1.8	5.5	2.2
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## c. テクノロジーの変化に不安を感じる

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	14.5	12.4	19.5	17.4	24.7	15.6	11.2	14.1
まあそう思う	36.7	39.9	34.0	38.6	29.8	31.5	40.3	44.4
あまりそう思わない	37.9	39.7	32.4	32.4	33.2	43.2	37.1	35.1
全くそう思わない	9.8	7.3	14.1	11.6	12.3	9.6	10.5	5.8
無回答	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.7
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## d. テクノロジーが変化しても私たちの生活は変わらない

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	6.1	2.7	12.1	7.8	27.0	18.3	11.3	11.3
まあそう思う	21.6	18.6	18.6	15.0	31.3	36.3	33.9	36.2
あまりそう思わない	48.9	59.4	29.7	35.6	31.4	37.3	37.1	40.2
全くそう思わない	22.2	18.2	39.6	41.6	10.3	8.2	16.9	11.8
無回答	1.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## e. テクノロジーの変化に適応するための知識を学校で教えてほしい

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	28.3	21.4	23.5	22.7	43.1	31.2	23.5	26.1
まあそう思う	46.8	45.9	45.5	45.1	46.6	59.3	49.5	48.4
あまりそう思わない	18.8	26.5	23.3	25.4	6.9	7.8	21.6	23.1
全くそう思わない	5.0	5.4	7.8	6.8	3.3	1.8	4.6	1.9
無回答	1.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## f. テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	23.9	8.8	35.4	25.6	41.8	29.7	20.9	19.3
まあそう思う	45.9	41.9	43.1	49.9	46.0	59.7	46.2	52.4
あまりそう思わない	24.4	42.2	16.0	19.4	9.2	9.5	27.7	25.4
全くそう思わない	4.5	6.2	5.5	5.0	3.1	1.1	4.4	2.3
無回答	1.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## g. テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる

(%)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	26.7	26.4	23.8	22.0	29.3	21.0	19.1	21.8
まあそう思う	48.5	48.2	42.9	43.5	40.0	46.5	40.8	44.4
あまりそう思わない	20.0	21.9	24.7	27.6	24.4	28.4	30.9	28.8
全くそう思わない	3.7	2.7	8.5	6.9	6.3	4.1	8.5	4.3
無回答	1.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

h. テクノロジーが変化しても、人と人とのつながりの大切さは変わらない (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	51.9	48.3	34.7	25.5	43.8	35.6	23.4	24.2
まあそう思う	34.1	34.0	36.4	33.7	42.0	52.3	43.8	43.4
あまりそう思わない	10.4	14.7	22.4	32.4	9.9	10.6	23.3	26.0
全くそう思わない	2.5	2.3	6.5	8.3	4.3	1.6	8.8	5.9
無回答	1.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

i. テクノロジーが変化するときこそ、リアルな体験をすることが重要になる (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	29.6	24.5	37.6	39.2	40.1	31.1	23.3	21.6
まあそう思う	48.6	47.3	39.8	37.9	46.5	58.4	51.5	51.8
あまりそう思わない	17.7	24.8	16.3	16.1	9.7	9.2	20.8	22.2
全くそう思わない	3.0	2.6	6.3	6.8	3.7	1.3	3.8	3.9
無回答	1.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

j. テクノロジーの変化によって、これから人間はもっと楽に暮らせる (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
とてもそう思う	26.7	18.8	27.8	16.9	37.6	26.6	27.3	25.3
まあそう思う	51.1	55.0	47.2	49.1	45.7	57.2	47.5	53.4
あまりそう思わない	17.0	22.3	19.4	28.7	11.9	13.8	19.8	17.4
全くそう思わない	3.3	2.7	5.5	5.4	4.8	2.3	4.8	3.4
無回答	1.9	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問20 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。(○は1つ) (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 裕福なほう	5.9	6.4	9.2	4.8	7.9	4.0	10.3	9.1
2. わりと裕福なほう	22.8	21.5	31.2	30.8	18.0	21.1	22.0	20.8
3. ふつう	58.7	57.0	48.3	55.8	60.9	63.6	37.7	46.1
4. わりと厳しいほう	10.1	13.1	10.2	7.9	9.0	9.5	20.2	17.7
5. 厳しいほう	1.6	1.5	1.1	0.8	4.2	1.8	9.1	5.8
無回答	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

問21 あなたの学校での成績は、クラスの中でどのくらいですか。(○は1つ) (％)

	日本		米国		中国		韓国	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 上	10.3	9.0	18.0	15.4	17.9	11.9	7.4	8.1
2. 中の上	21.5	24.8	40.9	45.7	24.8	27.5	25.7	25.7
3. 中	27.9	29.4	29.9	31.0	31.3	32.3	51.2	55.9
4. 中の下	21.5	22.4	8.2	5.8	16.7	20.7	10.5	7.2
5. 下	17.9	14.1	3.0	2.1	9.4	7.6	4.4	2.7
無回答	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
基数(人)	2266	2412	902	913	1801	1971	769	861

## 学年別集計結果

(パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも100.0%に一致しない。)

### 問2 あなたの性別

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 男	45.2	48.3	48.3	40.4	55.8	47.8	49.5	46.3	46.6	52.2	38.1	38.9
2. 女	52.2	48.5	49.3	56.7	41.2	48.5	50.5	53.7	53.4	42.5	54.0	44.2
3. どちらとも言えない	1.1	0.9	0.5	1.3	1.2	1.5	-	-	-	1.7	4.9	11.2
4. 答えたくない	1.4	1.9	1.3	1.6	1.7	2.2	-	-	-	3.4	2.9	5.8
無回答	0.2	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問3 新型コロナウイルスの感染が拡大してからいままで、あなたは以下の項目について、どのくらい影響を受けましたか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

#### a. 睡眠や食事などの生活習慣

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	9.2	8.4	9.9	16.2	14.5	22.3	8.7	11.4	13.4	18.1	20.7	25.7
多少受けた	28.7	27.4	26.7	26.6	27.1	28.7	18.1	23.5	24.8	46.7	52.2	36.7
あまり受けなかった	31.5	34.7	30.5	27.2	28.2	26.5	44.0	45.0	43.2	20.8	18.0	21.2
全く受けなかった	30.0	29.1	32.6	30.0	30.3	22.5	29.2	20.1	18.7	14.1	8.9	16.1
無回答	0.6	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

#### b. 健康状況

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	11.2	12.7	11.5	12.2	11.8	16.3	7.1	10.1	9.9	15.4	13.4	15.7
多少受けた	26.2	27.4	25.8	24.4	23.8	26.5	13.4	17.6	19.2	39.8	45.8	43.7
あまり受けなかった	32.4	31.0	31.9	32.9	31.4	35.8	43.1	46.0	43.9	29.1	32.0	26.1
全く受けなかった	29.3	28.2	30.0	30.6	32.9	21.3	36.4	26.3	27.0	15.2	8.5	14.2
無回答	1.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

#### c. 勉強や学習

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	17.2	14.7	16.1	24.7	19.2	29.5	13.7	15.8	17.7	15.8	20.3	25.0
多少受けた	39.2	39.0	39.1	29.3	28.5	27.0	29.3	32.8	37.9	43.2	45.0	36.2
あまり受けなかった	24.7	27.8	25.2	25.2	28.3	23.3	37.5	36.9	31.7	27.4	26.7	23.9
全く受けなかった	17.8	17.9	18.9	20.8	24.0	20.2	19.5	14.5	12.7	12.8	7.8	14.4
無回答	1.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

#### d. 友人関係

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	7.4	9.8	12.9	18.9	17.5	22.0	7.4	9.6	11.0	12.2	12.1	15.7
多少受けた	24.1	23.8	28.6	27.7	25.5	27.8	13.7	17.9	21.4	39.8	42.4	36.9
あまり受けなかった	31.3	32.7	26.2	25.5	25.2	25.5	42.9	44.7	41.0	29.0	31.3	28.6
全く受けなかった	36.1	33.1	31.7	27.9	31.7	24.7	35.9	27.8	26.6	18.7	13.9	18.4
無回答	1.1	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## e. 家族との関係

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	2.9	3.8	4.2	14.3	13.8	16.2	7.0	8.8	9.7	11.2	9.2	14.0
多少受けた	11.4	11.5	11.7	23.9	18.0	22.7	11.2	14.9	17.0	33.5	33.2	28.9
あまり受けなかった	31.1	35.5	31.9	23.4	26.8	30.3	39.0	41.7	39.8	30.1	36.4	31.5
全く受けなかった	53.4	48.6	51.4	38.5	41.4	30.8	42.8	34.6	33.4	24.8	21.0	25.2
無回答	1.2	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## f. 家の経済状況

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	4.4	5.0	5.8	14.6	12.9	16.0	11.5	17.3	19.6	12.2	8.3	11.8
多少受けた	23.3	23.0	25.2	18.6	19.4	25.0	24.6	32.8	33.0	39.4	42.1	34.3
あまり受けなかった	39.6	40.9	35.2	26.4	31.4	31.8	39.1	33.5	32.4	27.8	33.2	32.1
全く受けなかった	30.9	30.3	32.9	40.4	36.3	27.2	24.8	16.4	14.9	20.2	15.9	21.3
無回答	1.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## g. 将来の進路

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
強く受けた	2.9	4.6	5.1	11.7	12.3	18.3	9.2	12.8	13.5	11.0	10.1	14.0
多少受けた	9.7	13.7	16.2	21.3	18.2	22.7	17.6	23.5	31.0	35.2	37.6	29.1
あまり受けなかった	38.0	38.3	35.0	27.2	31.4	31.0	41.9	42.8	35.9	28.2	33.2	32.8
全く受けなかった	48.2	42.4	42.8	39.7	38.2	28.0	31.3	20.9	19.5	25.0	18.7	23.7
無回答	1.2	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.4	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問4 あなたは将来、どの程度の教育を受けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 高校まで	3.6	4.2	5.9	8.3	9.7	11.7	1.9	1.8	1.0	9.1	7.5	3.7
2. 専門・専修学校まで	11.6	7.1	12.0	2.2	3.8	4.5	-	-	-	17.3	18.0	17.9
3. 短大・高専まで	3.4	1.8	4.2	3.5	4.8	8.7	4.9	5.5	4.1	5.5	7.3	3.0
4. 四年制大学まで	57.3	66.7	60.9	32.5	34.8	39.0	20.7	34.8	35.8	42.1	47.3	54.3
5. 大学院修士まで	2.9	6.3	6.1	20.7	20.2	16.3	37.0	29.6	32.8	5.0	5.5	5.1
6. 大学院博士まで	0.8	2.0	2.3	15.9	16.8	11.0	21.1	18.3	15.8	5.1	5.6	7.1
7. 学歴にはこだわらない	3.7	3.4	5.6	0.8	0.5	0.5	4.2	3.5	5.6	4.2	3.0	4.2
8. まだ考えていない	16.3	8.2	2.9	16.0	9.5	8.3	10.2	6.4	4.8	11.4	5.5	4.4
無回答	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591



問5 あなたが進路について考えたり決めたりする際、主に影響を受けているのは次の項目のうちどれですか。3つまで選んでください。

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 親(保護者)	64.6	64.0	62.4	75.2	75.2	65.5	58.1	60.8	59.9	53.3	49.0	45.5
2. きょうだい	17.2	16.0	14.5	24.8	24.6	26.8	12.8	18.6	17.3	27.8	16.5	23.4
3. 親(保護者)やきょうだい以外の親族	9.0	7.9	7.8	33.8	32.9	25.8	8.4	11.3	10.9	19.6	21.0	20.0
4. 学校の先生	28.0	33.1	29.7	16.7	16.9	27.7	28.0	29.9	26.4	32.4	34.5	31.0
5. 先輩	8.7	8.5	9.7	11.1	11.2	9.2	6.7	7.3	7.6	16.6	20.4	15.7
6. 友達	26.3	27.1	25.7	31.1	34.2	30.2	27.0	26.2	25.1	30.1	32.2	31.8
7. 新聞・雑誌	3.6	2.8	3.3	2.6	1.1	1.7	4.0	3.1	2.9	5.3	7.3	5.9
8. テレビ	11.5	8.6	9.5	9.0	9.4	7.7	2.8	1.8	2.2	12.4	19.0	14.9
9. インターネットやSNS	35.1	34.7	33.3	28.4	29.2	29.0	14.8	12.3	12.6	27.2	33.9	29.1
10. 著名人	6.0	5.5	4.6	10.4	6.3	5.5	9.8	8.3	8.0	5.5	6.0	5.6
11. その他	10.4	10.4	8.7	14.7	17.5	21.7	3.3	3.0	2.8	9.9	11.2	9.3
12. 特に他人などに影響されない	15.1	14.8	17.5	6.4	4.5	8.3	25.2	23.3	24.7	19.2	19.1	17.8
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問6\_1 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)にかかわる次のような活動に関心がありますか？

「関心がある」と回答した割合

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
a. 職業について調べること	83.0	84.6	88.3	78.7	76.5	79.8	88.0	88.4	89.3	67.2	69.1	66.0
b. 職場の見学	66.7	65.4	72.6	76.9	74.8	73.3	72.8	77.8	77.6	46.3	48.6	48.4
c. 就業体験(インターンシップ)	62.6	59.6	69.0	77.1	74.5	73.2	80.5	86.0	84.8	47.6	51.9	55.3
d. ボランティア活動	45.9	46.7	54.9	65.1	64.0	66.3	73.4	81.3	78.8	47.2	46.3	47.7
e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集	78.0	83.0	86.3	84.3	80.0	81.3	87.8	89.0	88.8	58.9	61.9	62.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問6\_2 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)にかかわる次のような活動に取り組んでいますか？

「取り組んでいる」と回答した割合

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
a. 職業について調べること	62.8	67.8	76.6	59.9	64.8	70.5	70.2	73.8	73.7	49.1	55.2	53.3
b. 職場の見学	7.7	10.5	20.4	32.9	33.7	36.7	34.8	40.9	42.5	21.3	24.4	23.5
c. 就業体験(インターンシップ)	4.0	7.9	11.3	20.8	17.4	25.0	33.1	42.1	44.4	14.7	22.6	22.3
d. ボランティア活動	14.0	15.6	21.7	53.5	45.4	47.8	45.2	51.8	50.4	33.3	33.3	35.9
e. 大学など進学したい学校の見学や情報収集	55.2	71.1	83.4	63.1	71.4	77.0	65.2	68.4	69.2	46.5	50.4	50.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問7 将来の生き方や進路について、あなたが次のことを学習したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

「学習したことがある」と回答した割合

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
a. 自分の個性や適性(向き・不向き)	74.7	67.3	76.7	69.7	70.9	73.8	59.8	59.5	57.7	70.5	72.0	70.1
b. 職業の種類や内容	88.9	83.6	84.3	51.3	59.1	69.7	47.3	48.5	49.6	69.3	66.5	67.0
c. 学ぶことや働くことの意義	76.6	70.4	72.7	71.2	71.4	77.2	58.8	60.1	57.8	58.7	58.9	58.9
d. 進路選択の方法	82.6	83.3	84.6	49.4	51.7	61.0	49.5	54.1	52.6	58.7	59.1	66.7
e. 進路に関する不安や悩みへの対処法	48.4	48.9	59.2	42.1	43.7	50.2	41.2	44.8	41.1	45.1	45.1	51.1
f. 社会人・職業人としての常識やマナー	60.7	57.7	65.8	42.0	47.7	55.7	55.4	57.8	55.7	43.6	44.5	43.5
g. 近年の若者の就業の動向	28.2	28.3	34.6	37.3	42.2	48.0	47.2	53.9	50.5	44.4	46.1	50.8
h. 労働に関する法律や制度(労働者の権利など)	57.7	48.4	53.7	29.0	32.0	38.2	48.0	51.8	49.9	49.3	45.4	41.8
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問8 あなたは将来の生き方や進路について、親(保護者)とどの程度話しあっていますか。(○は1つ)

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. よく話しあっている	17.0	21.9	39.3	28.4	29.5	36.7	23.7	22.0	22.3	20.2	21.1	30.1
2. ときどき話しあっている	59.0	60.9	47.6	42.6	43.5	41.3	54.7	57.8	55.5	52.6	61.5	48.4
3. あまり話しあっていない	19.0	13.7	10.2	17.3	17.4	14.3	14.3	12.7	15.2	14.5	8.8	8.5
4. ほとんど話しあっていない	5.0	3.3	2.7	11.7	9.5	7.7	7.3	7.6	7.1	12.6	8.6	13.0
無回答	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問9 あなたは、将来希望する職業を決めていますか。

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. はっきり決めている	14.5	18.5	35.3	14.3	20.9	24.5	13.1	14.7	13.9	15.2	18.2	23.0
2. おおよそ決めている	30.6	33.7	34.3	33.3	38.9	42.7	32.4	33.2	31.9	46.7	54.6	47.7
3. 考えているが、まだ決めていない	37.9	33.7	20.2	43.4	34.6	28.7	47.4	45.3	47.1	19.2	18.8	19.6
4. まだ考えていない	16.2	13.5	9.4	8.3	4.6	3.3	6.0	5.4	4.8	10.9	5.9	6.3
5. 将来、職業や仕事に就きたいと思わない	0.6	0.3	0.4	0.6	0.9	0.8	1.1	1.4	2.3	7.8	2.3	3.2
無回答	0.1	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問10 あなたにとって「仕事」や「働くこと」はどのようなイメージですか？ 以下のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. 楽しい

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	19.1	15.8	21.7	33.7	36.0	33.8	24.8	28.4	24.9	24.2	29.5	32.7
まあそう思う	53.4	55.1	50.6	44.2	39.4	44.7	48.8	48.3	46.5	43.0	42.8	45.0
あまりそう思わない	23.2	24.4	22.2	17.3	16.9	15.0	21.7	18.8	22.2	25.7	23.7	18.6
全くそう思わない	3.7	4.4	5.3	4.8	7.7	6.5	4.7	4.6	6.5	6.7	3.9	3.7
無回答	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

b. 苦しい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	25.4	22.5	26.5	6.7	8.3	10.8	31.3	32.8	29.8	10.9	11.2	10.3
まあそう思う	60.2	65.1	60.9	26.1	27.5	28.2	54.9	53.7	56.6	32.4	42.2	39.1
あまりそう思わない	12.6	10.4	10.6	33.0	30.5	30.7	11.1	10.0	10.2	43.6	35.6	38.4
全くそう思わない	1.0	1.5	1.3	34.1	33.7	30.3	2.8	3.6	3.3	13.0	10.8	12.2
無回答	0.8	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

c. やりがいがある (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	45.1	40.9	46.7	56.7	58.5	51.0	39.6	38.7	32.8	20.0	28.0	29.4
まあそう思う	44.9	48.9	44.1	29.2	23.5	28.5	47.1	48.8	50.2	48.2	46.4	46.0
あまりそう思わない	7.7	8.3	6.2	7.5	8.3	11.2	9.6	9.2	12.4	25.3	21.7	21.0
全くそう思わない	1.4	1.5	2.1	6.6	9.7	9.3	3.7	3.4	4.6	6.1	3.7	3.4
無回答	0.9	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

d. つまらない (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	5.7	5.0	4.9	9.5	9.2	10.7	8.2	11.5	11.7	7.6	9.2	9.5
まあそう思う	24.2	27.7	22.6	23.9	26.6	23.5	19.8	23.8	23.5	26.7	27.7	26.4
あまりそう思わない	54.5	54.9	52.8	29.6	30.3	33.5	45.9	41.0	44.0	46.1	42.4	45.2
全くそう思わない	14.7	11.9	18.6	37.0	33.8	32.3	26.1	23.7	20.8	19.2	20.5	19.0
無回答	0.9	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

e. 生活のため (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	69.6	66.4	70.0	14.9	17.4	16.7	15.4	19.2	20.0	31.2	30.9	35.2
まあそう思う	27.9	30.2	25.3	29.8	28.8	30.0	28.2	33.2	33.9	46.7	47.6	43.1
あまりそう思わない	1.3	2.2	3.0	35.6	30.9	33.3	36.8	32.8	35.9	17.5	14.9	18.6
全くそう思わない	0.3	0.7	1.1	19.7	22.9	20.0	19.6	14.9	10.2	4.2	6.5	3.0
無回答	0.9	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

f. 社会人としての義務 (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	35.3	36.1	36.7	18.4	20.5	17.8	22.0	22.0	22.0	21.3	22.0	23.2
まあそう思う	44.8	45.5	43.3	32.4	32.8	33.5	40.2	44.0	44.6	38.7	44.1	38.4
あまりそう思わない	15.8	14.4	15.8	28.7	25.7	27.8	26.3	24.4	24.2	29.3	23.4	28.8
全くそう思わない	3.3	3.5	3.3	20.5	21.1	20.8	11.5	9.6	9.1	10.5	10.3	9.6
無回答	0.7	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問11 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか。それぞれにつき、あてはまるものに○をつけてください。

a. 収入

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	58.0	60.5	59.3	67.6	64.9	67.5	46.9	50.1	56.0	46.1	41.8	44.2
やや重要	38.8	36.9	36.9	22.3	23.5	20.0	46.7	44.0	39.7	43.2	48.4	44.8
あまり重要でない	2.5	2.0	3.2	4.2	5.7	4.8	5.1	4.0	2.5	8.2	7.6	9.0
全く重要でない	0.2	0.5	0.4	5.9	5.8	7.7	1.3	1.9	1.8	1.7	1.4	1.9
無回答	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

b. 社会的地位

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	12.5	14.5	13.8	18.1	18.6	17.7	29.5	31.8	32.9	25.7	24.7	22.2
やや重要	45.5	49.2	46.3	32.5	28.3	29.0	47.7	47.3	46.8	49.0	55.3	54.7
あまり重要でない	37.1	31.5	34.1	36.2	35.7	35.2	19.9	18.9	17.2	21.7	16.1	21.7
全く重要でない	4.3	4.3	5.1	13.1	17.4	18.2	2.9	2.0	3.0	2.7	3.2	1.4
無回答	0.6	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

c. 安定性

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	66.8	66.3	64.3	66.3	66.0	63.7	53.6	53.1	55.9	40.2	38.5	38.4
やや重要	30.2	29.6	30.8	22.9	22.6	21.3	38.3	40.0	36.6	43.0	47.3	46.2
あまり重要でない	1.9	2.8	3.4	5.3	4.9	5.7	6.3	5.3	5.3	14.3	11.8	14.7
全く重要でない	0.4	0.6	0.8	5.4	6.5	9.3	1.9	1.7	2.2	1.7	1.7	0.5
無回答	0.6	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

d. 仕事の内容や仕方が自分で決められる

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	25.0	28.9	29.3	41.7	41.8	43.5	43.7	44.6	44.7	25.5	24.3	27.4
やや重要	48.5	50.0	45.7	34.8	32.0	31.3	44.0	44.2	42.5	45.9	55.5	48.4
あまり重要でない	23.9	19.4	22.9	18.1	20.2	16.7	10.4	9.2	10.1	25.0	16.5	22.0
全く重要でない	1.7	1.1	1.5	5.4	6.0	8.5	1.9	2.1	2.6	2.9	3.0	1.9
無回答	0.9	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

e. 自分の興味や好みに合っていること

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	65.1	63.3	63.7	58.3	59.8	55.3	51.6	48.8	45.6	38.7	33.2	39.3
やや重要	29.2	30.9	30.9	29.0	25.7	29.3	39.9	42.8	44.1	41.7	47.3	40.3
あまり重要でない	4.5	5.0	3.8	7.9	8.3	7.7	6.6	6.5	7.9	17.1	16.7	17.3
全く重要でない	0.5	0.4	0.8	4.8	6.2	7.7	1.9	1.9	2.4	1.7	1.9	2.9
無回答	0.7	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## f. 働く時間の自由度(柔軟な労働時間配分)

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	42.9	41.5	38.6	40.7	42.8	44.0	37.6	38.3	39.9	34.3	29.6	33.2
やや重要	44.2	46.7	47.2	38.1	35.5	36.2	46.6	47.2	45.2	43.2	50.3	46.9
あまり重要でない	10.9	10.6	11.7	16.2	16.2	13.0	13.9	12.3	13.1	20.2	17.7	17.8
全く重要でない	1.1	0.7	1.8	5.0	5.5	6.8	2.0	2.3	1.8	1.5	1.7	1.9
無回答	1.0	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## g. 能力の発揮

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	45.3	43.7	50.4	51.6	49.5	47.8	48.6	46.3	46.6	33.9	29.9	32.5
やや重要	44.3	44.7	40.4	32.1	30.2	31.8	41.9	46.2	43.7	43.0	48.1	41.8
あまり重要でない	8.2	10.0	6.8	12.2	14.8	12.5	7.7	5.8	7.5	19.8	19.4	22.3
全く重要でない	1.3	0.5	1.1	4.2	5.5	7.8	1.8	1.8	2.2	2.3	1.9	3.0
無回答	0.9	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## h. 社会や人のために役立ち、貢献できること

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	39.0	38.3	51.4	39.4	41.8	38.8	43.9	43.9	41.0	22.9	19.7	24.9
やや重要	41.6	42.6	34.3	36.7	30.0	32.5	42.0	44.5	43.2	42.7	48.9	43.5
あまり重要でない	16.0	15.5	10.6	17.5	18.6	18.7	10.1	8.6	11.4	28.8	25.4	24.0
全く重要でない	2.7	3.0	3.2	6.4	9.5	10.0	4.0	3.0	4.5	5.0	5.3	7.3
無回答	0.7	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## i. 仕事の環境

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	67.2	67.7	69.1	54.5	54.9	53.8	44.8	45.3	45.1	40.8	30.6	38.1
やや重要	29.5	29.8	27.6	29.8	28.2	29.0	46.0	46.7	45.5	37.9	50.3	40.4
あまり重要でない	2.1	1.8	2.0	10.7	10.2	8.8	7.4	6.2	6.9	19.0	16.2	17.1
全く重要でない	0.4	0.3	0.7	5.0	6.8	8.3	1.9	1.8	2.5	1.5	1.9	3.9
無回答	0.7	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## j. チャレンジできること

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	23.2	24.2	30.3	22.0	26.9	22.3	28.5	31.3	30.3	26.1	22.3	25.7
やや重要	44.6	46.2	44.2	44.9	40.8	42.3	41.0	42.9	42.2	37.9	45.3	40.9
あまり重要でない	28.3	25.9	21.0	26.4	23.5	26.2	25.1	22.6	21.5	30.1	25.7	27.1
全く重要でない	3.2	3.0	3.9	6.7	8.8	9.2	5.4	3.3	6.0	5.1	6.0	5.9
無回答	0.7	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## k. 勤務地の場所・所在地

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	33.3	36.0	35.9	25.0	23.8	24.0	34.8	36.6	36.4	31.8	24.6	30.1
やや重要	45.4	45.9	42.7	35.6	30.2	30.8	44.8	48.0	47.5	46.5	51.6	45.5
あまり重要でない	18.5	14.9	17.3	28.4	30.6	28.8	17.6	13.4	13.3	17.1	19.3	20.1
全く重要でない	2.1	2.4	3.6	11.1	15.4	16.3	2.8	2.0	2.8	3.8	3.6	3.7
無回答	0.6	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## l. 勤務先の福利厚生

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とても重要	37.4	46.6	53.3	58.2	56.9	59.3	40.4	40.7	40.8	39.2	34.5	35.7
やや重要	49.3	44.4	38.1	27.2	26.8	26.7	42.4	45.0	46.7	44.2	47.6	47.0
あまり重要でない	10.8	7.2	6.6	8.3	10.2	4.5	15.4	12.6	9.7	13.5	13.9	12.4
全く重要でない	1.3	1.1	1.3	6.3	6.2	9.5	1.9	1.8	2.8	2.1	3.2	4.4
無回答	1.1	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.9	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問12 あなたは将来、どこで働きたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 地元の市町村	17.6	16.0	22.9	21.8	26.9	22.7	4.5	4.9	4.9	13.3	16.2	10.8
2. 地元の中心都市	39.6	36.4	34.8	22.0	23.1	21.7	43.2	49.6	48.2	10.9	14.9	7.4
3. 東京や大阪など国内の大都会	29.6	32.7	27.1	33.8	30.2	31.7	40.4	34.5	32.2	53.9	51.4	57.9
4. 欧米など先進国	2.5	3.6	4.8	6.3	7.5	7.7	6.3	3.9	7.4	12.6	8.6	12.5
5. 発展途上国	1.0	1.4	1.4	1.4	1.1	1.3	3.9	5.1	5.0	3.0	4.6	6.8
6. その他	9.1	9.2	8.2	14.7	11.2	15.0	1.7	2.0	2.3	5.3	3.6	4.4
無回答	0.6	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問13 あなたは将来の仕事において、在宅勤務・リモートワークが中心となる働き方をどのくらい希望しますか。

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 強く希望する	4.0	5.3	5.6	12.3	16.5	15.3	15.2	16.3	17.5	16.2	14.7	13.4
2. まあ希望する	22.1	22.7	22.8	41.5	39.7	41.2	27.5	36.1	34.9	43.6	51.0	44.8
3. あまり希望しない	32.8	33.7	31.2	21.3	19.1	19.8	27.2	21.9	21.3	19.6	14.8	25.2
4. 希望しない	9.7	7.9	11.7	11.4	9.7	8.3	4.5	4.4	2.5	2.5	5.5	3.6
5. 特にこだわりはない	29.8	28.4	27.4	13.5	15.1	15.3	25.6	21.3	23.8	17.7	13.5	13.0
無回答	1.6	2.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問14 次にあげたことは、あなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	19.9	21.0	27.4	42.3	46.6	50.2	38.4	37.8	38.5	25.1	27.6	32.5
まあそう思う	54.6	55.4	53.7	41.5	36.8	33.2	45.3	47.1	46.3	48.6	52.9	50.3
あまりそう思わない	22.3	21.7	16.0	11.2	10.6	10.0	13.6	13.0	12.5	24.0	17.5	13.9
全くそう思わない	2.5	1.7	2.5	5.0	6.0	6.7	2.7	2.2	2.7	1.7	1.4	3.4
無回答	0.8	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

b. 若いうちはいろいろな仕事を経験したい (%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	28.2	31.0	35.7	19.2	22.3	21.2	31.3	32.4	31.3	28.0	27.4	34.0
まあそう思う	40.1	40.1	38.5	40.9	33.4	34.2	37.4	43.6	42.8	47.0	51.3	50.1
あまりそう思わない	27.1	25.9	20.8	32.2	35.1	35.0	26.9	20.1	20.8	22.7	18.7	14.4
全くそう思わない	3.5	2.6	4.2	7.7	9.2	9.7	4.4	3.9	5.0	1.9	2.0	1.5
無回答	1.1	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

c. 暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい (%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	51.8	47.8	48.0	38.9	42.2	45.8	26.9	30.8	32.0	34.7	35.2	38.1
まあそう思う	33.6	36.7	35.7	35.3	29.7	28.2	31.1	33.3	34.1	41.3	46.4	39.1
あまりそう思わない	12.0	13.5	13.7	19.1	19.5	17.5	30.4	27.3	25.5	21.0	15.1	20.6
全くそう思わない	1.5	1.6	1.9	6.7	8.6	8.5	11.6	8.5	8.5	2.7	2.7	2.0
無回答	1.1	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.2
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

d. 仕事よりも、自分の趣味や自由な時間を大切にしたい (%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	36.6	35.4	35.0	12.8	16.5	13.8	34.7	33.9	35.8	30.1	27.0	31.1
まあそう思う	48.5	49.4	49.3	33.5	28.6	34.0	44.9	48.3	46.6	43.2	52.2	44.2
あまりそう思わない	13.3	14.0	14.0	42.9	40.2	38.7	16.7	13.7	14.7	22.5	18.0	21.3
全くそう思わない	0.5	0.7	0.9	10.7	14.8	13.5	3.7	4.1	2.8	3.8	2.2	3.4
無回答	1.0	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

e. 自分の会社や店を作りたい (%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	6.8	8.7	10.6	20.8	29.2	26.5	20.5	25.3	25.1	26.7	24.4	29.1
まあそう思う	13.5	14.7	15.4	32.5	27.4	23.7	33.3	36.6	37.3	35.6	43.0	32.8
あまりそう思わない	45.0	43.6	39.8	27.1	25.2	24.7	36.3	31.2	30.6	31.6	24.7	32.5
全くそう思わない	33.2	32.2	33.1	19.6	18.2	25.2	9.8	6.9	7.0	5.7	7.3	5.6
無回答	1.5	0.8	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

f. 学歴より技術や技能を身につけることが大事だ (%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	26.7	27.4	35.8	23.6	25.7	25.5	25.0	26.7	28.0	21.9	21.1	24.0
まあそう思う	49.8	50.3	48.1	37.5	37.4	36.7	43.2	44.5	48.7	41.7	43.7	43.7
あまりそう思わない	20.7	20.2	13.5	30.9	29.4	31.5	26.0	24.8	18.9	30.9	30.3	25.9
全くそう思わない	1.7	1.6	1.6	8.0	7.5	6.3	5.8	4.0	4.4	5.1	4.3	6.4
無回答	1.2	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

g. 周りに反対されても自分がやりたいことをしたい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	28.6	25.7	30.7	40.5	37.4	40.0	31.1	29.1	31.0	25.0	23.9	28.4
まあそう思う	49.0	50.0	47.9	33.3	34.8	35.3	45.3	49.3	48.7	42.7	49.9	42.5
あまりそう思わない	19.2	22.4	18.7	18.6	20.3	15.8	20.6	19.1	16.6	28.0	22.3	24.2
全くそう思わない	2.0	1.5	1.8	7.5	7.5	8.8	3.0	2.6	3.7	4.0	3.2	4.9
無回答	1.2	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

h. 地元で仕事や生活をしたい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	15.4	15.6	20.6	17.3	20.2	17.8	34.4	30.0	32.0	18.7	19.4	23.9
まあそう思う	38.4	35.8	38.8	28.0	30.9	30.3	39.4	41.8	43.9	48.6	50.7	42.1
あまりそう思わない	36.5	38.7	31.0	30.4	28.5	31.3	19.8	22.3	17.8	28.2	23.9	26.2
全くそう思わない	8.5	9.2	8.7	24.2	20.5	20.5	6.4	5.9	6.4	4.2	5.5	7.8
無回答	1.2	0.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

i. 社会に役に立つ仕事をしたい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	36.0	34.2	43.2	33.3	38.5	33.8	39.4	36.8	35.0	20.4	17.2	23.2
まあそう思う	42.6	47.0	41.4	42.1	33.4	41.3	47.6	51.6	50.8	39.8	47.8	40.8
あまりそう思わない	17.2	14.8	10.8	20.0	21.7	17.3	9.8	9.7	11.0	32.2	26.9	28.4
全くそう思わない	3.1	3.2	3.4	4.5	6.5	7.5	3.2	2.0	3.2	7.2	7.0	7.6
無回答	1.1	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

j. できるだけ高い地位に就きたい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	10.8	13.5	15.6	31.4	32.8	27.2	30.8	32.0	33.0	29.1	24.4	30.1
まあそう思う	35.1	38.4	35.5	33.7	28.6	31.8	45.1	46.0	45.5	35.2	45.4	37.6
あまりそう思わない	43.9	38.1	39.4	25.5	26.5	25.8	20.7	19.6	18.5	29.3	22.8	25.2
全くそう思わない	9.0	9.2	8.4	9.5	12.2	15.2	3.3	2.4	3.0	5.9	6.8	7.1
無回答	1.2	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

k. よりよい職場があれば、積極的に転職したほうがよい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	21.3	23.2	26.1	41.7	44.2	41.5	25.7	27.6	29.4	30.1	26.4	34.9
まあそう思う	42.3	47.9	47.8	39.1	34.2	39.5	39.6	44.7	43.8	44.4	47.7	40.9
あまりそう思わない	31.3	25.0	22.4	14.3	17.7	13.7	28.6	23.7	22.3	22.5	21.0	19.5
全くそう思わない	4.0	3.1	2.7	5.0	4.0	5.3	6.1	4.1	4.6	2.7	4.3	4.7
無回答	1.1	0.8	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591



1. 望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	5.2	4.9	5.3	22.3	24.6	27.2	24.9	28.6	30.5	17.3	15.1	18.8
まあそう思う	24.7	24.9	25.2	38.6	35.7	34.8	48.9	51.4	52.0	41.0	39.7	35.9
あまりそう思わない	45.5	48.4	45.4	28.4	28.5	28.0	20.8	16.4	14.1	29.9	33.9	32.1
全くそう思わない	23.5	21.1	23.1	10.7	11.2	10.0	5.4	3.6	3.3	11.4	10.8	13.2
無回答	1.1	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問15 仮に日常生活全体にかかる力を100%としたら、あなたは将来、生活全体にかかる力のうち、どのくらい仕事に注ぎたいと思いますか。

(％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 0～20%	1.2	1.5	2.4	1.6	1.4	4.3	4.0	2.6	4.0	5.9	2.4	3.2
2. 21～40%	12.1	11.8	11.8	12.3	17.8	19.8	6.0	6.8	6.4	13.3	11.1	8.8
3. 41～60%	56.9	54.3	52.0	51.0	49.8	44.8	30.3	29.5	30.4	37.1	30.5	28.4
4. 61～80%	26.4	27.7	28.5	29.3	25.1	25.0	45.0	43.8	41.8	33.1	41.7	38.2
5. 81～100%	3.0	4.2	4.9	5.8	5.8	6.0	14.7	17.3	17.5	10.1	13.6	20.6
無回答	0.3	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問16 あなた自身のことをお聞きします。次のaからまでのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. いまの生活には満足している (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	35.1	29.4	34.2	28.7	27.2	23.0	28.7	25.0	24.1	17.5	17.4	24.0
まあそう思う	49.6	54.7	50.2	42.0	42.5	37.7	48.0	50.5	51.6	55.4	63.5	54.3
あまりそう思わない	12.6	13.1	12.5	20.7	20.8	28.0	18.9	20.3	18.4	24.2	16.5	19.5
全くそう思わない	1.9	2.4	2.8	8.7	9.5	11.3	4.3	4.2	5.9	2.7	1.9	1.5
無回答	0.8	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

b. 周りの人の意見に影響されるほうだ (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	31.1	29.2	25.5	24.4	23.1	18.5	14.4	19.9	16.3	18.5	17.0	13.0
まあそう思う	45.1	44.2	45.5	39.3	36.3	37.3	36.6	41.4	40.3	47.6	53.2	57.4
あまりそう思わない	19.2	21.8	22.7	23.7	26.0	28.3	38.0	29.5	33.8	29.9	26.0	25.2
全くそう思わない	3.5	3.9	5.6	12.7	14.6	15.8	11.0	9.2	9.6	3.8	3.2	3.7
無回答	1.1	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

c. 自分はダメな人間だと思うことがある (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	33.6	33.2	33.0	26.1	29.2	23.8	18.1	22.7	19.9	14.3	10.6	13.2
まあそう思う	46.6	44.8	44.3	33.3	31.1	38.0	30.0	32.5	32.5	36.2	38.1	34.5
あまりそう思わない	16.0	16.8	16.6	23.2	21.4	22.7	33.1	29.6	32.7	36.8	36.6	35.0
全くそう思わない	2.6	4.2	5.3	17.3	18.3	15.5	18.8	15.3	14.9	12.6	13.9	16.4
無回答	1.2	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.8
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

d. 自分にはどのような能力・適性があるか知っている (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	12.7	13.4	17.9	30.4	34.8	32.7	25.0	24.4	23.4	15.6	13.5	18.3
まあそう思う	39.5	40.9	45.6	44.2	40.3	43.3	48.6	45.8	49.0	41.9	50.0	49.2
あまりそう思わない	40.1	38.1	29.8	21.8	19.4	17.7	22.2	25.9	22.6	37.1	32.9	27.7
全くそう思わない	6.7	6.7	6.0	3.5	5.5	6.3	4.3	3.9	5.0	5.1	2.9	3.7
無回答	1.0	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

e. 今の自分が好きだ (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	12.4	14.4	17.6	36.2	38.8	35.8	27.9	25.8	23.9	17.3	16.1	24.5
まあそう思う	39.2	38.6	41.8	39.4	36.3	36.8	43.6	44.5	46.7	46.7	52.7	45.5
あまりそう思わない	37.1	37.1	31.2	16.3	16.0	18.7	23.2	23.8	22.8	31.8	27.6	24.9
全くそう思わない	10.1	9.0	8.6	8.0	8.9	8.7	5.4	5.8	6.6	4.0	2.9	4.4
無回答	1.1	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

f. 今の自分を変えたい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	38.1	36.9	36.1	29.2	34.2	35.3	35.9	37.2	35.6	15.0	13.8	14.4
まあそう思う	40.2	43.2	39.0	34.3	29.1	32.8	45.2	46.2	45.2	37.9	41.5	40.1
あまりそう思わない	17.8	15.6	19.8	20.7	22.3	17.5	14.8	13.9	15.8	38.5	36.1	34.5
全くそう思わない	2.8	3.4	4.4	15.9	14.5	14.3	4.1	2.8	3.3	8.4	7.9	10.3
無回答	1.2	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

g. 自分には自分らしさがある (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	30.3	29.7	35.8	58.2	61.7	57.5	40.2	35.1	33.0	19.4	17.8	23.5
まあそう思う	48.9	49.4	45.2	31.1	26.8	30.0	48.2	50.1	54.9	50.1	52.9	45.5
あまりそう思わない	17.2	17.2	15.8	6.4	6.3	5.3	9.8	12.3	9.2	27.4	24.9	26.7
全くそう思わない	2.4	2.8	2.4	4.3	5.2	7.2	1.8	2.5	2.9	2.9	3.6	3.6
無回答	1.2	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.9	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

h. 相手が誰であっても自分の意見を言える (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	14.7	15.5	17.1	30.6	35.5	33.3	26.3	25.2	24.6	21.5	18.5	20.6
まあそう思う	33.6	36.6	36.5	31.9	29.8	30.3	38.8	39.4	45.7	45.7	49.1	50.4
あまりそう思わない	40.8	38.7	37.7	26.8	23.7	24.5	29.2	29.7	24.6	29.3	28.4	24.0
全くそう思わない	9.8	8.3	7.9	10.7	10.9	11.8	5.8	5.8	5.2	3.0	3.2	4.2
無回答	1.1	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

## i. 見聞きした情報について疑問をもったり、自分で調べたりする

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	19.5	23.6	30.0	37.7	40.9	43.0	33.5	31.7	29.7	24.0	18.5	22.2
まあそう思う	47.0	51.6	52.6	43.4	38.2	37.7	52.6	51.0	55.7	41.7	49.3	42.3
あまりそう思わない	27.6	20.5	14.6	14.6	15.4	14.7	11.6	13.7	11.1	27.6	26.0	27.6
全くそう思わない	4.5	3.3	1.9	4.3	5.5	4.7	2.3	3.7	3.6	6.5	5.5	6.9
無回答	1.4	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問17 社会や経済について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

## a. 今の世の中は若者にとって息苦しい感じがする

(%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	23.0	26.3	29.7	42.1	43.5	49.8	28.0	29.7	32.3
まあそう思う	40.4	42.3	40.4	34.8	34.9	28.3	51.4	54.0	47.5
あまりそう思わない	33.4	29.0	27.8	17.6	15.4	13.0	17.3	14.2	15.7
全くそう思わない	2.2	2.0	1.9	5.4	6.2	8.8	2.9	1.6	3.9
無回答	1.0	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

## b. 将来は今よりも経済的に発展していると思う

(%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	20.4	19.5	15.4	19.7	24.8	18.2	14.5	19.4	19.3
まあそう思う	38.8	36.5	34.4	51.0	44.5	50.7	53.1	57.0	50.8
あまりそう思わない	32.6	34.1	38.5	24.7	24.3	24.5	27.8	20.0	26.2
全くそう思わない	6.9	9.0	10.8	4.6	6.5	6.7	4.2	3.2	3.2
無回答	1.2	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

## c. 国や社会のために自分も貢献していきたいと思う

(%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	21.1	21.7	26.7	34.0	38.3	30.5	13.5	14.5	19.0
まあそう思う	49.9	49.6	49.6	43.8	37.8	47.0	41.5	49.0	39.3
あまりそう思わない	23.3	22.8	18.1	18.8	18.9	14.8	38.3	29.5	32.1
全くそう思わない	4.5	5.1	4.8	3.5	4.9	7.7	6.5	6.6	9.0
無回答	1.1	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

## d. 社会は自分の力で変えていくことができると思う

(%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	7.9	9.6	9.8	24.8	29.2	23.7	13.1	14.7	15.1
まあそう思う	26.6	28.8	27.9	39.6	35.7	42.5	34.5	39.2	35.7
あまりそう思わない	52.5	49.7	48.3	28.2	28.5	25.0	42.7	38.5	36.7
全くそう思わない	11.7	11.1	13.1	7.4	6.6	8.8	9.5	7.2	12.0
無回答	1.3	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

e.いまの社会は貧富の差が大きい (%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	31.7	30.2	33.8	42.0	40.8	51.0	33.7	29.2	35.7
まあそう思う	48.1	50.0	47.6	36.7	36.2	30.7	42.5	47.3	43.0
あまりそう思わない	17.7	17.8	17.0	16.5	17.2	12.0	19.8	19.7	16.6
全くそう思わない	1.2	1.1	0.8	4.8	5.8	6.3	3.6	3.3	4.1
無回答	1.3	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

f.日本の未来は明るい (%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	4.8	4.8	4.4	13.3	16.5	11.7	12.4	12.4	13.5
まあそう思う	28.5	27.4	25.8	35.1	37.7	35.2	32.8	44.1	34.7
あまりそう思わない	50.3	49.4	50.5	39.1	34.0	38.5	40.4	32.2	37.9
全くそう思わない	15.1	17.4	18.3	12.5	11.8	14.7	14.3	10.9	13.4
無回答	1.3	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

g.日本は競争が激しい社会である (%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	13.2	13.9	13.7	32.1	33.4	31.0	41.7	38.1	40.3
まあそう思う	48.1	47.9	46.4	44.7	45.4	46.7	37.3	42.0	41.8
あまりそう思わない	33.5	33.6	35.3	18.6	16.5	15.7	17.7	17.4	13.0
全くそう思わない	3.6	3.7	3.7	4.6	4.8	6.7	2.9	2.0	4.2
無回答	1.6	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

h.日本で暮らすことに満足している (%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	54.0	50.8	50.1	37.2	44.3	28.2	16.4	13.5	17.9
まあそう思う	38.4	39.6	39.8	39.3	33.5	41.5	42.3	57.9	44.0
あまりそう思わない	5.1	6.9	7.0	17.0	13.7	21.5	33.0	20.5	30.1
全くそう思わない	1.2	1.7	2.4	6.6	8.5	8.8	8.2	7.5	7.4
無回答	1.3	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

i.性別によって仕事の役割に違いが出るのは、やむを得ない (%)

	日本			米国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	11.6	14.2	12.9	27.4	24.5	23.5	19.0	13.9	17.3
まあそう思う	33.6	35.4	35.3	34.6	30.3	34.5	40.2	45.1	40.4
あまりそう思わない	32.5	30.0	28.4	20.0	26.3	24.5	29.9	26.0	27.2
全くそう思わない	21.0	19.5	22.4	17.9	18.9	17.5	10.7	14.4	14.6
無回答	1.3	1.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	525	696	591

問18 将来について、次にあげたことはあなたの考えに近いですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. 自分の将来について、はっきり目標をもっている (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
よくあてはまる	21.5	24.2	36.0	33.0	37.8	37.5	29.3	27.8	25.9	21.5	21.0	25.2
まああてはまる	35.8	37.9	39.1	36.1	31.1	37.5	41.8	44.9	47.1	45.9	54.7	49.1
あまりあてはまらない	33.0	29.8	19.9	22.6	22.3	17.5	25.3	24.2	23.5	28.6	21.7	22.0
全くあてはまらない	8.4	7.7	4.7	8.3	8.8	7.5	3.6	3.2	3.4	3.8	2.0	3.0
無回答	1.3	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.7
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

b. 今が楽しければいいので先のことは考えない (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
よくあてはまる	7.5	8.9	7.7	14.6	21.1	12.3	13.2	15.3	14.9	9.9	10.2	11.5
まああてはまる	28.1	26.0	25.0	34.6	33.8	32.2	21.2	25.5	31.7	40.8	43.8	38.6
あまりあてはまらない	49.9	51.4	52.9	35.7	33.4	37.5	46.0	43.8	38.0	37.5	36.8	37.7
全くあてはまらない	12.8	12.9	13.4	15.1	11.7	18.0	19.6	15.4	15.4	11.6	8.6	11.2
無回答	1.8	0.8	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	1.0
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

c. 自分の将来に不安を感じている (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
よくあてはまる	33.0	33.9	30.5	20.5	27.5	21.7	20.8	24.8	22.4	13.0	11.6	16.1
まああてはまる	46.5	48.8	45.3	39.1	33.7	43.0	37.4	43.1	44.1	45.0	53.7	40.8
あまりあてはまらない	15.8	14.1	19.5	27.1	25.2	25.0	31.9	24.7	25.5	32.4	29.6	33.3
全くあてはまらない	2.9	2.4	3.9	13.3	13.5	10.3	9.9	7.5	8.0	9.3	4.5	9.0
無回答	1.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.8
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

d. 自分の将来は明るい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
よくあてはまる	9.3	10.8	13.9	40.5	45.5	39.0	22.5	23.6	20.9	18.5	13.1	20.1
まああてはまる	42.3	41.1	44.9	41.7	38.2	39.8	42.0	39.8	43.4	38.9	48.4	47.2
あまりあてはまらない	40.5	40.3	33.8	13.1	11.4	15.0	29.4	30.8	29.4	36.0	33.0	26.1
全くあてはまらない	6.1	6.7	6.4	4.6	4.9	6.2	6.1	5.8	6.4	6.5	4.7	5.8
無回答	1.8	1.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.8
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問19 AI(人工知能)などのテクノロジーの変化について、あなたがどのように思っていますか。以下のそれぞれについて、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

a. テクノロジーの変化を意識して、情報を集めるようにしている (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	9.7	10.4	11.6	17.3	23.8	21.5	36.8	37.5	34.6	21.3	20.8	28.6
まあそう思う	32.5	31.7	32.7	44.2	38.5	41.7	48.9	50.6	51.0	55.8	61.5	48.2
あまりそう思わない	44.6	44.9	42.5	31.3	28.6	27.2	11.0	9.1	11.3	18.3	13.8	18.4
全くそう思わない	12.1	12.6	12.7	7.2	9.1	9.7	3.3	2.8	3.1	4.2	2.9	4.4
無回答	1.2	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

b. テクノロジーの変化が楽しみだ (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	22.6	23.0	25.3	26.3	35.5	30.5	39.1	39.3	35.1	17.1	16.1	19.6
まあそう思う	41.9	44.7	44.6	45.0	40.5	44.2	49.8	50.5	53.7	48.6	52.6	47.2
あまりそう思わない	27.4	24.8	22.6	23.2	17.7	18.7	8.1	7.8	8.9	28.4	26.9	30.5
全くそう思わない	6.7	6.9	6.5	5.4	6.3	6.7	3.0	2.4	2.3	5.7	3.6	2.4
無回答	1.3	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.9	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

c. テクノロジーの変化に不安を感じる (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	13.9	12.7	13.9	18.9	19.5	17.2	18.6	21.7	20.1	13.0	12.5	13.2
まあそう思う	36.8	39.3	38.8	35.4	35.7	37.0	27.2	33.4	33.1	37.3	47.0	41.5
あまりそう思わない	40.7	38.1	36.2	32.9	30.8	33.5	42.3	35.0	36.3	39.8	32.8	35.5
全くそう思わない	7.2	9.0	10.3	12.8	14.0	12.3	11.9	9.9	10.6	9.5	6.5	9.3
無回答	1.4	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.3	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

d. テクノロジーが変化しても私たちの生活は変わらない (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	3.8	4.6	5.0	8.5	12.5	8.7	21.4	23.5	22.9	12.4	8.8	13.0
まあそう思う	19.8	22.0	18.3	17.5	14.9	17.3	30.3	34.8	38.9	34.5	37.8	35.0
あまりそう思わない	56.2	53.1	51.7	34.5	31.1	32.5	38.7	31.9	30.5	37.5	41.1	36.7
全くそう思わない	18.5	19.3	24.2	39.6	41.5	41.5	9.7	9.8	7.7	15.4	11.4	14.9
無回答	1.7	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

e. テクノロジーの変化に適応するための知識を学校で教えてほしい (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	23.3	24.4	27.3	20.5	26.0	23.5	37.5	37.9	34.7	24.4	20.1	27.9
まあそう思う	46.7	45.7	46.1	47.6	42.3	44.5	52.9	52.3	55.0	45.0	52.7	46.7
あまりそう思わない	23.7	23.2	20.4	25.0	24.0	25.0	7.1	7.3	7.8	25.5	23.7	22.2
全くそう思わない	5.1	5.9	5.3	6.9	7.7	7.0	2.5	2.5	2.5	5.0	2.6	2.7
無回答	1.3	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.9	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

f. テクノロジーが変化するときこそ、大きなチャンスである (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	13.6	17.5	18.9	26.9	35.2	29.3	36.1	35.5	34.4	19.8	16.5	21.8
まあそう思う	41.3	44.9	44.9	48.4	41.2	49.3	52.0	54.1	53.9	46.9	54.5	46.9
あまりそう思わない	38.0	31.4	29.7	20.0	18.5	15.0	10.0	8.1	9.8	29.1	24.3	27.9
全くそう思わない	5.6	5.4	5.6	4.6	5.1	6.3	1.9	2.3	1.9	3.8	3.9	2.9
無回答	1.6	0.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

g. テクノロジーが変化することで、就職先や雇用の機会が少なくなる (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	27.0	25.7	26.5	23.4	24.5	20.3	23.7	26.3	25.5	17.7	19.5	22.5
まあそう思う	49.0	46.9	48.3	42.6	40.6	45.8	38.9	45.9	47.6	39.8	46.8	38.6
あまりそう思わない	19.5	23.4	20.5	26.6	26.8	25.3	31.1	23.4	22.6	33.9	27.9	31.6
全くそう思わない	3.0	3.4	3.8	7.4	8.2	8.5	6.3	4.4	4.3	8.4	4.6	6.8
無回答	1.5	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.1	0.5
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

h. テクノロジーが変化しても、人と人のつながりの大切さは変わらない (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	49.9	46.2	53.2	28.5	31.5	29.8	42.5	39.0	35.1	23.6	21.6	24.4
まあそう思う	34.3	36.4	31.2	34.0	36.5	34.0	44.5	48.0	51.3	40.6	47.8	40.1
あまりそう思わない	11.6	13.9	12.5	31.1	24.3	27.5	10.3	10.0	10.6	29.0	22.1	28.4
全くそう思わない	2.7	2.6	2.5	6.4	7.7	8.7	2.7	3.0	3.0	6.7	7.6	6.8
無回答	1.5	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.9	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

i. テクノロジーが変化するときこそ、リアルな体験をすることが重要になる (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	25.1	27.1	29.8	39.6	41.1	33.8	35.4	36.6	34.0	20.6	19.7	23.9
まあそう思う	47.6	48.4	46.7	38.9	35.2	41.5	52.1	51.8	54.9	49.5	52.4	49.2
あまりそう思わない	23.0	20.5	19.9	16.0	17.2	16.8	10.4	9.2	8.2	24.0	22.6	22.8
全くそう思わない	2.9	3.2	2.8	5.4	6.5	7.8	2.0	2.5	3.0	5.7	4.3	3.7
無回答	1.4	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

j. テクノロジーの変化によって、これから人間はもっと楽に暮らせる (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
とてもそう思う	21.8	23.4	22.9	20.4	25.7	20.2	31.6	33.5	30.3	27.6	21.8	26.1
まあそう思う	53.3	51.6	53.6	46.0	47.4	50.8	51.0	52.3	52.2	47.0	52.9	48.7
あまりそう思わない	19.7	20.1	18.9	29.0	21.2	22.3	13.9	11.1	13.4	20.0	20.4	20.3
全くそう思わない	3.0	3.5	3.3	4.6	5.7	6.7	3.5	3.2	4.1	5.1	4.0	4.6
無回答	2.1	1.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.9	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問20 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。 (％)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 裕福なほう	5.8	6.2	6.8	8.2	7.4	5.2	6.1	5.5	5.9	9.3	8.0	11.0
2. わりと裕福なほう	21.2	24.4	21.0	37.0	34.5	20.5	23.3	17.8	15.6	18.7	20.8	22.0
3. ふつう	60.2	55.7	56.4	46.8	49.7	59.7	60.1	62.9	65.4	41.1	43.5	35.5
4. わりと厳しいほう	10.8	11.7	12.9	6.7	8.0	12.8	7.7	11.0	9.7	20.6	19.0	23.9
5. 厳しいほう	1.4	1.5	2.5	1.3	0.5	1.8	2.8	2.8	3.4	9.7	7.6	7.3
無回答	0.7	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591

問21 あなたの学校での成績は、クラスの中でどのくらいですか。

(%)

	日本			米国			中国			韓国		
	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高1	高2	高3
1. 上	8.0	10.1	12.0	17.8	16.3	15.8	13.5	15.9	15.4	8.2	7.5	8.3
2. 中の上	21.7	24.3	23.2	45.2	44.8	38.3	25.9	26.7	26.1	25.7	25.7	26.6
3. 中	29.2	28.0	28.1	29.2	30.2	33.2	30.8	33.2	31.9	51.6	53.6	51.6
4. 中の下	23.6	21.1	20.3	5.4	6.8	8.8	20.4	16.8	18.6	9.7	8.6	8.1
5. 下	16.8	16.2	15.5	2.4	2.0	3.8	9.4	7.5	8.0	4.4	3.7	5.1
無回答	0.7	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.3
基数(人)	1873	1515	1421	624	650	600	1615	1200	957	525	696	591



## 報告書執筆者

- 胡 霞 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員  
(調査の概要～7)
- 京免 徹雄 筑波大学人間系助教  
(考察1)
- 大山 宏 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員  
(考察2)
- 矢野 康介 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員  
(考察3)

日・米・中・韓の青少年に関する国際比較調査は、(財)日本青少年研究所が実施してきたが、当該法人が平成25年8月31日に解散したことに伴い、国立青少年教育振興機構が調査を継承して実施している。

(お願い)

本報告書を引用された場合には、今後の参考とさせていただきたいと思いますので、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターまで、メール、FAX等でその旨ご連絡いただけましたら幸いです。

---

高校生の進路と職業意識に関する調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較—

令和5年6月

編集・発行  
国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
TEL 03-6407-7741 FAX 03-6407-7619  
E-mail kenkyu-soumu@niye.go.jp

---